

2002(平成14)年度

講義内容

国文科 英文科 放射線科
専攻科(放射線技術科学専攻)
仏教科

講 義 內 容

目 次

国文科・英文科・放射線科

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	11
2	教 養 教 育 科 目	23
3	外 国 語 科 目	77
4	保 健 体 育 科 目	113
II	專 門 教 育 科 目	
1	国 文 科	153
2	英 文 科	207
3	放 射 線 科	269
III	他 学 部 履 修 科 目	313
IV	「日本語」・「日本事情」科 目	377
V	教 職 課 程 ・ 資 格 講 座 科 目	391
	專 攻 科 (放射線技術科学專攻)	407
	仏 教 科 (夜 間 開 講)	
I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	424
2	教 養 教 育 科 目	429
3	外 国 語 科 目	455
4	保 健 体 育 科 目	465
II	專 門 教 育 科 目	475
III	他 学 部 履 修 科 目	495
IV	仏 教 学 部 開 設 科 目	515

国文科・英文科・放射線科	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育	
	専門教育科目	国文科 英文科 放射線科	
	履修科目	他学部	
	「日本語」 「日本事情」	「日本語」	
	資格講座	教職課程	
	専攻科	放射線技術 科学専攻	
	仏教科 (夜間開講)	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
		専門教育科目	専門教育
		履修科目	他学部履修
		開設科目	仏学部開設

国文科・英文科・放射線科

I 全学共通科目

1 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間（短国）〈奥野光賢〉	11
仏教と人間（短国）〈木村誠司〉	11
仏教と人間（短英）〈石井公成〉	11
仏教と人間（短英）〈袴谷憲昭〉	12
仏教と人間（短放）〈角田泰隆〉	12
仏教と人間〔再クラス〕（短国・短英・短放）〈木村誠治〉	13
仏教と人間〔再クラス〕（短国・短英・短放）〈熊本英人〉	13
仏教と人間〔再クラス〕（短国・短英・短放）〈晴山俊英〉	13
仏教と人間〔再クラス〕（短国・短英・短放）〈田中良昭〉	14
文化と宗教（短国・短英）〈長谷部八朗〉	14
社会と宗教（短国・短英）〈池上良正〉	15
自然と宗教（短国・短英）〈小川順敬〉	15
坐禅（短国・短英）〈熊本英人・木村誠治〉	16

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	おくのみつよし 奥野光賢	短国1必	4

講義のねらい

本学（駒澤大学・駒澤短期大学）は、仏教の教義、中でも曹洞宗の教えを建学の理念とする私立大学である。したがって、この講座が開講されている意義をまずしっかりと認識してもらいたい。講義は、仏教の基本的教義と歴史の解説を主とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、下記に指定する教科書によって進める。教科書に入る前に、宗教学上における仏教の位置など基本的事項について概説する。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。授業においてくわしく触れることになるが、この授業はけっして宗教としての仏教の信仰を勧める授業ではない。その点くれぐれも誤解のないようにして欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。試験は教科書・参考書等の持ち込みを不可とする。なお、年間出席数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）定価1,400円（税別）を教科書とする。その他、プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

受講者の人数の関係上、授業は講義方式で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	きむらせいし 木村誠司	短国1必	4

講義のねらい

仏教は、日本人にとって身近な宗教であるが、その教義に対して正しい理解を持った人は、必ずしも多いとは言えない。本講義では、まず、仏教の歴史を辿り、般若心経等の經典類にも触れ、仏教とはどのような教えなのかを考察していきたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験あるいは、レポートによって行う。

教科書

特定の教科書は用いず、適宜資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	いしいこうせい 石井公成	短英1必	4

講義のねらい

釈尊に始まる仏教の基本的な立場、インド・中国・朝鮮・日本などの仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について十分な理解を得、宗教に関する様々な問題について自分で調べ、また考えることができるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

原始仏教の基本的な立場を明らかにしたうえで、仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について講義する。その際は、受容と変容の過程に注意し、仏教以外の宗教との違いやまた呪術的な習俗とのかかわりなどにも注意する。

履修上の留意点

一人一人に頻繁に質問を行うほか、問題によっては討論を行うこともあるため、進んで取り組む態度が必要である。

成績評価の方法

試験の成績を重視し、あわせて講義に積極的に参加しようとしたかどうかを考慮する。

教科書

使用しない。

参考書等

平川彰著『インド・中国・日本 仏教通史』（春秋社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	は か ま や の り あ き 袴 谷 憲 昭	短 英 1 必	4

講義のねらい

19世紀のイギリスが生んだ不世出のサンスクリット学者、モニエル・ウィリアムズ（1819－1899）は、その不朽の業績である『梵英辞典』編纂のかたわらで、ヒンドゥー教やキリスト教との対比において、仏教についての入門書も著わしている。その著書の1889年版を、私は、最近たまたま古書目録中に見出して購入することができた。早速通読してみると、さすが今日でも読むに耐えるものと判断された。本講義では、この原英文テキストを講読しながら、現代の研究成果も踏まえて、仏教とはなにかということ、現代の我々人間を取り巻く状況を視野に入れて追求してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

上記テキストを順次読み進めながら、仏教の基本思想を説明していく。

履修上の留意点

英文を自ら読む気概で臨みたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験によって評価する。普段の英文講読を評価に考慮することは言うまでもない。

教 科 書

Sir Monier Monier-Williams 『*Buddhism In its connexion with Brahmanism and Hinduism, and in its Contrast with Christianity*』 New York: Macmillan and Co. (1889) ただし、一般には入手不可能により、適宜コピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	つ の だ た い り ゅ う 角 田 泰 隆	短 放 1 必	4

講義のねらい

宗教とは何か、そして仏教とは何かについて、その基本的事柄について、できるだけわかりやすく講義したい。特に、葬式仏教と批判され誤解されている仏教を、正しく認識してもらいたいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、宗教とは何かについて概説し、世界宗教（キリスト教・イスラム教）と民族宗教（ユダヤ教・ジャイナ教・ヒンドゥー教・儒教・道教・神道ほか）についてそれぞれ講義する。後期は、仏教の歴史及び思想を詳説する。

履修上の留意点

教科書は用いないので、筆記用具を整え、講義の内容をしっかりと記録して頂きたい（定期試験には自筆ノートも持ち込みを許可する）。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	木 村 誠 治 <small>きむら せいじ</small>	短国・短英・短放	4

講義のねらい

仏教の教えから、生命観や自己存在の意義を確認し、自己自身の生き方を探ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えを明らかにして行く。出家に至るまでの課題が一人釈尊に限られるものではなく、生死の課題は人間の実存として関わっていることを学ぶ。成道後に展開された縁起の教えから、心と存在の在りようを学ぶ。

履修上の留意点

静粛を第一とし、雑談は禁止する。教科書は特に用意しないので、講義内容の記録が定期試験の鍵となる。

成績評価の方法

定期試験と出席率による。

教科書

なし。

参考書等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	熊 本 英 人 <small>くまもと えいじん</small>	短国・短英・短放	4

講義のねらい

日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。
仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。特に、明治維新以後の日本の近代化における仏教の功罪や、第二次世界大戦後の地域社会や家の変容に対して、仏教は何をしてきたかなどについてもみてみたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。随時レポートを課す。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	晴 山 俊 英 <small>はれやま しゅんえい</small>	短国・短英・短放	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が内在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況を加味して評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	た な か りょうしょう 田 中 良 昭	短国・短英・短放	4

講義のねらい

本講座は、本学の建学の理念である仏教の教義と曹洞宗立宗の精神について、学生諸君に理解を深めてもらうために開設されたものであり、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間にとって、いかなる意味を持ち、いかなる役割を果たすかを中心に検討し考察するものである。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教や曹洞宗学を理解するための前提として、宗教全般に関する考察を第Ⅰ部とし、仏教の基本的立場や教えの特色、その歴史や文化的特質等を第Ⅱ部とし、仏教の実践道として独自の展開をした中国禅や日本の曹洞宗の教えやその特色を第Ⅲ部とし、最後に第Ⅳ部として、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間の様々な問題に対して、どのような解答を用意しうるかを考えてみることにしたい。

履修上の留意点

本講座は、他の大学では聞くことのできない本学独自の講座であり、本学の特色を理解する重要な科目である。再クラスという事情もあり、卒業単位を充たす上からも、授業への積極的参加を期待したい。

成績評価の方法

学年末に実施する学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席も重視して評価する。

教 科 書

特に指定せず、ノートを使用するので必ず用意していただきたい。必要事項をノートに取った後、その内容について種々の角度から解説を加え、理解を深めるようにしたい。

参 考 書 等

駒澤大学仏教学部研究室編『宗教学Ⅰ』『宗教学Ⅱ』（更正社）や、水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）等が、世界の宗教、仏教、禅、曹洞宗学の全般について論述しているので便利である。尚、近刊の田中良昭『やさしい仏教・禅入門』も、入門書として有益である。

そ の 他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて内容について詳細な説明を加えていく。特にその時その時に起こる宗教問題についても、取り上げていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化と宗教	は せ べ は ち ろ う 長 谷 部 八 朗	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会と宗教	いけがみ よしまさ 池 上 良 正	短国・短英選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然と宗教	おがわ としゆき 小 川 順 敬	短国・短英選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拝の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりの諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価は原則として年度末の筆記試験により行います。なお、夏期休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐禅 (前期)(後期)	くまもと えいじん きむら せいじ 熊本 英人・木村 誠治	短国・短英選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしよう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得)

4～13 「坐禅実習」(一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『普勸坐禅儀』・『正法眼蔵一坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。また、禅の世界をより深い理解のため、各祖師方の語録も参考してみたいと思っています。)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

レポート、出席態度、出席数を総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅－講本－』(更生社) 2,266円

2 教 養 教 育 科 目

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学〔外国文学「中国文学」〕(短国・短英)	〈清水浩子〉	23
歴史学〔日本近代史〕(短国・短英)	〈立川章次〉	23
芸術学(1)〔日本美術〕(短国・短英)	〈松田誠一郎〉	23
芸術学(2)〔西洋美術〕(短国・短英)	〈矢野陽子〉	24
芸術学(3)〔音楽〕(短国・短英)	〈赤羽由規子〉	24
哲学〔現代文明と人間〕(短国・短英)	〈箭野浩司〉	25
論理学〔科学方法論と現代論理学〕(短国・短英)	〈鈴木 聡〉	25
論理学〔知の技法〕(短国・短英)	〈箭野浩司〉	26
論理学〔知の技法〕(短国・短英)	〈伊古田理〉	26
科学史〔近代科学の成立と展開〕(短国・短英)	〈小宮山隆〉	27
倫理学(1)〔人間観〕(短国・短英)	〈古田知章〉	27
倫理学(2)〔応用倫理学〕(短国・短英)	〈黒崎 剛〉	28
倫理学(3)〔価値観〕(短国・短英)	〈及川和剛〉	28
倫理学(4)〔応用倫理学〕(短国・短英)	〈箭野浩司〉	29
倫理学(5)〔制度とモラル〕(短国・短英)	〈久保陽一〉	29
倫理学(6)〔東洋倫理〕(短国・短英)	〈末木恭彦〉	30
宗教学(1)〔比較宗教文化〕(短国・短英)	〈池上良正〉	30
宗教学(2)〔聖と俗〕(短国・短英)	〈田中かの子〉	31
宗教学(3)〔思想と儀礼〕(短国・短英)	〈小川順敬〉	31
宗教学(4)〔組織と運動〕(短国・短英)	〈洗 建〉	32
人文地理学〔風土と文化〕(短国・短英)	〈竹林和彦〉	33
人文地理学〔空間と行動〕(短国・短英)	〈伊藤勝久〉	33
教育の思想(短国・短英)	〈北村三子〉	34
教育と社会(短国・短英)	〈北村三子〉	34
発達と学習の心理学(短国・短英)	〈大浜幾久子〉	35
カリキュラムと学習(短国・短英)	〈大浜幾久子〉	35

(2) 社会分野

社会学〔現代社会を考える〕(短国・短英) 〈金澤朋広〉	35
統計学〔社会現象の統計的決定〕(短国・短英) 〈新行内康慈〉	36
文化人類学〔社会変化と価値観〕(短国・短英) 〈小川順敬〉	36
法学・憲法〔法と社会生活〕(短国・短英) 〈和知恵一〉	37
法学・憲法〔法と権利〕(短国・短英) —夏季集中— 〈西修〉	38
政治学〔国際社会と日本〕(短国・短英) 〈田丸大〉	39
経済学〔現代社会と市場経済〕(短国・短英) 〈畠中貴〉	39
社会科学論〔社会認識の思想〕(短国・短英) 〈大石雄爾〉	40
教育学〔デス・エデュケーション〕(短国・短英) 〈柳堀素雅子〉	41
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕(短国・短英) 〈野中弘敏〉	42
社会学 (短放) 〈橋爪敏〉	42
法学 (短放) 〈織田晃子〉	43
心理学 (短放) 〈佐藤理晴〉	43

(3) 自然分野

生物学〔生物と環境〕(短国・短英)	〈中村敏枝〉	44
地球科学〔古環境の復元〕(短国・短英)	〈猪郷久義〉	45
自然環境論〔環境と保全〕(短国・短英) -夏季集中-	〈山縣毅〉	46
自然誌〔現代の自然像〕(短国・短英)	〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〉	47
数学(1)〔微積分学入門〕(短国・短英)	〈小沢誠〉	48
数学(2)〔線型代数学入門〕(短国・短英)	〈小沢誠〉	48
数学(3)〔現代数学入門〕(短国・短英)	〈福田賢一〉	49
情報数学〔情報と論理〕(短国・短英)	〈高橋一嘉〉	49
物理学〔光と物質〕(短国・短英)	〈篠原正雄〉	50
化学(2)〔衣食住の化学〕(短国・短英)	〈持丸真里〉	51
宇宙科学〔星と銀河〕(短国・短英)	〈篠原正雄〉	51
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)〔コンピュータの実際〕	〈小沢誠〉	52
コンピュータ基礎(2)(7)(23)(24)〔コンピュータの実際〕	〈山本博信〉	53
コンピュータ基礎(3)(8)〔コンピュータの実際〕	〈小川健次郎〉	54
コンピュータ基礎(5)(10)〔コンピュータの実際〕	〈竹田洋一〉	54
コンピュータ基礎(11)(15)〔コンピュータの実際〕	—夏季集中— 〈竹田洋一〉	55
コンピュータ基礎(12)〔コンピュータの実際〕	—夏季集中— 〈小沢誠〉	52
コンピュータ基礎(16)〔コンピュータの実際〕	—夏季集中— 〈高橋一嘉〉	56
コンピュータ基礎(13)(17)〔コンピュータの実際〕	—夏季集中— 〈山本博信〉	57
コンピュータ基礎(14)(18)(19)(21)〔コンピュータの実際〕	—夏季集中— 〈長坂浩史〉	58
コンピュータ基礎(20)(22)〔コンピュータの実際〕	—夏季集中— 〈小川健次郎〉	59
コンピュータ応用(1)(2)〔コンピュータの原理〕	〈今泉淳〉	60
人類学〔人類の進化〕(短国・短英)	〈遠藤萬里〉	60
心理学〔人間関係を考える〕(短国・短英)	〈高橋良博〉	61
心理学〔心を科学する〕(短国・短英) -夏季集中-	〈堀内正彦〉	61
基礎物理学(短放)	〈一守俊寛〉	62
基礎化学(短放)	〈山本裕右〉	62
情報処理技術(短放)	〈杉田徹〉	63
〔平成12年度以前入学生：計算機言語概論〕		
基礎数学(短放)	〈熊坂さつき〉	63
基礎生物学(短放)	〈清水善和〉	64

(4) 総合分野

総合 I	〈 休 講 〉	
総合 II	〈 休 講 〉	
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡崎 寿一郎〉	65
総合Ⅲ(3)〔フランス現代思想〕	〈桑田 禮彰〉	66
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	〈林 明人〉	66
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸小 哲雄〉	67
総合Ⅴ(1)〔イギリス文化探訪〕	〈川股 陽太郎〉	68
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	〈大野 祐二〉	69
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	〈前期：青柳かおる、後期：吉田京子〉	69
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早川 紀代〉	70
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕		
	〈北野かほる・小木曾綾・王志安・金子昇平・佐藤多美夫・西修〉	71
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	〈早川純貴・品田知美・中野裕二・保坂尚郎〉	72
総合 VIII	〈 休 講 〉	

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文学 〔外国文学「中国文学」〕	しみず ひろこ 清水 浩 子	短国・短英選	4

講義のねらい	前期の前半は中国神話・伝説について解説を行うので、中国神話・伝説の特徴を理解する。その後はテキストを講読し、『風俗通義』の作者応郡の神話・伝説・俗説への考えを知る。
講義の内容・授業スケジュール	神話・伝説についての解説をテキストの講読・解説を行う。
履修上の留意点	積極的に授業に取り組んで欲しい。
教科書	中村璋八・清水浩子著『風俗通義』（明德出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 〔日本近代史〕	たちかわ しょうじ 立 川 章 次	短国・短英選	4

講義のねらい	日本史の流れを概観し、幕末から維新期にかけての過程を考察する。幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し、崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。このことに留意して新しく維新史を学びたい。
成績評価の方法	定期試験と出席日数により総合的に評価する。
参考書等	尾佐竹猛著『幕末遣外使節物語』（講談社学術文庫） 800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学（1） 〔日本美術〕	まつだ せいちろう 松 田 誠 一 郎	短国・短英選	4

講義のねらい	飛鳥時代〔538～710〕から天平時代前期〔710～753〕にいたる仏教彫塑の歴史を詳しく講義する。講義では、関連史料を講読して、作品が造られた歴史的背景をたどる一方、時代ごとの表現や技法の特徴を指摘し、その歴史的変遷や研究上の問題点を説明する。また、中国や朝鮮半島の作品との比較を通して、日本的な美意識の問題についても論及する。														
講義の内容・授業スケジュール	<table border="0"> <tr> <td>【前期】</td> <td>【後期】</td> </tr> <tr> <td>第1回 ガイダンス</td> <td>第1～3回 5. 興福寺仏頭と薬師寺金堂本尊</td> </tr> <tr> <td>第2～4回 1. 法隆寺金堂と釈迦三尊像</td> <td>第4～5回 6. 法隆寺五重塔の塑像</td> </tr> <tr> <td>第5～7回 2. 救世観音像と百済観音像</td> <td>第6～8回 7. 興福寺の十羅漢・八部衆像</td> </tr> <tr> <td>第8～9回 3. 法隆寺再建期の童顔童形像</td> <td>第9～10回 8. 東大寺法華堂の乾漆像</td> </tr> <tr> <td>第10～12回 4. 広隆寺と中宮寺の半跏思惟像</td> <td>第11～12回 9. 東大寺・新薬師寺の塑像</td> </tr> <tr> <td>第13～15回 5. 進度調整のための予備日</td> <td>第13～15回 10. 進度調整のための予備日</td> </tr> </table>	【前期】	【後期】	第1回 ガイダンス	第1～3回 5. 興福寺仏頭と薬師寺金堂本尊	第2～4回 1. 法隆寺金堂と釈迦三尊像	第4～5回 6. 法隆寺五重塔の塑像	第5～7回 2. 救世観音像と百済観音像	第6～8回 7. 興福寺の十羅漢・八部衆像	第8～9回 3. 法隆寺再建期の童顔童形像	第9～10回 8. 東大寺法華堂の乾漆像	第10～12回 4. 広隆寺と中宮寺の半跏思惟像	第11～12回 9. 東大寺・新薬師寺の塑像	第13～15回 5. 進度調整のための予備日	第13～15回 10. 進度調整のための予備日
【前期】	【後期】														
第1回 ガイダンス	第1～3回 5. 興福寺仏頭と薬師寺金堂本尊														
第2～4回 1. 法隆寺金堂と釈迦三尊像	第4～5回 6. 法隆寺五重塔の塑像														
第5～7回 2. 救世観音像と百済観音像	第6～8回 7. 興福寺の十羅漢・八部衆像														
第8～9回 3. 法隆寺再建期の童顔童形像	第9～10回 8. 東大寺法華堂の乾漆像														
第10～12回 4. 広隆寺と中宮寺の半跏思惟像	第11～12回 9. 東大寺・新薬師寺の塑像														
第13～15回 5. 進度調整のための予備日	第13～15回 10. 進度調整のための予備日														
履修上の留意点	仏像の本当のよさは、スライドを見ているだけではわからない。教室で講義を受けるだけでなく、できるだけ履修期間中に東京国立博物館の法隆寺宝物室や奈良・京都の古寺を訪れて、仏像に接する機会を積極的につくるように努力すること。														
成績評価の方法	後期末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。														
教科書	水野敬三郎著『奈良・京都の古寺めぐりー仏像の見かたー』 1985年（岩波書店） 650円														
参考書等	水野敬三郎監修『カラー版 日本仏像史』 2001年（美術出版社） 2,500円														
その他	毎回スライドを使用する。参考文献については、講義ごとに指示する。														

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(2) 〔西洋美術〕	矢野陽子	短国・短英選	4

講義のねらい

この授業では15世紀から18世紀までのヨーロッパ諸地域の美術を対象とし、まずその主要な流れを理解することを目的とする。そして表現内容と様式、芸術家とパトロン、美術理論などを踏まえて、美術作品がどのように制作され享受されたか、美術が社会の中で占めていた位置、さらに各国の美術の特質、地域間での影響関係について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は15・16世紀、すなわち初期ルネサンスからマニエリスム美術を、後期は17・18世紀、すなわちバロック・ロココ美術を扱う予定である。

履修上の留意点

教科書を毎回持参すること。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価する。

教科書

高階秀爾監修 『カラー版 西洋美術史』 (美術出版社) 1,900円

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

授業では毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(3) 〔音楽〕	赤羽由規子	短国・短英選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』(公論社) 2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔現代文明と人間〕	や 箭 の ひ ろ し 野 浩 司	短国・短英選	4

講義のねらい

哲学は直接的には何の役に立たない。例えば、営業に向かうサラリーマンが満員電車の中で突然哲学に目覚め、存在とは何かを考え始めて、仕事に行かなければ、彼は職を失ってしまうかもしれない。しかも存在とは何かといった問題に答えが出たとしても、経済的には何のメリットもない。それはまさに自分のために出す答えであり、すべての人間がそのような答えを求めるわけではない。哲学が他の学問と異なる点の一つは、出した答えに公共性が必ずしもないことである。だからAさんの哲学とBさんの哲学はめったに一致しない。それは営みであって、暗記するような知識ではない。それは科学でもなければ、宗教でもない。目覚める人間は少数派で、大多数の人間は目覚めない。そう言われて、もしかするとと思った人はこの授業に来てください。

講義の内容・授業スケジュール

西欧の哲学史を辿るという普通のスタイルで授業を行なう。重点は現代に置く。参加者は、自分の問題を解決するのに有効な道具や戦略を探すという態度で授業を受けることとする。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクション・ペーパー等で評価する。知識は一切問わない。そのかわり<哲学的>と形容されるセンスの有無とオリジナリティを評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	す 鈴 木 さとる 聡	短国・短英選	4

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことからである。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
 - (a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
 - (a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論
3. 伝統的論理学と記号論理学との比較
4. メタ論理
 - (a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が望ましい。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

その他

本講義は講義→小テスト（質問）→前回の講義の復習→小テストの解説・・・という形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論理学 〔知の技法〕	や の ひ ろ し 箭 野 浩 司	短国・短英選	4

講義のねらい

日本の教育制度はディベートやディスカッションの技術を教えない。同様に、レポートや小論文の書き方についても、それを教える学校は少ない。しかし社会人として、あるいは国際社会の一員として生きてゆくためには、考えを言語化してコミュニケーションをとることは必要不可欠なスキルである。

この授業は、各国の言論文化の違いに留意しながら、話すことと書くことに重点を置いて思考表現とコミュニケーションのスキルを向上させることをめざす。参加者は、表現する前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるが、それを乗り越えることも目的の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような思考表現の技術について解説し、トレーニングを行う。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、小論文、クリティカル・シンキング、情報分析等。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とする。ほぼ毎回、何かしゃべってもらおうことになる。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論理学 〔知の技法〕	い こ た まさる 伊 古 田 理	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
科学史 〔近代科学の成立と展開〕	こみやま たかし 小宮山 隆	短国・短英選	4

講義のねらい

科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。

そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教科書

八杉龍一『図解・科学の歴史』（東京教学社）

参考書等

講義の際に、その都度紹介する。

その他

通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等ももたいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(1) 〔人間観〕	ふるた ともあき 古田 知章	短国・短英選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

西洋倫理学の代表的学説を、古代ギリシアから現代への流れに沿って時代ごとに紹介し、「人間」、あるいは、この「人間」という名称を与えられる「私」や「自己」という概念が、どのように、「行為」や「善」などのその他の倫理学の主題とともに論じられてきたのかを考察する。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(2) 〔応用倫理学〕	くろ さ き つよし 黒 崎 剛	短国・短英選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」--「価値」や「義務」、「習慣」といった--の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動ともななって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理---講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」---人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(3) 〔価値観〕	おい かわ かずよし 及 川 和 剛	短国・短英選	4

講義のねらい

「私はどうしたらいいのか」「ままならぬこの自分とはなんであるのか」といった問いは思春期にいる少年少女だけに特有のものではない。それはおそらく一生続きうる問いである。この授業では、それぞれの人生で繰り返し立ち現われ問い返される“私”や“自分”とはなんであるのかということ論じる。そうしていく中で、“私”はどうしようもなく“感情”に支配されてしまっている、ということがクローズアップされてくるであろう。そこで次に、その“感情”とはなんであるのかということ論じる。(この問題は<自由>の問題につながるはずである。)他方、“私”は自分一人で生きているわけではなく、他の“私”達とともに生きているという事実にも着目しなければならぬ。そこでまた、その“他者”とはなんであるのかということも論じたい。(この問題は<規範>の問題につながるはずである。)

講義の内容・授業スケジュール

- おおかた次のような内容を取り扱う。
- I 現代の日本で“私”について論じている人々
 - II 「心の受動」としての“感情”
 - III ウイトゲンシュタインと“他者”の問題

成績評価の方法

年2回（夏季と年度末）の試験、およびレポートで評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

北明子『メーヌ・ド・ピランの世界 経験する<私>の哲学』（勁草書房）
野矢茂樹『心と他者』（勁草書房）
その他についてはその都度授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(4) 〔応用倫理学〕	や 矢 野 の ひ ろ し 箭 野 浩 司	短国・短英選	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、人間がいかに生き、何をなすべきかを探求する学問である。言い換えれば、問題の多い世界の中で生き方を模索する哲学である。

われわれが自己の生き方を決めるためには、知識を習得するとともに、自分の力で考えねばならない。応用倫理学の〈応用〉という言葉は、理論の応用という意味ではなく、具体的な問題に参入して、意思決定のシミュレーションを行うことを意味する。この授業は、テクノロジー、医療、宗教、メディア、教育、環境破壊、テロ、人口圧、多様な価値観の共存など、さまざまな問題と向き合っ、どうすべきかを考え、自分の意見を持ち、判断を下すこと、言い換えれば、生きてゆくための知を構築することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

問題の多くはビデオで提示する。身近な問題から始めて、別の場所で起きている問題や未来に起きる問題にまで射程を広げてゆく。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(5) 〔制度とモラル〕	く 久 保 の ひ ろ し 久 保 陽 一	短国・短英選	4

講義のねらい

最近、簡単に人を殺害したり、職業倫理を無視したりする事件があとを絶たない。あらためて何が正しいかが問われている。そこで本講義では「正義」について、倫理想の歴史をたどり、今日の問題を考える参考にしてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I 近代以前の正義
 - (1) 古代ギリシア（ギリシア悲劇・プラトン・アリストテレス・ストア派）
 - (2) キリスト教
- II 近代の正義
 - (1) 人権と社会契約の思想（ホッブス・ロック・ルソー・カント）
 - (2) ヘーゲルの法哲学
 - (3) 功利主義
- III 現代の正義
 - (4) 社会主義と社会権
 - (5) ロールズとテイラー
 - (6) 生命倫理と環境倫理

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。私語や途中退室はつつしむこと。

成績評価の方法

中間試験、レポート、期末試験と出席状況。

教科書

河谷・久保編 『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

高木・末延・宮沢編 『人権宣言集』（岩波文庫）
シンガー 『私たちはどう生きるべきか』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(6) 〔東洋倫理〕	す え き や す ひ こ 末 木 恭 彦	短国・短英選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人との間に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ることは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ることは、我々の未来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り挙げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、この様な問題意識に基いて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性(質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う)などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』(農山漁村文化協会)

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学(1) 〔比較宗教文化〕	い け が み よ し ま さ 池 上 良 正	短国・短英選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」(マックス・ミュラー)という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・
授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①近代宗教学の成立とその意義。②宗教の比較類型論の試み。③民俗・民衆宗教研究の展開。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学(2) 〔聖と俗〕	た な が かのこ 田 中 かの子	短国・短英選	4

講義のねらい

「聖と俗」という対立概念は、ある宗教的世界観のなかで生きる人間が「日常から非日常」「不浄から清浄」「苦悩から救い」「罪からの改悛」「離叛から和解」「死から再生」などのプロセスを体験するために仮設する自己一新の装置である。人格的「神」や非人格的「法」などに由来する「聖」なるものの完全さ・神秘性・絶対的力は、至らぬ無力な自己をおのずと「俗」なる領域に押しやるかにみえる。しかし実際には、「聖」なる人間性を志向してやまない日々の宗教生活そのものが既に、「聖」なる領域のなかに取り込まれて一体化しているのである。つまり、ここでの「聖と俗」は、世間一般にいう「宗教」と「非宗教」の対比としての「聖」と「俗」ではない。本講は、この点をおさえたうえで、1) 宗教学の基本的立場をふまえ、2) 世界の諸宗教の歴史・思想・文化における「聖と俗」の諸相を観察することにより、3) 「宗教」とは何か、「人間」とは何かという問いを深めていくことをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 宗教学とは何か、II. 宗教生活の原初形態（「いのち」の発見）、III. 宗教の類型論（ひとつの宗教の諸相・さまざまな宗教の比較）、IV. 「聖なるもの」をめぐる諸宗教の構成要素一覽、V. 芸術と聖なるもの、VI. 宗教の人間観、VII. 宗教的世界観、VIII. 本講の後半では、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教の歴史・思想・文化を解説し、それぞれの現代的意義を考える。

履修上の留意点

板書を写すだけでは、本当にノートを取ったことにはならない。工夫してみよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

脇本平也著 『宗教学入門』（講談社学術文庫）

その他

講義担当者の現地調査に拠るスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学(3) 〔思想と儀礼〕	お が わ としゆま 小 川 順 敬	短国・短英選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言えるのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・
授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価は原則として年度末の筆記試験により行います。なお、夏期休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意思とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教学 (4) 〔組織と運動〕	あらい 洗 けん 建	短国・短英選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生じる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実にして考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 〔風土と文化〕	たけばやし かずひこ 竹 林 和 彦	短国・短英選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学のアプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜、ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・
授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 人文地理学の学問的性格
3. 人文地理学の基本概念
4. 人文地理学の思考対象とその方法
5. 人文地理学と地誌学
6. 地理学にとって文化とは何か？
7. 地域とは（地域の概念）
8. 文化地域
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～
10. 文化景観
11. 文化伝播
12. 東南アジアの風土と文化
13. 東アジアの風土と文化
14. 市場の風景
15. 都市での居住（都市の文化）
16. 都市と農村
17. まとめ

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでもよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 〔空間と行動〕	いとう かつひさ 伊 藤 勝 久	短国・短英選	4

講義のねらい

社会科学全般の動向を睨みつつ、その中での人文地理学における空間論／行動論の展開と変化を概観する。

講義の内容・
授業スケジュール

全般的な流れとしては、伝統的地理学から機能主義的地理学、歴史主義的地理学、批判主義的地理学、人間主義的地理学等の多様な空間観を把握しつつ、ポストモダニズムの空間論まで網羅する予定。具体的な授業スケジュールは講義初日に配付するシラバスに詳述する。

履修上の留意点

受講者には「データを収集し批判的に分析しつつ持論を展開する」というアカデミアの基本的態度を要望する。従って本講義では、受講者が各講義で得た知識を如何に使い、あるいは論理的に批判する事ができるかを重視したい。その具体的方法に関しては、授業の中で逐次教授する。

成績評価の方法

出席30%、中間試験（小論文）35%、期末試験（小論文）35%の総合点で評価する。

教科書

教科書は講義初日に配付するシラバスにて指示する。

参考書等

参考書等は講義初日に配付するシラバスにて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	きたむら みつこ 北 村 三 子	短国・短英1選	2

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていききたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものをいくつか取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探る

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（あるいはそれに代わるレポート）

参考書等

教場で指示。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	きたむら みつこ 北 村 三 子	短国・短英1選	2

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代学校システムの特質……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて……不登校その他の具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（またはそれに代わるレポート）

参考書等

教場で指示。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはま きくこ 大 浜 幾久子	短国・短英1選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教 科 書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはま きくこ 大 浜 幾久子	12以降入学生/短国・短英1選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

参 考 書 等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』 文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

そ の 他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 〔現代社会を考える〕	かなざわ ともひろ 金 澤 朋 広	短国・短英選	4

講義のねらい

現代社会についていくつかの事例を扱いながら、社会学における基本的な考え方に対する理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

医療・福祉・組織・情報などの分野で「現代社会」を取り巻く状況を、「社会学」というフィルターを通して考えていく。社会学の基本的な考え方を学びながら、これまでとは違ったものの見方を身につけられるようにしていく。

成績評価の方法

講義の中で扱った内容について学年末に行う試験によって評価する。

教 科 書

開講時に指定。

参 考 書 等

講義時に指定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	短国・短英選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と諸手法を、現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- ①記述統計 ②標本空間と確率 ③確率変数と確率分布
④母集団と標本 ⑤推定 ⑥検定 ⑦相関 ⑧回帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

出席状況、課題演習、期末試験を総合して評価します。

教科書

- ・P. G. ホーエル著（浅井 晃、村上正康共訳）『初等統計学』（培風館）1,650円
- ・必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

- ・必要に応じて適時紹介します。

その他

教科書・配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	おがわ としあき 小 川 順 敬	短国・短英選	4

講義のねらい

文化人類学（以下、人類学）とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけでなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。

人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思っています。

成績評価の方法

評価は主に年度末の筆記試験により行います。なお、夏期休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方式、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男著『文化人類学入門』（中公新書560番 中央公論社）

参考書等

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 [法と社会生活]	わ ち け い い ち 和 知 恵 一	短国・短英選	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべての法的側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業の中では、「三茶の駅頭で『うまい儲け話がある』とさそわれ、出資金の手付として1万円を払ってしまった。後で冷静に考えると失敗したと思う。この契約の効力はどうか、どうしたら『手付け金』を返してもらえるか」など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。さらに、たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、よりup to dateな話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通してほぼすべての条文に触れられるよう配慮する。

(1) 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

(2) 社会生活と法

9. 犯罪と刑罰
10. 財産生活と法（人・物・契約など）
11. 家庭生活と法（婚姻・親子・相続など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（新版）（八千代出版）
塩野宏等編『ポケット六法』（平成14年版）（有斐閣）
※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

大久保治男監修『トピックスくらしの法』（芦書房）
その他授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日に受講票を提出してもらう。特別の事情のない限り、初回から出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法〔法と権利〕 (夏季集中)	にし 西 おさむ 修	短国・短英選	4

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要がありますと思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講者諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切にした授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- ⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。

前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%

要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展（国際的視野にたつて）
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界（法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など）
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

教科書

開講時に指示。

その他

授業日程
法学・憲法〔法と権利〕

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○	○	○			8月20日 火	△	△	△	△	△		
8月2日 金	○	○	○	○	○			8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○	○	○			8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○	○	○			8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○	○	○			8月26日 月							
8月8日 木	○	○	○	○	○			8月27日 火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 〔国際社会と日本〕	た ま る だ い 田 丸 大	短国・短英選	4

講義のねらい

小泉純一郎内閣の出現以降、日本の政治は様々な面で国民の注目を浴びている。また制度改革の時代にあつて、西欧諸国への追いつき型近代化を推し進めることに大きく貢献したこれまでの政治や行政の仕組みが大きく変わろうとしている。このような時代状況にあつては、国民一人一人が現状を的確に捉え、これからの日本が進むべき方向についてしっかりとした意見を持つことがとりわけ重要である。

本講義においては、改革の時代にあつて、日本の政治や行政を的確に観察するための思考道具を提供することを主な目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている（内容の詳細・スケジュール等は講義後に知らせる）。

- 1 現代日本の政治と行政、
- 2 議院内閣制の制度適用、
- 3 ガバメントからガバナンスへ、
- 4 近年の日本における制度改革（地方分権、規制緩和、省庁再編等）

成績評価の方法

基本的に、2度の期末試験で評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

講義の中で、適宜指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済学 〔現代社会と市場経済〕	は た な か た か し 島 中 貴	短国・短英選	4

講義のねらい

諸々の経済現象をよりよく理解するための理論（マクロ経済学・ミクロ経済学）について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

授業は基本的に教科書に沿って行う。1年かけて1冊を終える予定である。前期はマクロ経済学、後期はミクロ経済学を扱う。マクロ経済学では、失業、インフレーション、経済成長についての議論を行う。ミクロ経済学では、個々の家計や企業が行っている経済活動に着目しながら、それらが市場を通してどのように関わりあっているかということについて議論する。

数学の使用は最小限に抑える方針である。数学の知識は前提としない。

履修上の留意点

抽象的な理論の内容は、一度説明を聞いただけではなかなか頭に入らない。経済理論を理解し、現実経済を見る目を養うためには、根気よく予習・復習を行い、演習問題に頭を悩ませることが肝要である。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価

教科書

伊藤元重著『入門経済学』第2版（日本評論社）3,000円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おおいし ゆうじ 大石雄爾	短国・短英選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出していません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることをとおして、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。複雑きわまりない現代社会の諸問題の原因をさぐり、問題解決への展望をさし示すことが求められている、といっってよいでしょう。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械成大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げて、現代的な意味について考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 社会科学とは何か
2. 社会の歴史的発展と社会思想
3. 社会科学の生誕：ホブズとロック
4. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
5. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
6. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
7. 資本主義と民族
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても、随時とり上げてみるつもりです。

履修上の留意点

この講義は、年間の講義をとおして聞くことではじめて社会科学の意味とおもしろさが理解できるように組み立てられています。また、講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。追再試を実施します。

参 考 書 等

- 高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎぼり す が こ 柳 堀 素 雅 子	短国・短英選	4

講義のねらい

20世紀は医療が急速に進歩した時代であった。医学、医療が進めば、病気の治療も進み、これまで治療不可能と考えられてきた病気が、どんどん治療可能になってきた。現代医療のメリットだけを見れば夢と希望にあふれているが、デメリット、現代医療の影の部分、悪い部分にも目を向けることを忘れてはならないだろう。

たとえばヒトゲノム（人間の全遺伝子）が解読されたことは、オーダーメイド医療の普及や新薬の開発につながる可能性は大きい。しかし遺伝子情報は個人のプライバシーに触れるため、情報の管理がきちんとしていなければ重大な人権侵害となる。あるいは「脳死は死である」という社会的な合意が成立していない現時点で、脳死になった人からの臓器を勝手に摘出して他人に移植することは許されない。また植物状態になった人の人工呼吸器ははずしてもいいのか否かといった問題などもある。

現代医療の進歩にともなって、人間の生と死をめぐる新たな問題が噴出してきた。いずれも根本的解決には至っていない。以上のような人間の生と死をめぐるさまざまな問題について考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・現代の医療をめぐる状況
- ・バイオエシックスとは何か
- ・生命をめぐる新しい視点
- ・人権の保護と生命の尊厳との相剋など

履修上の留意点

新聞等の医療問題記事には、なるべく目を通して欲しい。

成績評価の方法

出席、レポート提出等を総合的に評価する。

教科書

なし。

参考書等

必要なものをその都度紹介します。

その他

授業の方法－講義、ビデオ、OHP、討論

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育心理 〔大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－〕	の な か ひろ と し 野 中 弘 敏	短国・短英選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 （前期）	は し つ め さ と し 橋 爪 敏	短 放 1 選	2

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

社会学は、その名称の示すように「社会」を理解し明らかにしようとする。しかし、ここで言う「社会」とは、私たちが遠く離れた抽象的存在ではなく、きわめて身近な日常的な事実である。社会学は、学校社会、病院社会、地域社会といった社会の諸問題を、常に具体的、現実的な人と人との関係問題として考察、理解しようとする。この講義は、こうした社会学独自の社会現象の見方、考え方、知識の基礎を提供する。

授業のスケジュールは、まず、社会学とは何かについての概略を述べ、その後で、人間と社会の関わりについて、出来るだけ具体的な例を挙げて論じていきたい。

成績評価の方法

成績の評価は講義内容に関わる基本的な問題について、学期末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

講義開始後に相談の上決定。

参考書等

- 高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
- R・ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
- 安藤喜久雄編『人生の社会学』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学 (後期)	お 織 だ て る こ 織 田 晃 子	短 放 1 選	2

講義のねらい	①法とは何かに始まり、②私人間における基本的人権の尊重、③財産関係と法について講義する。
講義の内容・授業スケジュール	上記①の法とは何かでは、法と道徳、法と正義、法の解釈と適用等について。②の私人間における基本的人権の尊重では、例えば、私企業への入社に際しての身上書と基本的人権、私立学校の学則と基本的人権、外国人の基本的な人権等について。③の財産関係と法では、所有権の絶対性とその制限、権利概念の拡大と限界、契約自由の原則とその制限、権利侵害と損害賠償等について。後期のみであるから上記の予定すべてを終えることは不可能かもしれない。その際は受講生と相談の上、講義の順序を決める。
履修上の留意点	授業にはポケットサイズのもので十分であるが六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。
成績評価の方法	期末試験の成績と出席日数による。
教科書	開講時に指示する。
参考書等	『ポケット六法』(有斐閣) 必要に応じてプリント等を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 (前期)	さ と う ま さ は る 佐 藤 理 晴	短 放 1 選	2

講義のねらい	心理学は人間および動物の行動の体系的な観察、測定によって、その背後にある心的過程を明らかにしようとする学問である。本講では知覚、記憶、学習などの基礎的分野を中心に、心理学の各分野における研究方法および理論を概観する。また実験、調査方法を体験してもらうために、デモンストレーションを交えながら講義を行う。
成績評価の方法	出席、レポートの合計点で評価する。
教科書	指定しない。
参考書等	授業中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 〔生物と環境〕	なかむら としえ 中 村 敏 枝	短国・短英選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは羅病した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追求の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・
授業スケジュール

1. はじめに 地球の歴史・生命の誕生
2. 生物の生活
 - a. 生命の維持
 - b. 植物の物質生産
 - c. 植物の生産過程
 - d. 植物の相互作用
 - e. 植物群落の遷移
 - f. 動物の個体群
 - g. 個体群の内部構造生殖行動
 - h. 生殖行動
 - i. 動物の種間関係
3. 生態系
 - a. 物質循環とエネルギーの流れ
 - b. 生態系の安定性
4. 人間の活動と地球環境
 - ・化学物質の功罪
 - a. 化学物質と生物
 - b. ダイオキシン
 - c. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
 - ・生物工学
 - d. 遺伝子組み換え生物
 - e. クローンと動物工場
 - f. 生殖医療
 - ・地球環境問題
 - g. 開発による自然の改変
 - h. オゾン層の破壊
 - i. 地球温暖化
 - j. 原子力利用の諸問題
 - k. 食料と人口・人類の未来

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科はじめ各教科の知識を本講義の前提とする。
意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学 - 地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参 考 書 等

その都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 〔古環境の復元〕	いごう ひさよし 猪 郷 久 義	短国・短英選	4

講義のねらい

現在の地球上の自然環境は46億年に及ぶ悠久の地球史がたどった古環境の一断面である。まず現代の地球観を通してグローバル規模の自然環境全般と、災害・資源・環境の科学としての地学を考察する。次いで地球史の古環境を具体的に復元し、特に生物が関与してきた地球環境変遷史を探究し、今日の環境問題への関与について理解を深めると共に将来を展望する。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の地球観（地球の姿地球上に働く力、大陸移動説とプレートテクトニクス）
 災害と防災の地学（ハザードマップ、地殻変動、地震とその予知、火山災害と恩恵、海水面変動、気候災害と気候変動）
 資源の地学（観光の地学、アウトドアライフの地学、水資源の地学、鉱物資源、金属・非金属資源、化石燃料、資源の偏在性と将来性）
 古環境の復元法（地質・地形と古環境、地層と古環境、化石と古環境）
 古環境変遷史（地球史の編年、地球の誕生と生命の起源、原始地球の自然環境、二酸化炭素と酸素の起源、先カンブリア時代の生物進化、性の起源と多細胞生物の出現、無脊椎動物の発生と爆発的進化進化の実験場、脊椎動物の発生と上陸、植物の上陸戦略、緑の大地の出現と石炭、古生代末の危機到来と生物大量絶滅、ジュラシックパークの自然環境、中生代末の危機と生物大量絶滅、哺乳類の繁栄、人類と水河時代、縄文海進と縄文文化）
 地学と人間生活（環境・資源・防災の地学と21世紀の展望）

履修上の留意点

質疑応答や討論の時間を設け、活発な意見交換をする一方通行でない講義としたい。個々の学生が授業に積極的に直接参加するという意識をもって欲しい。

成績評価の方法

論述試験の予定。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

その都度指示し推薦する予定。

そ の 他

講義形式であるが、必要に応じてスライド、OHPを活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 〔環境と保全〕 (夏季集中)	やまがた たけし 山 縣 毅	短国・短英選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

自然環境論〔環境と保全〕

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○			8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○	○	○			8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○	○	○			8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○	○	○			8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○	○	○			8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○	○	○			8月27日	火							

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水 善和・篠原 正雄 持丸 真理・山縣 毅	短国・短英選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。

本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。

宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
- (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）

第2講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）

第3講 地球環境形成の歴史 山縣毅

- (1) 地球環境の変遷（プレュームテクトニクスからプレートテクトニクス）
- (2) 地震のメカニズムとその災害
- (3) 火山活動のメカニズムとその災害
- (4) 大陸移動による気候変化

第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真理

- (1) 化石燃料の消費と大気の変化（地球温暖化、大気汚染）
- (2) 環境問題の歴史（公害から環境基本法制定まで）
- (3) 石油化学工業の発達と生態系への影響
- (4) 未来へ向けて-石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
数学(1) 〔微積分学入門〕	おざわ まこと 小 沢 誠	短国・短英選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、一変数関数・一変数関数の微分・一変数関数の積分を、後期に、二変数関数・二変数関数の微分・二変数関数の積分を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子 『やさしく学べる微分積分』 (共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子 『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微分積分』 (共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
数学(2) 〔線形代数学入門〕	おざわ まこと 小 沢 誠	短国・短英選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、行列・連立一次方程式・行列式を、後期に、空間ベクトル・線形空間・内積空間を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子 『やさしく学べる線形代数』 (共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子 『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微分積分』 (共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学(3) 〔現代数学入門〕	ふく だ けん いち 福田 賢 一	短国・短英選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会現象に応用例を求め具体的事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実的な応用力の養成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. 論理の基礎
2. 論理の応用
3. 線型代数
4. 線型計画法
5. 幾何学
6. 微分法
7. 積分法
8. 微積分法とその応用
9. 確率現象とその捉え方
10. 種々の応用

履修上の留意点

高校2年程度の平均的な学力があれば十分理解できるが、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な事項を確実に理解する必要がある。

成績評価の方法

期末試験、レポート、小テスト等の結果を総合的に判定する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	た か は し か ず よ し 高 橋 一 嘉	短国・短英選	4

講義のねらい

コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際に必要な基礎数学を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は初歩的な初等整数論から始めて、公開鍵暗号のひとつであるRSA暗号について解説する予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は原則として前期末と後期末の2回の試験によって行う。

教科書

楫 元著『情報数理解シリーズA-5 工科系のための初等整数論入門—公開鍵暗号をめざして—』(培風館) 2,400円を使用する。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
物理学 〔光と物質〕	し の は ら ま さ お 篠 原 正 雄	短国・短英選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定されず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことにある。数式は物理学に不可欠な言葉ではあるが、大切なのは数式により表現された意味である。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識は必要としない。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような項目について講義する。

波としての光

光線 影 鏡 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

色とは何か

色即是波長？ 虹は七色か 三原色 茶色い光の波長？

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気 電波望遠鏡 X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。

成績評価の方法

数回のテストを含む平常点を主に評価する。ただし、単位取得を希望する者は簡単な期末試験も受けていただく。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円。その他、講義の中で適宜紹介する。

その他

講義を中心とするが、理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
化学(2) 〔衣食住の化学〕	もちまる まり 持丸 真里	短国・短英選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について講義する。

その後、衣食住の化学として、以下のような各論の解説を行う予定である。

- ①衣の化学：合成繊維
合成洗剤（酵素化学の基礎、水質汚染問題も含む）
- ②食の化学：遺伝子組換え食品（遺伝子工学の基礎を含む）
食品の安全性
- ③住の化学：ダイオキシン問題
内分泌攪乱物質
フロン類によるオゾン層破壊 など

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しのはら まさお 篠原 正雄	短国・短英選	4

講義のねらい

観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。本講では現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。

宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星について講義する。初めに最もよく知られた恒星である太陽について、構造やエネルギー源を調べる。次に恒星一般について、研究の方法、恒星の分類、その結果わかってきた恒星の進化についてのべる。最後に、太陽系の起源について最近の説を紹介する。

後期は銀河系および宇宙の起源と進化について講義する。銀河系の中で、星間物質から星々が生まれては、再び星間物質へと戻っていくことを繰り返す中で、物質が進化してきた。この過程の重要な現場である星生成領域の研究を紹介しつつ、前期に触れた恒星の進化を銀河系の進化の側面から捉えなおす。

星と銀河についての知識はほとんどすべて20世紀になって明らかにされたものである。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験による。平常点を加味する。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	おざわ まこと 小 沢 誠	短国・短英選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及びCSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学ぶ。HTMLでは基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教科書

HTML 4.01 Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参考書等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	おざわ まこと 小 沢 誠	短国・短英選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及びCSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学ぶ。HTMLでは基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教科書

HTML 4.01 Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参考書等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (12)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○					8月20日 火							
8月2日 金	○	○	○					8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○					8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○					8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○					8月26日 月							
8月8日 木	△	△	△					8月27日 火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (2) (7) (23) (24) 〔コンピュータの実際〕 (前期) (後期)	やまもと ひろのぶ 山本 博信	短国・短英選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた”コンピュータリテラシ”および”情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理加工して利用することができる。(1) 表現手段としてのコンピュータ、(2) 情報処理手段としてのコンピュータ、(3) コミュニケーション手段としてのコンピュータ、それぞれについて実習を通じて理解を深める。電子メールやWWWなどのインターネットのサービスを、できる限り具体的に技術的・倫理的側面などを加味した上で活用する。

- ・コンピュータによる情報処理
- ・コンピュータ・リテラシの理解
- ・Windowsの環境（個人情報自己管理）
- ・電子メールの利用
- ・文章の作成技法（自己の主張と他社の発言の区別、引用などのスタイル）、文章の編集
- ・文章の構成（構造的文書作成とドキュメント管理）
- ・インターネットの基本
- ・Webページの作成
- ・インターネットの諸サービス
- ・インターネットの利用（情報収集と文書作成）
- ・情報発信の法的・倫理的責任（知的財産権、個人情報保護法、モラル）

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	おがわ けんじろう 小 川 健次郎	短国・短英選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。利用申請は、授業の中で適宜行う。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (5)(10) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	たけだ よういち 竹 田 洋 一	短国・短英選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）で主としてワープロソフト（WORD）と表計算ソフト（EXCEL）を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習（自宅または情報センターの自習室などのパソコンで）を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらう課題、そして筆記テストの三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (11) (15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	た け だ よ う い ち 竹 田 洋 一	短国・短英選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことのない初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）で主としてワープロソフト（WORD）と表計算ソフト（EXCEL）を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習（自宅または情報センターの自習室などのパソコンで）を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらう課題、そして筆記テストの三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (11)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○					8月20日 火							
8月2日 金	○	○	○					8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○					8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○					8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○					8月26日 月							
8月8日 木	△	△	△					8月27日 火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (15)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木				○	○	○		8月20日 火							
8月2日 金				○	○	○		8月21日 水							
8月5日 月				○	○	○		8月22日 木							
8月6日 火				○	○	○		8月23日 金							
8月7日 水				○	○	○		8月26日 月							
8月8日 木				△	△	△		8月27日 火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (16) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	た か は し か ず よ し 高 橋 一 嘉	短国・短英選	2

講義のねらい

コンピュータに対する基礎知識を習得し、基本的なソフトウェアやHTML言語の実習などを通じて、コンピュータでの情報処理能力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータに対する基礎知識（構成要素・動作原理等）の解説から始めて、ハードウェアとソフトウェアの役割、プログラム言語とプログラミング等の簡単な解説をし、それぞれについてコンピュータを操作する実習を行う。具体的には、基本的なソフトウェア（ワープロ、表計算、インターネットアクセス等）とHTML言語の実習及び簡単なプログラミングの演習を行いたい。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、集中講義なので講義には毎日必ず出席すること。
講義開始日までに駒澤大学総合情報センターのコンピュータ利用申請を済ませておくこと。
なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のため計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎 (16)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木				○	○	○		8月20日	火							
8月2日	金				○	○	○		8月21日	水							
8月5日	月				○	○	○		8月22日	木							
8月6日	火				○	○	○		8月23日	金							
8月7日	水				○	○	○		8月26日	月							
8月8日	木				△	△	△		8月27日	火							

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (13) (17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもと ひろのぶ 山 本 博 信	短国・短英選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた”コンピュータリテラシ”および”情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理加工して利用することができる。電子メールやWWWなどのインターネットのサービスを、できる限り具体的に技術的・倫理的側面などを加味した上で活用する。あらかじめ収集、蓄積した情報を分析することによって問題を解決する（グループ演習によって行う）。

- ・コンピュータによる情報処理
- ・コンピュータ・リテラシの理解
- ・表計算処理の概念
 - (1) 行・列の計算 (2) ファイル形式 (3) 並べ替え、平均、集計、分散 (4) データの視覚化 (5) 統合的利用（ワープロ文書への表・グラフの埋め込み） (6) マクロ機能
- ・Windowsの環境（個人情報管理の自己管理）
- ・電子メールの利用
- ・インターネットの利用（情報収集と文書作成）
- ・Webページの作成（内容の構造化、表現および技術）
- ・情報発信の法的・倫理的責任（知的財産権、個人情報保護法、モラル）
- ・情報生産のプロセスの演習
 - (1) 演習の方法 (2) メディアを利用したグループ演習 (3) 情報システムの活用について

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (13)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木								8月20日	火	○	○	○				
8月2日	金								8月21日	水	○	○	○				
8月5日	月								8月22日	木	○	○	○				
8月6日	火								△8月23日	金							
8月7日	水								8月26日	月	○	○	○				
8月8日	木								8月27日	火	○	○	○				

△は予備日

コンピュータ基礎 (17)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○					8月20日	火							
△8月2日	金	△							8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○					8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○					8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○					8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○					8月27日	火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (14) (18) (19) (21) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	ながさか ひろふみ 長 坂 浩 史	短国・短英選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握、一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。

また、社会に出たとき必ず要求されると思われる「入手した情報を自分なりに整理し、体裁を整えて他者に伝える」ということの基礎を学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OSはWindows) を使用し、実習を行う。ワープロソフト、表計算、データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらうつもり。この資料はウェブページの体裁で作成してもらうので、ウェブページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。

予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。

課題は基本的にファイルの形で提出してもらう予定だが、各自バックアップ用に、初日からフロッピーディスクを持参すること。

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。

実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っていよい。

教科書

前半は主に情報教育センターから配布されるガイドに沿って実習を行うが、その場で簡単な資料を配布する予定。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (14)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○					8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○					8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○					8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○					8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○					8月26日	月							
8月8日	木	△	△	△					8月27日	火							

△は予備日

授業日程

コンピュータ基礎 (18)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木				○	○	○		8月20日	火							
8月2日	金				○	○	○		8月21日	水							
8月5日	月				○	○	○		8月22日	木							
8月6日	火				○	○	○		8月23日	金							
8月7日	水				○	○	○		8月26日	月							
8月8日	木				△	△	△		8月27日	火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (19)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木								8月20日	火	△	△	△				
8月2日	金								8月21日	水	○	○	○				
8月5日	月								8月22日	木	○	○	○				
8月6日	火								8月23日	金	○	○	○				
8月7日	水								8月26日	月	○	○	○				
8月8日	木								8月27日	火	○	○	○				

△は予備日

コンピュータ基礎 (21)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木								8月20日	火				△	△	△	
8月2日	金								8月21日	水				○	○	○	
8月5日	月								8月22日	木				○	○	○	
8月6日	火								8月23日	金				○	○	○	
8月7日	水								8月26日	月				○	○	○	
8月8日	木								8月27日	火				○	○	○	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (20) (22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	おがわ けんじろう 小川 健次郎	短国・短英選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をして、電子メールのアドレスを取得しておくこと。

成績評価の方法

授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (20)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○					8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○					8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○					8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○					8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○					8月26日	月							
8月8日	木	△	△	△					8月27日	火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (22)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木				○	○	○		8月20日	火							
8月2日	金				○	○	○		8月21日	水							
8月5日	月				○	○	○		8月22日	木							
8月6日	火				○	○	○		8月23日	金							
8月7日	水				○	○	○		8月26日	月							
8月8日	木				△	△	△		8月27日	火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用 (1)(2) 〔コンピュータの原理〕	いまいずみ 今 泉 じゅん 淳	短国・短英選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねることで、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を目的に応じて組み合わせること（これを「プログラミング」とよぶ）が必要になる。そこでプログラミングの基礎を学ぶ。また、特定の問題を解決するためには「解決の手順」が必要になるが、同じ問題であっても異なる「解決の手順」があり、それらの比較を通じて「効率の良い解決手段」について学ぶ。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は仮定しないが、必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。なお、駒澤大学の総合情報センターの利用申請と電子メールのアカウント取得は必須である。また、プログラミングで使用するコンピュータ言語はPascalである。本授業は一回でも欠席すると以後の授業についてこれなくなる可能性が非常に高く、欠席は厳禁である。

成績評価の方法

毎回の出席と適宜出題されるレポート課題の点数の総合評価によって行う。

教科書

山崎秀記『Delphiによるプログラミング入門』（培風館）2,100円

参考書等

随時紹介する。

その他

授業は全て実習形式で、計算機室で行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学 〔人類の進化〕	えんどう ばんり 遠 藤 萬 里	短国・短英選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようなヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であまり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教科書

遠藤萬里編『人類生物学入門』（てらべいあ）

参考書等

進化については
遠藤萬里『人類学百話一話』（てらべいあ）2,000円 アンドリュース・ストリンガーイラス・ガイド『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400円
他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

その他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 〔人間関係を考える〕	たかはし よしひろ 高橋 良博	短国・短英選	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

履修上の留意点

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

成績評価の方法

講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 〔心を科学する〕 (夏季集中)	ほりうち まさひこ 堀内 正彦	短国・短英選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることも含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶというものの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業日程
心理学〔心を科学する〕

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○	○	○			8月20日 火		△	△				
8月2日 金	○	○	○	○	○			8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○	○	○			8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○	○	○			8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○	○	○			8月26日 月							
8月8日 木	○	○	○	○	○			8月27日 火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎物理学 (前期)	いちもり としひろ 一 守 俊 寛	11以降入学生/短放1選	1
		12以前入学生/短放1選	2

講義のねらい

物理で基本的な法則の数は決して多くない。その法則は色々な場合に、色々な形で繰り返し現れる。理解を深めることにより、その単純さに驚き広い適応性を持っていることを知ってほしい。知識の単純記憶ではなく知識に基づいた思考過程を重要視します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 運動と力
運動の表し方、力とそのつりあい、運動の法則、運動量とその保存、慣性系と慣性力、力学法則と微分計算、円運動と単振動
2. 運動と熱
気体の法則、分子の熱運動、熱の流れ、熱の仕事の相互変換、熱を含めたエネルギーの保存、気体分子の運動と圧力、理想気体の熱力学
3. 電場と磁場
電場と電位、コンデンサー、電流と電力、磁場、電磁誘導

履修上の留意点

基礎物理の未履修者も対象にしており、力、熱、電磁気に焦点をしばらく最低限の知識の修得を目指しています。理解度に個人差が生じますが「何が解らないか」を明らかにし復習・克服してほしい。

成績評価の方法

出席率、小テスト、定期試験により評価する。

教科書

配布資料と下記参考書も使用する。

参考書等

藤崎達雄著 『新物理の講義』 (Z会 増進会出版) 1,166円

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎化学 (前期)	やまもと ゆうすけ 山 本 裕 右	11以降入学生/短放1選	1
		12以前入学生/短放1選	2

講義のねらい

高校で「化学」を履修していない学生、履修していてもきちんと理解できていない学生には、1年次の必修科目である「放射化学序論」、「放射線写真学」および2年次の「放射化学」の講義を十分理解できないケースが多く見受けられる。ここでは、高校までの化学の学力が十分身につけていない学生のために、今後必要となる化学の基礎的事項、重要事項について演習をまじえて平易に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 物質
2. 元素と化合物
3. 原子、分子、イオン
4. 電子配置
5. 化学結合
6. 化合物の名前
7. 化学方程式
8. 化学量論

履修上の留意点

高校で化学を履修しなかった学生、履修していても学力が不十分だと自覚している学生、そして化学が苦手な学生、嫌いな学生を対象としています。高校までのただひたすら暗記する化学はここにはありません。不明なこと、理解できないことはどしどし質問してください。理解しようとする努力、知ろうとする意欲をもって臨んでいただければ、きっと新しい化学の世界が開けてくることでしょう。

成績評価の方法

平常の小テスト、定期試験で評価する。

教科書

井本稔、岩本振武著『化学—その現代的理解』 (東京化学同人) 1,930円+税

参考書等

R. J. Ouellette著 (岩本他訳)『化学その基礎へのアプローチ』 (東京化学同人) 2,400円
P. W. Atkins他著 (千原他訳)『物理化学の基礎』 (東京化学同人) 3,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理技術（前期）	すぎ た とおる 杉 田 徹	13以降入学生/短放1選	1
計算機言語概論（前期）		12以前入学生/短放1選	2

講義のねらい

情報処理技術はパーソナルコンピュータ（以下パソコンと呼ぶ）を中心にその原理、ならびに利用の仕方を学ぶ科目である。具体的にはWindowsOS上で走るアプリケーションソフトやインターネットによる情報収集、メール、ホームページ作成等の基本的な活用技術を習得する。また、医療事故防止のために正確なキーボード操作を身につけることが要求される。

講義の内容・授業スケジュール

【内容】

- ① パソコンの原理
- ② ウィンドウズOS上の応用ソフトの使い方
- ③ インターネット検索ならびにホームページ作成技術

【スケジュール】

半期科目である。情報教育センターでの講義とパソコンを使用した実習が中心となる。

履修上の留意点

授業時間には遅れないこと。また、積極的に情報教育センターに登録し、センターの機材を活用し自習を行なうこと。

成績評価の方法

出席状況と演習課題の評価により単位認定を行なう。筆記試験は行なわない。

教科書

情報センター各種資料と配布プリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎数学（前期）	くま さか 熊 坂 さつき	11以降入学生/短放1選	1
		11以前入学生/短放1選	2

講義のねらい

実用数学の中心となる微分・積分について学ぶ。その解き方や計算法も大ではあるが、ここでは微分・積分の楽しさや考え方を中心に修得する。そして、科学技術および情報科学分野への数学の応用とその有効な活用法を共に考える。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 高校で学習した微分・積分の復習
- ② 関数の極限
- ③ 平均変化率
- ④ 微分係数
- ⑤ 整式の微分
 - a 導関数
 - b 関数の増減
- ⑥ 整式の積分
 - a 定積分
 - b 不定積分

成績評価の方法

試験（2回/年）、レポート

教科書

プリントを配布

参考書等

水本久夫 『教養数学の基礎』（培風館）
和達三樹 『微分積分』（岩波書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎生物学 (後期)	しみず よしかず 清 水 善 和	1:以降入学生/短放選	1
		2:以前入学生/短放選	2

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後の連続と続く進化の過程を経て現在に至った歴史的産物である。体の構造、生理、生態、種の分布などあらゆる面に過去の歴史が反映されている。一方、すべての生物の基本単位となる細胞には生命の根元物質である遺伝子（DNA）が含まれ、この遺伝子の情報に基づいて体がつくられ、そのコントロールのもとに生命が維持されている。生命活動のどの部分をとっても、遺伝子と無関係なところはないといってよい。現代生物学は遺伝子という物質的な拠り所をえて、より厳密で実証的な学問に変わりつつあるといえる。そこで、本講義では生物の進化と遺伝子を二つのキーワードにして、現代生物学の各分野の基礎的な内容を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 生体を作る物質
 - (1) 生元素
 - (2) 有機物
 - (3) 生体高分子
 - (4) 生命活動（酵素とATP）
- 第2章 細胞
 - (1) 細胞のしくみ
 - (2) 生体膜
 - (3) 共生説
- 第3章 遺伝子
 - (1) 遺伝子の働き
 - (2) タンパク質合成
 - (3) 突然変異と進化
- 第4章 発生
 - (1) 発生と遺伝子
 - (2) クローン
 - (3) 細胞系譜
 - (4) 個体発生と系統発生
 - (5) ヒトの発育段階
- 第5章 神経と脳
 - (1) ホルモンと神経
 - (2) 情報伝達のしくみ
 - (3) 脳の構造と働き
 - (4) 脳と神経ホルモン
- 第6章 免疫
 - (1) 抗原と免疫のしくみ
 - (2) 免疫のネットワーク
 - (3) 血液型
- 第7章 性と生殖
 - (1) 遺伝子と染色体
 - (2) 細胞分裂
 - (3) 性の決定様式
- 第8章 遺伝
 - (1) メンデルの法則
 - (2) 遺伝病
 - (3) 集団遺伝学の基礎
- 第9章 系統と分類
 - (1) 分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 生物多様性
- 第10章 進化と進化論
 - (1) ダーウィン進化論
 - (2) ネオ・ダーウィニズム

成績評価の方法

試験と出席により評価する。

教 科 書

特に定めない。

参考書等

分野ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表はプリントにして適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	お か ぎ とし ち ろ う 岡 崎 寿 一 郎	短国・短英選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(3) 〔フランス現代思想〕	くわ た のりあき 桑 田 禮 彰	短国・短英選	4

講義のねらい

今日に至るまでフランスは、世界の思想界をリードしてきました。この講義では、特に二十世紀に照準を絞って、その豊かな成果を皆さんにご紹介します。重要な思想家を、おおむね時間順序に従って取り上げていきながら、時代背景も説明するつもりです。でも思想の最大の魅力は、スリリングと言ってもいいような鋭い洞察に触れる点にありますから、ときには、そうした著作の一節を一緒に読んでみましょう。また、「フランス現代思想」とは言っても、孤立しているわけではないので、ドイツ・イギリス・アメリカなど諸外国の思想について触れることもあります。わくわくするような「知の冒険」のガイドになればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 講義概要
2. 生の哲学とベルクソン
3. 実存主義とサルトル
4. 現象学とメルロ＝ポンティ
5. 構造主義(1)レヴィ＝ストロース
6. 構造主義(2)ロラン・バルト
7. 構造主義(3)ラカン
8. 構造主義(4)アルチュセール
9. フーコー
10. ブルデュー
11. デリダ
12. まとめ

(2～11は、各2～3回ずつを予定)

履修上の留意点

フランス語の知識は必要ありません。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の試験で行います。

教科書

特に指定しません。

参考書等

講義の中で、その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ(1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし あきと 林 明 人	短国・短英選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード (abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Law等) を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅳ(3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこ てつお 丸 小 哲 雄	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味をこめて解釈されています。ポスト学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化にたいする批判）することがあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている歴史的過渡期の時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（＝文化）をどう捉え、どう身体的に受け止めて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き；「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における事故言及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について；ポストモダンの特質について
4. ソシユールの言語観；言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観、宇宙観、社会観の変化について
7. 西洋の理性批判について：ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス：とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判としての『道徳の系譜』；を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について：合理的理性批判について
9. フーコーなどを中心にしてモダン批判：外部の力と内部の力について
10. トランスモダン（横断的近代：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョナル意識との対抗性について
11. レヴュー：冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

成績評価の方法

出席、タム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。さらに、前期、後期に配布された関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだレポート作成。

教科書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合Ⅴ(1) 〔イギリス文化探訪〕	かわまた ようたろう 川 股 陽 太 郎	短 国・短 英 選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。日本とは、日本人とはと問われたとき、あなたがたはどう説明しますか。イギリスとは、イギリス人とはということ、ごく限られた時間で、しかしできる限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。ある民族の文化を理解しようとするとき、その民族の言語・風俗・習慣を知る必要がある。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングランド、スコットランド、ウェールズ、コーンウォール、シェットランド・オークニー諸島、ヘブリディーズ諸島という地理的側面から、またイングランド人、シェットランド人、ウェールズ人、コーンウォール人とか、シーズナルハンター、ピクト人、ケルト人、ローマ人、アングロサクソン人、デーン人、バイキング、ノルマン人という人種の側面から理解してみるのも一つのやり方である。

イギリス人は自分たちを「混血」(ミックスチャー)であるという。人がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは「血」もさることながら、土地と無縁でないし、地域の文化(言語、風俗、習慣)と無縁ではない。しかしそれを決定するのはあくまでその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、ローマの植民地時代、キリスト教の普及、アングロサクソン人、デーン人、バイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性をその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで日本とイギリスを比較・検討することで、よりいっそう明確にその差異を認識することができる。それは、自分の所属する社会と別の社会を比較することによって、それぞれの文化がもつ性格をいっそう明確に認識するということである。

「日本の常識は世界の非常識」であることが多いのも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって、もっとも大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためには、まず自国の文化を理解し、そして他国の文化を理解することが重要である。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポート用紙10枚程度のものを、年1回提出。レポートには「参考文献名」を記入し、「引用文」には注)を付し、書名とページ数を記入すること。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じ講義要録、参考資料等を適宜配布する。

参 考 書 等

講義形式をとる。パソコン、ビデオ、書画カメラを用い、映像、写真、絵図、史料を提示しつつ講義を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ(1) 〔民族とは何か〕	おのの ゆうじ 大野 祐二	短国・短英選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著 『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）
吉野耕作者 『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）
李孝徳著 『表象空間の近代』（新曜社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ(2) 〔イスラム〕	前期：あおやき 柳 かおる 後期：よしだ きょうこ 吉田 京子	短国・短英選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関して、日本人の知識は非常に低く、その結果誤った解釈や理解による偏見が生まれる可能性が大きい。国際社会への一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。イスラームを語る場合、あらゆる側面では、もっとも基本的な「イスラーム」という語を持つすべての領域における共通理念とも言える、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本に焦点をあてた授業を行う予定である。従って国際関係論的、政治学的、社会学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期において異なる教官による授業となるが、内容、問題意識等は一貫したものとす。前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である。クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的分派、スーフイズム等々の点から概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、基礎的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的、アプローチの前提となるような内容であるため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率と、前期の提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし。

参考書等

授業中紹介。

その他

数回のビデオ上映を予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ(3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	短国・短英選	4

講義のねらい

改正雇用機会均等法が施行されて3年たちましたが、依然新卒男女学生の就職率は格差があります。なぜこうした格差が生まれるのだろうか？世間の男と女の座標軸はいったいどのようにつくられているのだろうか？こうした疑問を私たちがくらししている、さまざまな場面をとりあげて、経済学や社会学、歴史学の成果を土台にして考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の講義を4期にわけます。

- a ジェンダーってなんだ？
フェミニズムの歴史とフェミニズムの歴史のなかから生まれたジェンダーという考え方について。
- b 自分らしく働いて自分を高く売るってどういうこと？
雇用のなかの男女の分離、男性の会社人生、女性の会社人生？改正雇用機会均等法
男も女も自分らしく働く
- c 家族ってなんだ？
家族の人間関係と機能、近代家族と現代家族、家族のなかのいろいろな問題
どんな家族を創りたい？シングルを選択。
- d セクシュアリティってなに？
オスの性と男の性、性における男性支配、セクシュアリティの歴史、援助交際は自分の
考えで性をうるからいいの？人間らしい性関係ってなに？

成績評価の方法

論述試験。再試験は実施しない。

教科書

教科書は指定しない。講義にあわせて資料を配布する。また参考書を随時紹介するので、そのうち1冊は読むこと。映画やビデオの上映もする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合Ⅶ(1) 〔トラブルと法的解決〕	北野かほる・小木曾綾 王 志安・金子昇平 佐藤多美夫・西 修	短国・短英選	4

講義のねらい

人間の日常生活は、常に順調であるとは限らない。社会生活にはトラブルがつきまとう。トラブルには様々な形で解決を試みることが考えられるが、法的な解決は最も効力のある解決方法である。しかしその類型は一樣でなく、社会生活の様々な側面において様々なトラブルの類型とその法的解決方法がある。

法的トラブルにはどのようなパターンが考えられるか。法的トラブルに遭遇したらどのように解決すればよいのか。あるいは法的トラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのか。これらの点についてマクロ及びミクロの観点から分析し、法治国家の市民として知っておくべき法的知識やトラブル解決の糸口について考えていきたい。

昨年度までは民事法的領域について考察したが、今年度は、公法と呼ばれる領域に焦点を当て、我々の社会生活の各側面から考えられる法的なトラブルとその解決方法について考える。

講義は6名の教員が交替で行う。講義の具体的内容については担当教員がそれぞれの開講の際に開示する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 「トラブルと法概論」北野かほる
- (2) 「憲法裁判からみたトラブルと法的解決」西修
- (3) 「行政事件を巡るトラブルと法的解決」金子昇平
- (4) 「現代型犯罪と法的解決」佐藤多美夫
- (5) 「犯罪と刑罰（犯罪の実情と捜査・刑事裁判の諸原則、被害者支援など）」小木曾綾
- (6) 「国家間紛争と国際裁判の役割」王志安

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席するほか、試験は必ず受けること。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際して必要の都度開示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合Ⅶ(2) 〔都市論〕	早川 純貴・品田 知美 中野 裕二・保坂 尚郎	短国・短英選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。しかしそれは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返す都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義は4名の講師により、各々6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。

早川純貴『都市論』のガイダンス(1回/4月)

品田知美「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月)——都市には、多くの人々が集う場として独特の社会的現実が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を主に2つの視点からたどっていく。①環境：都市の構造は、エネルギーや資源の消費と関係が深い。②家族：都市は次々と新しい家族生活のかたちを生み出してきた。変貌しつづける都市家族にみられる光と影。これら2つの視点を生活様式というキーワードで結びつけながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」(6回/6・7月)——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の設備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。

早川純貴「『まちづくり』と住民参加」(6回/9月・10月)——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

中野裕二「移民問題とフランスの苦悩」(6回/11・12月)——移民や外国人労働者の問題は先進諸国で等しく見られるが、その問題の起こり方は国によって様々だろう。講義ではフランスの移民問題を概観した後、住宅や教育そして地域生活への参加に焦点を当て、フランスに特徴的な点を浮き彫りにする。さらにはこれらの点を中心に日本との比較をしてみたい。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

3 外 国 語 科 目

3. 外国語科目

[英語]

英語 I (短国)	〈町田尚子〉	77
英語 I (短国)	〈吉沢栄治郎〉	77
英語 I (短国)	〈高見陽子〉	78
英語 I (短英)	〈吉沢栄治郎〉	78
英語 I (短英)	〈塚本利男〉	78
英語 I (短英)	〈塚本利男〉	79
英語 (短放)	〈高見陽子〉	79
英語 (短放)	〈町田尚子〉	79

[ドイツ語]

ドイツ語 I (短国)	〈飯塚公夫〉	80
ドイツ語 I (短英)	〈飯塚公夫〉	80
ドイツ語 I (短国)	〈井村行子〉	80
ドイツ語 I (短英)	〈井村行子〉	81
ドイツ語 (短放)	〈飯塚公夫〉	81
ドイツ語 (短放)	〈井村行子〉	81

[フランス語]

フランス語 I (短国)	〈前田祝一〉	82
フランス語 I (短英)	〈前田祝一〉	82

[中国語]

中国語 I (短国)	〈岩崎皇〉	83
中国語 I (短英)	〈岩崎皇〉	83

[スペイン語]

スペイン語 I (短国)	〈佐藤紘子〉	84
スペイン語 I (短英)	〈佐藤紘子〉	84

〔再履修クラス〕

英語 I 〔再クラス〕 (短英) 〈西原克政〉	85
英語 I 〔再クラス〕 (短放) 〈武藤久緒〉	85
ドイツ語 I 〔再クラス〕 (短英) 〈五十嵐信子〉	86
ドイツ語 〔再クラス〕 (短放) 〈藪下紘一〉	86
フランス語 I 〔再クラス〕 (短英) 〈長谷川光明〉	86
中国語 I 〔再クラス〕 (短英) 〈蘭明〉	87
スペイン語 I 〔再クラス〕 (短英) 〈佐藤麻里乃〉	87

〔選択科目〕

英文講読 (短国・短英) 〈林明人〉	87
英文講読 (短国・短英) 〈前田脩〉	87
英文講読 (短国・短英) 〈牧野輝良〉	88
時事英語研究 (短国・短英) 〈竹村恵都子〉	88
時事英語研究 (短国・短英) 〈林明人〉	88
時事英語研究 (短国・短英) 〈川手浩一〉	89
マルチ・メディア (短国・短英) 〈落合和昭〉	89
マルチ・メディア (短国・短英) 〈大庭直樹〉	90
マルチ・メディア (短国・短英) 〈町田尚子〉	91
英会話 II (短国・短英) 〈プラスキー, J.C.〉	92
英会話 II (短国・短英) 〈ジトウィッツ, P.D.〉	92
英会話 II (短国・短英) —夏季集中— 〈ピアス, D.M.〉	93
英会話 III (短国・短英) 〈ウェルズ, J.K.〉	94
英会話 III (短国・短英) 〈ハバード, W.D.〉	94
英会話 III (短国・短英) —夏季集中— 〈レーン, C.M.〉	95
英語 L L II (短国・短英) 〈太田雅子〉	96
英語 L L II (短国・短英) 〈西村祐子〉	96
英語 L L II (短国・短英) 〈町田尚子〉	97
英語 L L III (短国・短英) 〈井伊順彦〉	98
英語 L L III (短国・短英) 〈久保ひさ子〉	98
英語 L L III (短国・短英) 〈西村祐子〉	99
英語 II (短国) 〈伊藤幸一〉	99
英語 II (短英) 〈熊崎久子〉	100
ドイツ語 I A (選) (短国・短英) 〈栗原万修〉	100
ドイツ語 I B (選) (短国・短英) 〈織田繁美〉	100
ドイツ語 II (選) (短国・短英) 〈百済勇〉	101
フランス語 I A (選) (短国・短英) 〈井田清子〉	101
フランス語 I B (選) (短国・短英) 〈桑田禮彰〉	101
フランス語 II (選) (短国・短英) 〈小玉齊夫〉	102
中国語 I A (選) (短国・短英) 〈釜屋修〉	102
中国語 I B (選) (短国・短英) 〈佐藤普美子〉	102
中国語 II (選) (短国・短英) 〈岩崎皇〉	103
スペイン語 I A (選) (短国・短英) 〈ナバローポロ, L.S.〉	103
スペイン語 I B (選) (短国・短英) 〈瓜谷アウロラ〉	104
スペイン語 II (選) (短国・短英) 〈荻野雅司〉	104
ロシア語 I A (選) (短国) 〈クロチコフ, Y.〉	105
ロシア語 I B (選) (短国) 〈木村英明〉	105

[英 語]

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I	ま ち だ な お こ 町 田 尚 子	短 国 1 選	2

講義のねらい

『錬金術師』で世界的に知られるブラジルの作家、Paulo Coelho(パウロ・コエーリョ)の小説を英訳で読みます。国文には小説を始め、創作が好きで、想像力に富み、洞察力の鋭い学生さんが多いので、コエーリョの詩的描写とストーリー展開を楽しめればと願っています。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は1994年の作品 "By the River Piedra, I Sat Down & Wept" を読みます。思春期の愛が11年後の再会でどのように展開するのでしょうか。
後期は受講するみなさんの意向を聞き作品を選ぶ予定です。

履修上の留意点

授業は演習形式です。予習と問題意識をもって臨んでください。

成績評価の方法

授業での担当発表を平常点として重視します。前期末（夏休み明け）提出の課題レポートと後期末（定期）試験結果と同等に扱って、成績評価点を出します。

教 科 書

Paulo Coelho, 『By the River Piedra, I Sat Down & Wept』 Harper Perennial 出版(1998年) ISBN 0-06-097726-4 (ペーパーバック) 第2研究館 (地階) 紀伊国屋書店で販売(予定)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I	よ し ざ わ え い じ ろ う 吉 沢 栄 治 郎	短 国 1 選	2

講義のねらい

和文を順次、英訳していきます。ごく日常的な日本語を数多く英訳していくことがポイントです。

履修上の留意点

和英辞典を持参のこと。

成績評価の方法

2回ないし3回のテストを行ないます。(出席に留意のこと)

教 科 書

教場で指示します。

参 考 書 等

『新和英中辞典』(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I	高見陽子 <small>たかみ ようこ</small>	短国 I 選	2

- 講義のねらい

これまでに身につけた英語能力を基礎として、英文を読む力を総合的に伸ばすことを目標とします。
- 講義の内容・授業スケジュール

音読やリスニングを通して英語のもつリズムに慣れ、なるべく速く読みながら内容を的確につかむことを目指して授業を進めます。
- 成績評価の方法

前・後期試験をベースに、授業での積極性や小テスト等の課題を平常点として加え、総合的に評価します。なお、全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。
- 教科書

田吹昌俊、Robert Long 著『*Critical Insight on Contemporary Issues* (『健康と環境問題を考える』) (成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I	吉沢栄治郎 <small>よしざわ えいじろう</small>	短英 I 年 短英 I 選	2

- 講義のねらい

エッセイを読んでいます。いろいろな角度から、ものを見る態度を養いたい。読み乍ら、自分ならば、このようにとらえる……。読後、感想を数行でまとめてみるとよい。
- 履修上の留意点

英和辞典を持参のこと。
- 成績評価の方法

2回ないし3回のテストを行ないます。(出席に留意のこと)
- 教科書

使用しない。
- 参考書等

『対訳ミルン』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I	塚本利男 <small>つかもと としお</small>	短英 I 年 短英 I 選	2

- 講義のねらい

絶えず構文の理解・文法・語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読むことを目標にします。
- 講義の内容・授業スケジュール

私達が、現代の地球上で生きていく時に会おうトピック、例えば、インターネットに流れたニセ情報、DNA鑑定、女性の生き方などについて書かれた撰集を読みます。
- 履修上の留意点

授業は演習形式なので必ず予習をして下さい。
- 成績評価の方法

授業における発表、小テスト、前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表、小テストが50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に平常授業を重視しますので、全授業数3分の2以上は、必ず出席して下さい。
- 教科書

『スナップショット-現代を読む-』(朝日出版) 1,800円+税
- その他

金曜日 3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	つかもと としお 塚本利男	短英 1 年 短英 1 選	2

講義のねらい

絶えず構文の理解・文法・語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読むことを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

今現在進行中の最新のトピック、例えば、健康問題、ゴミ問題、自然環境破壊問題などについて平易な分かり易い表現で書かれている英文を読みます。

履修上の留意点

授業は演習形式なので必ず予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表、小テスト、前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表、小テストが50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に平常授業を重視しますので、全授業数3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『健康と環境問題を考える』（成美堂）1,700円＋税

その他

金曜日 4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語	たかみ ようこ 高見陽子	短放 1 必	2

講義のねらい

これまでに身につけた英語能力を基礎として、英文を読む力を総合的に伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

音読やリスニングを通して英語のもつリズムに慣れ、なるべく速く読みながら内容を的確につかむことを目指して授業を進めます。

成績評価の方法

前・後期試験をベースに、授業での積極性や小テスト等の課題を平常点として加え、総合的に評価します。なお、全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。

教科書

田吹昌俊、Robert Long 著『Critical Insight on Contemporary Issues (『健康と環境問題を考える』) (成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語	まちだ なおこ 町田尚子	短放 1 必	2

講義のねらい

現代科学の興味深い情報を英語で理解する力を培います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は下記テキストに沿って、章ごとに基本用語と内容理解の課題テストをします。後期は科学の謎や諸問題に関する電子記事などを读みます。

履修上の留意点

授業は演習形式なので担当して発表する積極的な参加姿勢を高く評価します。プリント教材は前もって授業時に渡します。予習と問題意識が授業に臨む前提です。

成績評価の方法

平常授業での発表と課題小テストを重視し、前期(中間)・後期(定期)試験結果と同等の扱いで評価点を出します。

教科書

吉田信介 他(編著)『On-line VOA English: Science』(松柏社) 1,500円
プリント

[ドイツ語]

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語Ⅰ	い い づ か き み お 飯 塚 公 夫	短 国 Ⅰ 選	2

講義のねらい ドイツ語及びドイツ文化に親しみをもつこと。

講義の内容・授業スケジュール 文法を一通りやります。

履修上の留意点 はっきりとしゃべること。

成績評価の方法 前後期の試験及び平常点。

教科書 西村祐子他著『行ってらっしゃい!』(朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語Ⅰ	い い づ か き み お 飯 塚 公 夫	短 英 Ⅰ 年 短 英 Ⅰ 選	2

講義のねらい ドイツ語及びドイツ文化に親しみをもつこと。

講義の内容・授業スケジュール 文法を一通りやります。

履修上の留意点 はっきりとしゃべること。

成績評価の方法 前後期の試験及び平常点。

教科書 西村祐子他著『行ってらっしゃい!』(朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語Ⅰ	い む ら ゆ き こ 井 村 行 子	短 国 Ⅰ 選	2

講義のねらい ドイツ語の基礎を身につけることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール 簡単なテキストを読みながら、文法事項の説明や練習を行います。できるだけ口頭演習の機会を多くしたいと思います。

成績評価の方法 前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書 未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅰ	井村行子	短英Ⅰ年選 短英Ⅰ	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎を身につけることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

簡単なテキストを読みながら、文法事項の説明や練習を行います。できるだけ口頭演習の機会を多くしたいと思います。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語	飯塚公夫	短放Ⅰ必	2

講義のねらい

ドイツ語及びドイツ文化に親しみをもつこと。

講義の内容・授業スケジュール

文法を一通りやります。

履修上の留意点

はっきりしゃべること。

成績評価の方法

前後期の試験及び平常点。

教科書

森田博他著『あなた仕立てのドイツ語』（朝日出版社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語	井村行子	短放Ⅰ必	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎を習得することを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

簡単なテキストを読みながら、文法事項の説明や練習を行います。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

未定

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅰ	まえだのりかず 前 田 祝 一	短 国 1 選	2

外国語

講義のねらい

初めてフランス語を学習する人を対象にする。

講義の内容・授業スケジュール

音としてのフランス語（発音・綴字の読み方）を習得してもらうのと同時に、フランス語という言語の中身を自分のものとしてもらいます。

履修上の留意点

毎日が新しいことの連続なので、すでに学んだことが理解できていることを前提に、次の授業を行ないますので、決して欠席しないこと。

成績評価の方法

前・後期末のペーパー・テストで成績評価しますが、授業中の課題・出席状況も考慮します。

教科書

林田編『フランス語を2ページで』 21世紀版 （朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅰ	まえだのりかず 前 田 祝 一	短 英 1 年 短 英 1 選	2

講義のねらい

初めてフランス語を学習する人を対象にする。

講義の内容・授業スケジュール

音としてのフランス語（発音・綴字の読み方）を習得してもらうのと同時に、フランス語という言語の中身を自分のものとしてもらいます。

履修上の留意点

毎日が新しいことの連続なので、すでに学んだことが理解できていることを前提に、次の授業を行ないますので、決して欠席しないこと。

成績評価の方法

前・後期末のペーパー・テストで成績評価しますが、授業中の課題・出席状況も考慮します。

教科書

林田編『フランス語を2ページで』 21世紀版 （朝日出版社）2,000円

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語Ⅰ	いわさき ひろし 岩 崎 皇	短 国 Ⅰ 選	2

講義のねらい

漢字で表記される中国語は日本人にとって学びやすい言語です。しかし、書かれたものの意味を読み取ることは容易であっても、聞き取り、発音などは一步一步着実に練習していかなければ、出来るようにはなりません。この授業では、声を出して読む、音を聞いて覚えるという基本的練習を通して、簡単な会話が出来るようになることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

授業での練習が大切なので、出席を重視します。欠席が既定の回数を超えた場合は成績評価をしません。また、音声の習得は人により早い遅いの差がありますから、自分の状況を見て各自で補う必要があります。

成績評価の方法

教室での学習状況および試験結果で判断します。

教科書

董燕、遠藤光暁『話す中国語-基礎編』（朝日出版社）2,500円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語Ⅰ	いわさき ひろし 岩 崎 皇	短 英 Ⅰ 年 短 英 Ⅰ 選	2

講義のねらい

漢字で表記される中国語は日本人にとって学びやすい言語です。しかし、書かれたものの意味を読み取ることは容易であっても、聞き取り、発音などは一步一步着実に練習していかなければ、出来るようにはなりません。この授業では、声を出して読む、音を聞いて覚えるという基本的練習を通して、簡単な会話が出来るようになることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

授業での練習が大切なので、出席を重視します。欠席が一定の回数を超えた場合は成績評価をしません。また、音声の習得は人により早い遅いの差がありますから、自分の状況を見て各自で補う必要があります。

成績評価の方法

教室での学習状況および試験結果で判断します。

教科書

董燕、遠藤光暁『話す中国語-基礎編』（朝日出版社）2,500円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅰ	さとうひろこ 佐藤 紘子	短国Ⅰ選	2

外国語

講義のねらい

必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

佐々木克美著『スペイン語との出会い』（芸林書房）

参考書等

最初の授業で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅰ	さとうひろこ 佐藤 紘子	短英Ⅰ年 短英Ⅰ選	2

講義のねらい

必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

佐々木克美著『スペイン語との出会い』（芸林書房）

参考書等

最初の授業で指示する。

[再履修クラス]

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅰ〔再クラス〕	<small>にしほら かつまさ</small> 西原 克政	短英 2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられているBasic English (850語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方)を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているなので、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただきたいと思います。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

教科書

『英語表現トレーニング』（北星堂書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語〔再クラス〕	<small>むとう ひさお</small> 武藤 久緒	短放 2年	2

講義のねらい

これまでに習得した英語知識を確実なものにしなが。語い、語法の面で難のない理解しやすい文章を読み英文に親しみ読解力を養うことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

日常ひんぱんに使われている語、例えば、Smog, Kangaroo, Nicknameなど114の単語の由来、それぞれの持つ特有の歴史を読み、言語と文化に対する関心を高めたいと思う。

前期：1ページから44ページ

Piano から Tennis までの57の単語の由来について

後期：45ページから87ページ

Utopia から Postman に至る57の単語の由来について

履修上の留意点

授業は訳読形式で行い、受講者全員に本文を読み訳してもらいます。随時、文法を含む必要事項の説明をします。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテストの成績；授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

Arkady Leokum and others : Where Words Were Born (朝日出版)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語Ⅰ〔再クラス〕	いがらしのぶこ 五十嵐 信子	短英2年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な文法を理解し、これを身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができますようになります。そのことにより、ドイツ語圏のさまざまな文化現象への関心、理解がふかまり、一そう広い視野を獲得することができます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語の正しい発音を身につけます。
- 2) ドイツ文法の基本を理解し、文法の各項目の例文、練習問題を読み解くことでしっかり覚えこみます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

学生諸君にのぞむこと
新しい言葉を学ぶことは本来楽しいことです。しかし言語は、どの部分も欠くことのできない一つの建造物に似ています。柱一本抜けても傾いてしまう、それゆえこの時間は休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加えて評価します。

教科書

在間進・納谷昌宏・清野智明著『明るく楽しくドイツ語を！』（改訂版）（三修社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語〔再クラス〕	やぶしたこういち 藪 下 紘 一	短放2年	2

講義のねらい

初級ドイツ語の復習をしましょう。今年で絶対単位をとるぞ、と肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来てください。

成績評価の方法

成績は教室で、皆さんに発表してもらおう平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

佐藤洋子他 『シュリット・フエア・シュリット』（白水社）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅰ〔再クラス〕	はせがわみつあき 長谷川 光 明	短英2年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・授業スケジュール

もう一度ゼロから、しっかり確認していきましょう。あまり無理をしないで、基礎力を確実に身につけることをめざします。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業における評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

山村嘉己他『ジェットンブラス』（朝日出版社）2,000円

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅰ〔再クラス〕	らん 蘭 めい 明	短英2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の1ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光曉『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅰ〔再クラス〕	さと う まり の 佐 藤 麻里乃	短英2年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で注意事項を述べるので必ず出席のこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題の出来具合などにより評価する。

教科書

寺崎英樹著『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参考書等

『西和中辞典』（小学館）、『現代スペイン語辞典』（白水社）、
『新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）など。

〔選択科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	はやし 林 あきと 明 人	短国・短英1・2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにになれば幸いです。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、レポート、小テスト、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを uses。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まえだ 前 田 おさむ 脩	短国・短英1・2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

イギリス風景庭園を主題としますが、まずはじめに、イギリス及びヨーロッパの庭園の概略を知ってもらうため、簡単な庭園史のテキストを使います。その後、イギリス庭園と対比されるフランス庭園の概念を知るためのテキストのコピーを使用します。最後にイギリス風景庭園の成立の原因をさぐるために適すると思われる本を読みます。庭園の概念についての説明はしますが、授業はあくまでも講読です。

成績評価の方法

授業中の発表等日常評価を重視します。後期テストも評価に入れます。

教科書

- 1) 『イギリス庭園物語』（南雲堂）1,200円
- 2) コピーを使用

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英文講読	まきの てるよし 牧野輝良	短国・短英1・2選	4

講義のねらい

内容のある英文を読み、正しく内容を理解すること。

講義の内容・
授業スケジュール

高い教養の持主である筆者の歴史や文化の見方を学ぶ。特に結果から原因をたどる手法を学ぶ。

履修上の留意点

受講する学生はよく自習しておき、指名されたら解答出来るように心掛けること。

成績評価の方法

時間中の成績と期末テストの成績を総合して評価する。

教科書

ピーター・ミルワード『西欧文明をどう理解するか』（南雲堂）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	たけむら えつこ 竹村恵都子	短国・短英1・2選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

テキストは最初の授業時に発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	はやし あきと 林 明 人	短国・短英1・2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

CNN, Herald Tribune紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、小テスト、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

『Sanseido's Dictionary of News English』（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	かわてひろかず 川手浩一	短国・短英1・2選	4

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることである。しかしながら今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとられては日常生活すらできなくなっている。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは主として読解力に主眼をおいて、重要な単語、イディオム、構文などを英文の中にちりばめて、多様性に富んだ英文が学習でき生活英語としても活用できる。

成績評価の方法

成績評価は出席とテスト、レポートなど総合評価です。

教科書

教科書はShino Sano『*Health and Business* [健康とビジネス]』 Nan'Undo 1900

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おちあいかずあき 落合和昭	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一の目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講を希望する学生は、最初の授業の時に、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないL1教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%（ヒヤリングが20%、会話英作文が20%）、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業に、全員が最低一回は当てるようにする）。出席率が三分の二を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『5分間口語英語表現(1)』(南雲堂) 900円
- 2) 『ルル・オン・ザ・ブリッジ』(松柏社) 1,900円
- 3) Phrasal Verbs (洋書) (オックスフォード大学出版局) 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	お お ば な お き 大 庭 直 樹	短国・短英1・2選	2

外国語

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスの第一の課題は、Office 2000 を使いこなすことである。Office 2000 は Word (ワープロ)、Excel (表計算)、PowerPoint (プレゼンテーション)、Schedule+ (スケジュール管理) を中心としたアプリケーションである。Word と電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。更に、Excel での表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット (マルチメディア) の世界を探索することである。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。

第四の課題は、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が「ホームページ・ビルダー2001」を使って、自分のホームページを作成する。出来上がったホームページは、インターネット上に流すことになる。

後期からは、受講生一人一人にプレゼンテーションをしてもらう。発表内容は、コンピュータ、インターネットについてならば何でもよろしい。発表は、コンピュータ・インターネットについての知識、情報の交換を目的とする。受講生は、前期から発表のプロジェクトを決めて、入念に発表の準備をしてほしい。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたするはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室 (朝9時より夜9時まで開館) で補修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	ま ち だ な お こ 町 田 尚 子	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

インターネット上のマスメディアの英語理解の上達を考えている人たちのためのコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4-204教場のPCで、英語新聞のウェブサイト上のオンライン記事・論説・特集等を選んで速読し、Wordで要約、さらに自分の見解をまとめ、電子メール・添付ファイルで提出し、添削指導を受けます。担当者とのメールは英文で行い、英文メール作成をマスターします。
受講者のPC習熟度にあわせて、個別指導から始める予定です。

履修上の留意点

クラス人数は30名以下に限定し、メールアドレスを取得していることが前提となります。授業時間内に終了しないときは、自習室あるいは自宅で完成させて送信します。

成績評価の方法

毎授業の要約と作成メールの成績で評価します。

教 科 書

教場で指示します。

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

外国語

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア480点、TOEICのスコア700点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅱ	プラスキー, J.C.	短国・短英2選	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to express themselves in a range of situations beyond the most basic level.

講義の内容・授業スケジュール

Grammar will be presented in a communicative context. Getting the main idea, guessing vocabulary from context and drawing inferences will be practiced through speaking activities primarily with other students. Pronunciation, intonation and listening practice will be incorporated through dictation exercises and tapes/CDs.

履修上の留意点

Conversations will be practiced with other students through pair discussions and dialogues.

成績評価の方法

Assessment will be a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%).

教 科 書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅱ	ジトウィッツ, P. D.	短国・短英2選	2

講義のねらい

English 2 is designed to give students additional practice in basic conversational forms and to extend their range to more advanced conversational and social situations. Students will be expected to positively participate in class and prepare group presentations along with role-playing, debating, an oral interpretation. Students will also see short passages from films and be responsible for practicing short dialogs that have been taken from these films.

履修上の留意点

Students are expected to come to class weekly and four absences in one semester will result in failure.

教 科 書

Textbook.- "Hit Parade Listening"-Macmillan Language House, 1998, Nobuhiro Kumai, Stephen Timson and a wide variety of instructor's handouts instructors.

They will also have the opportunity to gain access to the instructor's English language practice web site.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅱ (夏季集中)	ピアス, D. M.	短国・短英2選	2

講義のねらい

Elementary and Intermediate students would do well to master an ordinary conversational ability in this class. Students will spend most of the class time talking to each other in pairs or groups; it would be good to take this class together with a friend. Students will sit together with companions who have a similar degree of English ability, since English conversation is learned most quickly by practicing with people who have equal ability.

Part of the class time will be devoted to TOEFL grammar and listening comprehension problems so that students may get high scores in TOEFL and TOEIC tests. English composition will also be taught with a view to giving students an intuitive sense of how a good English sentence should sound. Learning composition will not consist of studying grammar or translating sentences. Advanced practice in listening comprehension will be conducted through short lectures on the different ways that Americans and Japanese think about work, money, marriage, politics, friendship, etc. The entire course is carefully organized and programmed in our textbook, which will be explained at the commencement of classes.

そ の 他

授業日程
英会話Ⅱ

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○			8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○	○	○			8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○	○	○			8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○	○	○			8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○	○	○			8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○	○	○			8月27日	火							

英 会 話 Ⅲ

外国語

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを習得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ	ウエルズ, J. K.	短国・短英2選	2

講義のねらい

WELCOME TO MY CLASS! MY CLASS IS FOR STUDENTS WHO CAN SPEAK ENGLISH SOMEWHAT FLUENTLY. YOU WILL ONLY BE ACCEPTED IF YOU CAN UNDERSTAND. YOU WILL LEARN TO SPEAK OPENLY AND QUIZZEZ, REPORTS, AND HOMEWORK WILL BE GIVEN.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ	ハバード, W. D.	短国・短英2選	2

講義のねらい

The goal of this course is to develop the skills of Research, Analysis, and Reasoning that build fluency in communication.

講義の内容・授業スケジュール

For successful communication Japanese students need a high English ability and the ability to convey their opinions logically and clearly. Debating issues help Japanese students develop these skills. This course develops the skills of Research, Analysis, and Reasoning through current and sensitive topics related to youth culture and ethics and morals that are discussed and debated in countries around the world. Students will also have the opportunity to practice public speaking and discuss issues related to their own fields.

履修上の留意点

Requirements: Students who take this course are strongly advise to have taken level 2.

成績評価の方法

Grading: Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

教 科 書

Textbook: Debating the Issues by Stephen Hesse, Macmillan Language House, Tokyo.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英会話Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	短国・短英2選	2

講義のねらい

There are two important aims of this course. First, and most important, is to help students develop their English conversation skills and to learn to express their opinions spontaneously on a number of topics with confidence. However, as the majority of misunderstandings between different nationalities stem, not only from language difficulties, but also from cultural ones, the second aim is to promote knowledge and awareness of other countries.

講義の内容・
授業スケジュール

This is a highly intensive class concentrated within six days. During that period a number of different themes will be covered. These will range from simple personal issues, current trends and cultural issues to deeper more involved international problems. Included within the course will be research projects where in the students will be expected to collect information and present it to the class. Individual presentations will also be required.

履修上の留意点

This course offers students an opportunity to express their ideas on a variety of everyday matters. However, as this course is based on fluency and discussion, it is not recommended for students who want to concentrate on grammar skills, or for students who are unwilling to participate fully in pair work, roleplays or group activities.

成績評価の方法

Evaluation
 25% attendance
 25% presentations
 50% participation and contribution to discussions.

参 考 書 等

Dictionary

そ の 他

Method of Teaching.

Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程
英会話Ⅲ

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○			8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○	○	○			8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○	○	○			8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○	○	○			8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○	○	○			8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○	○	○			8月27日	火							

英語 LL II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL のスコアー480点、TOEIC のスコアー700点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 LL II	お お た ま さ こ 太 田 雅 子	短国・短英2選	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教科書

プリント教材
テキストは未定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 LL II	に し む ら ゆ う こ 西 村 祐 子	短国・短英2選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベル I を終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベル II ではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700程度。難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロヴァイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことががぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ (90分程度) をもってくる。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教科書

『Headway (pre-intermediate)』 Oxford Univ. Press.

参考書等

使用ビデオ：Headway (elementary), および (pre-intermediate), その他。(いずれも本学 LL 事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語LLⅡ	町田尚子	短国・短英2選	2

講義のねらい

初級程度のLL授業履修済み、または未履修の場合、英検2級程度の英語力のある学生を対象に、TOEIC、TOEFLのテストに備えた聴解力と表現力の上達を目指すコースです。

講義の内容・授業スケジュール

4, 5月：ビデオテープを用い、TOEICの基本的な練習問題による復習。
 6月と7月第1週：TOEIC スコア700程度を目指した聞き取り練習（添削指導）。
 7月第2・3週：TOEICリスニング模擬テスト。
 9, 10月：TOEFLのテスト用練習問題の添削指導。
 11, 12月：パラフレイズ、含意、文脈による英文理解と表現力の向上。
 1月9日（最終授業日）：テスト

履修上の留意点

Emailで連絡・添削等をするので、自習室(KOMAnet)あるいは自宅のメールアドレスがあること。

成績評価の方法

毎授業のテストと最終テストで評価点を出します。

教科書

LL事務室備付けの教材『Basic Skills and Strategies』『English Master Box (1)(2)』『Cambridge Preparations for the TOEFL Test』等を使用します。

参考書等

教場で指示します。

英 語 L L Ⅲ

〈英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL Ⅱを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検 1 級、TOEFL のスコア－500点以上、TOEIC のスコア－900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL Ⅲ	井 伊 順 彦	短国・短英2選	2

講義のねらい

リスニング、ボキャブラリー、発音のいずれの面でも一定水準以上にある学生を対象とし、会話などを浴びるように聞いて耳をさらにきたえるとともに、スピーキング力を開発するべくバラエティに富んだ練習をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

プロの通訳も取り入れているシャドーイングを重視する。また、ビデオや別のテープを用いての発展的なリスニング練習も、授業の後半におこなうことになる。

履修上の留意点

毎回一度はほぼ確実に指名したい。その答えの出来を平常点として採点する。録音用テープを各自が用意してほしい。

成績評価の方法

数回の小テスト、平常活動、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

教 科 書

『Listening, Shadowing, and Speaking』(『リスニング・シャドーイング・スピーキング』)
(英潮社) 1,700円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL Ⅲ	久 保 ひ さ 子	短国・短英2選	2

講義のねらい

海外旅行の場面別に、一回で通じる短い会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

旅行会話の短文を、ラボを使用して、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。さらに、応用できるように暗記する。小テストあり。

履修上の留意点

LL授業は、ラボによる実習授業のため欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

小テスト合計点と授業実習点

教 科 書

マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 L L III	にしむら ゆうこ 西村 祐子	短国・短英2選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかっただけで「話すこと」からはじめたLL1のレベルに対して、レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。レベルⅢは一層高度な、それを利用して会話の表現力を増していくことをめざしている。授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。ほとんど毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、それにもとづいた教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルⅡを終了し、英検一級程度（TOEIC900程度）をめざす学生用なので、このレベルにみえない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は課題提出用に全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくることをすすめる。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語での短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

使用カセットテープ：『Open University Program シリーズ』（LL事務室備え付け）。
使用ビデオ：『Mapping the Landscape』（ジェムコ出版、LL事務室備え付け）その他オープンユニヴァーシティシリーズを適宜使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 II	いとう こういち 伊藤 幸一	短国 2 選	2

講義のねらい

ヨーロッパの文学、映画等、あらゆる芸術で、中世以来、賛美されてきた「宮廷風恋愛」を理解しやすい第3章から。大凡が進学希望の受講生の興味もそそり、有意義であろう。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。また、復習の為に3回（5月下旬、夏休み、大学祭後）宿題レポートを課し、最終授業時には、まとめのテストの予定。

成績評価の方法

成績は以上の予習、復習、まとめの成果による。詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

『The Art of Courtly Love』（南雲堂フェニックス）

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 II	くまざき ひさこ 熊 崎 久 子	短 英 2 選	2

講義のねらい

戦後文学中アメリカ人に最も大きな影響を与えたとされる J. D. サリンジャーの「ライ麦畑でつかまえて」(The Catcher in the Rye) を読みます。主人公である16才の落ちこぼれの高校生 Holden Caulfieldを通して、この年代のもつ微妙な心理、繊細で純粋な考えなどが描かれており、また50年代のニュー・ヨークの高校生の口調を巧みに表した文体も貴重なものであり、内容、表現ともに一読しておきたい作品です。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 前半はこの作家の文章、文体等に慣れるため、丹念に語句、表現などを調べ、読みにも時間をかける。
- ② 後半は独特の表現を味わい、内容を楽しみながら読み進め、全編読了を目指したい。さらに内容、語句の解釈等についてクラス全体で意見の交換、討論等を行う予定です。

履修上の留意点

“Penguin Book”を使用しますので、通常テキストのような「注」がありません。従って、語句の下調べ、英語表現についての検討などが必要になります。クラス内での活発な発言、意見の交換をするためにも予習を十分にクラスに臨んでいただきたい。

成績評価の方法

- ① クラスの人数が多い場合は試験を行い、その成績と平常点を勘案して最終評価をします。
- ② クラスの人数が少ない場合には試験は行わず、平常点による評価とします。

教科書

『The Catcher in the Rye』(Penguin Fiction)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A (選)	くりはら かずのぶ 栗 原 万 修	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を最初からやります。できるだけいねいに、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的につづけないと習得できませんから、出席を重視します。欠席しないように。欠席をつづけると名簿から名前を抹消します。

成績評価の方法

成績評価はテストのほか、日常の出欠、学習意欲等も含め、すべてを総合して判断します。

教科書

大岩信太郎『快速ドイツ文法』(朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B (選)	お 織 だ し げ み 織 田 繁 美	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

ヨーロッパには実に沢山の言語があり、その一つ一つに歴史、文学、芸術など独自の文化を持つ。十六世紀のスペインの宮廷社会の人物を用い、十八世紀ほぼ同じ頃、一つはイタリアで、一つはドイツで別々の詩人が戯曲を書き、この二作品を土台にしてイタリアの作曲家がオペラという音楽戯曲を作曲した。事の成り行きでオリジナルはフランス語の歌詞が付き、その歌詞がイタリア語、ドイツ語等に翻訳され、しかもこれらの翻訳が同一の内容ではなく、元の内容からはみ出し、翻訳に工夫が凝らされている。このようにヨーロッパでは異なる言語でありながら、文化的には早くから一つの統一体であったかに見える。先ずその一つの砦としてのドイツ語を切り崩す一歩を踏み出す切掛けをこの授業で始めてみたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を用いるが、プリントを用い、日常生活で大切な言い回しを学び、テープレコーダーを用いて耳で聞き取る練習もする。

成績評価の方法

前期末、後期末の試験も勿論勘案するが、平常点に重きが置かれるので、出席が大切である。

教科書

荻野『ドイツってすてき!』(前編)(朝日出版社) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ（選）	<small>ももずみ いさむ</small> 百 濟 勇	短国・短英2選	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。

成績評価の方法

毎回、何等かの形でテストを行う。平常点で採点、期末試験は行わない。

教科書

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠA（選）	<small>い だ き よ こ</small> 井 田 清 子	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、パリの生活情景を主題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

パリを中心とした生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜まず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

教科書は、山崎庸一郎他『パリのどこかで』（第三書房）です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠB（選）	<small>く わ た の り あ き</small> 桑 田 禮 彰	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかり確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

滑川明彦、前川泰子著『ポケットにフランス語』（第三書房）

参考書等

そのつど授業で指示します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語Ⅱ（選）	こだま なり お 小 玉 齊 夫	短国・短英2選	2

講義のねらい

初級フランス語の応用・展開として、一年次での文的知識を復習しながら、文化的な要素の込められた文章を、さまざまに考えながら、読み進んでいくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

必ずしも、教科書の構成にこだわらずに、時には調査してもらうことがらも含めて、フランス・日本間の文化的な「つながり・へだたり」を理解していきたいと思ひます。

履修上の留意点

特別な場合を除き、かならず出席すること。

成績評価の方法

随時行われる小テスト、前期・後期の試験によって成績評価をします。

教科書

コルノリエ・野村『私の日仏異文化体験』（第三書房）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA（選）	かま や おさむ 釜 屋 修	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

週一回一年で中国語初歩の一通りの修得をめざす。正確な発音、ピンイン表記のマスター、基本文法の理解を中心に進めるが音読を重視し、「目」にたよらない「耳」で学ぶ姿勢をたいせつにする。

履修上の留意点

初級外国で週一回の授業ゆえ、欠席は許されない。ⅠB（選）その他とあわせて受講する人も同じ。自主的な学習を求める。

成績評価の方法

平常点、出席点、小テスト、前・後期の期末テスト等で総合的に評価する。

教科書

守屋宏則・柴森『フォーアップ初級中国語』（同学社）CD付き 2,500円

参考書等

辞書については開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠB（選）	さ と う ふ み こ 佐 藤 普美子	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

中国語入門段階で最低限の基礎知識を系統的にまとめたテキストを用い、豊富なドリルをも活用して発音の基礎をしっかりと学ぶ。

履修上の留意点

休まないでテキストをじっくり読みこむこと。異文化、外国語としての中国語の魅力を発見すること。

成績評価の方法

声の大きさ＋小テスト＋期末テスト＋出席状況により総合的に評価。

教科書

野澤俊敬監修『中国語レッスンA・B・C』（白帝社）2,500円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語Ⅱ（選）	いわさき 岩 崎 ひろし 皇	短国・短英2選	2

講義のねらい

新たな知識を獲得するというよりも、中国語の音声になれるということを目指します。具体的には、テキストのスキットを全て憶えて言えるように練習します。

履修上の留意点

授業での練習が大切なので、出席を重視します。欠席が既定の回数を超えた場合は成績評価をしません。また、音声の習得は人により早い遅いの差がありますから、自分の状況を見て各自で補う必要があります。

成績評価の方法

教室での学習状況および試験結果で判断します。

教科書

董燕、遠藤光暁『話す中国語-北京編1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA（選）	ナバローポロ, L. S.	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIENとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR動詞・ER動詞・IR動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞1・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞2・IR A+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験－7月と1月－

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

- 『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）
『新スペイン語辞典』（研究社）

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB (選)	^{うりたに} 瓜谷アウロラ	短国・短英Ⅰ・Ⅱ選	2

講義のねらい

スペイン語の初級文法をベースに会話表現を覚える。必要に応じてプリントによる練習も行う。

講義の内容・
授業スケジュール

挨拶、自己紹介、家族紹介、職業、交通手段、食料、色、店の名前、体の調子、スポーツ、時刻、日常生活、天候。

成績評価の方法

平常点及び期末筆記試験その他から総合的に判断する。この授業では出席も非常に重視する。欠席と遅刻は減点の対象となり、欠席が7回に達すると自動的に期末試験の受験資格が失われるので、注意すること。

教科書

『Vivir@Espana.es』(生活cスペイン、スペイン語) (芸林書房)

その他

読解だけではなく、口頭表現練習も重視するので、受講生の積極的な参加が期待されている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅱ (選)	^{おぎのまさじ} 荻野雅司	短国・短英Ⅱ選	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行うcommunicationの術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA (選)	クロチコフ, Y.	短国1・2選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

プリントを配布、教場にて指示します。
『セメスターのロシア語』(白水社) 1,300円
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,600円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠB (選)	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	短国1・2選	2

講義のねらい

ロシアは現在、政治的、経済的に混迷の淵をさまよいつつ続けている観がありますが、依然として国際社会において様々な分野で多大な影響力を有しています。隣国日本との関係も、文化交流や地域間協力など確実に広がりつつあり、ロシアの人々と直接にコミュニケーションできる機会、必要性は徐々に高まっています。この授業では、言葉を通してロシアの文化や人々の暮らしなども紹介していきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常表現に即しながら初歩のロシア語文法を学習することにします。音声面にも留意して、コミュニケーションに役立つロシア語の修得を計ります。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆者『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じ適宜プリントを配布します。

4 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

※短大の「スポーツ実技」は「健康・スポーツ実習」に科目名が変わりました。

健康・スポーツ実習 (卓球)	〈佐藤 政之〉	113
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈三幣 晴三〉	114
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村 正義〉	115
健康・スポーツ実習 (テニス)	〈田中 佳孝〉	116
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈田中 佳孝〉	117
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈竹田幸夫・田中佳孝・長濱友雄・宮沢栄作〉	118
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(簡化太極拳)	〈大石 武士〉	119
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (空手道)	〈高橋 俊介〉	120
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (サッカー)	〈秋田 浩一〉	121
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (卓球)	〈川村 正義・鈴木 淳平〉	122
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (ソフトボール)	〈村松 誠〉	123
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (バドミントン)	〈牧野 茂・竹田 幸夫〉	124
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (トレーニング)	〈鈴木 淳平〉	125
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ (前期後期・基礎) (簡化太極拳)	〈大石 武士〉	126
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ (前期後期・基礎) (バドミントン)	〈長濱 友雄〉	127
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ (前期後期・基礎) (室内球技)	〈牧野 茂〉	128
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ (前期後期・基礎) (室内球技)	〈宮沢 栄作〉	129
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ (前期後期・基礎) (卓球)	〈宮沢 栄作〉	130
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ (前期後期・応用) (簡化太極拳)	〈大石 武士〉	131
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ (前期後期・応用) (ニュースポーツ)	〈大石 武士〉	132
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ (前期後期・応用) (バドミントン)	〈長濱 友雄〉	133
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ (前期後期・応用) (卓球)	〈牧野 茂〉	134
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ (前期後期・応用) (バドミントン)	〈牧野 茂〉	135
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ (前期後期・応用) (室内球技)	〈牧野 茂〉	136
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ (前期後期・応用) (室内球技)	〈宮沢 栄作〉	137
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) (テニス集中)	〈江口 淳一〉	138
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (テニス集中)	〈江口 淳一〉	139
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (ゴルフ集中)	〈三幣 晴三〉	140
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) (ゴルフ)	〈三幣 晴三 他〉	141
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) (スキー)	〈田中 佳孝 他〉	142
健康・スポーツ論	〈田中 佳孝〉	143
健康・スポーツ論	〈三幣 晴三〉	144
保健理論	〈吉田 稔〉	145

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

金曜日	2時限	短英	三 幣	ゴルフ
			川 村	室内球技
			佐 藤	卓球
			※田中	ソフトボール
	3時限	短国	※佐藤	卓球
			田 中	テニス
			川 村	室内球技
	4時限	短放	※川村	室内球技
			三 幣	ゴルフ

※は、科目の主担当者

「生涯スポーツ実習 I～IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日
1 時限					
2 時限	長	大	前期・応用	牧	前期・応用
			バドミントン		ニュースポーツ※
	後期・基礎		後期・応用		後期・応用
	バドミントン		ニュースポーツ※		卓球
3 時限	長	大	前期・基礎	宮	前期・基礎
			バドミントン		簡化太極拳※
	後期・応用		後期・基礎		後期・基礎
	バドミントン		簡化太極拳※		室内球技
4 時限	大	石	前期・基礎	宮	前期・応用
			簡化太極拳※		室内球技
	後期・応用		後期・基礎		後期・応用
	簡化太極拳※		室内球技		バドミントン

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	さとう まさゆき 佐藤 政之	短 英 1 必 短 国 1 選	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	みぬさ はるみ 三 幣 晴 三	短英・短放I必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、および態度を身につける。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時および強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむら まさよし 川 村 正 義	短英・短放 必 短 国 選	2

講義のねらい

バスケット・ボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケット・ボール)
- 2時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフ・コート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4時限目：ハーフ・コート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5時限目：ハーフ・コート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）
- 6時限目：ハーフ・コート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 7時限目：実技テスト、ゲーム（2次リーグ）
(バレーボール)
- 8時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）
- 9時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
(バドミントン)
- 12時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	た な か よ し た か 田 中 佳 孝	短 国 1 選	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンド
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：（戦術と応用）
- 10 時限目：
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスのゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	た な が よ し た か 田 中 佳 孝	短 英 1 必	2

講義のねらい

種目はソフトボールであるが、実際にはソフトボールから生まれたニュー・スポーツ「ティーボール」を行なう。このスポーツはピッチャーのいないソフトボールであり、ホームベース上のティーに置かれたボールを打つことからプレーされる。

より安全に広範囲の年齢層にプレーができる様ルールおよび用具が考えられている。ティーボールの基本技術を習得し、ルールを理解することにより見るスポーツから参加するスポーツに発展させる。また、模擬試合をすることにより戦術的なことを理解し、より楽しくゲームが行なえ、野球やソフトボール観戦にも興味を持つことができる様にする。

保
健
体
育

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション、授業内容の説明と諸注意
- 2 時 限 目：用具の説明と使い方、キャッチボールの基本、ゴロ補球の基本、ルールの説明と実際
- 3 時 限 目：キャッチボール&ゴロの補球、バッティングの基本、ルールの説明と模擬ゲーム
- 4 時 限 目：ゴロの補球と1塁送球、ティーバッティング、ルールの説明と模擬ゲーム
- 5 時 限 目：フライボール補球の基本、模擬ゲーム
- 6 時 限 目：ティーバッティング、ゲーム
- 7 時 限 目：ティーバッティング、ゲーム
- 8 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 9 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 10 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 11 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 12 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 13 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 14 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 15 時 限 目：まとめ

履修上の留意点

服装は一般的運動服装。運動シューズを用意する事。用具は全て貸与する。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。特別な実技テストは行わない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	竹田 幸夫・田中 佳孝 長濱 友雄・宮沢 栄作	短英・短放	2

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1 時 限 目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時 限 目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時 限 目： 〃 (サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時 限 目： 〃 (シングルスゲーム)
- 5 時 限 目： 〃 (シングルスゲーム)
- 6 時 限 目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時 限 目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時 限 目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時 限 目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時 限 目： 〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時 限 目： 〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時 限 目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時 限 目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 14 時 限 目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 15 時 限 目： 〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1 時 限 目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時 限 目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時 限 目： 〃 (アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時 限 目： 〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時 限 目： 〃 (ゲーム)
- 6 時 限 目： 〃 (ゲーム)
- 7 時 限 目： 〃 (ゲーム)
- 8 時 限 目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時 限 目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時 限 目： 〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時 限 目： 〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時 限 目： 〃 (ゲーム)
- 13 時 限 目： 〃 (ゲーム)
- 14 時 限 目： 〃 (ゲーム)
- 15 時 限 目： 〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (簡化太極拳)	お お い し た け し 大 石 武 士	短 英 ・ 短 放	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

1時限目:オリエンテーション	16時限目:太極拳動作について説明
2時限目:重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目:総合
3時限目:第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅	18時限目:総合
4時限目:第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱	19時限目:総合
5時限目:第三組 左攢雀尾・右攢雀尾	20時限目:総合
6時限目:第四組 単鞭・雲手・単鞭	21時限目:総合
7時限目:第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚	22時限目:総合
8時限目:第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目:総合
9時限目:第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目:総合
10時限目:第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢	25時限目:総合
11時限目:総合	26時限目:総合
12時限目:総合	27時限目:総合
13時限目:総合	28時限目:総合
14時限目:総合	29時限目:総合
15時限目:テスト	30時限目:テスト

成績評価の方法

- 1) 定員:50名
- 2) 服装:一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場:修道館2階

そ の 他

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (空手道)	た か ほ し し ゅ ん す け 高 橋 俊 介	短 英 ・ 短 放	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1日：空手道の歴史と技の説明
：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 第2日：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 第3日：総合的に反復して練習
：総合的に反復して練習
：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 第4日：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
：総合的に反復して練習
：総合的に反復して練習
- 第5日：総合的に反復して練習
：総合的に反復して練習
：実技試験

履修上の留意点

服装は、一般的運動服装で身軽に動きやすいもの。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラス集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (サッカー)	あ き た こう い ち 秋 田 浩 一	短 英 ・ 短 放	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習（キック、トラップ、ヘディング、ドリブル） チーム分け
- 1日目午後： ク
- 2日目午前：パス練習、ゲーム
- 2日目午後：ロングキック、ゲーム
- 3日目午前：ドリブル、ゲーム
- 3日目午後：シュート、ゲーム
- 4日目午前：ルールの解説、ゲーム
- 4日目午後：ゲーム（リーグ戦）
- 5日目午前： ク
- 5日目午後： ク

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コースについて

- (1) 実施期間:(前期) 7月18日(木)~22日(月)
(後期) 12月21日(土)~25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間:10:00~12:00
13:00~15:30
- (3) 実施場所:玉川体育館
- (4) 申込方法:「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考:再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (卓球)	かわむら まさよし すずき じゅんぺい 川村 正義・鈴木 淳平	短 英 ・ 短 放	2

保健体育

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム
- 3日目午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4日目午前：ダブルスゲーム
- 4日目午後：ダブルスゲーム
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は、授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点。実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（木）～22日（月）
（後期）12月21日（土）～25日（水）

7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合

- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30

- (3) 実施場所：玉川体育館

- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限

- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (ソフトボール)	むらまつ まこと 村 松 誠	短英・短放	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目午前：〃
午後：〃
- 第5日目午前：〃
午後：〃

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（木）～22日（月）
（後期）12月21日（土）～25日（水）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (バドミントン)	まきの しげる たけだ ゆきお 牧野 茂・竹田 幸夫	短 国 選	2

保
健
体
育

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- (1)服装は、一般的な運動服とする。
(2)体育館シューズを用意すること。
(3)ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（木）～22日（月）
（後期）12月21日（土）～25日（水）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
(2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
(3) 実施場所：玉川体育館
(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
(5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (トレーニング)	すずき じゅんべい 鈴木 淳平	短英・短放	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)	おおいし たけし 大石 武士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎) (簡化太極拳)		短国・短英2選	

保健体育

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) (バドミントン)		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：ク
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時限目： }
- 12時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	まきの 牧野 茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) (室内球技)		短国・短英2選	

保健体育

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2メン・ダッシュ
- 3 時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5 時限目：レイアップ・シュート・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense①、ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense②、ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9 時限目：（バドミントン）ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 10 時限目：オーバー・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー）
- 11 時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ヘアピン）
- 12 時限目：サービス、ストロークの応用とミニゲーム、ダブルスのルール
- 13 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 14 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	みやざわ えいさく 宮 沢 栄 作	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) (室内球技)		短国・短英2選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につながることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：実技各種目の競技の性格、ルールの説明
- 3 時限目：バスケットボール競技の構成基礎技術
- 4 時限目：3：3の簡易ゲーム
- 5 時限目：3：3の簡易ゲーム
- 6 時限目：バレーボール競技の構成基礎技術実習
- 7 時限目：簡易ゲーム
- 8 時限目：簡易ゲーム
- 9 時限目：卓球の基本技術
- 10時限目：シングルス、ダブルスでのゲーム
- 11時限目：シングルス、ダブルスでのゲーム
- 12時限目：バドミントンの基礎技術実習
- 13時限目：シングルス、ダブルスでの簡易ゲーム
- 15時限目：シングルス、ダブルスでの簡易ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	みやざわ えいさく 宮 沢 栄 作	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) (卓 球)		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) スマッシュを打つことが出来る。
(3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7 時限目：シングルスゲームの練習
- 8 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム練習
- 11 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 12 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	おおいし たけし 大石 武士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (簡化太極拳)		短国・短英2選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返す稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担当者名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	おおいし たけし 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (ニュースポーツ)		短国・短英2選	

保健体育

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (バドミントン)		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目： } 総合練習・ゲーム (シングルス)
- 10 時限目： }
- 11 時間目： } 総合練習・ゲーム (ダブルス)
- 15 時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	まきの 牧野 しげる 茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (卓球)		短国・短英2選	

保健体育

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： }
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： }
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	まきの 牧野 茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (バドミントン)		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
 - (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ストロークの基本技術、スマッシュ
- 3時限目：ドロップ・ショット、ハイ・クリアー、ドライブ
- 4時限目：サーブ、ネット、ショット、プッシュ
- 5時限目：総合練習
- 6時限目：
 - } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時間目：
 - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 11時間目：
 - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時間目：

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	まきの野 <small>まきの</small> 茂 <small>しげる</small>	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (室内球技)		短国・短英2選	

保健体育

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート・ドリル、ハーフ・コート2対1
- 3 時限目：シューティング・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 4 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：モーション・オフENSE・ドリル①ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：モーション・オフENSE・ドリル②ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9 時限目：（バドミントン）ストロークの基本技術（回内、回外）
- 10 時限目：オーバー・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー、ドライブ、カット）
- 11 時限目：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、シングルのゲーム
- 12 時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ネット・ショット）、シングルのゲーム
- 13 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 14 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名		担当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	みやざわ えいさく 宮 沢 栄 作	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (室内球技)		短国・短英2選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につながることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：バスケットボール競技の基本応用技術の全般についての実習
- 3 時限目：正式ゲーム
- 4 時限目：正式ゲーム
- 5 時限目：バレーボール競技の基本応用技術について
- 6 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 7 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 8 時限目：卓球の基礎応用技術について
- 9 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 10 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 11 時限目：バドミントン技術について
- 12 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 13 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 14 時限目：まとめとして、希望種目の実施
- 15 時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	え ぐ ち じゆんいち 江 口 淳 一	短国・短英選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは、打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ること目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながらHighでFullにテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指して
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（土）～25日（水）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	みぬさ はるみ 三 幣 晴 三	短国・短英選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士のコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
- ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：平成14年12月21日（土）～25日（水）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合
：ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定 員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』
は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	みぬさ はるみ 三 幣 晴 三 他	短国・短英選	2

講義のねらい

「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフの基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。
ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 事前授業 1回目 5月18日(土) 講義：12:10～12:50 2研-101教場
「ゴルフの基本知識1、オリエンテーション」
2回目 7月20日(土) 講義：13:00～15:30 2研-101教場
「ゴルフの基礎知識2」

※上記の事前授業は、オリエンテーションを兼ねるので必ず出席すること。

- (2) 実習内容
1日目 9月9日(月) 実技：14:00～17:00 《オリエンテーション・打撃練習》
講義：19:00～21:00 《ゴルフスイングの基本》
2日目 9月10日(火) 実技：9:00～12:00・13:30～16:30 《打撃練習・その他》
講義：19:00～21:00 《ゴルフのエチケット・マナー》
3日目 9月11日(水) 実技：9:00～12:00・13:30～16:30 《打撃練習・その他》
講義：19:00～21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
4日目 9月12日(木) 実技：9:00～12:00・13:30～16:30 《ラウンド・その他》
講義：19:00～21:00 《ラウンドの反省と総括》
5日目 9月13日(金) 実技：9:00～11:00・12:30～14:30 《ラウンド・その他》

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
③ グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバック等は大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。
- (2) 場所・宿泊
① 宿泊先：軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話0267-46-1111
：長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
② 練習場：軽井沢ゴルフ練習場 電話0267-48-1211
③ コース：晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- (3) 実施期間：平成14年9月9日(月)～13日(金) 4泊5日
(4) 募集人員：定員30名(事前登録科目である。)
(5) 集合・解散：現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)。詳細については(時間：道順など)事前授業で説明するので必ず出席すること。
(6) 費用：49,500円 ※交通費は含まれない。
(7) 納入方法：経理部窓口で、平成14年5月24日(金)～6月6日(木)までに納入すること。

成績評価の方法

出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー	たなか よしたか 田 中 佳 孝 他	短国・短英選	2

講義のねらい

現在我が国においてスキーは、国民スポーツと言われるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできるスポーツとして定着している。スキーを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーについて理解を深めていきたい。

実習は、スキーの技術レベルに応じて、1班10名程度にグループ分けして実施する。コースの内容は、以下の通りである。

基礎コース：雪面に慣れることから始まり、プルーク更にシテムターンの習得

応用コース：パラレル、ウェーデルンと斜面に応じた総合滑降技術の習得、および完成をめざす

講義の内容・
授業スケジュール

- 事前授業：5月18日(土) 12:10~12:50 2研-102教場
「オリエンテーション・スキーの基礎知識1」
12月21日(土) 13:00~15:30 2研-101教場
「スキーの基礎知識2」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 <2月17日(月)> 午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スキー基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 <2月18日(火)>
午前・午後：班別実習および全体講義「スキー応用技術解説」
 - 3日目 <2月19日(水)>
午前・午後：班別実習および全体講義「スキーと自然・ウィンタースポーツ」
 - 4日目 <2月20日(木)>
午前・午後：班別実習および班別講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 <2月21日(金)>
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定。

履修上の留意点

シーズンコーススキーの授業は、下記の要領で実施する。

- 1) 日程：平成15年2月17日(月)～2月21日(金)の4泊5日
- 2) 場所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、費用を納入期間平成14年5月24日(金)～6月6日(木)までに経理部窓口で納入すること。
- 4) 定員：90名
- 5) 『履修届(事前登録)』に関する注意：教務部窓口へ提出する『事前登録申請書』には、シーズンコース用に設定された『土曜日8時限(後期)』で記入すること。
- 6) オリエンテーション：上記の事前講義(5月18日(土)・12月21日(土))で実習の説明を行うので必ず出席すること。
- 7) スキー用具：スキー用具は現地でレンタル可能(有料)。
- 8) 特記事項：スキー実習日程は、卒業年次生の追再試・1～3年次生の追試験と重なっているため特に注意すること。

成績評価の方法

事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びにスキー基本技術や、理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(03-3709-0717)に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	た な か よ し た か 田 中 佳 孝	短国・短英1選	2

講義のねらい

健康を保つ為に必要な栄養素と正しい食生活の知識を学び、肥満のメカニズム・ダイエットの原則と正しい方法を識る。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：身体に必要な栄養素（糖質・脂質・蛋白質について）
- 2 時限目：身体に必要な栄養素（ビタミン・ミネラルについて）
- 3 時限目：ビタミンの欠乏症と薬理作用
- 4 時限目：タバコの悪害とビタミン
- 5 時限目：妊婦時の栄養と肥満
- 6 時限目：人間は何故肥満するのか？（肥満とは）
- 7 時限目：ダイエットの基本
- 8 時限目：減食に依るダイエット、運動に依るダイエット
- 9 時限目：リバウンドと拒食・過食症
- 10時限目：
- } ダイエット法各論
- 13時限目：
- 14時限目：まとめ
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

遅刻・早退・私語は認めない。携帯電話、ポケベル等のスイッチは切っておくこと。

成績評価の方法

毎時間出席をとり、2/3以上の出席者が学期末テストを受験できる。出席点を50点満点とし、テスト点（50点満点）を加点して評価とする。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に発表する。

そ の 他

講義の補助としてビデオを使用することがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	かぬさ はるみ 三 幣 晴 三	短国・短英Ⅰ選	2

講義のねらい

健康は、人間が生きて、何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康だけに焦点をおくのではなく、人間として生きる上で身体的・精神的健康とはどんな状態であるのか、また、その実現にはどうすべきかを論ずるものである。したがって健康にとって障害となる現代の社会的状況からのさまざまな問題（食・住・ストレスなど）について、どう対処すべきかを、実際の観点から探ろうとするものである。また、西洋医学と東洋医学の相異などから、心と体の関係などにも言及し、メンタルマネジメント・自律訓練法・ヨーガ・健康体操などの実際的な健康づくりによって学生としての、また生涯にわたっての健康の必要性を認識することをねらいとする。その際、これまで一般的に常識とされていた種々の考え方を、別の角度から検証し、新しい認識を作り上げることを目指すものである。

スポーツは、過去から長い間にわたって築きあげられてきたが、いまや現代の人々によって欠かすことのできない《文化》である。文化としてのスポーツを楽しむことは、いまや現代人にとって生活のひとつの要素になりつつある。それは、実践することを楽しむことだけにとどまらず、観ることを楽しむ、あるいはマスコミからの情報によってスポーツから幅広い視点を提供されるなど、現代人にとって広範囲の影響をもたらしつつある。本講義では、スポーツを《文化論》あるいは《遊戯論》から論じることで、人間とは何か、生きるとは何かについても言及するものである。また、《スポーツの技術論》、さらに《スポーツ運動学》、《メンタルトレーニング》などにも触れることで、スポーツの狭い領域だけにとどまらず、生きがいをもって仕事・生活・趣味をしていく上での共通点を見いだしていこうとするものである。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション、授業の概要説明
- 2 時 限 目：健康とは何か（世界の長寿村と短命村の比較） - そのⅠ
- 3 時 限 目：同 - そのⅡ
- 4 時 限 目：現代の生活と健康
- 5 時 限 目：ストレス学説（セリエ博士の学説） - そのⅠ
- 6 時 限 目：同 - そのⅡ
- 7 時 限 目：西洋医学と東洋医学の比較
- 8 時 限 目：健康体操・メンタルトレーニング
- 9 時 限 目：遊戯論（ホモ・ルーデンス） - そのⅠ
- 10 時 限 目：同 - そのⅡ
- 11 時 限 目：スポーツ論
- 12 時 限 目：スポーツ技術論
- 13 時 限 目：スポーツ運動学（カテゴリー論）
- 14 時 限 目：同（発達論・学習論）
- 15 時 限 目：日本のスポーツ（組織編・考え方）／まとめ

履修上の留意点

教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。教科書の内容は各自であらかじめ読んでおいてほしい。

成績評価の方法

ペーパーテストを基本とし、毎時間の出席を参考にする。

教 科 書

『保健体育概論』（カツサ出版部） 1,700円

参 考 書 等

『ホモ・ルーデンス』（中央公論社）
『マイネル・スポーツ運動学』（大修館書店）

そ の 他

講義形式を基本とし、ビデオや実技も加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保健理論（前期）	よ し だ 吉 田 稔	:以降入学生/短放 必	1
		:以前入学生/短放 必	2

講義のねらい

「健康とは、肉体的に、精神的および社会的に完全に良好（well-being）な状態であって、単に病気に罹患してないとか、病的ではないということではない」。これはWHO憲章によって定義された健康の概念である。今や我が国の平均寿命が世界一となり、健康状態は諸外国に比べ極めて良好といえる。しかしながら、我が国は21世紀には本格的な高齢化社会を迎えようとしており、老人問題が重要な課題となっている。今や時代のニーズに対応した保健活動のみならず将来を展望した保健活動が重要視されて来ている。ここでは現在そして将来の健康の確保に必要な諸問題について考える。

教 科 書

鈴木庄助・久道茂編集 『シンプル衛生・公衆衛生学』（改訂7版）（南江堂）2,400円

参 考 書 等

『国民衛生の動向』 厚生指標 臨時増刊（厚生統計協会）

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

1 国 文 科

Ⅱ. 専門教育科目

(1) 国文学科

上代文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈佐原 作美〉	153
中古文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈鈴木 裕子〉	153
中世文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈藺部 幹生〉	154
近世文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈清田 啓子〉	154
近代文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈石割 透〉	155
現代文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈小林 治〉	155
現代文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈松田 直行〉	156
国語演習Ⅰ〈片山 晴賢〉	156
国語演習Ⅰ〈萩原 義雄〉	157
上代文学演習Ⅱ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅱ〕〈佐原 作美〉	158
中古文学演習Ⅱ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅱ〕〈鈴木 裕子〉	158
中世文学演習Ⅱ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅱ〕〈藺部 幹生〉	159
近世文学演習Ⅱ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅱ〕〈清田 啓子〉	159
近代文学演習Ⅱ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅱ〕〈石割 透〉	160
現代文学演習Ⅱ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅱ〕〈小林 治〉	160
現代文学演習Ⅱ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅱ〕〈松田 直行〉	161
国語演習Ⅱ〈片山 晴賢〉	161
国語演習Ⅱ〈萩原 義雄〉	162
上代文学史〈佐原 作美〉	162
中古文学史〈鈴木 裕子〉	163
中世文学史〈坂口 博規〉	163
近世文学史〈清田 啓子〉	163
近代文学史〈笹瀬 王子〉	164
現代文学史〈小林 治〉	164
上代文学を讀むⅠ〈佐原 作美〉	165
上代文学を讀むⅡ〈休 講〉	
中古文学を讀むⅠ〈鈴木 裕子〉	165
中古文学を讀むⅡ〈藺部 幹生〉	166
中世文学を讀むⅠ〈休 講〉	
中世文学を讀むⅡ〈坂口 博規〉	166
近世文学を讀むⅠ〈越後 敬子〉	167
近世文学を讀むⅡ〈休 講〉	
近代文学を讀むⅠ〈石割 透〉	167
近代文学を讀むⅡ〈休 講〉	
現代文学を讀むⅠ〈井上 優〉	168
現代文学を讀むⅡ〈休 講〉	
文献資料を讀む〈萩原 義雄〉	169
原典講讀〈清田 啓子〉	169
国語学〈片山 晴賢〉	170
国語史〈萩原 義雄〉	170
日本語文法〔平成12年度以前入学生：古典文法〕〈片山 晴賢〉	171
情報言語学〈萩原 義雄〉	171
日本語教育〈奥原 淳子〉	172

異文化コミュニケーション	〈奥原淳子〉	173
中国文学講読	〈清水浩子〉	173
中国文学史	〈清水浩子〉	174
和歌文学 I	〈休講〉	
和歌文学 II	〈坂口博規〉	174
物語文学 I	〈鈴木裕子〉	174
物語文学 II	〈藺部幹生〉	175
説話文学 I	〈藺部幹生〉	175
説話文学 II	〈休講〉	
日記文学 I	〈休講〉	
日記文学 II	〈坂口博規〉	176
歴史文学 I	〈藺部幹生〉	176
歴史文学 II	〈休講〉	
連歌・俳諧 I	〈越後敬子〉	177
連歌・俳諧 II	〈休講〉	
近・現代詩 I	〈井上優〉	177
近・現代詩 II	〈休講〉	
児童文学 I	〈内藤寿子〉	178
児童文学 II	〈休講〉	
随筆・評論 I	〈鈴木裕子〉	178
随筆・評論 II	〈休講〉	
軍記文学 I	〈田中伸作〉	179
軍記文学 II	〈休講〉	
歌謡 I	〈休講〉	
歌謡 II	〈川上順子〉	180
短歌・俳句 I	〈休講〉	
短歌・俳句 II	〈笹瀬王子〉	181
現代小説 I	〈石割透〉	181
現代小説 II	〈小林治〉	182
古典戯曲演劇	〈清田啓子〉	182
近代戯曲演劇	〈松田直行〉	183
比較文学	〈石割透〉	183
女性史	〈高嶋めぐみ〉	184
女性学	〈藤田和美〉	184
芸創作	〈松田直行〉	185
国文学概論	〈藺部幹生〉	185
有職故実	〈大塚英子〉	186
文化概論	〈藺部幹生・井上優・佐藤憲昭・末藤美津子・藤田和美〉	187
周縁芸術 I	〈小林治〉	187
周縁芸術 II	〈石割透〉	188
国文学特殊研究	〈鈴木裕子・清田啓子・松田直行〉	188
書道実習 I	〈那須隆吉〉	189
書道実習 II	〈那須隆吉〉	189
情報処理解	〈谷本玲大〉	190
応用情報処理解	〈谷本玲大〉	191
実用表現法	〈萩原義雄〉	192
編集実務	〈長谷川孝〉	192

ジャーナリズム研究〈巖野寿雄〉	193
シナリオ研究〈松田直行〉	193
芸能研究〈松田直行〉	194
ビジネス実務概論〈森本正恵〉	195
ビジネス実務〈森本正恵〉	196
手話〈白須和子〉	197
点字〈渡辺勇喜三〉	197
卒業研究（上代）〔平成12年度以前入学生：卒業研究Ⅰ〕〈佐原作美〉	198
卒業研究（中古）〔平成12年度以前入学生：卒業研究Ⅰ〕〈鈴木裕子〉	198
卒業研究（中世）〔平成12年度以前入学生：卒業研究Ⅰ〕〈坂口博規〉	198
卒業研究（中世）〔平成12年度以前入学生：卒業研究Ⅰ〕〈藺部幹生〉	199
卒業研究（近世）〔平成12年度以前入学生：卒業研究Ⅰ〕〈清田啓子〉	199
卒業研究（近代）〔平成12年度以前入学生：卒業研究Ⅱ〕〈石割透〉	200
卒業研究（現代）〔平成12年度以前入学生：卒業研究Ⅱ〕〈小林治〉	200
卒業研究（現代）〔平成12年度以前入学生：卒業研究Ⅱ〕〈松田直行〉	201
卒業研究（国語学）〔平成12年度以前入学生：卒業研究Ⅲ〕〈片山晴賢〉	201
卒業研究（国語学）〔平成12年度以前入学生：卒業研究Ⅲ〕〈萩原義雄〉	202

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学演習Ⅱ	さ は ら さ く み 佐 原 作 美	Ⅰ以降入学生/短国Ⅰ選必	4
国文演習Ⅱ		Ⅰ以前入学生/短国Ⅰ選必	2

講義のねらい

わが国の古い伝承のひとつに、羽衣説話がある。これは天女が地上に舞い降りて地上の人間と様々な関わりをもつ話であるが、そうしたものが『風土記』や『万葉集』をはじめ『竹取物語』や『今昔物語』などにも見られる。そこで授業では、かかる作品を読みながらその流れをたどってみたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

科目の性格上、受講生による調査の発表と読解を中心に進めることになる。出来るだけ多くの作品に接して行きたい。適宜レポートの提出を求めるようにしたい。

履修上の留意点

演習授業という観点から、受講生の発表を中心に進めることになるので、意欲をもって積極的に望んでほしい。

成績評価の方法

授業時の発表やレポート、さらに出席状況（重視）などや授業に取り組む姿勢などを見て総合的に評価する。

教科書

新潮日本古典集成『竹取物語』（新潮社）

参考書等

必要に応じ授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学演習Ⅰ	す ず き ひ ろ こ 鈴 木 裕 子	Ⅰ以降入学生/短国Ⅰ選必	4
国文演習Ⅰ		Ⅰ以前入学生/短国Ⅰ選必	2

講義のねらい

この演習の目的は、主として三つあります。まず、古典文学に親しむこと。次に、古典を正確に読む力を養うこと。そして、各自が自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練をすること。

講義の内容・授業スケジュール

『古今和歌集』を読みます。巻一・春上から読み始め、四季の部の全体像が把握できるようにして、精読していきます。歌言葉や歌の技巧について知識を深めるだけでなく、歌の背後に広がる文化の豊かさをも味わえるようにしましょう。

履修上の留意点

授業は受講生の分担報告を中心として進めます。担当者はもちろん、発表を聞く者も、積極的にテキストを読み、調査し、考えて授業に臨みましょう。

成績評価の方法

学年末に提出するレポート、授業中の発表内容・発言、出席状況（欠席・遅刻しないことは前提）などから総合的に行います。

教科書

『古今和歌集』校注古典叢書（明治書院）

参考書等

授業中に指示します。

国
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中世文学演習Ⅰ	そ の べ み き お 菌 部 幹 生	11以降入学生/短国1選必	4
国文演習Ⅰ		11以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

今年度は、中世文学の代表的な文学ジャンルの一つである説話のなかから、『古今著聞集』を取りあげ、演習形式で授業を行なう。各自が短い説話を一話担当し、1年間かけて、解釈・伝承経路・その説話に含まれた視点など、さまざまな面から掘り下げて研究・発表する。これを通して、基礎的な研究の方法を身につけるとともに、作品を味わい、説話のおもしろさを満喫してほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

全受講者が、前・後期に、それぞれ1回ずつの発表と、その追加・訂正の発表を行なう。

履修上の留意点

担当した説話についての研究・発表だけではなく、他の受講生の発表に対する問題意識も、たいせつな要件となる。また、各自が担当する話が異なるため、具体的な調査・研究の方法、および、鑑賞についての助言は、ひとりひとりに、授業時間外の空き時間を利用して行なう。

成績評価の方法

各自の発表を60点満点で評価し、他の受講生の発表に対する意見・質問を40点満点で評価する。必要に応じて、レポートを提出してもよいが、定期試験その他の筆記試験は一切行わない。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

必要に応じて、そのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近世文学演習Ⅰ	せ い だ け い こ 清 田 啓 子	11以降入学生/短国1選必	4
国文演習Ⅰ		11以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

演習は、研究方法を実習する科目であるので、参加する学生の研究・調査とその発表がこの時間の中心になる。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度の演習材料として、井原西鶴の諸作品をとりあげる。浮世草子『好色一代男』から最晩年の『世間胸算用』に至る散文作品をいくつか選び、共同して研究を深めてもらう。参加者は、各自の調査・研究の成果を発表し、全員の検討を経て、個々の見解をまとめてほしい。

履修上の留意点

演習という科目の性質上、出席すること、論議に加わることが最重要となる。積極的に発言することと、他の意見を充分聞きとる姿勢が望ましい。

成績評価の方法

出席状況（三分の一以上の欠席はく不可）となる）及び、発表の研究内容、折々の宿題や夏期レポート等によって評価する。定期試験は行わない。

教 科 書

プリント配布

参 考 書 等

教場で指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代文学演習Ⅰ	いしわり 石 割 とおる 透	!!以降入学生/短国 選必	4
国文演習Ⅰ		!!以前入学生/短国 選必	2

講義のねらい

近代文学を学ぶ方法とも言える、作品、文学テキストを主体的に読むことを具体的に各自が実践する。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、夏目漱石の「坊ちゃん」「それから」「門」を読み、報告者を毎時間決め、報告者の読みに基づいて、文学テキストが孕んでいる多彩多様な課題を検討していく。

履修上の留意点

毎時間、報告者のみならず、受講者全員がテキストを緻密に読み、そこに孕まれた課題を考えて授業に臨むこと。

成績評価の方法

年間に3、4回の報告とその内容を更に深めた2度ほど提出するレポートによって評価する。

教 科 書

夏目漱石『坊ちゃん』『それから』『門』（岩波文庫）

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

毎時間、報告者の報告内容に基づき、それに対する受講者の質疑応答によって授業を進める。活発、積極的な質疑応答を期待したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代文学演習Ⅰ	こばやし 小 林 おさむ 治	!!以降入学生/短国 選必	4
国文演習Ⅰ		!!以前入学生/短国 選必	2

講義のねらい

宮澤賢治の散文作品、および、安部公房・村上春樹の短編小説を読み、作家について調査することを通じて、個々の作家における思想と実践（行動）と作品の関係の様相、ならびにそれぞれが抱えこんでいる問題点について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の作家の作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導、助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望によって決定する。

履修上の留意点

受講者は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告書にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどりつきたいとは考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参 考 書 等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

そ の 他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問していただきたい。年間を通じて文学研究に必要な基本的手続きとその意義を知ることが当演習の目的である。

国文科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代文学演習Ⅰ	まつだ なおゆき 松 田 直 行	11以降入学生/短国Ⅰ選必	4
国文演習Ⅰ		11以前入学生/短国Ⅰ選必	2

講義のねらい	パフォーマンス論の立場から、演劇を中心に、現代の様々なメディアにおける表現を対象とした演習形式の授業を行う。
講義の内容・授業スケジュール	前期に演劇ワークショップを行う。これは俳優としての身体訓練ではなく、誰にでもできる簡単なゲームのようなことをグループで行うことを通して、言葉と身体表現によるコミュニケーションによって成り立つ演劇とは何かを、体験的に学習するものである。それを発展させる形で各自のテーマを決め、後期に発表を行う。
履修上の留意点	文字として書かれたテキストを対象としているわけではないので、授業の場でのコミュニケーションを通してしか学習できない。基本的に毎回出席することが必要になる。ワークショップには、軽く体を動かせる服装で参加すること。夏季休暇期間中にゼミ合宿を予定しているので、全員参加すること。
成績評価の方法	試験、レポートはないが、発表の成果に加え、年間を通じた学習を総合的に判断して成績を評価する。
教科書	指定しない。
参考書等	授業でその都度個別に指示する。
その他	科目登録の前に履修許可が必要となるので、初回の授業に必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語演習Ⅰ	かたやま はるかた 片 山 晴 賢	11以降入学生/短国Ⅰ選必	4
		11以前入学生/短国Ⅰ選必	2

講義のねらい	国語学研究的な基礎的な知識を養うことに主眼をおき、中世の資料を中心に検討していく。
講義の内容・授業スケジュール	それぞれ、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。
履修上の留意点	演習であるので、出席を重視し、各自分担当で発表を中心に進めるので、自からの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。
成績評価の方法	レポートにより成績を評価する。
教科書	必要に応じてコピーを配布する。
参考書等	授業時間に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語演習Ⅰ	はぎはら よしお 萩原 義雄	以降入学生/短国1選必	4
		以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

明治時代の国語辞書である大槻文彦編『大言海』を読んでいく。読むというより、どのようなことばが収録されていて、どのように意味解説され、用例をどのように掲載しているのかを考察していくのである。この近代国語辞書を繙くとき、常に考えておきたいことは、近代から現代へと変遷する時代の流れのなかで古語と新語そして常語という多くのことばがどう生かされてきたのか文学資料・新聞、雑誌記事そして現代の国語辞書などへの影響をも見ていくことにある。ことばを常に意識していくことで、現実をもっともっと具現化できるに違いない。時には頭上高く舞い上がる鳥の目で見、ときには、地を這うような蟻の目で物事を考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 編纂者大槻文彦と周囲の人々について
 - ② 辞書編纂における意図するところとは
 - ③ 辞書の凡例内容を分析する
 - ④ 見出し語項目別によることばの数量的統計化について
 - ⑤ 意義分類項目別によるおのおのことばの意味記述の特徴について
 - ⑥ 逆引きによることばの理解とその検索方法
 - ⑦ 品詞別項目によることばの意味理解とコード化分類
 - ⑧ シソーラス形式による類義語の効用
 - ⑨ 異名・別名・別称の記述の有無
 - ⑩ ことばの語源探求は、如何に解明されてきているか？
 - ⑪ 引用用例と典拠とした書籍について
 - ⑫ 『大言海』引用の研究論文資料の確認
- 以上、12項目について検討を重ねていく。

[検討作業にともなう計画表案]

- 4月 受講手続き確認
- 5月12日 受講再確認とカード表の入力締め切り
本格的に作業確立のための資料準備
分析「ことば」に基づく旅立ち調査とその方法
〈夏休みを大いに利用しよう〉
- 9月下旬 調査結果の報告書の作成
- 10月以降 結果報告を公開発表
- 1月 評価決定

成績評価の方法

月毎に辞書掲載のことばを選択し、上記項目を常にふまえる形で提出発表していく。個人が分析することばの数を100語として、一語ずつ評価する。

教 科 書

私家版『大言海』〈情報言語学研究室“テキストデータ”にて公開中。FD4枚程度 URL <http://www.komazawa.com/hagi>〉を使用する。

参 考 書 等

大槻文彦『大言海』初版から現代版まで（富山房）他国語辞書。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学演習Ⅱ	さ は ら さ く み 佐 原 作 美	11以降入学生/短国1選必	4
国文学演習Ⅱ		11以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

平安朝の前期に成立し、わが国の仏教説話集の祖とされる『日本霊異記』をもとに演習を行う。この作品は、上中下巻の三巻に116の説話を収めたものであるが、その思想的主観は序文に見られるように、仏教思想とくに因果応報の思想を主としての庶民の教化善導にあると言える。そこには当時の一般庶民が何に苦しみ悩み、何に光明を見出そうとしていたかなど、古代社会にあってその底辺にあった人々の心情や思想行動がよく描写されている。作品の読解をもとに、当時の社会状況や人々の心性を見ていきたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

科目の性格上、受講生による調査の発表を中心に進めることになろう。具体的には、上中下の各巻ごとに、受講生が任意に担当する説話を選び、その調査のプリントをもとに口頭による発表とそれへの質疑応答をまじえながら授業を展開していきたい。

履修上の留意点

演習授業という点からどうしても受講生の発表が中心となっているが、それぞれにテーマと問題意識をもってもらう。従って、単に説話の内容やあらすじを知るだけに終わらず、作品や登場人物の背景となっている社会的時代的な状況をも視野に入れて、より多角的に理解を深めることが必要である。作中人物を追体験するほどの気概を持ってのぞんでほしい。

成績評価の方法

成績は授業時の発表やレポートや出席状況（重視）などを見て評価するが、授業終了時に各自のテーマを20枚前後のレポートにまとめて提出してもらう。

教科書

新潮日本古典集成『日本霊異記』（新潮社）2,200円

参考書等

授業の折に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学演習Ⅱ	す ず き ひ ろ こ 鈴 木 裕 子	11以降入学生/短国1選必	4
国文学演習Ⅱ		11以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

この演習の目的は、主として三つあります。まず、古典文学に親しむこと。次に、古典を正確に読む力を養うこと。そして、各自が自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練をすること。

講義の内容・授業スケジュール

『伊勢物語』を読みます。歌物語とはいったいどのような作品なのか、和歌がどのように機能しているかなど考えながら、古典のおもしろさを味わえるようにしたいと思います。また、この作品が後世に及ぼした影響についても学習しましょう。

履修上の留意点

授業は受講生の分担報告を中心として進めます。担当者はもちろん、発表を聞く者も、積極的にテキストを読み、調査し、考えて授業に臨みましょう。

成績評価の方法

学年末に提出するレポート、授業中の発表内容・発言、出席状況（欠席・遅刻しないことは前提）などから総合的にを行います。

教科書

『伊勢物語』校注古典叢書（明治書院）

参考書等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中世文学演習Ⅱ	そのべみきお 蘭 部 幹 生	11以降入学生/短国1選必	4
国文演習Ⅱ		11以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

中世文学における、代表的なジャンルの一つである説話文学を取り扱う。各自が、好きな説話を一話選び、1年かけて、その話について、調査・研究し、演習形式で発表する。その実践を通じて、研究方法を身につけ、説話文学の本質を考えることを、目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期と後期にそれぞれ1回ずつの発表があるが、それぞれに追加・訂正の発表もおこなうので、年間の発表回数は一人5～6回程度となる。

履修上の留意点

各自の調査・研究は当然のことであるが、他の受講生の発表に対して問題意識を持つことも、たいせつな学修の要件となる。なお、受講生がそれぞれ異なった説話を取り扱うので、具体的な研究方法については、ひとりひとりに、授業時間外の空き時間を利用して助言する。

成績評価の方法

各自の発表を60点満点で評価し、他の受講生の発表に対する意見・質問を30点満点で評価する。それ以上の成績を得たい場合は、レポートを提出する。定期試験を含めた筆記試験は一切行わない。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

必要に応じて、そのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近世文学演習Ⅱ	せいだけいこ 清 田 啓 子	11以降入学生/短国1選必	4
国文演習Ⅱ		11以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

古典作品の読解力を身につけた二年次においては、諸種の作品をさまざまな方向から楽しむ余裕をもってよいと思う。今年度は『仁勢物語』を材料として、研究・調査の方法を習得してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

近世文学中のパロディの傑作と称される『仁勢物語』を読む。『伊勢物語』と比較することで、近世人の特色を感じることができると思う。後期は、参加者個々の選択する作品を、その作品が自ら要請するはずの方法によって、各自の研究をまとめていってほしい。

履修上の留意点

演習という科目の性質上、出席すること、論議に加わることが最重要になる。発表担当者の準備は当然だが、それをよく聞きとり、自分の意見を積極的に述べる姿勢が望ましい。

成績評価の方法

出席状況（三分の一以上の欠席は〈不可〉となる）及び、発表の内容、折々の宿題や夏期レポート等による。定期試験は行わない。

教 科 書

小林祥次郎編 『仁勢物語』（勉誠社）

参 考 書 等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学演習Ⅱ	いしわり 石 割	1)以降入学生/短国?選必	4
国文演習Ⅱ	とおる 透	1)以前入学生/短国?選必	2

講義のねらい

Iに引き続き、近代の文学作品・テキストを各自が多様な視角から読み、各作品テキストの孕んでいる課題を検討する。近代文学の学習の基本となる読みを各自が実践し、それに対する意見を交わしつつ認識を新たにし深めていく事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

この時間は谷崎潤一郎「春琴抄」「芦刈」「吉野葛」「痴人の愛」「細雪」を採りあげ、毎時間、報告者を決め、その報告に基づき授業を進めていく。

履修上の留意点

報告者はもちろん、受講者全員が作品テキストを精緻に読み、そこに窺える問題点を考えながら授業に臨むこと。

成績評価の方法

年間3、4回の報告と、その内容を深めた2回のレポートの内容に基づいて評価する。

教科書

谷崎潤一郎『春琴抄・盲目物語』『痴人の愛』『芦刈・吉野葛』『細雪』〔新潮文庫〕

参考書等

授業時に指示する。

その他

各自の報告に基づき、それに対する質疑応答、意見の交換を通して、課題を深めていく。活発な受講者同士の意見の交換が望まれる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代文学演習Ⅱ	こばやし 小 林	1)以降入学生/短国?選必	4
国文演習Ⅱ	おさむ 治	1)以前入学生/短国?選必	2

講義のねらい

安部公房、島尾敏雄、深沢七郎、加賀乙彦、村上龍、村上春樹などの第二次戦後派以降、現在に至るまでの作家の小説作品、あるいは上野英信などによるルポルタージュ文学作品を読み、戦後の日本文学の可能性と限界について考える。演習Ⅰからの積み重ねの科目として、個々に自分が文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むことを対象化して考えることを意識しながら、作品に向かってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作家たちの作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導・助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望によって決定する。

履修上の留意点

受講生は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告者にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどり着ければと考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参考書等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

その他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代文学演習Ⅱ	まつだ なおゆき 松 田 直 行	11以降入学生/短国?選必	4
国文演習Ⅱ		11以前入学生/短国?選必	2

講義のねらい

「コミュニケーションとしての演劇」をテーマに、言葉と身体による表現を考える。「人はみな自分の役柄を演じている」という発想に立てば、それは演劇という特殊な世界にのみ存在することではなく、現実社会での日常的な人間関係や自己表現能力の向上にもつながるはずである。

講義の内容・
授業スケジュール

演劇というコミュニケーションを体験的に理解するために、誰にでもできる簡単なゲームのようなことをグループで行う演劇ワークショップを授業に取り入れる。また演習形式の授業なので、ディスカッションなどを通して、自主的にテーマを決め、共同で研究発表を行う。

履修上の留意点

文字として書かれたテキストを対象としているわけではないので、授業の場でのコミュニケーションを通してしか学習できない。基本的に毎回出席することが必要になる。

成績評価の方法

特に試験・レポート提出は行わないが、授業での平常点と発表の成果によって評価する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

授業でその都度個別に指示する。

そ の 他

科目登録の前に履修許可が必要となるので、初回の授業に必ず出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語演習Ⅱ	かたやま はるかた 片 山 晴 賢	11以降入学生/短国?選必	4
		11以前入学生/短国?選必	2

講義のねらい

1年次に修得した国語・国文学研究法をさらに発展させるのために、各自が好む題材を選び研究を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

国語資料をもとに、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。

履修上の留意点

演習であるので、出席を重視し、各自分担で発表を中心に進めるので、自からの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

レポートにより成績を評価する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配付する。

参 考 書 等

授業時間に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語演習 II	はぎはら よしお 萩原 義雄	1以降入学生/短国?選必	4
		1以前入学生/短国?選必	2

講義のねらい

鎌倉時代成立の軍記物語『平家物語』を読む。文字表記・文体・語法・音韻を通して、鎌倉時代のことばを調べていく。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 『平家物語』の諸本について
2. 写本と版本そして翻刻本とデータベース本
3. 巻十二の構成について-平家年表-
4. 周縁資料との比較について
5. 書写者の姿勢-文字表記-
6. 語りとして声に出す-音韻-
7. 描写感覚と場面察知-文体・表現-
8. 統計的数値からみたことば
9. データベースでの読みとり
10. 画像データを通してみた『平家物語』
11. 現代人の目でみた『平家物語』
12. 『平家物語』に引用された名句

成績評価の方法

担当割当てによる、演習内での発表を主とする。発表者としての出席も重視、また、発表者に対するの質問はポイントとなる。発表者は規定の書式に従いプリントを作成し、配布できるように事前準備の状況も含め、評価としていく。

教 科 書

山中耕作・工藤博子編『平家物語』高良大社蔵覚一本

参 考 書 等

その都度指示する。とりわけ多くの辞書を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上代文学史	さはら さくみ 佐原 作美	短国 1・2 選	4

講義のねらい

無文字時代の文学のありようから、文字を得て記録され、今日にまで継承されて来た飛鳥奈良時代の文学作品を中心に平安初期頃までの文学の流れを、史的背景をふまえながら考察していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

神話を豊富に含む『古事記』や『日本書紀』や『風土記』などの散文文学をはじめ、『万葉集』や漢詩集などの韻文学など、それぞれの作品の一端にふれながら、上代文学のおもしろさを発掘していきたい。

履修上の留意点

教科書に載っている例文や、配布されるであろうプリントの他に、上記の作品を積極的に読んで欲しいと思う。

成績評価の方法

課題のレポートや定期試験その他出席状況（重視）などを見て評価する。

教 科 書

山岸徳平編『作品中心 日本文学史』（新典社）1,030円

参 考 書 等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中古文学史	鈴木裕子	短国1・2選	4

講義のねらい

古代後期（平安時代を中心として）の文学史を学びます。漢詩や和歌、物語や日記などの文学作品にはどのようなものがあるか、なぜそれらが千年もの時を超えて現代にまで読みつがれて来たのか、文学史に〈女性〉が果たしてきた役割とは何なのかなど一緒に考えてみましょう。

講義の内容・授業スケジュール

韻文・散文ともに実際に作品の一節を読みながら、それぞれの作品の特色や時代の思潮を理解し、古典文学に親しむ契機となるようにします。授業は教科書のほかにプリント教材を配布し、それらを用いての講義が中心となります。また、変体仮名を読む機会も設ける予定。

履修上の留意点

教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文や短い発表などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

年表資料『中古文学史』（笠間書院）

参考書等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中世文学史	坂口博規	短国1・2選	4

講義のねらい

中世時代の文学の流れを考える。政治的には鎌倉・室町時代と称される中世時代の文学史は、実はその鎌倉期と室町期とで作品傾向が大きく推移していることを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時、総論として古代からの伝統、また近世への展開を配慮して中世時代の文学を概観し、各ジャンルにわたりその史的展開を講じてゆく。

履修上の留意点

授業で取り上げられる作品や作者等について、詳細に論じられないので、文学辞典に紹介される程度の内容は読んで欲しい。

成績評価の方法

定期試験の結果と出欠状況を参考にして評価する。

教科書

乾安代・櫻井武次郎・新聞一美他著『日本古典文学史』（双文社出版）1,699円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近世文学史	清田啓子	短国1・2選	4

講義のねらい

近世（江戸時代）の文学の流れを通観する。江戸時代は、庶民が力を発揮できた時代であると同時に、政治的束縛も各分野に及ぼされた。そのような中で、文学を志した人々のあり方はどんなものであったか、どういう作品が生み出されたかを探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書とする『近世文学史』には、作品もかなり掲載されているので、なるべく丁寧に作品の意義を見きわめつつ、近世初期から末期までの変遷を辿ることになる。

履修上の留意点

文学とは何か、を、常に念頭においてほしい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、夏期レポート、折々の提出物等による。

教科書

佐藤毅他編『近世文学史』（双文社出版）1,800円

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学史	さ さ せ お う じ 笹 瀬 王 子	短国1・2選	4

講義のねらい

日本の近代は、江戸から明治へと改元された時から始まるとされる。文学の世界も同様である。旧来の文学を一新し、近代文学としての歩みを始め、自立し、その独自性を発揮するまでの道程を知り、確認することは文学研究の上からばかりでなく、今を生きる私達現代人にとっても自ら〈近代〉を問う意味で有意義となろう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、明治開化期の文学の考察を手始めとして以降は時代の流れに沿って文芸思潮を中心にその時々々の文学運動を参看しながら個々の作品の歴史的な意味について考えていく。

履修上の留意点

講義の性格上、ともすれば作品名の羅列になりがちであるが、可能な限り数多くの作品にじかにふれるようにしたい。従って、受講者は知識として作品名を覚えればよいというのではなく、あらかじめ課題となる作品を自主的に読み、考える姿勢を強くもって講義に臨むことを要望する。

成績評価の方法

受講態度、学習意欲等の平常点、レポート、試験によって総合的に評価する。

教科書

岡保生、大久保典夫編『現代日本文学史』（おうふう）
吉田精一編『近代文学』（おうふう）

参考書等

講義の際、適宜指示する。

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代文学史	こ ば や し お さ む 小 林 治	短国1・2選	4

講義のねらい

現代日本文学の流れを概観しつつ、時代との関わりの中で生成される作品の系譜を考える。現代の起点を開東大震災のあった大正12（1923）年前後に置き、以降、昭和の終り（1988）まで見ていくことになる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は総論と昭和20年の敗戦までを、後期にそれ以後を取り上げる予定。

履修上の留意点

授業で取り上げた作品は、できるだけ多くを授業と平行して読むことが望まれる。また、特に詳しくふれる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教科書

三好行雄編『近代文学史必携』（学燈社－別冊國文學－）1,000円

参考書等

『時代別日本文学史事典（現代編）』（東京堂出版）6,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学を読むⅠ	佐原 作美	短国1・2選	4

講義のねらい

授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝（629-641）の頃から奈良朝の天平宝字3年（759）までの約120年間の和歌約4500首が収められている、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、前期は『万葉集』の代表的な歌人である柿本人麻呂、そして後期には山上憶良の作品を中心に、他の歌人の作品とを比較しながら、講読していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。

履修上の留意点

レポートや出席状況（重視）をもって総合的に評価する。

教科書

土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう（桜楓社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学を読むⅠ	鈴木 裕子	短国1・2選	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者の一人一人に答を見付けてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるとよいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

今年は『源氏物語』第二部の始まりである若菜上巻から読みます。藤裏葉巻では、光源氏一族が世俗での栄華をきわめたかのように描かれて、物語世界の一区切りとなりました。この巻は、皇女の結婚問題に関わる父親・朱雀院の苦悩から始まります。この朱雀院の女三宮の降嫁は、六条院世界にどのような波紋を投げかけることになるのでしょうか。

履修上の留意点

授業は主としてテキストを用いての講義形式です。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

学年末に提出するレポートの他、授業態度・課題などから総合的にを行います。

教科書

『源氏物語五』新潮日本古典集成（新潮社）

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学を読むⅡ	そ の べ み き お 菌 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい

中古文学のなかから『宇治大納言物語』をとりあげる。『宇治大納言物語』は、宮中の女性たちが好んで読んだ仮名書きの作品と思われ、のちの文学に多大な影響を与えたが、残念ながら現在は残っていない。しかし、色々な書物に部分的に引用されているので、断片的にはあるものの、その内容の一部を知ることができる。本講座では、それらの逸文を集めて読むことを通して、『宇治大納言物語』の実態を推定し、また、後の時代への影響について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて、『宇治大納言物語』の逸文を講読する。

履修上の留意点

毎時間、その日の講義内容に関する短い意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間の意見文で50点分を評価し、12月の時間内に50点満点の筆記試験をおこなう。なお、最後の授業時間に、100点満点の素点を伝えたくて、追再試験に相当するレポートに関する連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じてそのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学を読むⅡ	さ か く ち ひ ろ き 坂 口 博 規	短国1・2選	4

講義のねらい

鎌倉時代後期、後深草上皇の後宮に生きた二条という女性の回想の記『とはずがたり』を読む。上皇の寵愛を受けながら、同時に作中「雪の曙」と称される人物、「有明の月」と称される上皇弟（法親王）の二人の男性から愛され交渉を持つ上での苦悩の告白を中心に読みすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

全五巻の作品のうち巻三までの、三人の男性との交渉を中心として読む。初め、本作品が女性の手になる回想の記として、その自照精神が平安時代とは自から違う特質を考えてゆく。当時の宮廷社会の頹廢的な風潮の中での大胆な愛憎体験の告白を読み、後に西行法師を理想に仰ぎ出家した作者の諸国修行の姿の意味するところまで考えてみたい。

履修上の留意点

全巻通読が叶わないので、要所を選び読み進める上では、是非授業で取り挙げない本文箇所は自ら読んで欲しい。

成績評価の方法

定期試験の成績を基に、出席状況を加えて評価する。授業の際課題を与えて各自の理解を問うことも考えている。

教科書

次田香澄校注『とはずがたり』（明治書院）1,400円

参考書等

授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学を読むⅠ	越 ^え 後 ^ち 敬 ^{けい} 子 ^こ	短国1・2選	4

講義のねらい

西鶴の代表作のひとつである『日本永代蔵』を読む。本書は全三十話からなる短編小説集で、立身出世談や破滅談を通して、お金と町人との関わりを描いた作品である。本書を注釈・読解することにより、作品の特質と問題点を明らかにし、また近世文学の特色に触れることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 近世文学に関する概説
- 2 西鶴と『日本永代蔵』に関する概説
- 3 『日本永代蔵』の注釈と読解

履修上の留意点

テキストには活字本を用いるが、適宜影印資料（江戸時代の書籍をコピーしたもの）を配布するので、変体仮名に慣れてほしい。

成績評価の方法

前・後期末の試験に平常点（出席、授業への貢献度）を加味する。

教科書

浮橋康彦『日本永代蔵（翻刻）』（おうふう）

参考書等

新潮日本古典文学アルバム『井原西鶴』（新潮社）、日本古典文学大系『西鶴集 下』（岩波書店）、新潮日本古典集成『日本永代蔵』（新潮社）、新編日本古典文学全集『井原西鶴集三』（小学館）、その他授業時に紹介する。

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学を読むⅠ	石 ^い 割 ^し 透 ^と	短国1・2選	4

講義のねらい

1910年から20年代に発表されたわが国の小説を読み、各作家の特質や同時代の文化的位相を探り、その現代的な意味を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で主に採りあげる作品は、芥川龍之介「鼻」「秋」、志賀直哉「十一月三日午後の事」「清兵衛と瓢箪」「雨蛙」、谷崎潤一郎「小さな王国」「白昼鬼語」を中心に、それらとほぼ同時代の菊池寛、宇野浩二、近松秋江、江戸川乱歩などの作品を自由に絡めて講義を進めたい。

履修上の留意点

授業で扱う作品は前もって受講者に知らせるので、予めそれを読み、問題点を各自見出して授業にのぞむ事。できれば、それのみでなく、その作家の主要な作品を読み進めておくことが望まれる。

成績評価の方法

年間3、4回のレポートの提出。レポート作成に関しては、従来研究成果にもたれることのない、新鮮な視角によるものを期待する。

教科書

芥川龍之介『羅生門・鼻』『戯作三昧・一塊の上』（新潮文庫）、志賀直哉『小僧の神様・城崎にて』『清兵衛と瓢箪』（新潮文庫）、谷崎潤一郎『谷崎潤一郎・大正期傑作選・美食倶楽部』（ちくま文庫）、江戸川乱歩『江戸川乱歩傑作選』（新潮文庫）など。

参考書等

授業の折に指示する。

その他

講義により進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代文学を読むⅠ	いのうえ まさる 井 上 優	短国1・2選	4

講義のねらい

＜文学における時間と記憶＞という問題意識を底流に、日本語で書かれた現代小説を読んで行く。P・リクルの、「時間が物語の仕方で分節されるに依じて、時間は人間的時間となる。逆に物語が時間経験の諸特質を描き出すのに依じて、物語は意味をおびる。」(『時間と物語』)というテーゼはよく知られている。また、私たちは、物語ることで記憶を再構成し、今後の行動のよりどころとしている。文学作品に時間や記憶はいかに形象されており、また読み書くことの過程で、私たちはいかに時間や記憶の現象に関わっているのか、考えてみたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

福永武彦、小松左京、三浦哲郎、井上ひさし、村上龍、北村薫、乃南アサ、宮部みゆき、小池真理子、高橋克彦、新保裕一、内田春菊、奥泉光などの作品の中から、受講学生の学習状況を見ながらいくつかを選択して読む。長編も含まれるが、頑張って読んでもらいたい。

履修上の留意点

毎回の講義の前に学生各自が作品を文庫本で読んでくることが出席の必須条件となる。授業の中で学生の感想を聞いたり、小さなレポートを書いてもらったり、時にはグループ分担による演習形式での発表と討論をも織り込むので、読まずに来る学生には、毎時間が大変つらいものとなる。当然そうした人は単位の修得は困難を極める。なお、私語や携帯電話の使用をした者については、以降の出席を認めないことがあるので注意。科目登録の際には、地道な努力を惜しまない心構えがまずできているかどうか、くれぐれも自省してから決定してほしい。

成績評価の方法

学年末に教場試験を行う予定だが、出席状況、学習態度も考慮し、多面的に評価する。

教科書

各回の授業の中でその都度指示する文庫本を各自で用意してもらう。

参考書等

授業の際に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文献資料を読む	はぎはら よしお 萩原 義雄	短国1・2選	4

講義のねらい

「文化資源」として、この地球上に刻まれた文字言語資料は、数知れない。時には金石文・鉄剣・木簡・竹簡・紙（和紙・洋紙）と様々なところに記録されてきた。これらのうち、我が邦の文献資料として、東洋（中国）の漢字資料を見事に取り込み、そこからこの風土に見合った形態に置換し発展させた仮名と真字による文化融合利用の適合性。漢字仮名混じり文が織り成す文化土壌を知り、少しく見つめ直すことで、日本語の文化資源を学習してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 文字との出会い
- 2 日記・記録類と説話資料『今昔物語集』を探る
正倉院文書・木簡にみる日常語文・六国史の世界・文字（かな・カナ・異体字）
- 3 公家文書と武家文書そして寺社文書（表白）
- 4 書簡文書の作法 往来物・消息など
- 5 法制にみる文献資料 滝沢馬琴編、読本『青砥藤綱模倣案』
- 6 寺小屋の教科書を読む
- 7 事件文書を追う瓦版から新聞へ
- 8 速記・講演記録

履修上の留意点

日本語で刻まれた多種多様の文化情報資源でもある古代から近代にわたる文献資料を正確に読みとる力を身につけることを第一義の目的とした。見る・読む・わかるといった個人レベルの次元から一歩を踏み出し、異文化領域からの疑問、なぜそう読むの？いつそのように用いるようになったの？どこに行けばもっと詳しいことがわかるの？などといった実用質問に自信をもって対応できる日本語文化資源情報能力を養うことを目的とする。
必要な資料は、その多くをネット公開資料を随時活用、利用し、毎回それぞれの課題を提示し、考察を深めていくことになる。

参考書等

橋本進吉『古代国語の音韻に就いて』（岩波文庫）1980年
大野 晋『日本語をさかのぼる』（岩波新書）1974年
岸 俊男『ことばと文字』（『日本の古代』14）（中央公論社）1988年
小松茂美『かな - その成立と変遷』（岩波新書）1968年
小松茂美『手紙の歴史』（岩波新書）1976年
『日本国語大辞典』全20巻（小学館）1976年→改編第二版随時参照2000年11月～2001年11月

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原典講読	せいだ けいこ 清田 啓子	短国1・2選	4

講義のねらい

科目名に示される通り、原典を読みこなすことを第一の目的とする。今年度は原典を江戸時代の版本とする。文字を読みこなし、内容を理解して、近世期の人々の読書を追体験してみよう。

講義の内容・授業スケジュール

原典としてとり上げる書物は、文学書・教養書その他さまざまになる予定。古い書体に慣れるため、低年令向きの材料から始めたい。

履修上の留意点

資料に早くなじむためには出席が不可欠。受講者の選択する資料の読解にも応じたいので、意欲的な参加を望む。

成績評価の方法

時間内の作業や質疑・時々の宿題や小テストその他を総合的に考える。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

「変体仮名の手引」として、各自が使いやすいもの。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語学	かたやま はるかた 片 山 晴 賢	短国1・2選	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。
 私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声／音韻・文字・語彙の各方面から概説します。
 なお、概要は次の通りです。

- ・音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか
 どのように声を作っているのか
 音声をどのように表記するのか
 アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷
 仮名遣いの諸問題
- ・語彙：語彙の種類とその特徴
- ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教 科 書

適宜プリントを配布します。
 春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参 考 書 等

その都度指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語史	はぎはら よしお 萩 原 義 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に掘える形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の眼でしかと見据えていくことを目的とする。そのなかで、古代から現代までに伝わる国語資料についての現状の把握が第一となる。そしてどう時代区分されているのかを知らねばなるまい。そのうえで、将来どのように国語研究として重要性を持ち、どのように発展していくかを認識していただきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | |
|----------------------------|--------|
| | 計画案 |
| ①国語資料の領域とその分野別区分を学ぼう。 | [4、5月] |
| ②古代語の新発見とその資料。 | [6、7月] |
| ③50音図といろはうたの文化。 | [9月] |
| ④古典語に見る内と外 | [10月] |
| ⑤近代語としての口語（方言資料も含む）と文書語。 | [11月] |
| ⑥異国からみた日本語とは、どのような言語だったのか？ | [12月] |

成績評価の方法

上記6つごとの課題提示の回答に従って評価する。

教 科 書

インターネットにテキスト資料“国語史”を公開する。[URL <http://user.komazawa.com/hagi>]

参 考 書 等

- 『講座国語史』第1巻から第6巻（大修館）
- 『日本語の歴史』全7巻（平凡社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語文法 古典文法	かたやま はるかた 片 山 晴 賢	11以降入学生/短国1・2選 12以前入学生/短国1必	4

講義のねらい

古典読解に役立つ文法理論を展開する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は日本語の特質・文法学説史の講義を中心として、後期は古典語の助詞・助動詞を中心とした授業となる。

履修上の留意点

予習・復習を怠らず、毎時間『古語辞典』を持参すること。

成績評価の方法

出席状況・定期試験・小テストをもとに総合的に評価する。

教 科 書

『国文法要説』文語篇（おうふう）1,500円＋税

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報言語学	はぎはら よしお 萩 原 義 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

「電脳国文学」ということばをあなたは理解できますか。まさに電脳システムに基づく国語・国文学研究をめざします。ネット上には、電子テキスト、写本原画像、はたまた学術研究者の公開論文など多種多様な研究すべき素材とテーマがそれぞれのホームページに常時拡張しつづけています。これらのデータをパーソナル・コンピュータという電子の道具をもって利用し、かつ自身ももっとも必要とする情報収集・整理そして自らのレポート・論文作成まで学習していくものとなります。前期で基礎編、後期で応用編を学習していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

基礎編

I 情報収集

- ①URLの仕組み
- ②ブラウザの基本操作
- ③検索の方法
- ④役立つ情報資料
- ⑤周縁圏のガイドライン情報
- ⑥新聞記事を検索で読む
- ⑦展示会・催し物などの情報へのアクセス
- ⑧旅宿・地図・時刻表を読む
- ⑨就職情報へのアクセス
- ⑩ネット交流 - メール送受信・掲示板。著作権など

II 情報整理

- ①エディタとワープロ（利便な機能習得）
- ②データベース（基礎データ作成）

応用編

発表用資料の組み立てを知ろう
自分の研究資料に基づく固有辞書の登録（歴史的假名遣い入力など）
漢字（旧漢字や難字・難読漢字をどう理解し、どう活かすか）
電子データのレポート原稿作成
漢字索引・假名索引の製作

教 科 書

《前期分》

漢字文献情報処理研究会編『電脳国文学』CD・ROM付（好文出版）3,200円＋税

《後期分》

講義の際、追って指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語教育	おくはら じゅんこ 奥 原 淳 子	短国1・2選	4

講義のねらい

目的は、「日本語を客観的に分析する態度を養うこと」にあります。

国語教育が、幼い頃から自然に身に付けた言語知識を基に学んでいくのに対して、本講義は、無意識に学んだ日本語を外国語としての日本語という視点から、その規則や表現の奥に隠された日本人の思考を意識化し、さらに、それを教育という視点から捉えなおすものです。

例えば、「書く」という動詞が「五段活用」であることは、「-ない」に接続させ、「あ段」に活用することから判断します。しかし、それは私たちが「書かない」と言う言葉を知っているから分類できることです。「書かない」という言葉を知らない人（日本語を母語としない人）は、どうやって「書かない」を生み出すのでしょうか。また、「食べる」から「食べない」を生み出すのでしょうか。

本講義では、日本語を外国語としての日本語と位置付け、日本語の特徴と、日本語を母語としない人たちが何をどうやって習得していくのか、その具体的な方法や直面する問題をさぐり、さらに、日本語や日本文化の持っている特性を明らかにしていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

まず、「日本語教育」というものがどんなものであるか、また、日本語はどんな地域でどのように学ばれているのか、その現状を日本国内外から概観します。次に、日本語の特徴を、音声・文法・文字・語彙などから見ていきます。そして、「日本語を教える」ということがどういうことなのか、教授法や教材を紹介していきます。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとりたいと思えます。従って、受身でなく、自ら調べ、分析するという態度で臨むことを期待します。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度・試験

教科書

開講時指示します。

参考書等

開講時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
異文化コミュニケーション	おくはら じゅんこ 奥 原 淳 子	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。
「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。
近年、国際化がますます進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況にあって、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。
しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思えます。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、以下の問題について考えていきます。
・「日本人」とはだれか。
・「コミュニケーション」とは何か。
・それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
・文化摩擦はどうして起こるのか。
・言語や非言語コミュニケーションは国によってどう違うのか。
・日本文化や日本語にはどんな特徴があるのか。
・異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるのか。また、そのためにはどうしたらいいのか。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとりたいたいと思えます。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度・試験

教 科 書

開講時指示します。

参 考 書 等

開講時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国文学講読	しみず ひろこ 清 水 浩 子	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

『唐宋八家文』、『白氏文集』、唐詩を学ぶことによって漢文に親しみ、中国の文学への理解を深め、平安文学への影響を考える。

成績評価の方法

年間数回の試験と授業中の発言によって判定を行う。

教 科 書

中村璋八編『中国思想文学通史』（明治書院）及びプリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国文学史	しみずひろこ 清水 浩子	短国1・2選	4

講義のねらい

中国文学史を通史として学ぶことにより、中国文学への理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

各時代を2～3時間で学んでいく。できるだけ作品も読みたい。作品は教授者がコピーを用意するが、時には各自で紹介してもらうこともある。

履修上の留意点

意欲を持って受講して欲しい。

教 科 書

佐藤一郎著『中国文学史』（慶應義塾大学通信教育部）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
和歌文学Ⅱ	さかくちひろき 坂口 博規	短国1・2選	4

講義のねらい

平安時代最末期に生きた歌人西行法師は、我が国の歌人の中でも長く愛された歌人の一人である。西行は後代に影響を与え、その精神は継承されている。特に中世文学の開拓者としての位置が求められる。西行の生涯を通して、その中世文学の精神を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

西行の和歌のうち、特に旅の歌を中心に読みながらその生涯を考える。また西行は「花月の歌人」とも称される程、多くの桜と月を詠んだ歌を残している。その耽美的精神を考えたい。通年で若い時期の作歌から読み、所謂「円熟型」の歌人の詩精神を考えたい。

履修上の留意点

授業では西行の作歌の一部しか触れ得ないので、是非その他多くの作歌も鑑賞してもらいたい。授業の折々に紹介する。

成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、その評価に出席状況を加えて評価する。

教 科 書

開講時に指示する。主にプリントで和歌等資料を示し、これをもとに講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
物語文学Ⅰ	すずきひろこ 鈴木 裕子	短国1・2選	4

講義のねらい

『源氏物語』第一部の中から、玉鬘物語を取り上げます。玉鬘十帖の意味を物語全体の構造の中でとらえ、『源氏物語』という長篇の物語作品について理解を深めましょう。

講義の内容・授業スケジュール

夕顔の遣見・玉鬘と光源氏が織りなす恋物語を読みながら、物語に描き出されている人間関係の諸問題について考察しましょう。

履修上の留意点

授業はテキストを用いての講義形式が中心ですが、受講生が積極的に考え、表現する機会を設けるために、頻繁に短いレポートなどの課題を課します。

成績評価の方法

学年末に提出するレポート、授業中の発表内容・発言、出席状況（欠席・遅刻しないことは前提）などから総合的に行います。

教 科 書

『源氏物語の鑑賞と基礎知識 初音・胡蝶・螢』（至文堂）

参 考 書 等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
物語文学Ⅱ	そのべみきお 菌 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい

物語文学のなかから、『住吉物語』をとりあげる。『住吉物語』は、典型的な継子いじめの物語で、『源氏物語』にも影響を与えているが、何度も改作が行なわれ、中世には御伽草子の域にまで展開したものである。この作品を、一年かけて講読していきたい。また、作り物語の展開にも触れ、享受の面から、物語文学の特質にも言及したい。

講義の内容・
授業スケジュール

年間を通じて『住吉物語』を講読する。

履修上の留意点

毎時間、その日の講義内容に対する短い意見文を提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間に提出する意見文で50点分を評価し、12月の時間内に50点満点の筆記試験を行なう。試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込んで参照してよい。なお、1月の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートに関する連絡（該当者・テーマ・提出期限など）をするので、必ず出席すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて、授業時間内にそのつど紹介する。

国文科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
説話文学Ⅰ	そのべみきお 菌 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい

説話文学のなかから、代表的な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらの話との比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、家集・歌学書・物語・歴史書・日記等々、あらゆるジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の特質も浮彫りにしてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、『宇治拾遺物語』の編者を明らかにすることを中心に講義する。後期は、『宇治拾遺物語』の編者の視点から見て、そこに収められた説話をどのように読むとよいかを中心に講義する。

履修上の留意点

前期の講義内容は、昨年度の「説話物語Ⅱ」の講座における前期の講義内容と重複する部分が多いので、昨年度に「説話文学Ⅱ」を履修した学生は、このことを承知のうえで履修すること（後期は扱う話がまったく異なる）。また、毎時間の最後に、その時間の講義に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持って授業に臨むこと。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう（試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込んで参照してよい。ただし、受講者が極端に少ない場合はレポートに切り替える）。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』（角川文庫）

参考書等

『駒澤短大国文』32号

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日記文学Ⅱ	さ か く ち ひ ろ き 坂 口 博 規	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

日記文学の文学性の本質に「自照（＝自己観照）精神」を問う。自己の内面に向き合う作者の自己省察の姿勢や精神を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに日記文学（特に女流日記文学）の流れを解説し、主に中世鎌倉時代に生きた阿仏尼の若い頃の失恋体験を記す『うたたね』と、紀行文学のジャンルに加えられる『十六夜日記』を取り上げ、作品を読んでゆく。前期と後期にそれぞれ二作品を配当して、阿仏尼の生涯と文学を考える。

履修上の留意点

作品講読を主とする授業ではないので、細かな注釈や口語訳を与えないので、取り上げる阿仏の二作品他について、授業時注釈書等指示するので、出来るだけ作品全体に目を通してほしい。

成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、出席状況を参考にして評価する。

教科書

プリントを配布、これをもとに講義をすすめる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴史文学Ⅰ	そ の べ み き お 園 部 幹 生	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

歴史文学のなかから、代表的な歴史物語である『大鏡』をとりあげる。昨年度の「歴史文学Ⅱ」の講座のなかで、『大鏡』を読み、道隆伝、および、その関連作品を取り扱ったので、今年度は序文と、道隆伝の続きに当たる道兼伝を講読する。ただし、道兼伝の他に、『栄華物語』のような関連のある歴史物語や、日記・説話の類も読むことになる。それらを通じて、歴史の事象を多面的に捉え、立場による視点の違いを知ること、歴史文学についての理解を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通して『大鏡』序文と道兼伝や関連作品を読み進める。

履修上の留意点

毎時間、授業の最後に、その時間の講義内容に対する短い意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文によって50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の試験を行なう。試験には、ノート・テキスト・参考書・辞書など、何でも持ち込んで参照してよい。なお、1月の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡（該当者・テーマ・提出期限など）を行なうので、必ず出席すること。

教科書

『大鏡』の全文が載っているものであれば、何でもよい。むしろ、各受講者が異なる出版社の『大鏡』を持って授業に臨み、比較・検討できれば、その方がよい。

参考書等

必要に応じて、授業時間内にそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
連歌・俳諧Ⅰ	^え ^ち ^ご ^け ^い ^こ 越 後 敬 子	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

連歌の発生・隆盛から初期俳諧への移行、芭蕉の蕉風俳諧確立へという、連歌・俳諧の歴史的な流れを把握するとともに、連歌・俳諧が複数の作者によって長句（五・七・五）と短句（七・七）を交互に付け連ねてゆく「付合文芸」であることを理解する。また、いくつかの実作品を鑑賞することによって、その魅力に触れてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 付合文芸とは何か
- 2 連歌の歴史
連歌の発生・展開・確立（『菟玖波集』・『新撰菟玖波集』等鑑賞）
- 3 初期俳諧への移行
貞門俳諧（『犬子集』鑑賞）・談林俳諧（『天満千句』鑑賞）
- 4 芭蕉
芭蕉の発句・連句（『猿蓑』等鑑賞）
- 5 芭蕉以降の俳諧

履修上の留意点

適宜、影印資料（当時の書籍をコピーしたもの）を配布するので、変体仮名に慣れてほしい。

成績評価の方法

前・後期末の試験に平常点（出席、授業への貢献度）を加味する。

教 科 書

佐藤勝明・竹下義人・谷地快一・宮脇真彦編『連句の世界』（新典社）1,300円

参 考 書 等

櫻井武次郎『連句文芸の流れ』（和泉書院）、乾裕幸・白石悌三『新版連句への招待』（和泉書院）、その他授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近・現代詩Ⅰ	^い ^の ^う ^え ^{まさる} 井 上 優	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

シクロフスキーは、「日常的に見慣れた事物を奇異なるものとして表現する 非日常化 の方法が芸術の方法」であると言った。これを文学に引き付ければ、文学／非文学の違いは、文学とは日常の見慣れた使い古された言葉を 非日常化 したものであるということになる。こう言うと分かったような気もしてしまうが、非文学とされる日常語自体が性別、出身地、階層、宗教、職業により多様であり、皆が同じ日常語を共有しているという考え方は幻想であり、文学的言語、詩的言語が何であるのかは容易に括れない。だが、だからこそ詩を考えることは文学やその諸相を取り巻く環境を考え直して行く上で大切なことなのだ。日本語で書かれた明治期以降の詩作品の魅力や問題を探ってみよう。

講義の内容・
授業スケジュール

詩を読む上で現代文学理論を踏まえることで何が可能となるのか、いくつかの理論の中である理論に立つと詩作品から何が見え、また同時に何が見えないままになってしまうのか、言語や記号への考察を含め、文学理論の極めて初歩的な事柄をも概観しつつ、詩作品の解釈を試みる。

履修上の留意点

授業は論理的に物事を考える作業の連続となるので、受講学生は辛抱強い学習態度が要求される。ゆえに、ただ漫然と出席だけしていようという人には毎時間が大変つらいものとなるし、当然単位の修得は困難を極める。また私語や携帯電話の使用をした者については以降の出席を認めない場合があるので注意。科目登録の際には、くれぐれも自省した上で決定してほしい。

成績評価の方法

学年末の試験と出席状況や学習態度も考慮して多面的に評価する。適宜課題も出す。

教 科 書

多くはプリントを配布するが、入手容易なものは文庫本などの購入を指示することもある。

参 考 書 等

授業の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児童文学Ⅰ	ないとう ひさこ 内 藤 寿 子	短国Ⅰ・Ⅱ選	4

講義のねらい

児童文学を取り巻く現在の状況は複雑です。子どもの活字離れはつねに問題とされていますが、その一方で、昨年は「ハリーポッター・シリーズ」が空前の売れ行きをみせました。また、絵本の「読みきかせ」がコミュニケーションの手段として注目されるなど、児童文学を「読む」という行為も多様化しています。講義では、このようなく児童文学の現在>を考えながら歴史をふりかえり、日本社会における児童文学・児童文化の位置を明らかにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

<児童文学の現在>を概観した後、まずは巖谷小波『桃太郎』（1894[明治27]年）を取りあげます。『桃太郎』はだれでも知っている物語ですが、物語のディテールは歴史の流れの中でさまざまに変化しています。描かれた『桃太郎』からは、その時代に理想的とされた「子ども」のイメージを読みとることもできるのです。講義では、文学作品だけでなく、『少年世界』や『赤い鳥』『こどものとも』といった児童雑誌や漫画も視野に入れ、児童文学・児童文化の歴史を多角的にとらえていきます。

履修上の留意点

授業は講義形式ですが、映像資料も使用する予定です。また、教師の一方的な講義にならないよう、絵本の「読みきかせ」の実践や書評などもおこなってもらいます。児童文学を「読む」という行為に積極的に参加する態度を求めます。

成績評価の方法

2度（前期・後期）のレポート提出、授業への参加度、出席状況をあわせて成績をつける予定です。内容や提出方法については授業中に指示します。

教科書

『展望 日本の児童文学』（双文社出版）1,800円
適宜プリントも配布します。

参考書等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
随筆・評論Ⅰ	すずき ひろこ 鈴 木 裕 子	短国Ⅰ・Ⅱ選	4

講義のねらい

『枕草子』を読みます。この作品はそれまでにない新しい文学のスタイルを打ち出したものと言えるでしょう。そのような作品の表現の特色は何か、またこの作品はいかなる美意識に支えられているか、あるいはまた、そこに描き出される宮廷生活とはどのようなものかなど、考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

『枕草子』の中から章段を選んで、作品の全体像が把握できるように、読み進めていきます。周辺の資料も読みながら、『枕草子』のおもしろさを味わいましょう。

履修上の留意点

授業は主としてテキストを用いての講義形式です。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

学年末に提出するレポート、授業中の課題や発言、出席状況（欠席・遅刻しないことは前提）などから総合的に行います。

教科書

増田繁夫校注 『枕草子』（和泉書院）

参考書等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
軍記文学Ⅰ	た な か し ん さ く 田 中 伸 作	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

軍記文学の雄『平家物語』を流布本によって読む。『平家物語』は語り本系と読み本系に大別される諸伝本があり、流布本は前者に属する。各伝本によって記述内容に異同があり、その点も確認しながら平家一門の滅亡の物語を読み進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

物語の主題である「盛者必衰」に即して、『平家物語』の三主人公とも言うべき平清盛・木曾義仲・源義経の栄光と没落の落差に「無常」の文学性を考えるが、授業としては主に清盛の滅亡の因たる悪行を、鹿谷事件の顛末・女人哀話とされる「祇王」「小督」の話・福原遷都をめぐる話に見て、結果としての非業の死までを読みたい。授業開始にあたり軍記文学の流れを概説し導入とする。

履修上の留意点

『平家物語』全体を通読することは叶わないので、出来るだけ授業で触れない物語部分についても読んで欲しい。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。本文解釈を中心として出題、更に論述形式の設問も加える。出席状況も評価の対象とする。

教 科 書

野村宗朔編『昭和校訂平家物語』（武蔵野書院）1,529円

参 考 書 等

授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歌謡Ⅱ	かわかみよりこ 川 上 順 子	短国1・2選	4

講義のねらい

本年度は昨年に引きつづき、日本書紀歌謡から統日本紀歌謡へと入っていく。いよいよ奈良に都が移り、平城京を潤歩した人々が口ずさんだ、神楽歌・催馬楽等を、出来ればビデオ等で見る勉強もする。今年度から学習する人々のために、前年度の復習から開始するので、『古事記』の教科書を用意すること。

講義の内容・授業スケジュール

- a, 最古の歌謡
- b, 八千矛の歌
- c, 久米歌
- d, 歌垣
- e, 童謡（ワザウタ）
- f, マトタケル物語と歌謡
- g, 酒宴（サカホガイ）
- h, 矢河枝比売物語と歌謡
- i, 髪長比売物語と歌謡
- j, 服属儀札の歌
- k, 仁徳記歌謡
- l, 志都歌・本岐歌・夷振・宮人振
- m, 雄略記歌謡
- n, 鬨歌

履修上の留意点

- a, 出席を必ずとる。
- b, 講義ノートにもとずく小テストを数回行うので、教室へは専用ノートを必ず持参すること。

成績評価の方法

- a, 出席回数
 - b, 小テストの点数
 - c, 夏休みレポートの評価点
 - d, 期末レポート試験の評価点
- (上記のものを総合して成績を評価する)

教 科 書

- ・西宮一民編『古事記』（おうふう）1,900円
- ・日本書紀歌謡・風土記歌謡・統日本紀歌謡はプリントを配布する。

参 考 書 等

参考書等はそのつど指示する。

そ の 他

授業は講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
短歌・俳句Ⅱ	さ さ せ お う じ 笹 瀬 王 子	短国1・2選	4

講義のねらい

近代の短歌ならびに俳句を考える。短歌、俳句は長らく日本固有の伝統芸術としてあったが、他の文学同様に明治期に〈近代〉の洗礼を受けることとなる。そして、伝統と革新との波に翻弄されながら、近代文学として見事に再生を果たす。その過程を代表的な歌人、俳人の作品を通して辿ることで、それぞれの文学の魅力を考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

短歌、俳句共に明治・大正期の作家作品を中心に講義を進める。最初は、正岡子規によってなされた近代俳句革新運動を概観し、次に彼の後継者たる高浜虚子の『俳句はかく解しかく味う』を中心に現代俳句への道程を探る。続いて、子規や詩歌雑誌『明星』に拠った与謝野鉄幹、晶子らによって展開された近代短歌革新運動を概観の上、代表的な歌人の作品を鑑賞する。テキストを中心に、なるべくわかりやすい歌を選んであくまでも作品に親しむことを主眼にその世界を味わいたい。また、実際の作歌、作句の機会を設け短歌俳句の真髄へと一歩でも近付けたらと考える。

履修上の留意点

短歌と俳句はどちらも、あらゆる文学ジャンルの中で私達にはもっとも身近な短詩形のスタイルを持つ。したがって、はじめから難解なもの、縁のないものとの先入観を持つことなく、講義に先立って歌句を暗唱出来るぐらい前もって作品に親しんでおいてもらいたい。

成績評価の方法

平常点、レポート、試験等を総合的に評価する。

教科書

高浜虚子『俳句はかく解しかく味う』（岩波文庫）
安森・末竹編『近代短歌と現代短歌』（双文社出版）

参考書等

必要に応じて教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代小説Ⅰ	い し わ り と お ろ 石 割 透	短国1・2選	4

講義のねらい

戦後のわが国の代表的な作品テキストを読み、現代にまで通じる多様な課題を検討していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

戦後を代表する作家、三島由紀夫、小島信夫、安岡章太郎、宮本輝、松本清張、水上勉、日野啓三などの作品を読み、戦後の種々な課題を検討する。

履修上の留意点

採りあげる作品は、長編小説であることが多いが、できうる限り、授業に臨むに際し、その時間に採りあげる作品を読んでおくこと。

成績評価の方法

年間に2度ほどレポートを提出。主にその内容によって評価する。

教科書

三島由紀夫『金閣寺』『仮面の告白』『午後の曳航』、宮本輝『泥の河・螢河』『道頓堀川』『錦織』
松本清張『ゼロの焦点』『点と線』『黒い画集』、水上勉『飢餓海峡』（新潮文庫）など。

参考書等

授業時に指示する。

その他

主に講義で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代小説Ⅱ	こばやし 小林 治 おさむ	短国1・2選	4

講義のねらい

戦後の日本文学史上、その位置づけが困難とされる、いわゆる「風変わり」で、「異端」の作家に、安部公房、深沢七郎の二人がいる。むろん、二人が遺した小説の多くは、現実を写そうとする旧来のリアリズムと対極にある。しかし、皮相なリアリズムによっては切り捨てられ、あるいは隠蔽されて、闇に葬られてきた生活者の身体感を露出させているという意味において、これほど現実を反映している小説は稀有とあってよく、その点において二人の作家は共通している。一年間、二人の代表的な小説を精力的に読み進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

安部については、昭和20年代から30年代にかけての短編小説を、深沢については昭和30年代の中短編小説を順次取り上げる予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる小説を指示するので、文庫、個人全集、あるいは各出版社の現代日本文学全集などで、事前に小説を読んでおいて授業に出席のこと。

成績評価の方法

数回のレポートの内容に、出席状況を加味して評価する。

教科書

安部公房『水中都市・デンドロカカリヤ』（新潮文庫）
『R62号の発明・鉛の卵』（〃）
深沢七郎『槍山節考』（新潮文庫）
『東北の神武たち』（〃）

参考書等

授業で、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
古典戯曲演劇	せいだけいこ 清 田 啓 子	短国1・2選	4

講義のねらい

日本の古典芸能に親しみ、鑑賞眼をやしなうための、必要な知識を与えることを目的とする。参加者には、能・人形浄瑠璃・歌舞伎をそれぞれ最低一回鑑賞し、レポートを提出する義務を課す。

講義の内容・授業スケジュール

日本演劇の大まかな歴史を解説し、随時都内又は近郊で上演される上記三種の芸能に関して解説・案内する。基本的に浄瑠璃の歴史を中心に、他に及ぶ予定であるが、上演の現実的な状況から、厳密なスケジュールは立てられない。

履修上の留意点

上記三種の芸能を鑑賞する余力—時間的、経済的、精神的余裕—が必要である。

成績評価の方法

上記三種のレポートと、総括としての期末試験による。

教科書

影山正隆編『人形浄瑠璃関係資料（抄）』（新典社）515円

参考書等

教場にて指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代戯曲演劇	まつだ なおゆき 松 田 直 行	短国1・2選	4

講義のねらい

日本における近代演劇の成立と展開を中心とした演劇史の講義を進めながら、現代をも視野に入れて、社会における演劇の役割を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の近代演劇は、西洋の様々な文化とともに外からもたらされた。能や歌舞伎といった伝統芸能との根本的なあり方の違いを考えれば、その時日本人は初めて「演劇」を目にしたとも言える。まずは近代演劇が日本に紹介された歴史的事情を理解した上で、近代演劇の理念に触れる。日本人が書いた作品だけでなく、西洋の近代戯曲がどう翻訳され紹介されたのかを検証し、西洋の演劇理念を日本人がどのように理解し、そこから何を生み出したのかを考える。その後の展開については、伝統的な表現と結びついた新派劇、近代文学の1ジャンルとしての戯曲文学、社会思想と結びついた左翼演劇など、多様な表現へと分化する。その多様性を見極めるには、近代の「演劇」という理念からはこぼれ落ちた様々な「芸能」をも視野に入れる必要があり、大正時代の浅草オペラや、エノケンの喜劇、宝塚のレビューなどにも触れたい。こうした作業を通じ、劇場という場で演者が観客に向かって何かを上演すること（それを「パフォーマンス」と呼ぶ）の可能性を考える。戯曲のテキスト研究ではなく、パフォーマンスという表現=コミュニケーションの一形態に関する総合的な論考となる。

履修上の留意点

ビデオを使っていくつかの上演を見るが、実際に劇場に足を運んで、自らその場で体験しなければ演劇は根本的に理解できない。上演中の舞台を授業でも紹介するので、できるだけ自分で実際の舞台を見てきてほしい。

成績評価の方法

演劇史については、教科書・プリント持込可の教場試験を行う。また授業で適時レポート提出を求め、出席による平常点も加えて総合的に評価する。

教 科 書

演劇史についてはすべてプリントを配布するが、演劇とは何かを考えるためのテキストとして、平田オリザ『演劇入門』（講談社現代新書1422）600円を使用する。

参 考 書 等

随時プリントで指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較文学	いしわり とおる 石 割 透	短国1・2選	4

講義のねらい

具体的な芸術作品、主に文学作品を検討し、その引用、翻案などのあり方を検討することによって、文化的継承と断絶のありようの側面を検討したい。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、主に芥川龍之介の初期の作品、『羅生門』『鼻』『芋粥』などのテキストに即して具体的に検証する。

履修上の留意点

前もって授業に関わる他の作家の作品、外国の作品、絵画などを指示しておく。授業には芥川龍之介の作品に止まらず、そうした作品にも関心を深めておいて臨んで欲しい。

成績評価の方法

年間に2、3回レポートを提出。主にそれに基づいて評価する。

教 科 書

『芥川龍之介全集1』（ちくま文庫）

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

講義によって進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女性史	たかしま 高 嶋 めぐみ	短国1・2選	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけないこと。

成績評価の方法

総合評価 (①出席、受講の状況②レポートまたは試験)

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHPなど適宜使用する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女性学	ふじたかづみ 藤 田 和 美	短国1・2選	4

講義のねらい

「女性学」とは既存の知や文化をジェンダー（性別）の視点から読み直し、読みかえるものである。近代以降の女性解放運動から現代の女性学研究まで「女性学」という学問の成立の歴史的経緯とその成果をふまえ、法律や制度に目をやりながら、家族関係、性、暴力、労働、教育、表現など現代の女性をめぐる諸問題を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、現代の女性学研究までの近代の女性解放運動の歴史を学び、前期は近代社会における家族関係、女性労働、教育、性と生殖の問題など、それぞれの変遷を追いながら、女性の主体的な生と性のあり方をさぐる。後期は女性と表現の問題を中心にすすめる。文学、美術、漫画、音楽、映画など女性芸術家の作品を鑑賞しながら、女性が何を表現してきたのか、どのように女性が表現活動に参入してきたのか、性による参加と排除のシステムを検討する。

履修上の留意点

あらゆることに広く関心をもち、主体的に取り組むこと。

成績評価の方法

年2回のレポートと授業時に毎回提出する感想文、出席などで総合的に判断する。

教科書

井上輝子・江原由美子編『女性のデータブック』（有斐閣）3,100円

参考書等

講義開始時に文献リストを配布する。

その他

講義を中心とする。テーマによってはビデオなどの視聴覚教材を用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文芸創作	まつだ なおゆき 松 田 直 行	短国1・2選	4

講義のねらい

小説、詩、シナリオ、歌詞など（ジャンルは問わない）の作品を、自分で実際に書いてみる授業。いわゆる「小説の書き方」といった技術の問題よりも、各自が表現する動機を発見し、自分自身のスタイルで表現できるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は各自にとって身近な表現からスタートする。歌詞、日記、携帯メールのやりとりを表現形式としてとらえた創作など、授業の中で順次課題を出すので、その中から自分が書きたいと思うものを選んで作品を提出してもらおう。後期は自分の選んだジャンル（形式は自由）のまとまった作品を完成させることを目指す。提出された作品は、授業でプリントして全員に配り、お互いの作品を読んで批評しあう。最終的には、自分の作品をインターネット上で公開する作品集に掲載することを目標とする。

履修上の留意点

前期・後期あわせて数回の作品提出が課せられる。実際に作品を書くのは、授業時間ではないので、各自で創作のための時間を十分に取り、自分で納得できる作品を提出してほしい。

成績評価の方法

文章の技巧的な巧拙よりも、それぞれが自分自身の表現をどこまで見つけ出すことができたかを重視した評価をしたい。出席回数と授業での提出物による平常点も加味して成績を評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

参考書は指定しないが、昨年度までのこの授業で提出された作品をホームページ上に掲載しているので、参照してほしい。アドレスは、http://www.komazawa-u.ac.jp/du/Matsuda_Seminar/

その他

個々への指導が必要となるため、受講希望者が36名を越えた場合、2年次生を優先した抽選を行うので、初回の授業に必ず出席すること。受講許可なしに科目登録しても、単位は与えられない。

国文科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学概論	そのべ みきお 菌 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい

日本文学全般についての概説をおこなう。文学理念や作品の意義、社会的・文化的背景との関連、ジャンル意識の問題等々幅広い内容にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

年間を通じて、時代を追って上記内容についての講義を行なう。

履修上の留意点

毎時間、その日の講義内容に関する短い意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間の意見文で50点分を評価し、12月の時間内に50点満点の筆記試験を行なって評価する。なお、最後の授業時間中に、100点満点の素点を伝えたくて、追再試験に相当するレポートに関する連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

村松定孝『文学概論』（双文社出版）1,800円

参考書等

必要に応じてそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有職故実	お お つ か ひ で こ 大 塚 英 子	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実（正しい前例）に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された、前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解説の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論じることにより、日本文化の研究に一視点を提供したい。具体的な方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期A、「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明する。必ず出席してほしい。

B、平安朝の服飾文化

1. 古代服制の歴史的变化をたどり、平安初期に唐風服飾として完備した時の姿を、各種の資料から考える。
2. 律令服飾制を規範としながら、平安貴族社会がどのような流行を生み、それがまたいかなる制度を生じたかを考える。
3. 平安文学の中心となる撰閨期の男性装束・女性装束を細部にわたって解説。また、かさね色目の標本で当時の色を調べる。
4. 『源氏物語絵巻』のビデオを見る。

後期A、平安朝の年中行事

1. 『源氏物語』花宴をめぐって曲水宴・重陽宴と比較し、文化的年中行事を考える。
2. 正月の年中行事を詳説。特に朝賀の儀式の持つ政治的意味について考える。

B、平安朝における官職位階の制度

常時OHPを用いて、視覚的にわかりやすく講義をするが、必ず出席していないと十分な修得はできないので留意すること。

履修上の留意点

成績評価の方法

夏休みレポート「源氏物語絵巻における服飾と調度」（絵の模写・復原をふくむ）と、学年末テストを総合して評価する。

教 科 書

河鱈実英『有職故実』（塙書房）1,900円、源氏物語絵巻のコピー、及びプリントを使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化概論	<small>いのべ</small> 菌部 幹生・井上 優 <small>よことう</small> 佐藤 憲昭・末藤美津子 <small>ふじた</small> 藤田 和美	短国1・2選	4

講義のねらい

「タブー」(taboo)を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・
授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことは、各担当者により指示があるのでそれに従うこと。
本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月17日(水) オリエンテーション

- ① 近代文学とタブー 《4/24、5/8、5/15、5/22、5/29、6/5 (6回)》 菌部幹生
 - ② 聖と俗 《6/12、6/19、6/26、7/3、7/10、7/17 (6回)》 井上優
 - ③ 教育におけるタブー 《9/18、9/25、10/2、10/9、10/16、10/23、10/30 (7回)》 佐藤憲昭
 - ④ 慣習のタブー 《11/6、11/13、11/20、11/27、12/4、12/11 (6回)》 末藤美津子
- ◎12月18日 まとめ 藤田和美

◎1月9日 レポート提出(資料室)

菌部幹生
井上優

履修上の留意点

最初の授業時(4/17)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
周縁芸術Ⅰ	<small>こばやし</small> 小林 治 <small>おさむ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

本講義における周縁芸術とは、文学の周縁にあつて、文学を触発し、影響を与え、その想像力を飛躍させ、同時に自己洞察させてきたところの他の様々な芸術、例えば音楽、演劇、映画、美術、写真などを指すこととする。ここでは、それら他ジャンルの芸術と言語表現による芸術—文学作品との関わりの諸相を、日本の近現代に事例をとってみていく。なお、外国文学と日本文学の関わりを考察する比較文学的事例もいくつか入るであろう。

講義の内容・
授業スケジュール

宮沢賢治、安部公房、村上龍、村上春樹などの作家、作品と周縁芸術の関係を順次みていく。例えば、賢治と音楽、演劇、安部と演劇、映画、写真、村上龍と音楽、映画、村上春樹と音楽などの予定である。

履修上の留意点

授業で取り上げた作品は、できるだけ多くを授業と平行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

数回のレポートの内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

その都度、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業で、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
周縁芸術 II	いしわり 石 割 <small>とある</small> 透	短国 1・2 選	4

講義のねらい

近代文学と美術、特に絵画、との関係、相互の表現における影響関係を検討しながら、言語表現の文学と、美術の表現手段、形態の本質を探り、その相似と差異を追究したい。

講義の内容・授業スケジュール

この時間は、わが国の明治20年代から30年代の文学、美術の状況、特に雑誌「文学界」「明星」を中心として、文学と美術の間の交流、相互の影響関係を、多様な視角から検討したい。

履修上の留意点

この時間は、美術作品について多く触れる事になる。受講者は、時に応じて画集をひろげ、美術館に足を運び、美術に対する関心、基本的な知識を深めるように努めて欲しい。

成績評価の方法

年間2回ほど、レポートを提出。多くはそれに基づいて評価する。

教科書

授業時に資料を配布。特に定めない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

主に講義による。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学特殊研究	鈴木 裕子・清田 啓子 松田 直行	短国 1・2 選	4

講義のねらい

「音」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者から、その都度指示があるので、それに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は次の通りである。

- ① 古代の物語と日記の音〈4/11・4/18・4/25・5/9・5/16・5/23・5/30〉 鈴木裕子
- ② 近世の文学における音〈6/6・6/13・6/20・6/27・7/4・7/11〉 清田啓子
- ③ 近代における西洋の「音」との出会い〈9/19・9/26・10/3・10/10・10/17・10/24・10/31〉 松田直行
- ④ 現代文学の中の音楽〈11/7・11/14・11/21・11/28・12/5・12/12・12/19〉 松田直行

履修上の留意点

最初の授業時（4/11）にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により総合的に評価する。

教科書

担当者により指示する。

参考書等

授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書道実習Ⅰ	な す た か よ し 那 須 隆 吉	短国1・2選	2

講義のねらい

芸術全体の中で書道が東洋独自の芸術として、どんな特質を持つのかを考察しながら、書道の基礎的知識と技法を習得すると共に鑑賞力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 執筆法、用筆法、運筆法及び用具用材とその取り扱い方について学ぶ。
- ・書体とその変遷を理解する。
 - ・初歩的な楷書、行書、草書の書法を習得する。
 - ・仮名の単体、連綿体を学び、平仮名、片仮名の成立、及びいろは歌、五十音図について理解する。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席、清書の提出（又、随時レポートの提出）等を総合して評価する。

教 科 書

『大学書写書道教育』（第一法規出版）

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書道実習Ⅱ	な す た か よ し 那 須 隆 吉	短国1・2選	2

講義のねらい

漢字仮名の代表的古典を学び、書道についての理解と鑑賞力を高め、書道文化の素晴らしさを味わいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・古典の解説と臨書により、楷書法、行書法、草書法、仮名書法の習熟をはかる。
- ・変体仮名、及び代表的古筆について理解を深める。
- ・実社会で役立つ実用書道（手紙文、宛名書き、のし紙等の書き方）を学び、一層書道に親しめるようにしたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席、清書の提出（又、随時レポートの提出）等を総合して評価する。

教 科 書

『大学書写書道教育』（第一法規出版）〈書道実習Ⅰ、Ⅱ併用〉

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理	たにもと さちひろ 谷 本 玲 大	短国1・2選	4

講義のねらい

本講座では、人文学分野と情報処理技術の両方にまたがる課題実習を重視して、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

更に「情報をどのように利用し、どのように発信するか」、また、「ネットワーク上で他者とのように付き合うか」(電子メール、文章表現、著作権問題、プライバシーの問題など)についても考えてゆくこととした。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- 1 ガイダンス アンケート
- 2 起動～ログオン～終了/WWW体験/URLの仕組み
- 3 FDD初期化/WWW実習/Word基礎講座
- 4 今までの復習/パソコンが欲しい人へのアドバイス
- 5 タッチタイピング練習
- 6～8 Word実習 漢字の旧字体と長文入力に慣れよう
- 9 プライバシーについて/電子メール実習(1) メーラの設定
- 10 電子メール実習(2) 送受信の練習
- 11～15 Word総合実習

後期

- 16 前期の復習/WindowsのTIPS
 - 17～20 Excel基礎講座 Sort/オートサム/グラフ作成
 - 21～23 著作権/ハイパーリンク/絶対パス・絶対パス/HTML・他
 - 24～29 Myホームページを作ろう(1)～(6)
 - 30 コンピュータを活かす方法(一年間のまとめ)/成績発表
- ※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初心者～初・中級向け。受講希望者多数の場合は1年生を優先する。
 実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。
 課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。
 学生諸君の積極的参加を希望する。

成績評価の方法

受講態度や出席状況等の平常点と、課題・レポートを総合的に判断して評価する。

教科書

プリント、電子データを用いての実演などを適宜組み合わせる。

参考書等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用情報処理	谷 本 玲 大 <small>たにもと さちひろ</small>	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

本講座では、人文学分野と情報処理技術の両方にまたがる課題実習を重視して、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。
特に「情報活用」と「表現技術」について、就職活動の視点からアプローチしてゆくこととしたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 前期 1 ガイダンス アンケート
2 起動～ログオン～終了/WWW体験/URLの仕組み
3 FDD初期化/WWW実習/Word基礎講座
4 プライバシーについて/電子メール実習（1）設定・送受信
5 電子メール実習（2）自己アピール文の作成と送信
6 Excel基礎講座（スケジュール作成）
7～8 インターネットで自己診断/情報サイトに登録
9 Word実習（1）（定型文の作成/履歴書を作ろう）
10～15 Word実習（2）（インターネットで業界研究）
- 後期 16 前期の復習/WindowsのTips
17 PowerPoint講座（著作権/自己防衛・他）
18～22 PowerPoint実習（マナー研究）
23～24 PowerPoint発表会
25～29 Excel応用講座（Sort/簡単な計算/基本統計量/グラフ作成）
30 コンピュータを活かす方法（一年間のまとめ）/成績発表
- ※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初級～中・上級向け。受講希望者多数の場合は2年生を優先する。
実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。
課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。
学生諸君の積極的参加を希望する。

成績評価の方法

受講態度や出席状況等の平常点と、課題・レポートを総合的に判断して評価する。

教 科 書

プリント、電子データを用いての実演などを適宜組み合わせる。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実用表現法	はぎはら よしお 萩原 義雄	短国1・2選	4

講義のねらい

〈パフォーマンス〉話すこと・読むこと・書くこと

1、話すこと

話し方には一対一で向かい合って特定の人と話す話し方と、複数の人に対して語りかけるように話す人前での話し方とがある。このとき、同じ日本語でも標準語でなく自分の生まれ育った地域のことばで話すとしたら、この話し方はどう変貌するであろう。たとえば、青森出身の人と鹿児島出身の人とが話をしたら、どうであろう。また、ことばの豊富な多様性の高い人とまったくことばの知らない人とが会話したらどうなるであろうか。さらに、話し手の発話テンポはどう影響するだろうか、実際の話し方のパフォーマンス表現に従って、その話し方の解明を進めて見たい。

2、読むこと

声にだして読む、これを“朗読”という。声に出さずして目でおって読む、これを“黙読”という。後者の“黙読”は、どの程度のスピードで、どの程度理解して読んでいるのか第三者には定かではない。だが、前者の“朗読”については、声の質や抑揚である読み上げのテンポ・リズムミカルさなどから、朗読する側の伝達感覚状況をつぶさに知ることになるのである。ここでその読み方について、「音曲・語り・落語」などの多種多様な観点から考察を試みてみたい。

3、書くこと

次世代を超越して、人と人が出会うことのできる記憶媒体の形態として「書く」というパフォーマンスが存在する。何千年・何百年の過去の人物との出会える、いわば未来に残し伝えようとするメッセージ作成システムでもある。これを受信した人が、これをどう見つめ、どう表現しているのだろうか。実際、書くことのシステム領域を認識し、その書きぶりを知り、次にあなた自身が次の世代へ伝えていくメッセンジャーとして書く技術をどう生かしていくかを含め、大いに考えてみたい。

成績評価の方法

課題は、上記1、“話す”2、“読む”3“書く”部門毎に提示する。これによって評価する。また、当初の評価基準に達しない結果が提示された場合には、個人に催告通知後、補足課題を用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編集実務	はせがわ たかし 長谷川 孝	短国1・2選	4

講義のねらい

編集とは、〈だれかに—何かを—伝える〉過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技術とともに、そのための知的基礎体力・感覚的力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」(視点・視野・視角)をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・原稿の整理やレイアウトなど、実際の知識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取り、問う力、自分の表現をつくり出す力を養うよう考えています。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また授業で「取材」した（自分なりに感じ気づき考えた）ことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

自己評価点および、課題作品（B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と授業で書く短文（感想文）など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ジャーナリズム研究	は た の と し お 旗 野 寿 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースの取材方法や報道のあり方を事例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材（マスメディア志望者）、あるいは、情報を鵜呑みにせず、冷静に解説・判断できる人間（読者）を育成する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。

第一線の記者、論説委員、アメリカ勤務などの体験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、日米ジャーナリズムの比較なども試みる。放送局や新聞社の見学も行う。

履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

成績評価の方法

ニュース分析、学習結果を応用したレポート、簡単なルポ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して点数をつける。

教科書

使用しない。毎日の新聞を教科書として欲しい。

参考書等

その都度指示する。

その他

私語厳禁、公語（意見発表）歓迎。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
シナリオ研究	ま つ だ な お ゆ き 松 田 直 行	短国1・2選	4

講義のねらい

映像作品のシナリオについて考察する。シナリオは映像作品を完成させるための設計図であり、それをテキストとして読解するだけでは何の意味もなさない。まずは映像表現とは何かということを理解する必要があり、映画史および映像理論をひと通り学習する。その上で、シナリオというテキストの構造分析を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は初期の映画と教科書を使い、映画史と映像理論に関する講義が中心となる。後期には日本映画の代表作を教材としたシナリオ分析を行う。ビデオを使って、実際の映像作品を見ながら授業を進める。基本的には映画が中心となるが、後期ではテレビドラマも扱う予定である。

履修上の留意点

授業に出席することが前提となる。欠席が年間4回を超える者は不可とする（教育実習等の公欠を除く。遅刻は半分の欠席として扱う）ので、注意すること。学習意欲をしっかりと持って臨んでいただきたい。数回のレポート提出を予定しているが、レポートの書き方についての指導も行う。

成績評価の方法

映画史・映像理論については、教場試験またはレポート提出を課す。シナリオ分析については、各自で具体的な映像作品を取り上げたレポートを提出する。その合計で成績を評価する。

教科書

ジェイムズ・モナコ／岩本憲児『映画の教科書-どのように映画を読むか』（フィルムアート社）3,500円をテキストとして使用する。初回の授業には必要ない。2回目から持参すること。

参考書等

後期のシナリオ分析では、川邊一外『シナリオ創作演習十二講』（映人社）3,107円を参考にすが、この授業では実際にシナリオを書くことを指導するわけではないので、あくまで参考書としてあげておく。

その他

実際に自分でシナリオを書いてみたい場合は、「文芸創作」の授業で指導するので、そちらをあわせて受講してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸能研究	まつだ なおゆき 松 田 直 行	短国1・2選	4

講義のねらい

芸能とは何か。人は歴史が始まって以来、生物としての存続に必要な衣・食・住とは直接関係のない、芸能という行為を行ってきた。現代生活における芸能は、一見「趣味」とか「遊び」といった余剰生産的なものに思われるが、その本質は人間社会の成立に不可欠な表現行為である。本講では、いわゆる「演劇」の範疇に入らない「芸能」について、古代から現代に至るまでの、様々な形式の芸能を広く視野に入れることにより、現代社会においては見えなくなりがちな芸能の本質を考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

芸能の始原の姿に向けたアプローチとして、古代の呪術や神事と芸能の関係から説き始め、現在でも各地に伝わる風習や伝説、相撲、民俗芸能などを素材として近代以前の芸能に触れるが、それをあくまで現代社会とつながる心性としてとらえたい。現在でも古い存在するし、成人式や結婚式などの儀礼には芸能が伴い、信仰がなくとも初詣に行き、ディズニーランドという祝祭空間で異界を体験する。そうした自分自身の生活や体験との関連を考えるための小レポートを、授業の中で何度か実施する。

履修上の留意点

情報センターの教場で、パソコンを使用する。キーボード入力とホームページを見る程度の初歩的な操作が必要となる。

成績評価の方法

出席と小レポートによる平常点に加え、学年末にレポートを課す予定。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

必要な資料は適宜プリントして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス実務概論（前期）	もりもと まさえ 森 本 正 恵	短国1・2選	2

講義のねらい

高度情報化社会にともない、社会のグローバル化、少子・高齢化など私たちを取り巻く社会環境の変化は著しいものがあります。

このような中で求められているのは、自律した個性ある創造性豊かな人材であり、働き方も営利・非営利を問わず多様化しています。

ビジネス社会において求められる能力とは何か、ビジネス実務について理解を深め、知識・技能だけでなく人間を知り、文化の違いを感じとって、社会に広がるビジネス実務の「実践の知（知恵・知識・技術）」を創りだす人間としての基本を学びます。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. ビジネス実務とは何か 1
3. ビジネス実務とは何か 2
4. 個人業務とマネジメント
5. 協働業務とマネジメント
6. ビジネス実務を支える基本1
7. ビジネス実務を支える基本2
8. ビジネス実務を支える基本3
9. これからのビジネスワーカー
10. これからのビジネスとビジネスワーカー

履修上の留意点

講義と演習問題によるグループ討議など参加型学習で授業を進めます。各自の個別学習（予習）と全員での学習を効率よくかみ合わせ、発表の機会などを設け自分の考えが表現できるように創造的学習を行います。

欠席などで他のメンバーに迷惑をかけないように心掛けること。

止むを得ず欠席した場合、課題などを確認し自己学習によってカバーしておくこと。

成績評価の方法

出席およびレポート提出を重視します。毎回課するレポートがあるので、課題に対して問題意識を持ち、自分で考え、自分の言葉で表現できるようになることを望みます。課題は、指定された提出日に必ず出すこと。期限の遅れたものは評価しない。

2年生は就職活動で欠席を余儀なくされることもありますが、欠席の届を出したうえ「就職活動の報告」を翌週に発表してもらい、欠席分を補えるものとします。

教科書

森脇 道子 編著『ビジネス実務総論』（実教出版）2000年刊 2,200円

参考書等

授業のなかで適宜、示します。

その他

1. オフィスワーカーとして多領域に亘る学習をするので、予習を必ずしておくこと
2. 出席を重視するので、止むを得ず欠席する場合は、必ず届を提出すること
3. 授業中私語が多かったり、遅刻して他人の迷惑になるような行動は慎むこと
4. 授業中は、大人の女性としての意識を持ち行動するように心掛けること

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス実務（後期）	もりもと まさえ 森 本 正 恵	短国1・2選	2

講義のねらい

急激なビジネス社会の変化に気づき、理解し、対応できる能力を身につけることを目指します。『ビジネス実務概論』で学んだことを基礎に、企業で働くために必要とする実務能力を修得します。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. ビジネス実務とは
3. 仕事の流れと進め方
4. タイムマネジメント
5. 職場のコミュニケーションと人間関係
6. ドキュメントコミュニケーション
7. 会議とコミュニケーション
8. 社交コミュニケーション
9. キャリアプランニング
10. IT時代の働き方

履修上の留意点

グループ別で進めることが多いため欠席してメンバーに迷惑をかけないこと。
基本的事項については個別学習（予習）により理解をしておくこと。

クラスでは、創造的学習を目標とする。

- ・課題に対して自分の考えを人に伝えられるようになること。
- ・疑問や質問は積極的に発言すること。

『ビジネス実務概論』をベースに授業を組み立てていますので、共に受講することを勧めます。

また、就職対策にもなるので1年次で受講するのが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席を重視します
2. 筆記テスト
3. レポート提出
4. その他：検定取得、授業への参画意欲等の総合的評価

教 科 書

鎌田和江・大津洋子編著『新ビジネス実務の基本』（嵯峨野書院） 2001年刊 2,400円

参 考 書 等

プリントの他、授業で示します

そ の 他

出席、レポート提出を自己管理できること。

欠席の場合、必ず理由を明記した届を提出すること。

連絡先：morimom@komazawa-u.ac.jp TEL&FAX:0467-33-1631

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
手話（前期）	しらす かずこ 白 須 和 子	短国1・2選	2

講義のねらい

- ・授業の主たる内容
手話で日常会話ができるまでの基礎学習。
- ・基礎となる学問的傾向
言語としての手話の特徴と日本語文法と手話の文法の違い等の学習。
- ・問題意識
手話の学習を通して聴覚障害への理解を深めると共に障害一般又福祉問題についても考えてもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・手話技術学習と聴覚障害に関する理論学習による内容とする。
- 第1講座 つたえあってみましょうⅠ
- 第2講座 つたえあってみましょうⅡ
- 第3講座 自己紹介をしましょうⅠ 名前を紹介しましょう
- 第4講座 自己紹介をしましょうⅡ 家族を紹介しましょう
- 第5講座 自己紹介をしましょうⅢ 趣味について話しましょう
- 第6講座 自己紹介をしましょうⅣ 誕生日はいつですか
- 第7講座 自己紹介をしましょうⅤ 仕事について話しましょう
- 第8講座 自己紹介をしましょうⅥ あなたの家を紹介しましょう
- 第9講座 自己紹介をしましょう
- 第10講座 話しかけてみましょうⅠ

履修上の留意点

- 学生への要望
- ・手話学習については復習が重要。又聴障関係や障害者福祉関係等の本や資料を目を通しておいでほしい。

成績評価の方法

- ・出席数を二分の一以上とする。
- ・講義の最終日に「文章問題」と手話表現技術と手話よみとり技術の実技テストをして評価する。

教 科 書

『手話教室入門』（全日本ろうあ連盟出版）850円
申しこみ先 03-3268-8847

参 考 書 等

- ・随時、講義の中で紹介

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
点字（前期）	わたなべ ゆきぞう 渡 辺 勇 喜 三	短国1・2選	2

講義のねらい

日本点字の習得

講義の内容・
授業スケジュール

- ①～②50音 ③濁音半濁音 ④拗音拗濁音 ⑤数字、アルファベット ⑥～⑦ カナづかい
- ⑧数を含む言葉、外文字 ⑨ひとつづきに書く言葉 ⑩～⑬わかち書き ⑭～⑮符号など

履修上の留意点

教室の静粛 積極的参加

成績評価の方法

テスト

教 科 書

阿佐博（あさひろし）著『点字のレッスン』 東京ヘレンケラー協会（3200-1310）現在改版中（平成10年発行の初版は税込み630円）
「点字器」点字器N632（オレンジ／ブルー／グリーン／ピンク／グレーの5色スケルトンカラー）1,000円（非課税）
「点字用紙」90キロ厚 寸長サイズ（一人50枚） 約120円
※点字器と点字用紙は、日本点字図書館 用具事業課（3209-0751）

参 考 書 等

当山啓（とうやまひらく）著『決定版 点字点訳基本入門』1,700円（本体価格）

そ の 他

視覚障害者の教育、生活、福祉等を毎時短時間、講義に含める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究 (上代)	さ は ら さ く み 佐 原 作 美	11以降入学生/短国1選必	4
卒業研究 I		11以前入学生/短国1選	

講義のねらい

上代を中心とする古典文学を対象に、各自が選んだ研究テーマに基づいて、論文作成に必要な基礎的な事項について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

四月から五月にかけて、論文作成に必要な基礎的な話をしその間に各自による研究テーマの決定。その後はそのテーマに基づいて研究を進めていくことになる。かくしてその成果を原稿用紙30枚程度にまとめ、一月の最終授業までに提出することになる。

履修上の留意点

大学に学んだことの証のひとつに、卒業論文を書いたか否かがある。二年間の学修の決算として、自発的な研究成果を残すことは大きな喜びであり、人生にとっても大きな財産となること間違いなし。それだけに積極的にかつ真摯に取り組んでほしい。

成績評価の方法

作成された論文やその取り組み姿勢などを見て総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。適宜プリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究 (中古)	す ず き ひ ろ こ 鈴 木 裕 子	11以降入学生/短国1選必	4
卒業研究 I		11以前入学生/短国1選	

講義のねらい

中古文学を対象に、各自が選んだ作品とテーマによって研究論文を作成するための講座である。論文作成に必要な基礎的な事項について指導する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な研究論文等を例示しながら、テーマの決め方、研究の方法、資料の用い方等について助言する。四月から五月までに各自がテーマを決定し、その後に個別に教員の指導を受けながら各自で研究と作業を進め、最終授業時までに論文を作成して提出する。

履修上の留意点

二年間の学修の総決算としての研究成果を残すのは有意義なことである。意欲的に取り組んでほしい。なお、土曜4限に設定されているが、実際の指導時間は、別に各自と相談の上定めることとなる。

成績評価の方法

作成された論文の内容による。

教科書

特に指定しない。

参考書等

指導中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究 (中世)	さ か ぐ ち ひ ろ き 坂 口 博 規	11以降入学生/短国1選必	4
卒業研究 I		11以前入学生/短国1選	

講義のねらい

中世時代(鎌倉・室町時代)に成立した作品やその作家を取り上げ、これを研究してレポートを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに中世文学を概観し、論文をまとめる準備として研究方法等を学び、各自のテーマを決定した後に準備に入る。各自の進捗に応じて段階を決めてチェックする。レポート作成スケジュールは授業時に示す。

履修上の留意点

中世文学で研究レポートを作成する者は、出来る限り「中世文学史」の授業を履修して欲しい。また「中世文学演習Ⅱ」といづれかの受講となるので、出席状況もチェックする。

成績評価の方法

卒業研究のレポートの内容とその準備作業をもとに評価する。

教科書

授業時にプリント等で学ぶ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒業研究 (中世)	そ の べ か き お 生 菌 部 幹 生	11以降入学生/短国1選必 11以前入学生/短国1選	4
卒業研究 I			

講義のねらい

短期大学2年間の集大成として卒業論文を作成することは、卒業後の人生のためにも、たいへん意義深いものがある。この時間では、中世文学に関連した卒業論文（原稿用紙30枚以上）を作成するための助言・指導をおこなう。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は主として、卒業論文作成のためのテーマ設定や資料集めとその読解、後期は、卒業論文の構成と作成に関する助言・指導をおこなう。

履修上の留意点

授業時間は、土曜日の4時間目に設定されているが、実際には、各受講生と都合をあわせてうえで、空き時間を利用した授業となるので、履修届を提出する前に、必ず相談に来ること。

成績評価の方法

完成した卒業論文によって評価する。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

必要に応じてそのつと紹介する。

国
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒業研究 (近世)	せ い だ け い こ 清 田 啓 子	11以降入学生/短国1選必 11以前入学生/短国1選	4
卒業研究 I			

講義のねらい

近世文学を対象とする研究論文を完成させること。それに必要な助言を与えること。

講義の内容・
授業スケジュール

参加者個々のテーマにより異なることになると思う。論文作成のためのガイダンスに次いで、個々のテーマに合せた指導を重ねていかなければならないと考えている。論文提出は十二月中旬。

履修上の留意点

論文完成のために努力を惜しまない覚悟を。自発的な、自由な発想を期待する。

成績評価の方法

完成した論文のみが評価の対象となる。

教 科 書

なし

参 考 書 等

個別に指示する。

そ の 他

近世文学演習Ⅱのクラスに出席することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究(近代)	いしわり 石 割	11以降入学生/短国?選必	4
卒業研究II	とおる 透	11以前入学生/短国?選	

講義のねらい

二年間に学んだ日本文学についての知識、研究方法を基礎にして、受講者各自が内なるモチーフに従って、研究課題を選び、これまでの二年間に学んだ日本文学についての知識、研究方法を基礎にし、それらを活用、発展させ、一つの論文を作成すること、書くことを通して通常の授業では得られない発見が受講者自らのうちになされることを目的とする。この授業では、近代文学に関わる課題を論文のテーマとする受講者を対象にして授業を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自が選ぶ研究テーマはさまざまであり、この授業ではまず、研究方法の多様なありよう、基本的な文献資料の探索、それらの扱い方を指示し、各自の研究テーマに即して、更に種々な助言、問題点を与え、指示する形で授業を進めていく。

履修上の留意点

各受講者の研究テーマを自由に選び、それに即して問題を自らのうちに深め、探る、そうした積極性、主体性が何よりも必要とされる。受講者は何よりもまず、関心があり、自己にとっても追究し、書くことが深い意義を持つ課題を選び取る必要がある。受講するに先立ち、おおよその研究テーマを自らのうちに決めて受講することが望まれる。

成績評価の方法

最終的に提出された論文の内容によって評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

各自のテーマに基づき、指示することになる。

その他

論文執筆を試みれば、完成までに各自、いろいろな疑問や不明なことが生じるはずである。そうした執筆過程でぶつかった疑問、不明な点、問題点は、自己のうちに追究するとともに、その都度教員に積極的に相談して欲しいと思う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究(現代)	こばやし 小 林	11以降入学生/短国?選必	4
卒業研究II	おさむ 治	11以前入学生/短国?選	

講義のねらい

二年間継続してきた学習の成果として、各自が選んだテーマによって、研究論文を作成することを目的とする。そのために必要な基本的知識と方法論を学びつつ、論文作成のための実際的な指導を受けることになる。なお、この科目は、研究テーマを近・現代文学に関わるものの中から選ばうとする者が受講する科目である。

講義の内容・授業スケジュール

四月から五月は、論文の具体的なテーマを各自が決める期間であり、研究の基本的な方法、関連する参考文献の調査方法、文学研究の方法論などを学びつつ、それぞれのテーマを検討し、決定していく。六月以降は、対象に選んだ作家、作品ごとに、指導を受けていく。そして、一月のはじめまでに四百字詰め原稿用紙で三十枚以上の研究論文を完成、提出することになる。その間、逐次、進行状況、作成上の問題点等を検討し、指導する。

履修上の留意点

二年間、国文科の学生として学んできた成果をまとめ、それを形にして残すという意味で多くの学生に挑戦してほしい。自分が選んだテーマを、実際に一つの研究論文にまとめていくことは喜びであると同時に、途中いくつもの難問にぶつかって悩むことも多いだろうが、大きな手応えとして卒業後の自信につながることであろう。

成績評価の方法

完成した論文の内容による。また、研究意欲、取り組みへの積極性にも高い評価を与えたい。

教科書

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究（現代）	まつだ なおゆき 松 田 直 行	1:以降入学生/短国:選必 1:以前入学生/短国:選	4
卒業研究II			

講義のねらい

1年間かけて、卒業論文を完成させる。内容に応じて個別に指導する。

講義の内容・
授業スケジュール

原則として近代以降の演劇、芸能、および映像関係で卒業論文を書く場合に、私が担当することになる。また論文に代えて、それに相当する内容の文芸創作作品（小説や戯曲など）の提出によって単位を認める場合もある。いずれの場合も、必要となる指導を十分に受けなければ、論文や作品を提出しても単位は認められない。

履修上の留意点

受講者は必ず科目登録の前に申し出ること。受講許可を受けずに科目登録をしても、単位は認められない。また同時に演習の授業も履修することを推奨する。

成績評価の方法

提出された論文または作品により評価するが、完成に至るまでの過程も重視する。

参 考 書 等

個別に指示する。

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究（国語学）	かたやま はるかた 片 山 晴 賢	1:以降入学生/短国:選必 1:以前入学生/短国:選	4
卒業研究III			

講義のねらい

国語学についての研究論文を作成するための講座である。国語学研究上必要な方法論・資料収集等の方法について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的な論文の例示をして、中世を中心とした音韻・文法・語彙・文字等の特質を概観し、各自の研究対象を確認し、助言した後でそのテーマにそった資料収集を進めてもらう。夏休み中に主な資料のカードを作成してもらい、10月初めに論文作成にとりかかり、12月に各自点検の為の面談を行った後に提出してもらう。

履修上の留意点

各自の自主的な作業で進められるので、論文を作成するという意欲が必要となる。

成績評価の方法

論文作成過程の中の努力・意欲をみて、さらに論文を評価する。

教 科 書

面談の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒業研究 (国語学)	はぎはら よしお 萩原 義雄	11以降入学生/短国1選必	4
卒業研究Ⅲ		12以前入学生/短国1選	

講義のねらい

日本語資料にみえることば

1. 時代背景は、現代語から古典語まで (小説・物語・詩歌・マンガ・史集)
2. 言語背景は、文書類 講演 TVラジオ 方言 (絵本類 辞典)
3. DBの利用

講義の内容・
授業スケジュール

1. 資料作品の選定
2. 収集作業
3. 集めた資料を点検・整理
4. 整理方法の選択
5. はじめとおわりを考える
6. 内容を理解し、その資料内容が明確に示されているかを確認
7. 自身のまとめた資料内容をもって、解説文を作成する。
8. 作成した資料を推敲してみる。

履修上の留意点

定期点検を実施しますので、作業状況の進展を伝えてください。

成績評価の方法

作成過程をポイント制でみていく、最後に完成作品を公開できることがのぞましい。

教 科 書

多くの辞書類を使用。

II 專門教育科目

2 英文科

Ⅱ. 専門教育科目

(2) 英 文 科

英米文学概論〈熊崎久子〉	207
英語講読Ⅰ〈山縣裕〉	208
[平成11年度以前入学生：英文講読Ⅰ]	
英語講読Ⅰ〈熊崎久子〉	208
[平成11年度以前入学生：英文講読Ⅰ]	
英語講読Ⅰ〈滝静寿〉	209
[平成11年度以前入学生：英文講読Ⅰ]	
Oral CommunicationⅠ〈デンドウ, G.〉	209
[平成11年度以前入学生：Freshman English]	
Oral CommunicationⅠ〈キーズ, P.〉	210
[平成11年度以前入学生：Freshman English]	
Intensive EnglishⅠ〈モエ, R.A.・ゴマリー・グーナー, L.・オーラ, B.〉	211
Intensive EnglishⅡ〈ウエイド, D.A.〉	212
Intensive EnglishⅡ〈ミルン, A.〉	212
Intensive EnglishⅡ〈アシュウエル, T.〉	213
Intensive EnglishⅢ〈エバラト, A.・ギャリソン, J.G.〉	213
Intensive EnglishⅣ〈アシュウエル, T.・レオーネ, J.・オーラ, B.〉	214
Intensive EnglishⅣ〈ロルフ, M.F.〉	215
Intensive EnglishⅣ〈デンドウ, G.〉	216
コンピュータⅠ〈湯浅陽子〉	217
コンピュータⅠ〈野崎芳秀〉	218
英文学史〈滝静寿〉	219
英語講読Ⅱ〈梅原敏弘〉	219
英語講読Ⅱ〈高野秀夫〉	220
英語講読Ⅱ〈山縣裕〉	220
Oral CommunicationⅡ〈デンドウ, G.〉	221
Oral CommunicationⅡ〈キーズ, P.〉	221
Intensive EnglishⅤ〈モエ, R.A.・ゴマリー・グーナー, L.・オーラ, B.〉	222
Intensive EnglishⅥ〈ウエイド, D.A.〉	222
Intensive EnglishⅥ〈ミルン, A.〉	223
Intensive EnglishⅥ〈アシュウエル, T.〉	223
Intensive EnglishⅦ〈エバラト, A.・ギャリソン, J.G.〉	224
Intensive EnglishⅧ〈アシュウエル, T.・レオーネ, J.・オーラ, B.〉	225
Intensive EnglishⅧ〈ロルフ, M.F.〉	225
Intensive EnglishⅧ〈デンドウ, G.〉	226
コンピュータⅡ〈湯浅陽子〉	227
コンピュータⅡ〈野崎芳秀〉	228
英語学概論〈岡本誠〉	229
言語と文化〈岡本誠〉	229
日英語比較〈梅原敏弘〉	230
英文法論〈梅原敏弘〉	230
英語音声学〈山縣裕〉	231
作品作家研究〔ロマン派の詩〕〈熊崎久子〉	231

作品作家研究〔世紀末文学〕	〈滝 静 寿〉	232
作品作家研究〔20世紀アメリカ小説〕	〈吉 沢 栄治郎〉	232
作品作家研究〔19世紀英文学〕	〈高 野 秀 夫〉	233
作品作品研究〔アメリカ20世紀文学〕	〈湯 浅 陽 子〉	234
米 文 学 演 習	〈ギャリソン, J.G.〉	235
20世紀イギリス文学	〈高 野 秀 夫〉	236
〔平成11年度以前入学生：20世紀英文学〕		
ア メ リ カ 演 劇	〈ギャリソン, J.G.〉	236
20世紀アメリカ文学	〈 休 講 〉	
〔平成11年度以前入学生：20世紀米文学〕		
戯 曲 研 究	〈熊 崎 久 子〉	237
英 米 文 学 講 読	〈熊 崎 久 子〉	238
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅱ〕		
英 米 文 学 講 読	〈滝 静 寿〉	238
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅱ〕		
英 米 文 学 講 読	〈湯 浅 陽 子〉	239
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅱ〕		
英 米 文 学 講 読	〈高 野 秀 夫〉	240
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅱ〕		
聖 書 研 究	〈水 島 陽 子〉	240
西 洋 古 典 文 学	〈水 島 陽 子〉	241
イ ギ リ ス 史	〈 休 講 〉	
イギリス文化事情	〈アシュウェル, T.〉	241
ア メ リ カ 史	〈モエ, R.A.〉	242
アメリカ文化事情	〈 休 講 〉	
時 事 英 語	〈岡 本 誠〉	243
英語演習〔英語音声の基礎〕	〈岡 本 誠〉	243
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅰ〕		
英語演習〔シャーロックホームズ〕	〈滝 静 寿〉	244
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅱ〕		
英語演習〔ホキヤビュラリービルディング〕	〈梅 原 敏 弘〉	244
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅲ〕		
英語演習〔時事英語へのアプローチ〕	〈吉 沢 栄治郎〉	245
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅳ〕		
英語演習〔センテンスの構造〕	〈 休 講 〉	
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅴ〕		
英語演習〔英語表現〕	〈高 野 秀 夫〉	245
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅵ〕		
英 語 表 現	〈岡 本 誠〉	246
〔平成11年度以前入学生：英作文〕		
英 語 表 現	〈梅 原 敏 弘〉	246
〔平成11年度以前入学生：英作文〕		
英 語 表 現	〈高 野 秀 夫〉	247
〔平成11年度以前入学生：英作文〕		
英 語 表 現	〈吉 沢 栄治郎〉	247
〔平成11年度以前入学生：英作文〕		
英 語 表 現	〈滝 静 寿〉	248
〔平成11年度以前入学生：英作文〕		

英 語 翻 訳 法〈梅 原 敏 弘〉	249
Advanced English A 〈モエ, R.A.〉	250
〔平成11年度以前入学生：Advanced English IIA〕	
Advanced English A 〈ウエイド, D.A.〉	250
〔平成11年度以前入学生：Advanced English IIA〕	
Advanced English A 〈アシュウエル, T.〉	251
〔平成11年度以前入学生：Advanced English IIA〕	
Advanced English A 〈レオーネ, J.〉	251
〔平成11年度以前入学生：Advanced English IIA〕	
Advanced English A 〈ロルフ, M.F.〉	252
〔平成11年度以前入学生：Advanced English IIA〕	
Advanced English A 〈グリフィス, J.〉	252
〔平成11年度以前入学生：Advanced English IIA〕	
Advanced English B 〈モエ, R.A.〉	253
〔平成11年度以前入学生：Advanced English IIB〕	
Advanced English B 〈ウエイド, D.A.〉	253
〔平成11年度以前入学生：Advanced English IIB〕	
Advanced English B 〈アシュウエル, T.〉	254
〔平成11年度以前入学生：Advanced English IIB〕	
Advanced English B 〈レオーネ, J.〉	254
〔平成11年度以前入学生：Advanced English IIB〕	
Advanced English B 〈ロルフ, M.F.〉	255
〔平成11年度以前入学生：Advanced English IIB〕	
Advanced English B 〈グリフィス, J.〉	255
〔平成11年度以前入学生：Advanced English IIB〕	
News English 〈グリフィス, J.〉	256
〔平成11年度以前入学生：Reading Comprehension〕	
English through Movies 〈岡 本 誠〉	256
〔平成11年度以前入学生：Group Discussion〕	
英語とコンピュータ I 〈ウエイド, D.A.〉	257
英語とコンピュータ II 〈ウエイド, D.A.〉	257
同 時 通 訳 入 門 〈モエ, R. A.〉	258
〔平成11年度以前入学生：同時通訳 II〕	
秘 書 英 語 〈森 本 正 恵〉	259
ビ ジ ネ ス 実 務 概 論 〈森 本 正 恵〉	260
ビ ジ ネ ス 実 務 〈森 本 正 恵〉	261
ジャーナリズム研究 〈旗 野 寿 雄〉	262
ビジネスイングリッシュ 〈町 井 靖〉	262
日 本 語 教 育 法 〈石 田 小 百 合〉	263
実 用 表 現 法 〈萩 原 義 雄〉	263

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英米文学概論 (前期)	くまざき ひさこ 熊 崎 久 子	Ⅰ以降入学生/短英 必 一類 Ⅱ以降入学生/短英 選 必 二類 Ⅲ以前入学生/短英 必	4

講義のねらい

古代英語の時代より、中世英語の時代、文芸復興期を経、浪漫主義、古典主義等々の長く、膨大な歴史と伝統の上に結実をみせた19世紀イギリス文学と逞しい開拓精神と果てしない夢と希望の上に独自の浪漫主義を開花させた19世紀アメリカ文学を、それぞれの時代の趨勢を背景に概観する。産業革命の影響を受け、大きく変動していく社会と揺れ動く人心を反映させたヴィクトリア女王朝のイギリス文学は明治の日本文学にも少なからぬ影響を与えています。英国同様に産業革命の影響を受け、また、辺境の消滅による失意から、リアリズム文学へ、自然主義文学へと変革するアメリカ文学は後にこの国独自の文学者を生み出します。南部作家、黒人作家等です。それらの背景を踏まえて社会と文学の接点にも目を向けます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)前半 ヴィクトリア朝の英文学
 1. 英文学の流れ——古代英語時代から18世紀まで、およびヴィクトリア朝概観
 2. 詩歌
 3. 小説
 4. アイルランド文芸運動、児童文学、世紀末文学
- (2)後半 19世紀米文学
 5. 独立以前からロマンティシズム興起まで
 6. ロマンティシズム興隆からリアリズム発生まで
 7. リアリズムの確立、自然主義の台頭、第一次世界大戦前後
 8. 新劇、ロスト・ジェネレーションの作家、黒人作家、南部作家
 9. 補足とまとめ

授業の進め方

- (1) 予定表に従い、作家と作品について論じる。重要な作品については必要な箇所を引用し参照します。特に韻律が主要な役割を果たす詩歌の場合は解説のみでは十分な理解ができないので作品を引用し朗読します。
- (2) 必要に応じ講義概要を配布する。あるいは黒板に板書します。
- (3) 終了前10分間弱を質問の時間に当てます。

履修上の留意点

広い範囲の作品作家を扱うことになるので、予定表を参考にあらかじめその日のための予備知識を備えて出席すること。出席するだけでは内容の把握が出来ません。またその日の疑問は必ずその日に質問をし、解決しておくこと。

成績評価の方法

1. 試験の成績……50%
2. 2回提出のリポートの評価……30%
3. 授業中に提出をもとめた小レポート……20%

教科書

教場にて説明・紹介します。

参考書等

引用も多く専門的なものとしては、斎藤勇著『英文学史』(研究社)『アメリカ文学史』(研究社)があります。その他、英米文学史関係の本であれば殆ど差異はありません。自分に合ったものを各自選んでほしい。辞書的なものは『英米文学辞典』(研究社)、『イギリス文学案内』(朝日出版社)、『アメリカ文学案内』(朝日出版社)などがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語講読Ⅰ（前期）	やまがた 山 縣 裕	Ⅱ以降入学生/短英Ⅰ必一類	2
英文講読Ⅰ（前期）		Ⅱ以前入学生/短英Ⅰ必一類	

講義のねらい	CNNのニュースを通して、リーディングの力の向上をはかる。
履修上の留意点	6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。
成績評価の方法	出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。
教科書	『CNN：ビデオで見る世界のニュース』関西大学英語研究会編著（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語講読Ⅰ（前期）	くまざき 熊 崎 久 子	Ⅱ以降入学生/短英Ⅰ必一類	2
英文講読Ⅰ（前期）		Ⅱ以前入学生/短英Ⅰ必一類	

講義のねらい	(1) 20世紀英文学の中でも特異な存在であるD. H. ロレンスの後半生について、妻フリーダが綴った思い出の記、「私ではなく、風が……」を読みます。 (2) 併せてロレンス自身が書いた短編小説、詩、エッセイ、および書簡を読み、人生、愛、性、芸術、宗教など、あらゆる分野に互り独自の見解を披瀝しているロレンス自身の生き方とその思想に触れたいと思います。
--------	---

講義の内容・授業スケジュール	(1) 前半；第一週 D. H. ロレンスについて解説 第二週以降 “Not I, but the Wind ……” を読む。 質疑応答とまとめ。 (2) 後半；D. H. ロレンスの作品を読む。小説、詩、エッセイ、書簡等。作品のコピーを逐次配布します。 最終週 質疑応答とまとめ。
----------------	---

授業のスケジュール

- 「私ではなく、風が……」は簡単な文章で綴られていますので速読をいたします。作品中に言及されているロレンスの詩、小説、紀行文などはその都度、一部引用して鑑賞します。受講者全員による朗読とディスカッションを行います。
- 配布プリントはロレンス自身の英語で書かれたものですから十分に文章と内容を味わいます。この場合も受講者全員の発表と意見の交換を行います。

履修上の留意点	十分な予習が必要です。あらかじめ内容を把握して教場に臨んでください。朗読、意見発表は申し出制としますので、下調べ等あらかじめ準備をしてクラスに臨み、積極的に参加してください。
---------	---

成績評価の方法	試験の成績……60% 平常点……40% とします。
---------	------------------------------

教科書	(1) Frieda Lawrence: 『Not I, but the Wind ……』(弓プレス) (2) D. H. Lawrenceの作品、プリントを配布します。
-----	--

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読Ⅰ（前期）	たき せいじゆう 滝 静 寿	11以降入学生/短英1必(一類)	2
英文講読Ⅰ（前期）		11以前入学生/短英1必(一類)	

講義のねらい

チャールズ・ラムの『シェイクスピア物語』の中の作品（未定）を取り上げ、輪読・鑑賞する。子供向けに平易に書き直されたものであるが、文学的格調の高い文体を通し、ラムのシェイクスピアに対する思い入れを考えていく。また、原典の一部を対訳を通して読み、シェイクスピアの言葉の特質を考えてみる。途中で映画を鑑賞する。

講義の内容・授業スケジュール

ラムの『シェイクスピア物語』を輪読・鑑賞する。原典の一部を対訳を通して読んだり、シェイクスピアの作品の映画を鑑賞し、劇作家とその作品を研究する。

履修上の留意点

小グループに分け、輪番制で研究発表をする。割り当てられた所は、文法的な問題はもとより、全て責任をもって質問や意見に答えてもらう。予習が第一、授業に対する積極的な態度が第二、遅刻、欠席には厳しく臨む。

成績評価の方法

授業態度、出席率、意見の発表、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教科書

未定。

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
Oral CommunicationⅠ（前期）	デンドウ, G.	12以降入学生/短英1必(一類)	2
Freshman English（前期）		11以前入学生/短英1必(一類)	

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week. Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his / her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Oral Communication I (前期)	キ ー ズ , P .	12年降入学生/短英1必(一類)	2
Freshman English (前期)		11年前入学生/短英1必(一類)	

講義のねらい

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.

The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The course will cover variety of skill areas such as communications, business, socializing, travel, hotels, money, and hobbies and interests. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

成績評価の方法

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

教 科 書

The text will be announced later.
Supplementary material will be handed out by the teacher.

参 考 書 等

Although the text will be announced later the students will require the following:-
An A4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).
An English Japanese dictionary.

そ の 他

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation and reviewing what has been learnt.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English I (前期)	モエ, R. A. ゴマリー・グーナー, L. オーラ, B	短英1必(二類)	2

講義のねらい

To develop and improve English conversational skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Timed Paired Practice (TPP) exercises. Students are randomly paired and their conversations are timed. They are allowed to speak until they make a mistake at which time they are stopped and the duration of their conversation is recorded. Students may do this up to ten times per class. TPP will be conducted in every class and in the same way. During the first 10 times (TPP1~TPP10) students will be free to talk about anything they wish. During the next 5 times (TPP11~TPP15) students will be assigned a topic that must be discussed in the next class. That gives them time to prepare. For the next 5 times (TPP16~TPP20) the topic will be assigned at the start of the class. From TPP21, topics will not be assigned and students may talk about anything. TPP will be conducted in every class and in the same way.

履修上の留意点

This is a course in which the students are expected to actually use the English they know in conversational situations. In other words, they should try to use what they have studied and are studying in other courses. Mistakes are any unnatural English usage. That includes grammatical errors, pronunciation errors, delivery errors, and also if the content is considered odd, that is an error. Pauses of more than half a second are also considered to be errors. Not speaking loudly enough will also be an error. If a student repeats a word, that also is an error. If a student realizes she has made a mistake, she may correct it by first saying, "Excuse me," and then repeating the corrected phrase. If a student thinks that her partner has made a mistake or if she can not understand what her partner says, then she should say, "Pardon?" The other person must then repeat from the beginning, being careful to speak correctly.

成績評価の方法

The grades are based on the average length of a conversation and also the number of times that a student does TPP. This data is put into the following formula

$$\text{Avg} * (\text{Count} / 3) + (60 - (\text{TPP No.} * 3)) = \text{score}$$

Avg=the average length of all TPP conversations

Count=the number of times a student did TPP conversations

This provides a score for one TPP class. The scores for all the TPP, from 1 through 20 (or whatever the last one might be) are averaged to provide the final score. The final score is then put into the following formula to determine the final grade.

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + \alpha = \text{final grade}$$

X=number of unexcused absences

Y=number of unexcused times tardy

Z=final score

α =adjustments made by teacher

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The final grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教 科 書

ありません

参 考 書 等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

そ の 他

Students should their talk to their teacher or to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Scores will be posted regularly outside the office of the English Department.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English II (前期)	ウエイド, D. A.	短英I必(二類)	2

講義のねらい

The main purpose of this course is to encourage you to read as many English books as possible. You get to choose which books you feel you'd most enjoy reading--from a selection provided by the department and from the collection in the library--however, although we have 'quiet time' in class for reading, this does mean you'll have to be prepared to devote a lot of time outside of class hours to reading in English.

成績評価の方法

Grades are based on your attendance, the number of books you read (adjusted for difficulty level and number of pages,) and the successful completion of a journal.

教 科 書

There is no textbook for this course but you are expected to keep a reader's journal on a regular basis; again, you can work on this both in class and at home. This loose-leaf journal consists of short reader's reports on each book, vocabulary lists, and short essays that summarise and examine your reading experience. A small dictionary--either electronic or in book form--is indispensable.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English II	ミルン, A.	短英I必(二類)	2

講義のねらい

すらすらと英語が読め、ネイティブが読む雑誌、本、テキスト等から知りたい情報をすぐに見つけることができるようなレベルに持っていくことがねらいである。そして、授業内容は、楽に、そして集中して読める能力を身につけることに中心とする。

講義の内容・
授業スケジュール

ある特定の本を読んでもらい、毎週確実にあらかじめ決めたページ数を読んでもらいたい。そして、リーディング日誌に、どのぐらい読み進んだか、その本の感想、要約をそのつど読み終わった範囲で書いてもらいたい。また、読んだ本の中から、学びたい10単語(ボキャブラリー)選び、それらをボキャブラリーシートに記入し、後日そのことに関して、質問してもらい、確実に語彙力を増やしていってもらいたい。

履修上の留意点

リーディング日誌用に、B5ノートと、ボキャブラリーシート保管用のフォルダーの購入をお願いしたい。それに付け加えて、教室への携帯電話の持ち込みと、授業中の使用をやめてもらいたい。

成績評価の方法

大学の成績基準条件に沿って評価する。それに付け加えて課題、出席状況、また、リーディング日誌きちんとこなしているかも評価の対照とする。

教 科 書

大学側より指定テキストがなければ、大学の図書館にあるネイティブ用新聞、雑誌、本等を補足として使用する。

参 考 書 等

クラスでの学生の要望と興味に基づいた私自信で作成した資料を使用したいと考えている。学生の興味に応え、読むという機会を与えることが大切であると感じている。

そ の 他

2段階のクラス形態がある。授業の25分間は、本の感想文または、速読の開発、どちらから一方の時間に使いたい。その後ネイティブスピーカー用の雑誌、本などから抜粋した段落ごとの記事を一つの物語に並べかえていったり、特定の情報から質問に答える能力を養う時間に使いたい。これは、全部テキストを読まなくても、知りたい情報を見付け出す能力と、短時間での精読を養うことができるようになるであろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English II (前期)	アシュウェル, T.	短英I必(二類)	2

講義のねらい

In this course students will read a large quantity of graded English material in order to develop confidence and fluency in reading. Students will also write in English about the books they read and will write their first extended pieces as a lead-in to the writing class proper which will begin in September.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will receive an orientation booklet at the beginning of the course explaining the rationale for the course, the target number of pages they will have to read and the way the grading system is connected to the total number of pages read. Students will turn in reports on each graded reader they read. These will be checked by the teacher and returned to the students who will then stick the reports into a notebook. In addition to reading the graded readers, students will complete two extended pieces of writing in English.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on i). number of pages read; ii). quality of book reports; iii). quality of extended writing assignments; iv). effort shown in class; v). attendance.

教 科 書

All readers are provided.

そ の 他

Students will need a B5 (or slightly bigger) notebook.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English III (前期)	エバラト, A ・ギャリソン, J. G	短英I必(二類)	2

講義のねらい

Designed to expose students to authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. Primary emphasis on comprehension of video materials selected by the instructor from American television; secondary emphasis on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. All material and instruction in English.

講義の内容・
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to go to the Language Laboratory, borrow the appropriate video, take it home overnight or to the L. L. study booths, and watch it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script.

During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced.

Each lesson will be followed by a short test.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

成績評価の方法

Grades will be based on class participation (25%) and the results of tests given after each lesson is completed - normally 3 to 4 (75%) .

教 科 書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

参 考 書 等

None.

そ の 他

Class conducted in the language laboratory.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English IV (前期)	アシュウェル, T. ・ オーラ, B. レオーネ, J	短英1必(二類)	2

講義のねらい

This course will aim to develop students' ability to cope successfully with situations they are likely to find themselves in if they travel in English-speaking countries or if they go on a homestay programme abroad. The emphasis will be very much on spoken survival English.

講義の内容・
授業スケジュール

Starting with the English students have at their disposal, situations and the language needed to survive in those situations will gradually be built up in each class.

履修上の留意点

This course is being provided in the new curriculum in part as an antidote to the years of "examination English" students have had to endure at high school and partly in response to the call for more conversation classes from students who have passed through Komazawa Junior College in previous years. It is imperative that students take an active part in this class for this course to be successful. Any student who does not speak English or who does not become proficient in the expressions needed for the different situations covered will not pass this course.

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Students will be assessed on their English oral ability at the beginning and at the end of the semester. They will also have five mini tests on the material covered. Grades will be based on : 1). improvement in speaking ability over the semester; 2). performance on mini tests 3).completion of homework partner taping; 4).effort shown in class; 5).attendance

教 科 書

None. All materials will be provided by the teacher.

そ の 他

Students will need a mini cassette recorder and a B5 notebook.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive EnglishIV (前期)	ロルフ, M. F.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

Intensive English 4

In this class, you will learn to be more confident when speaking English. You will be required to speak English every day. The lessons are about English speaking situations in Japan and abroad. You will be encouraged to speak English in Japan and you will be encouraged to travel abroad.

講義の内容・
授業スケジュール

Grading is based on the following:

- a) Participation (counts for 25% of your grade) . You must speak English during class and outside of class.
- b) Class work/Homework (counts for 25% of your grade) . You must keep 2 audio taped journals. One taped journal is for in - class work and the other one is for homework.
- c) Testing (counts for 25% of your grade) . You must successfully complete 2 one - on - one interviews with the teacher. (Students are required to tape the interviews)
- d) Attendance (counts for 25% of your grade) . You are expected to attend all classes and to be on time.

履修上の留意点

Required materials for this course are

- a) A Cassette Tape Recorder. You must buy a handheld cassette tape recorder (standard size tape) . Recorders are affordable (an Aiwa TP - S3 is about 3,500 yen).
- b) Three cassette tapes (60 - minute type only).
- c) One B5 size notebook.
- d) A college - level dictionary (English - to - Japanese/Japanese - to - English)
- e) One file folder. There will be many photocopied prints given to you. You are expected to keep the prints organized.
- f) One passport size color photograph (please smile) .

そ の 他

Email: If you have any questions about this course, please contact me at: mike@rb3. so - net.ne.jp

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive EnglishIV (前期)	デンドウ, G.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

This course will aim to develop students' ability to cope successfully with situations they are likely to find themselves in if they go on a homestay programme abroad. The emphasis will be very much on spoken survival English.

講義の内容・
授業スケジュール

Starting with the English students have at their disposal, situations and the language needed to survive in those situations will gradually be built up in class.

履修上の留意点

This course is being provided in the new curriculum in part as an antidote to the years of "examination English" students have had to endure at high school and partly in response to the call for more conversation classes from students who have passed through Komazawa Junior College in previous years. It is imperative that students take an active part in this class for this course to be successful. Any student who does not speak English or who does not become proficient in the expressions needed for the different situations will not pass the course. Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Students will be tested orally in this class every other week and at the end of the semester. Grades will be based on: 1) . mastery of the expressions covered: 2) . effort shown in class: 3) . attendance

教 科 書

None. All materials will be provided by the teacher.

参 考 書 等

None.

そ の 他

Students will need a B5 notebook.

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータⅠ（前期）	湯浅陽子	短英Ⅰ選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータが普及しており、実社会では職種に関係なくコンピュータを扱えることが就職の基本条件となってきました。

情報処理業務では、第一にデータの入力を正確に早く行うことが要求されます。それにはタッチタイピング技能（手元を見ないで打つ技能）を身につけることが必須となります。

この授業では、独自の方法で短期間にタッチタイピング技能を習得し、その上で社会に出てすぐ役立つ代表的なアプリケーションソフトの基本操作を身に付けます。

講義の内容・授業スケジュール

4～5月 入力装置（マウス、キーボード）の操作練習
ハードウェアの基本的な操作
タッチタイピング習得練習
日本商工会議所のキーボード操作技能認定試験模擬テスト

5～6月 OSの基本操作
ワープロソフト（Word）を使用して文書の作成および編集
実務技能検定協会のビジネス文書検定試験対策

6～7月 表計算ソフト（Excel）を使った表およびグラフの作成
日本商工会議所のビジネスコンピューティング検定試験対策
日本商工会議所のパソコン検定実施

7月に日本商工会議所主催のキーボード操作技能認定試験（通称：キータッチ2000テスト）を実施します。

この認定試験は、試験時間の10分間に入力できた文字数を、商工会議所が速さと正確さをタッチタイピング技能として証明します。

申込み期間内に所定の受験料を払い込んだ申請者には「タッチタイピング技能認定証」が交付されます。この授業では証明書発行申請者には商工会議所の本テストを兼ねた評価対象テストとして、また、申請しない者には評価対象テストとしてこの試験を用いています。この試験での入力文字数が成績評価基準の大きな部分を占めます。

履修上の留意点

必ず入学式後に行なわれる総合情報センターのオリエンテーションに出席してコンピュータのユーザー登録を行ってください。ユーザーIDが無いとパソコンが使えません。従ってIDを取得していない方の受講は認めません。

また、総合情報センターの自習室利用登録を同時に行ない、タッチタイピングの練習やキータッチ2000テスト対策、課題の作成に自習室を利用してください。

IDを受領すると、すぐにメールアドレスが発行されます。今後、教員との連絡は、そのメールアドレスを使って行ないます。

欠席しないことが肝要です。病気等でどうしても都合がつかない場合は事前にメールで伝えること。

また、3回以上連続して欠席すると、それ以後の受講権利が無くなります。フロッピーディスクや必要なプリントを忘れないこと、教場内では携帯電話の電源を切るか、留守電モードにする等の配慮を怠らないようにしてください。

なお、教場は蓋の無い飲物の持込みを禁止しています。

コンピュータⅠ修了に見合う技能を、すでに高校までの間で習得してきた学生は、担当教員と相談のうえ、Ⅰを免除しⅡを受講できるように配慮しますが、それ以外の学生は、コンピュータⅠを受講していなければⅡを取ることはできません。

成績評価の方法

出席を重視します。また、キータッチ2000テスト結果も重要なポイントになります。その他、タッチタイピング習得のために自習した練習時間の合計や、指示に従って作成した提出物の良否、日常の理解度、機器操作習得のための工夫や必需品を忘れないなどに顕れる授業への参加度・熱心さなどによって総合評価を行います。

なお、欠席が多い人、提出物が8割に満たない人、最終的にタッチタイピングが習得できていない人、または10分間の入力文字数が1,000字未満の人には単位を認めません。

また、コンピュータⅠを落とすと同時に後期のコンピュータⅡの受講資格が無くなります。

教科書

正式な教科書は特にありません。ただし、作成したデータの保存用フロッピーディスク（各自調達）と、キータッチ2000テスト用フロッピーディスク（所定期間に一括購入）を用意していただきます。

参考書等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』
その他、必要に応じて使用するアプリケーションの使用説明書等

その他

最良の学習環境を確保するために、場合によっては人数制限を行います。第1回目の授業時に抽選して受講者を決定し、受講許可書を発行しますので、勝手に履修登録をすることはできません。

7月に学内で受験できる日本商工会議所の日本語文書処理技能検定試験およびキータッチ2000テストの受験希望者は、定められた申込手続期間に経理部にて申込をしないと受験できません。申込手続期間等については総合情報センターのホームページにて確認してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータⅠ（前期）	野崎 芳 秀	短 英 1 選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております、実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています、今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。情報処理の業務には、必ず第一にデータの入力、すなわちコンピュータの入力装置（マウス、キーボード）を使って正確で敏速な入力技能が必要です。次にコンピュータの心臓部であるOS〔Operating System〕（アプリケーションソフトはOSの基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です）の基本操作、次に代表的なアプリケーションソフトの基本操作等、以上基本操作を中心にパーソナルコンピュータを使用して繰り返し操作を行う事により、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- 4～5月 入力装置（マウス、キーボード）の操作練習
ハードウェアの基本的な操作
電子メールの送受信
- 6～7月 OSの基本操作、
ワープロソフト（Word）を使用して文書の作成及び編集
表計算ソフト（Excel）を使用して表の作成及び機能習得

履修上の留意点

操作を繰り返す事で技能を身につけるため、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多くつくってください。基本操作の積み重ねですから、授業を欠席した場合等は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は4号館の自習室を利用しましょう。ただし、自習室は使用登録申請が必要です。

成績評価の方法

提出された課題の出来映え、日頃の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進捗にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

教科書

正式の教科書は特に有りません。
データ保存用フロッピーディスク（3.5インチ2HD）を3～4枚が必要です。
駒澤大学発行（KOMAnet）の電子メールアドレスが必要です。

参考書等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文学史 (後期)	たき 滝 せいじゆう 静 寿	!!以降入学生/短英!必!一類 !!以前入学生/短英!必!	4

講義のねらい

歴史を背景に、イギリス文学の流れを、その時代の代表的な作品、作家を取り上げながら概観する。講義形式であるので、ノートをとって貰う。

講義の内容・
授業スケジュール

- イギリス文学史の年間講義の概略の説明、イギリスについての基礎知識、アングロ・サクソン時代までの簡単な歴史。
- 古英語時代の詩歌等『ベイウルフ』を中心に。ノーマン・コンクエストによる言語・文化の変遷。
- 16世紀までの歴史。中英語の文学チョウサー、ラングランドを中心に。ギリシャ・ローマ演劇について。
- 17世紀までの歴史、中世のイギリス演劇。ヒューマニズムについて。
- エリザベス朝の文学と演劇、特にシェイクスピアを中心に。
- 18世紀までの歴史、・ビュリタニズムについて、特にミルトン、パンヤンを中心に。王政復古について。
- 19世紀までの歴史。ポープ等について。散文の登場、ジャーナリズムの発展、サムエル・ジョンソン等を中心に。
- ヴィクトリア朝の歴史と文芸。
- イギリス文学史の総まとめ

履修上の留意点

出欠はとらない代りに、レポートを提出し、それが出席率になる。未提出(期日まで)者は単位修得はできない。

成績評価の方法

学年末のペーパーのテストが主で、提出のレポートを参考に評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

教場で説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読II (後期)	うめはら としひろ 梅原 敏 弘	!!以降入学生/短英!必!一類	2

講義のねらい

正確な英文読書力の養成を主眼とします。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書を使って、授業を進めていきます。この教科書は、アメリカの著名な日本文学研究者であるDonald Keene氏の日本人の独自性について綴ったエッセイです。平易な英語で書かれているので、1回の授業で3-4ページ進み、半期で読み上げる予定です。

履修上の留意点

受講者は必ず、毎回予習をしてくること。アットランダムにあてていくので、口頭での訳が困難な場合、訳をノートに書いてくること。

成績評価の方法

平常の授業時に行うテスト(3-4回を予定)の結果により成績判定をします。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、及び予習をしてこなかった場合、減点します。

教科書

Donald Keene 著 『The Distinctiveness of the Japanese』(朝日出版社)

参考書等

出来れば、学習者用の英英辞書(『Longman Dictionary of Contemporary English』や『Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English』等の)を購入し、利用してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語講読Ⅱ (後期)	たかのひでお 高野秀夫	1(以降入学生/短英)必1類	2

講義のねらい

Natural Speedの英語の読みと聞き取り、平易な英文の作成、作品の内容の理解に努める。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) Natural Speedで英語の読み、聞く能力を高める。
- (2) 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家Thomas Hardyは、運命論者として知られ、「この宇宙にはImmanent Will (内在された意志) があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

履修上の留意点

教科書の逐語訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

中間、期末筆記試験、平常点 (出席点、レポート等)

教 科 書

- (1) 『To Please His Wife and Other Stories』 (成美堂)
- (2) プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語講読Ⅱ (後期)	やまがたゆたか 山 縣 裕	1(以降入学生/短英)必1類	2

講義のねらい

CNNのニュースを通して、リーディングの方の向上をはかる。

履修上の留意点

6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。

成績評価の方法

出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。

教 科 書

『CNN：ビデオで見る世界のニュース (3)』 関西大学英語研究会編著 (朝日出版社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Oral Communication II (後期)	デンドウ, G.	(以降入学生/短英)必1類	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・
授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week.
Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his/her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教 科 書

Not text will be used.

参 考 書 等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

英
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Oral Communication II (後期)	キーズ, P.	(以降入学生/短英)必1類	2

講義のねらい

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.
The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The course will cover a variety of skill areas such as communications, business, socializing, travel, hotels, money, and hobbies and interests. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

成績評価の方法

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

教 科 書

The text will be announced later.
Supplementary material will be handed out by the teacher.

参 考 書 等

Although the text will be announced later the students will require the following: -
An A4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class) .
An English Japanese dictionary.

そ の 他

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation and reviewing what has been learnt.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English V (後期)	モエ, R. A. ゴマリー・グーナー, L. オーラ, B.	II以降入学生/短英I必二類 II以前入学生/短英I必二類	2

講義のねらい

To develop and improve English conversational skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will build upon the skills developed in Intensive English I. Students will be randomly paired to practice extemporaneous conversations. Specific topics will be introduced and instruction given as to how to converse on these topics in depth. Every third or fourth class students will be tested on their ability, the testing method being the TPP exercise that was introduced in Intensive English I.

履修上の留意点

Practice outside of class will be essential in order to make the progress necessary in class to receive a passing grade. That is to say, students must be able to carry on conversations for at least one minute without making any mistakes.

成績評価の方法

The grades are based on the average length of a conversation and also the number of times that a student does TPP. This data is put into the following formula

$$\text{Avg} * (\text{Count} / 3) = \text{score}$$

Avg=the average length of all TPP conversations

Count=the number of times a student did TPP conversations

This provides a score for one TPP class. The scores for all the TPP, from 1 through 20 (or whatever the last one might be) are averaged to provide the final score. The final score is then put into the following formula to determine the final grade.

$$((100-10X-5Y)/3)+Z = \text{final grade}$$

X=number of unexcused absences

Y=number of unexcused times tardy

Z=final score

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason of rbeing late, she must immediately notify the teacher her reason for late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The final grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教科書

ありません

参考書等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

その他

Students should either talk to their teacher or to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Scores will be posted regularly outside the office of the English Department.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English VI (後期)	ウエイド, D. A.	II以降入学生/短英I必二類 II以前入学生/短英I必二類	2

講義の内容・
授業スケジュール

There is no set textbook for this course--instead you will keep a writer's journal or folder. The work will cover a variety of vocabulary and grammar exercises, short essays and a number of longer writing projects, most of which require homework. An English learner's dictionary will prove indispensable.

成績評価の方法

Grades will be based on your attendance and your attentiveness in class, some writing quizzes, and the successful completion of a wide range of assignments.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English VI (後期)	ミルン, A.	II以降入学生/短英I必二類	2
		II以前入学生/短英I必二類	

講義のねらい

このクラスは英語で生徒たちの意見を伝えることができるように、そして論文を書くことができる能力をつくることを目的としたクラスである。ハイレベルの生徒には引用文を使いこなせる本格的な研究論文を書くことができるよう導く。

講義の内容・
授業スケジュール

論文を書くうえで、段落の作り方、結び方、そしてプランの方法、解答の仕方、引用文の使い方などを英語でアドバイスしたプリントをすべての学生に用意をし、授業でそれを活用していく。生徒たちはこれらを実際の彼等の研究論文や、将来の仕事などに役立てることができるであろう。

履修上の留意点

授業でのプリントと宿題を完全にこなしてもらいたい。また、授業開始前には必ず携帯電話の電源を切ってもらうこと、授業中の使用をやめてもらいたい。

成績評価の方法

大学成績基準条件に沿って評価をする。それに付け加えて課題、出席状況、また、生徒の上達ぐあいをみるライティングノートの内容等も評価の対象とする。

教科書

大学側より指定テキストがなければ、ネイティブがみる小説、新聞、雑誌等をベースとする私自身で作成した資料を授業資料の補足として使用したい。生徒たちは、考え、それらをまとめて、授業で使用するプリントを基に実際に、論文を書く。そして、学生がネイティブ用資料、引用文等から選んだどんな題材をも基に論文を書くことができるようになる。

参考書等

クラスでの学生の要望と興味に基づいた私自身で作成した資料を使用したいと考えている。学生の興味に応え、書くという機会を与えることが大切であると感じている。

その他

授業初日、学生に題材を選んでもらい、それについて書いてもらう。そのときから、学生には段落の作り方、結び方、引用元と同じような引用文の書き方等をアドバイスしたプリントをわたす。また、授業が始まってから一度、論文の描き方、プランの仕方、または、ライティング能力アップ、学生がどちらか一方を希望しているのかを聞く。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English VI (後期)	アシュウェル, T.	II以降入学生/短英I必二類	2
		II以前入学生/短英I必二類	

講義のねらい

In this course, students will write extensively in English in order to develop greater fluency and greater belief in using English as a means of communication and as a way of expressing themselves. Students will also write more formally in order to develop the ability to present their ideas in an organized fashion.

講義の内容・
授業スケジュール

Each week students will be asked to write 250 words in an e-mail journal. Students will also be required to produce essays which will need to be researched and drafted.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on: 1). completing journals on time each week; 2). completed assignments (essays); 3). effort shown in class; 4). attendance.

教科書

No textbook will be used.

参考書等

Students should bring an English-Japanese dictionary to each class. Students will be advised about buying a good English-English dictionary in the first class.

その他

Students will need a B5 notebook.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English VII (後期)	エバラト, A ・ギャリソン, J. G	1)以降入学生/短英1必2類	2

講義のねらい

Continuation of Intensive English III. Designed to further develop students' ability to understand authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. As with IE III, primary emphasis will remain on comprehension of video materials while secondary emphasis will once again be on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. The material selected for inclusion in this class will be more advanced than that of IE III.

講義の内容・
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to go to the Language Laboratory, borrow the appropriate video, take it home overnight or to the L. L. study booths, and watch it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script. During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced. Each lesson will be followed by a short test.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

成績評価の方法

Grades will be based on class participation (25%) and the results of tests given after each lesson is completed - normally 3 to 4 (75%) .

教 科 書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

参 考 書 等

None.

そ の 他

Class conducted in the language laboratory.
All material and instruction in English.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English VIII (後期)	アシウエル, T. ・ オーラ, B. レオーネ, J	11以降入学生/短英 必 二類	2

講義のねらい

The purpose of this course is to familiarize students with the TOEIC test and improve their test scores so that they feel ready to attempt the real TOEIC test for themselves.

講義の内容・
授業スケジュール

At the beginning of this course, students will take a baseline TOEIC test and at the end an exit TOEIC test. Improvement over the course in terms of test scores constitutes a major part of the assessment for the course. In between, students will study strategies for taking the test and will have opportunities to take practice TOEIC tests. The scores on these tests will also contribute to the final grade. Students will also be expected to set up their own study plans so that they organise their work outside class properly too. Work outside class also figures in the assessment of this course. Not all classtime will be spent studying TOEIC directly. In order to maintain students' speaking abilities, speaking activities will also be incorporated in the course each week.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Final grades are based on i). improvement in TOEIC score between the beginning and end of the course; ii). comparison with the average improvement in the class; iii). scores on practice tests; iv). completion of work inside class; v). completion of work outside class;E) . effort, attendance, etc.

教 科 書

Students will be asked to buy a Japanese TOEIC textbook of their own choice for use outside class.

そ の 他

REMEMBER:you can get 4 extra credits if you get 530 or over on the real TOEIC under 'the Kentei shiken' system. (Your teacher will explain more when this course begins) .

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English VIII (後期)	ロルフ, M. F.	11以降入学生/短英 必 二類	2

講義のねらい

The Test of English for International Communication (TOEIC) is a test you will be encouraged to take. In this course you will learn to build skills necessary for taking the TOEIC. In this class, you will learn how to improve your TOEIC score.

履修上の留意点

・Required materials for this course are
a) Textbook. You will be told well in advance of the first class which textbook to buy.
b) Flash cards. A set of 300 (business card size) flash cards.
c) File folder. There will be many photocopied prints given to you. You are expected to keep the prints organized.

成績評価の方法

・Grading is based on the following:
a) Participation. You must be active in class, ask questions if you do not understand something, and encourage and help your classmates.
b) Homework. Homework must be completed before every class. Homework will be cards.
c)File folder. There will be many photocopied prints given to you. You are expected to keep the prints organized.

そ の 他

・IMPORTANT:You can get 4 extra credits if you get 530 or over on the real TOEIC under the Kentei shiken' system. (I will explain more when this course begins) .
・Email:if you have any questions about this course, please contact me at: mike@rb3. so - net.ne.jp

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English VIII (後期)	デンドウ, G.	1)以降入学生/短英)必)に類	2

講義のねらい

The purpose of this course is to familiarize students with the TOEIC test and improve their scores so that they feel ready to attempt the real TOEIC test for themselves.

講義の内容・
授業スケジュール

At the beginning of this course, students will take a baseline TOEIC test and at the end an exit TOEIC test. Improvement over the course in terms of test scores constitutes a major part of the assessment for the course. In between, students will study from the textbook and will have opportunities to take practice TOEIC tests. The scores on these tests will also contribute to the final grade. Students will also be expected to set up their own study plans so that they organise their work outside class properly too. Work outside class also figures in the assessment of this course.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Final grades will be based on; 1) . improvement in TOEIC score between the beginning and end of the course; 2) . comparison with the average improvement in the class; 3) . scores on practice tests; 4) . completion of work outside class; 5) . effort, attendance, etc

教 科 書

You will be told well in advance of the first class which textbook to buy.

参 考 書 等

None

そ の 他

You can get 4 extra credits if you get 530 or over on the real TOEIC test under the Kentei shiken' system. This will be explained further in class.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータII (後期)	湯 浅 陽 子 <small>ゆ あ さ よ う こ</small>	短 英 1 選	2

講義のねらい

本講義ではコンピュータIで習得した Word や Excel の基本的技能を応用し、さらに高度な情報処理ができる能力とともに、プレゼンテーションツールを使って自己表現するものを作成し、それを皆の前で発表することによって表現力を身に付け、さらに高めていく授業を行ないます。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 9～10月 キータッチ2000テスト模擬試験
Wordで各種検定試験対策
Excelで表計算技能をさらにバージョン・アップ
- 10～11月 プレゼンテーションソフト (Power Point) を使用して、スライド作成
- 11～12月 ホームページ作成ソフト (Homepage Builder 2001) を使用し自分のホームページ原稿作成
- 12～1月 キータッチ2000テスト本試験 および作品発表

履修上の留意点

本講義を受講するには、コンピュータIを受講し合格しているか、もしくは高校生の時に、既にタッチタイピングの習得やWord・Excelの基本的技能を習得済みであることが必要です。必ず、同時に前期に行うコンピュータIの最初の授業を受けてください。前期は他の科目を履修する場合には、先にそちらの授業に出て、その後に必ず短大英文科事務室まで来てください。

コンピュータIを履修しない場合は、授業についていけるかどうかを確認する試験を受ける必要があります。

前期履修登録前に私の発行する受講許可書を受理した人のみ、受講資格がありますので、勝手に履修登録をしても許可できません。

その他の注意事項としては、

1. 総合情報センターの自習室利用登録を行なっていること。
2. 総合情報センターのオリエンテーションもしくはネットワーク講習会を受講し、メールアドレスを取得していること。
3. キータッチ2000テスト専用フロッピーディスクを購入していること。
4. 欠席しないこと。病気等でどうしても出られない場合は事前にメールで伝えること。
5. 2回以上連続して休まないこと。
6. フロッピーディスクや必要なプリントを忘れないこと。
7. 教場内では携帯電話の電源を切るか、留守電モードにすること。
8. 教場に飲みかけの飲物を持ち込まないこと等です。

成績評価の方法

出席を重視します。また、日本商工会議所のキータッチ2000テスト結果も重要なポイントになります。この他、指示に従って作成した提出物の良否および提出期限の遵守、日常の理解度、機器操作習得のための工夫や必需品を忘れないなどに顕れる授業への参加度・熱心さなどによって総合評価を行います。

なお、欠席が多い人、提出物が不備で8割に満たない人、最終的にタッチタイピングが習得できていなかった人、または10分間の入力文字数が1,000字未満の人には単位を認めません。

教 科 書

正式な教科書は特にありません。ただし、種々のアプリケーションソフトで作成したデータ保存用フロッピーディスク (各自調達) と、キータッチ2000テスト用フロッピーディスクが必要です。

参 考 書 等

駒澤大学総合情報センター『やさしいホームページ作成』
その他、必要に応じて使用するアプリケーションソフトの使用説明書等

そ の 他

学内で受験できる日本商工会議所の文書検定、および、キータッチ2000テストの受験希望者は、定められた申込手続期間に経理部にて受験料の払い込みをしないと受験できません。

申込手続期間等の詳細は総合情報センターのホームページにて確認してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータⅡ (後期)	の ぎ き よ し ひ で 野 崎 芳 秀	短 英 1 選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております、実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています、今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。コンピュータの心臓部であるOS〔Operating System〕(アプリケーションソフトはOSの基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です)の操作を学び、良く使われているアプリケーションソフト(ワープロ、表計算、データベース、プレゼンテーション等)の豊富な機能を習得し、幅広い実務に使えるように、パーソナルコンピュータを使用して、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。

なお、本講義を受講するためには、コンピュータⅠを受講済みであるか、もしくはそれと同等の操作が出来る必要があります。

講義の内容・
授業スケジュール

9～10月 OSの基本操作の修得
ワープロソフト(Word)を使用して表現力のある文書の作成及び編集を学ぶ
10～11月 表計算ソフト(Excel)を使用して表の作成、グラフの作成及びデータベース機能を修得し、実戦的な資料を作成して学ぶ
12～1月 プレゼンテーションソフト(PowerPoint)やホームページ作成ソフトを使用してパソコンを使つての表現力を学ぶ

履修上の留意点

授業に入る前にその日の資料を配布しますので、遅刻をしない事。アプリケーションソフトは多くの機能を学びます、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多くつくってください。授業中に作品が完成出来なかったり、授業を欠席した場合等は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は4号館の自習室を利用しましょう。

ただし、自習室は使用登録申請が必要です。

成績評価の方法

提出された課題の出来映え、口頭の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進捗にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

教 科 書

正式の教科書は特に有りません。
データ保存用フロッピーディスク(3.5インチ2HD)を3～4枚が必要です。
駒澤大学発行(KOMAnet)のメールアドレスが必要です。

参 考 書 等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語学概論 (前期)	お か も と 岡 本 誠	11以降入学生/短英1選必 11以前入学生/短英1必1類	4

講義のねらい

日本語で「王様の」と言うとき、英語では“royal”とか“kingly”であるとか、また“regal”などという語がそれに相当する。我々英語を勉強している者にとっては、どれか一つにしてくれと言いたいところであるが、こういう例は枚挙にいとまがない。これには実は英語の歴史的背景がある。

日本人は中学校以来英語を勉強させられるが、その英語そのものがどういう歴史をたどってきたかは全然視野に入っていない。国際共通語の地位を得たかに思えるこの言語は、そもそもいかなる出生・生立ちであるのか。その道程を概観することは、ただ単に一外国語のレベルにとどまらず、我々の母語である日本語をもあらためて見なおすヒントを得ることもなるう。

本講義は、とあるドイツ北方の言葉が海を越えてイギリスの島にわたり、国際語へと変貌をとげていく、英語の劇的な出世物語を少しでも理解しようとするものである。

講義の内容・ 授業スケジュール

英語の歴史的分。インド・ヨーロッパ語と英語の関係。英語が影響を受けることになったブリテン島の対外関係。ノルマン人によるフランス語の影響。ルネサンスと英語との関係。17世紀の英語の自己発見。大英帝国を背景とした英語。アメリカの台頭とその英語。世界各地の英語。

履修上の留意点

教科書を使用することもあるが、その際は事前に次のところを読んでおくこと。ケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

学期末試験。レポート。小テスト。

教 科 書

渡部昇一著『英語の歴史』（大修館書店）

参 考 書 等

適宜プリントを配布するが、お金があまっていてどうしても欲しい、という際は次のものが最も網羅的である。

ポー／ケイブル著・永嶋大典他訳『英語史概説』（研究者）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
言語と文化 (後期)	お か も と 岡 本 誠	11以降入学生/短英1選必 11以前入学生/短英1選	4

講義のねらい

日本は高context文化であると言われる。つまり特定の場面で発話する際、全部を言わずともあとは状況で察してほしいということである。電車をおりた人が駅から電話をかけてきて「今着いたんだけど」と言う。電話を受けた人は「だからなんなのさ？」などとは応じない。「じゃ待って。今車で迎えに行くから」などと言う。これが我々の住んでいる文化である。英語圏で、日本語あるいは日本人の発想で“I'm here at the station”と電話すればそれこそ“What do you mean?”と言われかねない。つまり我々は状況に頼っていてストレートにものを言わない文化の中にいる。

この文化の特徴は直接的に言わずにほめかして、あとは相手に察してほしい、というわけであるから、必然的に目立とうとしないことを多とする。目立つ人は出しゃばりになるのである。ところが欧米ではいい意味で目立つ人が評価されるわけで、ユニークであることはいいことである。他の人と違うからである。出しゃばらない文化では先輩をさしおいてなどという行動はありえない。先輩はたてまつるのである。悲しいかな中学校の部活で既に「先輩」「後輩」の意識はできあがってしまうようだ。しかるに、こういう言い方が英語にはない。彼らはファーストネームで呼び合うYou and I are equalの世界にいる。従って英語には敬語がないとよく言われるが、「へりくだり」の言い方はもつとない。「愚妻」だとか「豚児」などの語はないのである。

本講義では異文化間コミュニケーションとも相通じる、言語と文化の関係を考えていく。

講義の内容・ 授業スケジュール

この趣旨にそった話題を新聞や雑誌に求め、ディスカッションの場とする。

履修上の留意点

事前に問題点を吟味してくること。ケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

出席状況。発表状況。レポート提出。小テスト。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日英語比較 (後期)	うめはら としひろ 梅原敏弘	1)以降入学生/短英1)選必	4

講義のねらい

日本語と英語を比較・対照させることによって、両語の特徴と差異を探る。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語の「腰」という言葉と英語の“hip”とは同じであろうか、何故hipsと複数でいうのであるのか、というような語彙レベルでの問題、英語圏の国に手紙を書くとき、どうして番地を先に書いて、町名、国名などを後に書くのか、また英語では主語の次に動詞がきてその後に目的語が来るのに対して、日本語では動詞が目的語の後に来るのはどうしてなのか、というような語順の問題、日本語の敬語に相当するような表現が英語にあるのだろうか、という待遇表現の問題等、様々な「違い」が日英両語の間には存在する。それらを順次取り上げ、両語の特徴を探りながら、英語の表現上の特徴を明らかにしていく。授業は講義形式で行うが、完全な一方通行ではなく、日英両語の特徴と差異について、受講者白らに様々な具体的な例をあげてもらい、ディスカッションもしていく予定。

履修上の留意点

言葉に興味をもっている受講者が望ましい。履修希望者は必ず履修届を出す前に、授業に出て受講許可を受けること。パソコンを使うので、受講者はワープロソフト「ワード」を使いこなせるようにしておくこと。

成績評価の方法

レポートの出来映え、特にその独自性、と授業への積極的参加と貢献度を勘案して決める。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教科書

使用せず。

参考書等

小島義郎著『日本語の意味 英語の意味』(南雲堂)
 国広 編 『日英語比較講座』全5巻(大修館)
 国広哲哉 著『日英語の比較』(現代英語教育-8)(研究社)
 榎垣 実 著『日英比較表現論』(大修館)
 中右 実 編『日英語比較選書』全10巻(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文法論 (前期)	うめはら としひろ 梅原敏弘	1)以降入学生/短英1)選必 2)以前入学生/短英1)必1類	4

講義のねらい

基本的な文構造の知識の再確認と日本人が得に苦手とする文法項目の克服を主眼とする。

講義の内容・
授業スケジュール

指定された教科書にそって、5文型を中心とした基本的な文構造の批判的再確認を先ず行う。次いで、時制、アスペクト(完了相、進行相)、法助動詞と仮定法、不定詞等の日本人に難しい文法項目を順次取り上げ、解説していくことにする。

履修上の留意点

数多くの問題練習をやりながら、各文法項目の理解を確実なものにするという方法をとるので、各自、問題練習は全て自分でやってみて、レポートとして提出すること。

成績評価の方法

平常の授業時間内に2~3回テストを行い、その平均点に基づいて成績評価をする。レポートの提出は重視し、レポートを提出しなかった場合はテストの平均点から減点する。1回の未提出につき4点減点。

教科書

高橋作太郎著『文法』(大修館) 1,900円

参考書等

クワーク著『現代英語文法』(紀伊国屋書店)
 松波 有編『英文法』(大修館)
 正保富三者『英語の冠詞がわかる本』(研究社)
 江川泰一郎著『英文法解説』(金子書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語音声学 (後期)	やまがた 山 縣 ゆたか 裕	Ⅰ以降入学生/短英Ⅰ 選必 Ⅰ以前入学生/短英Ⅰ 選	4

講義のねらい

会話をおりませ、音声学特有の単調さをやわらげながら、日本人が発音しにくい母音や子音に詳しい解説をしていく。練習問題を多くこなしていく。

履修上の留意点

6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。

成績評価の方法

出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。

教科書

- 2冊の教科書を使用する。
 ①『コミュニケーションへの英語発音演習』小泉節子・杉森幹彦編著（南雲堂）2,233円
 ②『5分間マザー・グースの世界』来住正三編注（南雲堂）971円

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品作家研究（後期） 〔ロマン派の詩〕	くまざき 熊 崎 ひさこ 久 子	Ⅰ以降入学生/短英Ⅰ 選必 Ⅰ以前入学生/短英Ⅰ 選	4

英
文
科

講義のねらい

イギリス・ロマン派の詩を鑑賞します。
 エリザ朝にその最初の萌芽と開花を見た英国浪漫主義は、「理性と散文の時代」を経て、18世紀後半から19世紀初頭にかけて円熟と完成の時期を迎えます。この時期に活躍した詩人（その殆どは夭折してしまいましたが）とその作品を研究、鑑賞し、彼らがどのように自然と人間に対峙したかを学び、かつ、彼らがさまざまな詩型と詩句を駆使して語るイギリス湖水地方を初めとする美しい田園の姿を味わいたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 英国浪漫主義について
- 英詩の特徴、詩型、韻律等について
- 人と作品
- 補足とまとめ
 授業の進め方
 概ね以下の手順で進めます。
 1. 受講者は取り上げる詩人について、生涯、作品の特質、傾向等をあらかじめ調べて出席し、発表する。（各自2回以上発表することが必要です。）
 2. 発表に対し、質疑応答を行う。
 3. 担当者が補足する。
 4. 取り上げた作品の英国俳優等による朗読を聞く。
 5. 受講者の朗読と作品解釈。
 6. 詩型、詩句、韻律について担当者より補足。
 7. 作品について意見交換。

履修上の留意点

- 英詩における韻律はその作品を理解する上で特に重要な役割を持っています。従って黙読するだけでは十分な把握は望めません。用いられている語句に正しい抑揚をつけて音読することが必要となります。各自が下調べの段階において繰り返し音読をしてきていただきたい。
- 地名、その他固有名詞についてはテキスト注を参照されたい。
- 詩人の伝記等については、『英米文学辞典』（研究社）その他の「文学辞典」、「文学史」関係の書によって簡単に調べることが出来ます。必要に応じ教場において説明、紹介します。

成績評価の方法

- レポートによる評価……60%
- 授業中の発表等に対する評価……40%

教科書

『Seasonal Poems of England』『(英文) イギリス名詩選』（南雲堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品作家研究（前期） 〔世紀末文学〕	たき 滝 せいじゆ 静 寿	II以降入学生/短英I選必 II以前入学生/短英I選	4

講義のねらい

オスカー・ワイルドの作品を中心に、世紀末の文芸を考えてみる。童話や戯曲を中心に輪読し、ワイルドの文体をも研究する。

講義の内容・
授業スケジュール

輪読形式で行う。毎時間、議長と書記を選び、討論しながら進めていく。

○世紀末文芸と概観。ワイルドについて、作品鑑賞（童話を中心に）。

○戯曲『サロメ』の輪読。世紀末画家（ビアズレーを中心に）について。

ビデオで、パーコフの『サロメ』鑑賞。

小説『ドリアン・グレイの画像』福田恒存訳を一部原文と比較しながら輪読しワイルドの芸術観への導入。

履修上の留意点

必ず予習し、積極的に意見や考えを述べることを義務づける。テーマを割り当て、研究発表を行う。

成績評価の方法

輪読を進めていく過程での平常点、出席率、前後期レポート等の総合評価。

教 科 書

0. Wilde『The Happy Prince and Other Tales』（北星堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品作家研究（後期） 〔20世紀アメリカ小説〕	よしざわ えいじろう 吉 沢 栄 治 郎	II以降入学生/短英I選必 II以前入学生/短英I選	4

講義のねらい

スタインベックの作品『長い谷』を原文に近く意味がとらえられるように訳読していきます。自分で辞典を引いて、正しく意味をとらえているか確かめながら読むように。

履修上の留意点

英和辞典を持参のこと。

成績評価の方法

2回のテストで評価します。

（出席に留意のこと）

教 科 書

『長い谷』（南雲堂）

参 考 書 等

『アメリカ文学史』（八潮出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品作家研究（前期） 〔19世紀英文学〕	たかのひでお 高野秀夫	以降入学生/短英 選必	4
		以前入学生/短英 選	

講義のねらい

英国では英文学の入門書となっている「サイラス・マーナー」の作品を読む。その著者、ジョージ・エリオットがなぜ19世紀英文学において特異な存在になったのかを考える。

講義の内容・ 授業スケジュール

教科書

神への信仰を失い、親友、恋人そして仲間にも裏切られた主人公、サイラス・マーナーは、住み慣れた都会からラヴィロー村に移る。金を貯めることが人生の唯一の楽しみになり、ついに、天涯孤独な守銭奴となる。16年後その金が盗まれ、再び絶望の淵をさ迷う。その時、たまたま、迷い児、エッピーが家に転がり込んで来る。サイラスはその児を育てながら、美しい自然のなかで暮らす村人の温かな心に触れ、生きることの素晴らしさを知る。そして可愛い娘に成長したエッピーと幸せに暮らす。

この物語を原書で読み、他の作品の物語も言及する。登場人物の様々な問題点（孤独、神、偶然等）を採り挙げ、ジョージ・エリオット文学への扉を開く。

口頭発表

各自が課題を決めて20分程度でまとめる。

履修上の留意点

主要な19世紀英国作家の作品に触れ、絶えず文学とは何かを考える機会を多く持つこと。

成績評価の方法

- (1) 口頭発表
- (2) レポート
- (3) 7枚程度の論文

教 科 書

- (1) George Eliot: 『*Silas Marner*』
- (2) プリント

科目名	担当者名	配当学科	単 位
作品作家研究（後期） [アメリカ20世紀文学]	湯 浅 陽 子	12以降入学生/短英1・2選必 11以前入学生/短英2選	4

講義のねらい

“Lost Generation”という単語を聞いたことがあるだろうか。これは、アーネスト・ヘミングウェイ（1899～1961）が、最初の長編『*The Sun Also Rises*』の扉にガートルード・スタイン（1874～1946）の言葉として掲げた「あなた方はみんな失われた世代よ」という一句から取られたものである。これはスタインが第一次世界大戦後のパリで、自分の周辺に集まってきた若い芸術家たちに向かって言った文句と考えられ、失われた世代とは戦後の社会的混乱の中で生活の指針を失ってさ迷っている若い世代を表す言葉と解釈されている。

文学史上ではその世代に属するF・スコット・フィッツジェラルド（1896～1940）、ジョン・ドス・パソス（1896～1970）、ウィリアム・フォークナー（1897～1962）、ヘミングウェイといった、第一次世界大戦後に輩出した一群の作家たちを総称する言葉とされてきた。その世代の中から、ヘミングウェイの『*A Farewell to Arms*（武器よさらば）』を読む。

ヘミングウェイは、フォークナーとならんで、20世紀アメリカ文学界の巨星であった。彼の代表作『*A Farewell to Arms*』は、20世紀アメリカ文学の古典として既に定評がある。その意味でこの作品は20世紀アメリカ文学を知る上に欠くべからざるものであり、何よりもまず読むべき好個の入門書である。

アメリカを代表する偉大な作家でありながら、ヘミングウェイは必ずしもアメリカを描いた作家とは言えず、むしろヨーロッパを、スペインをそしてアフリカを書いた。そうした所を舞台に、彼は暴力に打ちひしがれ、絶望する人間を書いた。そして、その絶望から立ち上がろうと必死にもがきながらも、絶望を見事に克服し、忍耐と勇気を持つ逞しい人間を描いた。人一倍生きることに死ぬことを直視したヘミングウェイの作品に触れてみて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

9月 映画に描かれている『*A Farewell to Arms*』鑑賞

10月 Book One 第1章～第12章
Book Two 第13章～第24章

11月 Book Three 第14章～第32章
Book Four 第33章～第37章

12月 Book Five 第38章～第40章

大変長い小説なので、所々飛ばしながら読み進める。途中2回くらいレポート提出と、最終試験を行う予定である。

履修上の留意点

テキストに入る前に受講者をグループに分け、分担して発表してもらおう。発表は次の要領で行う

1. 担当した部分のReading、(文章が把握できているかどうか、単語の意味を辞書で調べたかどうかを読み方で判る)
2. その部分の要約、
3. 気がついた注目すべき/難解な英語表現、
4. その部分に関する作家のエピソード等調べてわかった周辺の事柄、
5. その他、自分の感想等。

万が一自分の発表の日に欠席すると、所属するグループ全体の責任となり、他のメンバーがその部分の穴埋めをしなければならない。発表者はメンバーの迷惑をかけないよう注意してもらいたい。したがって、グループ間の連絡を密にしておく必要があることは言うまでもないが、万が一の場合に備えて、自分の担当の前後についても一応準備しておくことよい。なお、発表日に休むと本人の大きな減点になるだけでなく、その部分をメンバーがカバーできなかった場合はメンバーも減点になる。その意味で発表はグループの連帯責任なのである。

発表以外の人は担当者の発表をよく聴き、発表終了後に質問事項と発表に関するコメントを所定用紙に記入し提出する。発表に関するこのコメント用紙への記入の仕方が発表者以外の人の授業への参加度点として評価の対象になるので、発表者でないからといって気を抜かないでほしい。

成績評価の方法

毎回の出席および発表評価表への記入姿勢に見られる授業への参加度（35%）、何回か回ってくる発表の為の準備度平均点（25%）、宿題レポート（15%）、最終試験結果（25%）の総合で評価する。

教科書

Ernest Hemingway: 『A Farewell to Arms』 (英潮社 Penguin Books)

参考書等

佐伯彰一編『20世紀英米文学案内-15-Ernest Hemingway』(研究社)
 石 一郎著『アーネスト・ヘミングウェイ研究』(南雲堂)
 中島顕治著『ヘミングウェイの考え方と生き方』(弓書房)
 E.L. アレン著 藤久ミネ訳『オンリー・イエスタデイ-1920年代・アメリカ』(研究社叢書)

その他

後期の授業でも、教科書は前期に購入しておく必要がある。後期は教科書販売が無いからである。

取扱い書店に必要冊数を伝える必要があるため、受講者数の確認を行ないたい。

前期同時限の「英米文学講読」第1回目の授業時に、併せてこの「作品作家研究」について受講希望者には受講願書を提出してもらうことにする。その時間に他の科目に出席していて、「英米文学講読」の教場に来れない場合は、その授業後にすぐに短大英文科事務室まで来て、受講許可願書を提出してもらいたい。また、受講予定していたが、後期になって受講を取り消す場合もあり得るであろう。その際も後期授業の第1回目の授業時に予定教場に来て、その旨を科目担当者に伝えていただきたい。そうしないと、グループ分けに支障を来してしまうからである。これは最低限の礼を尽くす挨拶というものである。

英文科

科目名	担当者名	配当学科	単位
米文学演習 (後期)	ギャリソン, J. G.	11以降入学生/短英11選必 11以前入学生/短英11選	4

講義のねらい

The literature, art and music of the Harlem Renaissance during the 1920s, how they reflect the social changes brought about by World War I, Industrialization, the Great Migration and the search by Black Americans for their African roots. The poetry, novels and short stories of Langston Hughes, Claude McKay, Countee Cullen, Jean Toomer and James Weldon Johnson will be introduced in order to present an overview of prevailing literary and social trends in America and encourage a deeper understanding of the forces at work forging racial identity and pride among African-Americans during the period.

講義の内容・
授業スケジュール

Introductory comments on American culture and slavery, followed by discussion of the social, cultural and literary trends in America during the early 1900s. Reading, discussion and analysis of selected authors, both Black and White, whose works are available in Japanese translation. Limited reading in English. Participation in seminar discussions and scheduled group and individual presentations on subjects and authors assigned upon consultation with instructor.

履修上の留意点

There will be no retests; term papers, however, may be rewritten within certain time limits.
 Computer and internet skills required.

成績評価の方法

Completion of assignments, class participation and presentations (50%) and one 7 - 10 page research paper (50%) on an author or artist selected by the student in consultation with the instructor.

教科書

Steven Watson著、『The Harlem Renaissance: Hub of African-American Culture』, 1920 - 1930, (Pantheon Books, New York) 1995

参考書等

None

その他

Sophomores will be given preference in admission.
 Completion of 20世紀アメリカ文学 or アメリカ演劇 recommended.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
20世紀イギリス文学 (前期)	たかのひでお 高野秀夫	II以降入学生/短英I・II選必	4
20世紀英文学 (前期)		II以前入学生/短英I・II選	

講義のねらい

- (1) Natural Speedで英語の聞く能力を高める。
- (2) 教科書：

19世紀には、偉大な女流作家が英文学史上に次々に登場した。男性優位の甚だしい社会の陰で、女性弱者の立場から自らの文学をこつこつ築き上げて、英文学をより一層豊かなものにした。その伝統をしっかり受け継いで、現代に生きる人の心を魅了し続けている20世紀の新しいタイプの女流小説家、20世紀英国文壇の旗手ヴァージニア・ウルフの作品を読む。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) テープの英語
- (2) 20世紀英国小説の“意識の流れ”の作家、ウルフの作品理解に努める。

履修上の留意点

英語の質疑応答があるので予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

研究発表、筆記試験、平常点 (出席、レポート等)

教科書

授業時に指示する。

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ演劇	ギャリソン, J. G.	II以降入学生/短英I・II選必 II以前入学生/短英I・II選	4

講義のねらい

This is a survey course designed to introduce the student to the elements drama and the development of the art in America during the twentieth century.

講義の内容・授業スケジュール

[Lesson content may vary somewhat from scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations and the need to spend more or less time on certain subjects.]

- 4月 2週 Introduction to drama, the stage and the craft of playwrights, director, actor and others involved in theater production
3週 Introduction continued
4週 Susan Glaspell
- 5月 2週 Eugene O'Neill I
3週 Eugene O'Neill II
4週 Lillian Hellman
- 6月 1週 Tennessee Williams I
2週 Tennessee Williams II
3週 Arthur Miller
4週 Sam Shepard
- 7月 1週 David Mamet
2週 August Wilson
3週 Final exam

履修上の留意点

1. There will be no retests.
2. More than three unexcused absences will result in the student's grade being lowered one grade for each unexcused absence beginning with the fourth.

成績評価の方法

Grades will be based on completion of reading assignments (50%), class participation (25%) and a final exam (25%).

教科書

None. Copies of reading material will be provided by the instructor.

参考書等

None

その他

Nothing

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
戯曲研究 (前期)	くまざき ひさこ 熊 崎 久 子	II以降入学生/短英I(選必) II以前入学生/短英I(選)	4

講義のねらい

シェイクスピアの『ヴェニスの商人』を読みます。
没後400年余を経てもなおシェイクスピアは世界中で最も愛されている作家と言っても過言ではありません。我が国においても内外の劇団によって、年間に上演されるシェイクスピアの作品は相当の数に上り、しかもいずれの場合にも満席の観客を動員しています。原作を読みその魅力を味わいます。この作品はシェイクスピアの一連のロマンティック・コメディの中の傑作であり、現実的な町ヴェニスとロマンティックで牧歌的な町ベルモントを舞台に、有名な「人肉裁判」、「箱運び」の二つの筋と「指輪」をめぐるエピソードが巧みに絡み合って展開します。芝居の面白さを十分に楽しみたいと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第一回目 ‘Syllabus’ に基づいて、科目に関し、内容、年間の予定、目標等々について説明をし、質疑を行います。
第二回目 シェイクスピアについて
第三回目 シェイクスピアの作品全般について
以降は ①テキストの講読
②研究発表と発表を巡ってのディスカッション
③発表に対する補足を行います。
- ①James Kirkup氏の解説と批評（『ヴェニスの商人』朝日出版社）に基づいて作品へアプローチします。その中で言及され、指摘されている名句、名場面は原文（『*The Merchant of Venice*』篠崎書林）によって味わいます。
②履修者が確定した段階で個人或はグループによる研究発表の要領を決め、逐次発表をしてもらうこととなります。研究のテーマ、発表のテーマ、発表の日時については追って発表します。
③発表に対し、質疑応答を行います。
④担当者が補足します。
⑤ビデオ・テープを用いてBBC放送収録の映画『*The Merchant of Venice*』を鑑賞します。

履修上の留意点

シェイクスピアの戯曲は韻文で書かれており、現代の散文で書かれたものに比べ難解な箇所も多々あります。テキストの注、或は訳本等を参照して、十分に予習をすることが不可欠となります。発表に備えてあらかじめ個別に指導します。予約をし研究室において打ち合わせを行います。必要な参考書についてはその都度紹介、指示します。参考書は非常に多く、皆さんの必要に応じたものを取り敢えず指示することになります。

成績評価の方法

- 研究発表の評価（発表の態度、内容等）... 50%
- 発表原稿の提出... 20%
- 平常の評価... 30%

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米文学講読（後期）	くまざき ひさこ	Ⅰ以降入学生/短英Ⅰ選必	2
英文講読Ⅱ（後期）	熊 崎 久 子	Ⅰ以前入学生/短英Ⅰ必一類	

講義のねらい

戦後華やかにアメリカ文壇に登場し、1990年代後半に数多くの作品を発表したトルーマン・カポーティの中期の代表作「ティファニーで朝食を」を読みます。方言、俗語などもしばしば出てきますが、内容、表現を楽しめるよう、読解力の向上を図ります。愛着を込めて描かれているニュー・ヨークの風物、都会的なスマートな雰囲気を味わいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) ビデオ・テープを用いてアメリカ映画『*Breakfast at Tiffany's*』を鑑賞し、hearingの力を養う。
- (2) 内容について意見を交換をし、内容の理解を深める。
本文内容についての意見の発表、その他問題点について討論など、いずれの場合もクラス全員の自発的発表、参加を主体に授業を進めます。

履修上の留意点

活発な発表と意見の交換を求められますので出席者は十分な予習が必要です。あらかじめ内容を把握し、また語句の下調べ、英語表現に関しても事前に必ず独自の意見をまとめておいて欲しい。質問に対しては即答できるようにしておくこと。

成績評価の方法

- (1) 原則として筆記試験による評価…60%
平常点…40% とします。
- (2) クラスの人数によっては平常点のみで評価する場合があります。

教科書

『*Breakfast at Tiffany's*』(Penguin Fiction)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米文学講読（後期）	たき せいじゆう	Ⅰ以降入学生/短英Ⅰ選必	2
英文講読Ⅱ（後期）	滝 静 寿	Ⅰ以前入学生/短英Ⅰ必一類	

講義のねらい

旧約聖書の『創世記』を輪読し、西洋文化の根底をなす世界観に接し、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の違いを概観してみる。平易な英語で書かれているので、速読に馴れることを目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

- 『聖書』、『聖書物語』について
- 「創世記」“天地創造”から“バベルの塔”まで
- “ノアの箱舟”
- “天地創造”のビデオ鑑賞
- “アブラハム”
- “ソドム”
- “イサク”
- “ヨセフ”から“モーゼの十戒”（出エジプト記）への導入と、ビデオ鑑賞
- 全体のまとめ

履修上の留意点

教員のみでなく学生からも常に問題を提起し、読むだけでなく、各ストーリーにもられた意味等を考えながら進めていく。

必ず予習し、積極的な意見の発表を義務づける。予習しない者は入室を拒否する。

成績評価の方法

授業を進めていく過程での平常点、出席率、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教科書

『*The Story Bible by Pearl S. Buck Vol. 1*』(英宝社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米文学講読(後期)	湯 浅 陽 子	!!以降入学生/短英I!!選必	2
英文講読II(後期)		!!以前入学生/短英I!!(一類)	

講義のねらい

”今から100年前にアメリカのミネソタ州セントポール市に生まれ、1920年～1930年代に活躍したFrancis Scott Key Fitzgeraldの『The Great Gatsby』を読む。フィッツジェラルドは44歳で死んだ短命な作家である。

第一次世界大戦後の狂騒的な好況の1920年代とあまりにも密着していたところに、この作家の華々しいスタートと成功の、ひいては1929年の大恐慌を経た後の30年代における閑却と不遇の原因を求めるのが今日のほぼ通説と見てよいかもしれない。

正味10年程の短い活動期を自分の夢を追いかけて駆け抜けていった男に「アメリカの夢」を重ね合わせる人も多い。

いま若い女性に人気のある村上春樹氏も実は相当フィッツジェラルドに傾倒していることを知っている人も少なくないことだろう。また、本木雅広演ずる某男性化粧品会社のCMに出てくる化粧品の名前もたしか“Gatsby”だった。不景気な世の中だからこそ、この名前には彷彿としたものを感じさせる何かがあるのだろうか。作品を通してそれが何であるかを感じとってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

4月 映画に描かれているThe Great Gatsby鑑賞

5月 発表 第1章 19ページ
 第2章 14ページ
 第3章 19ページ
 第4・5章 33ページ

6月 発表 第6章 13ページ
 第7章 31ページ
 第8章 15ページ
 第9章 17ページ

7月 レポート提出 Fitzgeraldと作品および家族、作品のテーマ、人生観、女性観について等。なお、試験もあり得る。

履修上の留意点

『The Great Gatsby』は中編小説だが、全章読破するとなると中々大変である。テキストは発表形式で読み進める。受講者は幾つかのグループに分かれ、そのメンバーで自分たちの担当する章を決めたくえで、分担して発表する。

発表は次の要領で行う：

1. 担当した部分のReading、(文章が把握できているかどうかを読み方で判る)
2. その部分の要約、
3. 調べて気がついた注目すべき／難解な英語表現、
4. その部分にまつわるエピソード等、調べてわかった周辺の事柄、
5. その他自分の感想等

万が一自分の発表の日に欠席すると、所属するグループ全体の責任となり、他のメンバーがその部分の穴埋めをしなければならない。

発表者はメンバーに迷惑をかけないように注意してもらいたい。グループ間の連絡を密にしておく必要があることは言うまでもないが、万が一の場合に備えて、自分の担当の前後についても範囲を超えて一応準備をしておくことよい。なお、発表日に休むと本人の大きな減点になるだけでなく、その部分をメンバーがカバーできなかった場合はメンバーも減点になる。その意味で発表はグループの連帯責任なのである。

発表以外の人は担当者の発表をよく聴き、発表終了後に質問事項と発表に関するコメントを所定用紙に記入し提出する。質問された担当者は、その場で答えられることは答えるが、準備不足の場合は、次回に回答する。

成績評価の方法

毎回の出席および質問等を含めた授業への参加度(25%)、何回か回ってくる発表の為の準備度平均点(25%)、宿題レポート(25%)、最終試験結果(25%)の総合で評価する。

教科書

F. Scott Fitzgerald: 『The Great Gatsby』 (英潮社 Penguin Book)

参考書等

野崎孝編『20世紀英米文学案内-7-F. Scott Fitzgerald』(研究社)
 小堀用一朗著『スコット・フィッツジェラルド-人と作品-』(弓書房)

ナンシー・ミルフォード著 大橋吉之輔訳 『ゼルダ-愛と狂気の生涯』(新潮社)
 『Fitzgerald's The Great Gatsby-The Novel, The Critics, The Background』 Henry Dan Piper著 (Charles Scribner's Sons)

そ の 他

最良の学習環境を確保するために、場合によっては人数制限を行う。
 その際は第1回目の授業時に抽選して受講者を決定し、受講許可書を発行する。
 受講許可書を受理した者のみ、履修登録をすることができる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英米文学講読(後期)	たかのひでお 高野秀夫	II以降入学生/短英I(選必)	2
英文講読II(後期)		II以前入学生/短英I(必)	

講義のねらい

- (1) Natural Speedで、テープの英語を聞き取る。英語の質疑応答で教科書の内容を把握し、英語の基本構文を理解する。
- (2) 教科書「クリスマス・キャロル」はいわゆるクリスマスの読物のなかでとりわけ有名な作品である。特に、冷酷な主人公が、亡霊に導かれてやさしい人間に生まれ変わる心の動きに注目しながら読み進め、様々な視点からディケンズ文学の理解を図り、英文学の面白さに迫る。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) テープの英語
- (2) 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、英国文学の知識を広げる。

履修上の留意点

英語の質疑応答があるので予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

期末筆記試験、平常点(発表、出席、レポート)

教科書

- (1) Charles Dickens: 『A Christmas Carol』
- (2) プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
聖書研究	みずしま ようこ 水島陽子	II以降入学生/短英I(選必)I類	4
		II以降入学生/短英I(選)II類	
		II以前入学生/短英I(選)	

講義のねらい

言うまでもなく、聖書をぬきにして西洋文明は語れず、また、日本を含む様々な非キリスト教文化圏においてもその影響は多大かつ複雑である。永遠のベストセラーと呼ばれるこの書物は、ありとあらゆる言語に翻訳され、人々の信仰を支えると同時に、キリスト教とキリスト教文化を知るための最も有効な手掛りのひとつとなっている。

ここでは日本語訳聖書を実際に読み進めながら、その意味、構造、歴史的背景などを理解し、さらに、英文学をはじめとする数々の文学、音楽、美術などに親しく触れながら、それらの中に聖書との関係を確認していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期……主として旧約聖書について
 (天地創造、アダムとイヴ、ノア、アブラハム、モーセ、ダビデ、ソロモン、詩篇、預言書など)
 後期……主として新約聖書について
 (福音書とたとえ話、イエスの生涯、パウロ書簡など)

履修上の留意点

1限の授業なので、年間を通して遅刻・欠席のないように。
 いかにベストセラーといえども、聖書を「読む」のは骨が折れる。授業でも紹介するが、いわゆる「聖書物語」を読むことで予備知識をつけておくとうわりやすいであろう。何より望まれるのは授業への積極的な参加である。各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、意見・感想を述べたりコメントを書いたりしてもらおう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

レポート・出席重視

教科書

『新共同訳聖書』(日本聖書協会編)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋古典文学	みずしま ようこ 水 島 陽 子	Ⅰ以降入学生/短英Ⅰ・Ⅱ選Ⅰ(一類) Ⅰ以降入学生/短英Ⅰ・Ⅱ選Ⅱ(二類) Ⅰ以前入学生/短英Ⅰ・Ⅱ選	4

講義のねらい

二千年をはるかに超える昔、ギリシャに花開いた文化は西洋文化の源流の一端となって、今もなお多様な形でその消息をたどることができる。文学・哲学・歴史、その他人間のあらゆる文化的営みの原型がギリシャにあると言っても、過言ではないだろう。その、いわゆる「古典期ギリシャ」において人々を捉えてきたテーマは、「人間とは」ということであった。人間とはいかなるものか、また、いかに生くべきものか。

ここでは、多彩に発展した神話をもとに、詩人たちがそれぞれの世界観の中でどのように「人間」を捉えてきたかを追っていききたい。古くはホメロスの『イリアス』『オデュッセイア』から、紀元前5世紀の黄金時代に競演された数々のギリシャ悲劇までを、作品論的に、かつまた現実の時代背景との関連において考察する予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

前期……神話と詩人
ホメロス『イリアス』『オデュッセイア』
後期……ギリシア悲劇
ソポクレス『オイディプス王』など

履修上の留意点

テキストに必ず目を通しておくこと。叙事詩や劇の形式、また古めかしい表現などにとまどいがあるかもしれないが、決してむずかしすぎることはない。各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、コメントを書いてもらう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

筆記試験及びレポート

教 科 書

ソポクレス『オイディプス王』（岩波文庫）

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文化事情 (前期)	アシュウエル, T.	Ⅰ以降入学生/短英Ⅰ・Ⅱ選Ⅰ(一類) Ⅰ以降入学生/短英Ⅰ・Ⅱ選Ⅱ(二類) Ⅰ以前入学生/短英Ⅰ・Ⅱ選	4

講義のねらい

このコースでは、現在のイギリス社会を色々な角度から考察する。イギリス社会を知ることにより、日本社会を客観的に見る目を養い、視野を広げることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

まずイギリスの地理をとりあげ、その後、いくつかのテーマ授業スケジュールを柱としてみていく。教材には、既製の映像教材（ビデオ・映画）のみでなく、教師自身がイギリスで収集した生の資料や、彼自身の経験もふんだんに用い、イギリスの内側からの生きた情報も盛り込む。

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on i). mini tests; ii). assignments completed; iii). effort shown in class; iv). attendance.

教 科 書

You will be advised if a textbook is necessary in the first class.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ史 (前期)	モエ, R. A.	<small>1</small> 以降入学生/短英1・1選(1類) <small>2</small> 以降入学生/短英1・1選(2類) <small>3</small> 以前入学生/短英1・1選	4

講義のねらい

To Provide students with a solid overview of American history from prehistoric times to the present day.

講義の内容・
授業スケジュール

The class will be conducted as a lecture, however, students are encouraged to ask questions at any time, Discussion of the lessons being presented is welcomed.

履修上の留意点

Students will be expected to take notes on the contents of lessons as there will be tests over the content. Students are also encouraged to submit reports over aspects of American history on their own initiative. All reports, questions, communication, and most tests will be conducted by email. Therefore, if a student does not have a personal email address, she will have to get one at the Information Center of the university.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + a$ where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all test scores and grades on papers submitted, and a represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教 科 書

There are no texts or materials for this class. Students are encouraged to read any materials or information they can on American history, be it books borrowed from the library or papers reserched on the Internet.

参 考 書 等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

そ の 他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事英語 (前期)	お か も と 岡 本 誠	I 以降入学生/短英I選必	4
		II 以前入学生/短英II選	

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でいえば“Current English”ということになるか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分をleadという。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalesque に親しみ、新聞英語ぐらひは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

『時事英語講座』(研究社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語演習Ⅰ〔英語音声の基礎〕 (前期)	お か も と 岡 本 誠	I 以降入学生/短英I選必	4
英語演習Ⅱ〔英語音声の基礎〕 (前期)		II 以前入学生/短英II選	

講義のねらい

英語音声の認識をディクテーションの手法で行なう。英語を聴いて、それを正確に書き上げるという作業はその人の実力をずばりと表す。例の“r”音と“l”音の認識といったレベルにとどまらず、ここで文が完結したな、じゃここでピリオドを打って次が文題になるな、などといったイントネーションのレベルに至るまで幅広く力量が要求されるからである。TOEFL500点以上、TOEIC700点以上を達成したい人はどうぞ。

講義の内容・
授業スケジュール

聴く英語の内容は慣用語句の成立背景を説明したもの。同じ聴いて書くならば、面白くてためになるものが多い。例えば、アメリカでは「近所の人と生活振りを張りあう、世間に遅れをとらないようにする」ということを“to keep up with the Joneses”と言う。また、もともとは人物の名前(実在の市長さん)であったのだが“maverick”は「一匹狼」の意味で現在は用いられている。こういう表現の成立をついでに知って、自分達も使いこなそう、という意図でもある。

履修上の留意点

遅刻して物音をたてながら入ってくるは迷惑至極。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。そういう授業なのである。

成績評価の方法

小テスト。発表情況。出席情況。

教 科 書

教科書は使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習 〔シャーロックホームズ〕 (後期)	たき せいじゆう 滝 静 寿	12以降入学生/短英1選必	4
英語演習II 〔シャーロックホームズ〕 (後期)		11以前入学生/短英1選	

- 講義のねらい 推理小説の古典『シャーロック・ホームズ』ものの中から1篇を、受講者の希望を考慮して選び、輪読し、推理しながら当時のロンドンの風俗やイギリス人気質など研究する。
- 講義の内容・授業スケジュール 輪読しながら、ロンドンを中心に地図をもとにしなが、推理過程における町や鉄道の様子、生活状況を研究していく。2、3篇の作品をビデオ鑑賞する予定。
- 履修上の留意点 必ず予習し、時間中は積極的に意見や考えを述べることを義務づける。また他の全作品を日本語で必ず読んで貰う。
- 成績評価の方法 輪読を進めていく過程での平常点、出席率、学年末のペーパー・テスト等による総合評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習〔ボキャビュラリービルディング〕(前期)	うめ はら としひろ 梅 原 敏 弘	12以降入学生/短英1選必	4
英語演習III〔ボキャビュラリービルディング〕(前期)		11以前入学生/短英1選	

- 講義のねらい 英文読解の基礎は単語と文法と文脈を読む力にある。文法は高校までの文法がしっかりしていれば日常の読書には殆ど問題はない。文脈を読む力は単語力に左右される。要するに問題は単語である。辞書を引き引き1時間かけて1ページ読むというのでは、実用的な読書にはほど遠い。こうした読書をせざるをえないのは単語を知らないからである。実用的な読書をするためには、単語力の増強が不可欠である。とはいっても、英語の単語の数は膨大であるし、覚えなくてはいけない単語の数は気が遠くなるほど多い。特に読書の際に必要な長音節語は、会話の際頻出する基本語に比べて出現頻度も高くなく、読書をしながら覚えていくにしても、あまり効率よく覚えられない。そこでどうしたら効率よく単語を覚えるかが問題となる。本演習では、効果的単語力増強の一方法として語源を利用することとし、実際に語源を使って語彙を増やしながら、語源を使った単語力増強法を身につけてもらう。また、単語力の増強を図りながら、一言一句細かく英文を読みながら正確に英文を読み取ることを目標とする。

- 講義の内容・授業スケジュール 新聞や雑誌の記事、ちょっとしたストーリーや逸話など、異なった種類の英文を取り上げ、まずそれらを綿密に読む。その後、その中で使われている単語の中から語源的に興味ある単語を抽出して、語根、接頭語、接尾語を中心とした語源的観点から当該単語の意味を解説する。次いで同じ語根、接頭語、接尾語を持つ関連語を教師が受講生に提示し、それらの意味・用法を説明する。時には受講生自ら辞書を使い、教師のヒントをもとに関連語を探し出し、簡単な語源的記述をして、教師の用意した例文を読んで、実際に文の中でどのように当該単語が使われるかを観察することもある。一つの記事もしくはストーリーが終わるごとに小テストをして、扱った単語の記憶を図る。

- 履修上の留意点 単語力をつけるためには普段からの努力の積み重ねが必要である。そうした努力を厭わない受講者が望ましい。パソコンを使用するので、ワープロソフト「ワード」を使いこなせるようにしておくこと。受講希望者多数の場合は小テストをして、受講者を決定する。従って、受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。

- 成績評価の方法 授業時間中に頻繁に行う小テストの合計点で成績判定をする。

- 教科書 使用しない。ハンドアウトを配る。

- 参考書等 小川芳男 編『ハンディ語源英和辞典』(有精堂)
渡部昇一 著『英語の語源』(講談社現代新書)
梅田修 著『英語の語源物語』(大修館書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語演習〔時事英語へのアプローチ〕(前期)	よしざわ えいじろう 吉 沢 栄 治 郎	1 以降入学生/短英 選必	4
英語演習Ⅳ〔時事英語へのアプローチ〕(前期)		1 以前入学生/短英 1 選	

講義のねらい

時事ニュースを訳読していきます。ディクテーションも兼ねますので、日頃からニュース等を聞いて耳を練ってください。(ラジオでAFNを利用するとよい)

履修上の留意点

英和辞典、必携のこと。

成績評価の方法

2回ないし3回のテストを行ないます。
(出席に留意のこと)

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

プログレッシブ英和中辞典(小学館)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語演習〔英語表現〕(前期)	たかの ひでお 高 野 秀 夫	1 以降入学生/短英 選必	4
英語演習Ⅵ〔英語表現〕(前期)		1 以前入学生/短英 1 選	

講義のねらい

日常、大学生活において役に立つ、口語英語表現の英作の例文を多数練習し、Case by Caseですぐに英語で自分の意思が伝えられるような、実践的な英作文の授業を目指す。
また、英字新聞で日常生活の出来事を伝えるための身近な英語表現の向上をも図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 英字新聞の活用。
- (2) 「コミュニケーションのための口語英作文」のテキスト使用。

履修上の留意点

- (1) 日常の出来事を30分間でよいから毎日英文で書き表す習慣を身につけること。
- (2) 教科書の練習問題の解答、レポート提出を忘れぬこと。

成績評価の方法

- (1) レポート(いろいろな話題を英語で書き表す。)
- (2) 中間・期末のテスト
 - (a) 英字新聞
 - (b) 教科書
 - (c) 自由英作文(辞書持込可)
- (3) 平常点

教 科 書

- (1) 『The Road From Writing To Speaking』
- (2) 『Broadcasting English 21 Approaches』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現（後期）	お か も と 岡 本 誠	11以降入学生/短英1選必	4
英作文（後期）		11以前入学生/短英1必1類	2

講義のねらい

英語が話せるようになりたいと願う人は多い。しかし、いきなり話せるようになるものではない。聴く力がまず備わることが前提になっている。つまりlistening comprehensionの力なくして話せるようにはならない。これは真理である。この講義ではリスニングの力を養い、それをいかに発話に結びつけていくか、つまり、いかに英語で表現してみるか、ということに力点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

聴く対象としてはアメリカに関する面白そうな話題を用意している。例えば

- ・アメリカへの移民の歴史
- ・入植者と先住民の対立
- ・黒人の苦勞
- ・Fast foodの文化と健康の問題
- ・Walt Disneyとその事業
- ・Hawaiiの歴史
- etc.

履修上の留意点

こういった話題のテープをダビングし、まず自分で下見ならぬ下聴きをし、授業に臨む。話の展開に応じての英語による質問に英語で答えることが要求される。遅刻は物音をたてるので減点の対象。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。

成績評価の方法

発表力。出席情況。

教科書

教科書の類は使用しない。

英文科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現（後期）	う め は ら と し ひ ろ 梅 原 敏 弘	11以降入学生/短英1選必	4
英作文（後期）		11以前入学生/短英1必1類	2

講義のねらい

英語で自分の意志を表現するための基礎力の養成を目指す。具体的には、まず第一に基本的な英語表現をセンテンス単位で完全に覚え込み、それを使いこなせるようにする。第二にはテープを反復練習することによって英語の音声に慣れ、基礎的な英語聴解力を養うと同時に、英語の音声・特にリズムの基礎を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

受講者はあらかじめ家でテープに録音された英語のセンテンスを聴き、それをノートに書き写しておく。毎回15センテンス程度。そして教室でその結果をコンピューターに入力し、教師から正答を聞き、聞き取れなかった単語を補い、また誤って聞き取ってしまった単語を訂正する。その際、各々の表現について語法上の注意点及び聞き取れなかった箇所の音声上の問題点につき説明をうける。その後でテープを使って各々のセンテンスの反復練習をおこなう。限られた授業時間では反復練習は十分におこなうことが出来ないため、家で十分に反復練習することが求められる。

毎回、授業は前回の授業で習った文を完全に覚え込んでいるかどうかを確認することから始まる。この際、テープの後についてよどみなく且つ正しい英語のリズムで英文を言うことが出来るかどうかには注意が払われる。その後で、各々の表現を使った英問英答練習及び口頭英作文の練習をおこなう。

履修上の留意点

授業の性格上またコンピューターを使用する関係上、多人数の授業は無理なので、受講希望者が多数の場合は、小テストを実施して受講者を決定する。従って、受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。

成績評価の方法

毎回授業の最初におこなうテープを使った再現練習の出来具合、前期・後期の終了時におこなう試験の結果及び出席を総合的に勘案して成績評価をする。

教科書

テキストは使わない。

参考書等

東後勝明『英会話のリズムとイントネーション』（金星堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現（後期）	たかのひでお 高野秀夫	!!以降入学生/短英!選必	4
英作文（後期）		!!以前入学生/短英!必1類	2

講義のねらい

英作文の教科書と英語ニュースで英語表現能力を高め、平易な英語で自由に自分の意思を伝えることができるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 各授業時間一つのニュースをNatural Speedの英語で聞き、その役立つ英語表現で自由に英文を作る練習を重ねる。
- (2) 教科書に従って授業計画を立てているので、教科書参照。
- (3) A Short Speechは身近な話題を自分の英語で表現する

履修上の留意点

- (1) 出来るだけNatural Speedの生の英語に慣れ親しむこと。
- (2) 一日30分間でよいから自分の思ったことを英語で書き表してみること。

成績評価の方法

- (1) レポート
- (2) 中間・期末各1回テスト
 - (a) 英語ニュース
 - (b) 教科書の英作文
 - (c) 自由英作文
- (3) 平常点

教科書

- (1) 『Unique English Composition (Vol I・II)』
- (2) 『TV News Watching・21 Approaches』

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現（後期）	よしざわ えいじろう 吉沢栄治郎	!!以降入学生/短英!選必	4
英作文（後期）		!!以前入学生/短英!必1類	2

講義のねらい

日用文を英訳していきます。訳し方にはバリエーションがあります。数多く、ショート・センテンスをメモしつつ、口誦のこと。

履修上の留意点

和英辞典を持参のこと。

成績評価の方法

2回ないし3回のテストを行います。(出席に留意のこと)

教科書

追って教場で指示します。

参考書等

『プログレッシブ和英中辞典』（小学館）、『新自修英作文』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現（前期）	たき 滝	I?以降入学生/短英I選必	4
英作文（前期）	せいじゆ 静 寿	II以前入学生/短英I必I類	2

講義のねらい

日本の文学作品が多数英訳され、世界中で読まれている。しかし日本の伝統ある文化がどのように伝えられているだろうか。必ずしも適正に伝達されているとは思えない。翻訳者の優劣もさることながら、他国語に移しかえることは大変難しい。文学作品なら更に困難な問題が山積している。この授業では、名訳とされている作品の一部を取り上げ、原典と比較して、言葉の違いが理解、観賞する上でどのような影響をおよぼすか研究する。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に、世界の古典『源氏物語』を取り上げ、二、三の現代日本語訳を比較し、英訳ではウエーリー、サイデンスティフカー等の訳を検討する。その他漱石、川端の作品、短歌、俳句等研究する。

履修上の留意点

英語のみならず、日本語の学習を充分することを要求する。

成績評価の方法

定期テスト60点、出欠20点、平常点20点で評価する。

教 科 書

すべて配布プリントによる。

そ の 他

積極的に意見発表することが肝要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語翻訳法 (前期)	うめはら としひろ 梅原 敏 弘	11以降入学生/短英1選必	4

講義のねらい

「A translator is a traitor」(翻訳者は反逆者である)とはよく言われる。これは、完全な翻訳がいかに難しいかを指摘するためにしばしば引き合いに出される言葉である。確かに、翻訳は難しいし、所謂「名訳」は一流の翻訳家の「名人芸」によってしか、生み出されないのかもしれない。勿論、この講義で目指すのはそうした「名人芸」の修得ではない。授業やテストの際お目にかかる、妙な、理解に苦しむ直訳からいかに脱し、出来るだけ自然な訳文に近づけるにはどうしたらよいか、その方法を勉強する。

講義の内容・ 授業スケジュール

「直訳という名の誤訳」という本が出版されたことがある。直訳が全て誤訳というわけではないが、この本の指摘する通り、英文を正しく理解していなくても、直訳によって、英文を日本語にすることは出来る。しかし、こうした直訳では、正しい意味や微妙なニュアンスを伝えることが殆ど不可能であると言ってよい。意味不明の訳文には、えてして直訳によるものが多い。こうした事態に陥るのは、一つには、英語と日本語の構造の違いを無視して、英語の構文に訳語をあてはめて、英文の構文はほぼそのままにし、語順だけを日本語にするからである。

そこで本講義では、直訳を避け、出来る限り自然な日本語訳にするための一つの大きな要素として、英語の構文をいかに日本語の構文に移し変えるかという点をとりあげ、それを重点に講義を進めていくことにする。

授業を3段階に分け、学生の翻訳実習と添削を中心に授業を進める。

第1段階：翻訳の基礎練習。(読み下し練習、辞書の訳語と“定訳”、代名詞と省略、漢語と和語、無生物主語、その他)

第2段階：文法項目を中心とした翻訳練習。(名詞構文と動詞構文、所有格、時制、関係代名詞、形容詞・副詞、仮定法、語法、その他)

第3段階：総合練習。(長文翻訳練習)

履修上の留意点

授業はコンピュータを使って行うので、受講者はワープロ・ソフトを使いこなせるようにしておくこと。なおコンピュータの台数に制限があるため、受講希望者多数の場合は、選抜を行います。受講希望者は、下記の英文をあらかじめ翻訳し、第1回目の授業に必ず出席して、提出すること。

Whoever has to deal with young children soon learns that too much sympathy is a mistake. A child that invariably receives sympathy will continue to cry over a tiny mishap; the ordinary self-control of the average adult is only achieved through knowledge that no sympathy will be won by making a fuss.

成績評価の方法

平常の授業時に行う翻訳の小テストの結果(50%)、毎回提出してもらった課題の英文翻訳練習の出来具合(30%)、期末長文翻訳問題の出来具合(20%)。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教 科 書

使用しません。

参 考 書 等

- 別宮貞徳 著 『翻訳を学ぶ』(八潮出版社)
- 別宮貞徳 著 『翻訳読本』(講談社)
- 河野一郎 著 『翻訳上達法』(講談社)
- 東田千秋 著 『直訳という名の誤訳』(南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	モエ, R. A.	I 以降入学生/短英I選(一類)	2
Advanced English IIA (前期)		II 以降入学生/短英I選(二類) III 以前入学生/短英I選	

講義のねらい

To encourage students to develop their own ideas by introducing them to selected readings over which discussions will be held.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will be expected to read the following books on their own outside of class. They may read these texts in either English or Japanese; understanding the contents of them will be essential as these will provide the basis of discussions in class. The books should be read in the order in which they are listed.

履修上の留意点

Students will be expected to participate actively in class discussions. Students who are passive, shy, and who do not make any effort to participate in the discussions will not pass this course. All communications, reports, and tests will be conducted by email. Therefore, if a student does not have a personal email address, she will have to get one at the Information Center of the university.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$ where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all test scores and grades on papers submitted, and α represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教 科 書

Tao by Lao tzu, 『The Art of War by Sun tzu, Nineteen Eighty-four』 by George Orwell, and Brave New World by Aldous Huxley. Some of these books are difficult to obtain, so students are free to use any versions they can find.

参 考 書 等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

そ の 他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take makeup test at a later date.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	ウエイド, D. A.	I 以降入学生/短英I選(一類)	2
Advanced English IIA (前期)		II 以降入学生/短英I選(二類) III 以前入学生/短英I選	

講義の内容・
授業スケジュール

When you graduate from Komazawa, the two areas in which you will find English most useful are when travelling or at work. This course will give you the opportunity to revise all of the English you have studied so far and then to extend your communication skills in a variety of realistic settings. You will be speaking in pairs, small groups, one-on-one with the instructor, and in front of the class. There will be regular homework assignments using both the textbook and the Internet.

成績評価の方法

Grades will be based on both your attendance and the attentiveness you show in class, homework & quizzes, and your in-class performance.

教 科 書

The textbook we'll be using is 『Expressions Book 2』 by David Numan (published by Thompson)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Advanced English A (前期)	アシュウェル, T.	II以降入学生/短英I選(一類)	2
Advanced English IIA (前期)		II以降入学生/短英I選(二類) II以前入学生/短英I選	

講義のねらい

The aim of this course is to develop students' all-round abilities in English in a small group environment.

講義の内容・授業スケジュール

The content of this course will largely be decided by the teacher and the students as we go along. It will depend on students' interests and goals, but it is anticipated that, in addition to a great deal of free conversation practice, students will read and discuss books and will make formal presentations about films.

履修上の留意点

Students will be expected to have a strong commitment to improving their English abilities. Only a small number of students who can demonstrate a real determination to get better at English will be admitted to this class.

成績評価の方法

開講時に指示します。

教科書

なし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Advanced English A (前期)	レオーネ, J.	II以降入学生/短英I選(一類)	2
Advanced English IIA (前期)		II以降入学生/短英I選(二類) II以前入学生/短英I選	

講義のねらい

The purpose of this class is to help students improve their overall English ability with special emphasis on listening and speaking skills.

講義の内容・授業スケジュール

Students will work in pairs and groups. They should be active in class and participate by using English as much as possible with the teacher and with each other. There will be variety of speaking activities including role-plays, group discussions, and information gap type interviews. There will also be extensive listening activities and vocabulary work.

履修上の留意点

In this class students should:

- be willing to work and cooperate with others in class.
- be prepared and always have pens, notebooks, texts, dictionaries, etc. with them.
- attend a minimum of 80% of classes
- provide explanations for all valid absences and tardiness.

成績評価の方法

Students' grades will be based on scores on tests and quizzes (50%) and class participation (50%). Class participation means homework, class exercises, speaking English in class, and attendance...

教科書

To be announced.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	ロルフ, M. F.	11以降入学生/短英1選(1類)	2
Advanced English IIA (前期)		12以降入学生/短英2選必(2類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

Advanced English IIA is an independent press. Students will be required to handle all aspects of journalism. This class will produce a monthly newsletter for the students of this school.

履修上の留意点

Regular attendance is mandatory.

成績評価の方法

Grades will be based on attendance, quality of work and research reports.

教 科 書

Required text or materials will be announced at a later date.

英
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	グリフィス, J.	11以降入学生/短英1選(1類)	2
Advanced English IIA (前期)		12以降入学生/短英2選必(2類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

The principal aims of this course will be to improve the ability of the students to express themselves effectively in conversational English on a variety of topics and also to increase their vocabulary and understanding of written English.

講義の内容・
授業スケジュール

Each class will cover different topics in the news, popular culture, or in global trends in business, science, and the environment. Students may be asked to make individual presentations to serve as the basis for broader interaction among members of the entire class.

履修上の留意点

During the course of two semesters, students will be expected to become familiar with the material presented in class, whether it is presented by other students or culled from the Internet, textbooks, or other sources. Regular attendance and enthusiastic participation in classroom activities will be required to successfully complete the course.

成績評価の方法

Attendance and class participation will count for 50% of the final grade. Presentations, assignments, or test scores will count for the other 50%. Every three unexcused absences may lower the final grade by ten points. Tardiness will be frowned upon and may lower the final grade by ten points. Tardiness will be frowned upon and may result in the lowering of grades.

教 科 書

To be announced.

そ の 他

Any questions or problems a student has concerning the class should be discussed directly with the instructor.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (前期)	モエ, R. A.	!!以降入学生/短英!選!一類	2
Advanced English IIB (前期)		!!以降入学生/短英!選!必!二類 !!以前入学生/短英!選	

講義のねらい

Students will be given the opportunity to expand and develop the skills they have developed in Advanced English A through discussions of any topics that interest them.

講義の内容・
授業スケジュール

The emphasis of the course is in conducting and maintaining natural conversations in English over a broad range of topics.

Reading newspapers, weekly magazines and other periodicals, listening to the news on the radio or watching it on TV, and researching subjects of interest on the Internet are encouraged as they provide valuable material for discussion.

履修上の留意点

Students will be expected to participate actively in class discussions. Students who are passive, shy, and who do not make any effort to participate in the discussions will not pass this course. All communications, reports, and tests will be conducted by email. Therefore, if a student does not have a personal email address, she will have to get one at the Information Center of the university.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$ where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all test scores and grades on papers submitted, and α represents adjustments, made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教 科 書

There are no assigned texts for this course.

参 考 書 等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

そ の 他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (前期)	ウエイド, D. A.	!!以降入学生/短英!選!一類	2
Advanced English IIB (前期)		!!以降入学生/短英!選!必!二類 !!以前入学生/短英!選	

講義の内容・
授業スケジュール

This course continues the work started in the first semester, covering the second half of the same textbook.

When you graduate from Komazawa, the two areas in which you will find English most useful are when travelling or at work. This course will give you the opportunity to revise all of the English you have studied so far and then to extend your communication skills in a variety of realistic settings. You will be speaking in pairs, small groups, one-on-one with the instructor, and in front of the class. There will be regular homework assignments using both the textbook and the Internet.

成績評価の方法

Grades will be based on both your attendance and the attentiveness you show in class, homework & quizzes, and your in-class performance.

教 科 書

The textbook we'll be using is 『Expressions Book 2』 by David Numan (published by Thompson.)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (前期)	アシュウェル, T.	11以降入学生/短英1選1類	2
Advanced English IIB (前期)		11以降入学生/短英1選必2類 11以前入学生/短英1選	

講義のねらい

The aim of this course is to develop students' all-round abilities in English in a small group environment.

講義の内容・
授業スケジュール

The content of this course will largely be decided by the teacher and the students as we go along. It will depend on students' interests and goals, but it is anticipated that, in addition to a great deal of free conversation practice, students will read and discuss books and will make formal presentations about films.

履修上の留意点

Students will be expected to have a strong commitment to improving their English abilities. Only a small number of students who can demonstrate a real determination to get better at English will be admitted to this class.

成績評価の方法

開講時に指示します。

教 科 書

なし

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (前期)	レオーネ, J.	11以降入学生/短英1選1類	2
Advanced English IIB (前期)		11以降入学生/短英1選必2類 11以前入学生/短英1選	

講義のねらい

The purpose of this class is to help students improve their overall English ability with special emphasis on listening and speaking skills. There will also be a strong focus on increasing practical English vocabulary.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will work in pairs and groups. They should be active in class and participate by using English as much as possible with the teacher and with each other. There will be variety of speaking activities including role-plays, group discussions, and information gap type interviews. There will also be extensive listening activities and vocabulary work.

履修上の留意点

In this class students should:

- be willing to work and cooperate with others in class.
- be prepared and always have pens, notebook texts, dictionaries, etc. with them.
- attend a minimum of 80% of classes.
- provide explanations for all valid absences and tardiness.

成績評価の方法

Students' grades will be based on scores on tests and quizzes (50%) and class participation (50%). Class participation means homework, class exercises, speaking English in class, and attendance...

教 科 書

To be announced.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (前期)	ロルフ, M. F.	I(以降入学生/短英)選I(一類)	2
Advanced English IIB (前期)		I(以降入学生/短英)選II(二類)	
		II(以前入学生/短英)選	

講義のねらい

Advanced English IIA is an independent press. Students will be required to handle all aspects of journalism. This class will produce a monthly newsletter for the students of this school.

履修上の留意点

Regular attendance is mandatory.

成績評価の方法

Grades will be based on attendance, quality of work and research reports.

教 科 書

Required text or materials will be announced at a later date.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (前期)	グリフィス, J.	I(以降入学生/短英)選I(一類)	2
Advanced English IIB (前期)		I(以降入学生/短英)選II(二類)	
		II(以前入学生/短英)選	

英
文
科

講義のねらい

The principal aims of this course will be to further improve the ability of the students to express themselves effectively in conversational English on a variety of topics and also to increase their vocabulary and understanding of written English.

講義の内容・
授業スケジュール

Each class will cover different topics in the news, popular culture, or in global trends in business, science, and the environment. Students may be asked to make individual presentations to serve as the basis for broader interaction among members of the entire class.

履修上の留意点

During the course of two semesters, students will be expected to become familiar with the material presented in class, whether it is presented by other students or culled from the Internet, textbooks, or other sources. Regular attendance and enthusiastic participation in classroom activities will be required to successfully complete the course.

成績評価の方法

Attendance and class participation will count for 50% of the final grade. Presentations, assignments, or test scores will count for the other 50%. Every three unexcused absences may lower the final grade by ten points. Tardiness will be frowned upon and may result in the lowering of grades.

教 科 書

To be announced.

そ の 他

Any questions or problems a student has concerning the class should be discussed directly with the instructor.

科目名	担当者名	配当学科	単位
News English (後期)	グリフィス, J.	I?以降入学生/短英?選?一類	2
Reading Comprehension(後期)		I?以降入学生/短英?選?必?二類 II?以前入学生/短英?必?二類	

講義のねらい

The principal aims of this course will be to improve the ability of the students to understand written news English on a variety of topics and also to increase their vocabulary.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will cover different topics in the news, popular culture, or in global trends in business, science, and the environment. Students may be asked to make individual presentations to serve as the basis for broader interaction among members of the entire class.

履修上の留意点

During the course of two semesters, students will be expected to become familiar with the material presented in class, whether it is culled from the Internet, newspapers, magazines or other sources. Regular attendance and enthusiastic participation in classroom activities will be required to successfully complete the course.

成績評価の方法

Attendance and class participation will count for 50% of the final grade. Presentations, assignments, or test scores will count for the other 50%. Every three unexcused absences may lower the final grade by ten points. Tardiness will be frowned upon and may result in the lowering of grades.

教科書

To be announced.

その他

Any questions or problems a student has concerning the class should be discussed directly with the instructor.

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
English through movies (後期)	おかもと まこと 岡本 誠	I?以降入学生/短英?選?一類	2
Group Discussion (後期)		I?以降入学生/短英?選?必?二類 II?以前入学生/短英?必?二類	

講義のねらい

映画が嫌いだという人はまずいない。邦画でなければ、世界を席捲しているハリウッドものになってしまい、いきおい英語が飛び交うことになる。その映画を手段にして英語を勉強しよう、というのが本講義のねらいとするところで、「エーガでエーゴ」というのがモットーである。

講義の内容・授業スケジュール

しかし、いわゆる「アクションもの」というか「刑事もの」というか、カーチェイスがあったりとかいう「ドカン!バキューン!」の類は我々英語を外国語とする者にとっては勉強にならない。勉強するのにわざわざ“汚ない英語”を目標とすることはないのである。外国語を勉強するときは、その国の王様や大統領とも話せるような言葉を身につけるべきだ。そこで、担当者の好みのせいもあるが、落ち着いた雰囲気のある品のいい作品を対象とする。

また逆に、邦画を観て、登場人物の台詞をいかに要領のいい英語に訳すか、ということも行なう。つまり、逆トグ・ナツコをやるのである。どちらにしても、事前にシナリオをこちらから提供する。

履修上の留意点

シナリオを事前に自分で吟味し、対訳を考えてみること。ケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

発表状況。小テスト。出席情況。

教科書

教科書の類は使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語とコンピュータⅠ (前期)	ウエイド, D. A.	以降入学生/短英?選(一類)	2
		以降入学生/短英?選必(二類)	
		以前入学生/短英?選	

講義のねらい

This is a completely practical 'hands-on' course to help you get the most out of computing. After a short introduction to the vocabulary of computers, we'll get to work on a variety of exercises using word processors, spreadsheets, and e-mail. At the end, we'll look at desktop publishing and the future of electronic communications. The main part of the course will be an extended series of projects using the Internet. There will be occasions when you work in pairs or small teams but many of the assignments will be solo efforts, most of which will require working outside of regular class time.

成績評価の方法

Grades will be based on attendance, effort, and the professionalism with which you approach the projects and the presentation of your results.

教 科 書

There is no textbook for this course so you will be expected to keep notes and assemble a portfolio of your various projects.

英
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語とコンピュータⅡ (後期)	ウエイド, D. A.	以降入学生/短英?選(一類)	2
		以降入学生/短英?選必(二類)	
		以前入学生/短英?選	

講義のねらい

This is a completely practical 'hands-on' course to help you get the most out of computing. After a short introduction to the vocabulary of computers, we'll get to work on a variety of exercises using word processors, spreadsheets, and e-mail. At the end, we'll look at desktop publishing and the future of electronic communications. The main part of the course will be an extended series of projects using the Internet on a higher level than semester I. There will be occasions when you work in pairs or small teams but many of the assignments will be solo efforts, most of which will require working outside of regular class time.

成績評価の方法

Grades will be based on attendance, effort, and the professionalism with which you approach the projects and the presentation of your results.

教 科 書

There is no textbook for this course so you will be expected to keep notes and assemble a portfolio of your various projects.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
同時通訳入門（後期）	モエ, R. A.	1 以降入学生 / 短英1選1 一類	4
同時通訳II（後期）		2 以降入学生 / 短英2選必(二類)	
		3 以前入学生 / 短英1選	

講義のねらい

To teach students the basic skills of simultaneous interpreting

講義の内容・
授業スケジュール

After introducing the basic skills of interpreting, students will be expected to apply them in practice. Both Japanese to English and English to Japanese interpretation will be covered. Each student will be expected to be able to give two short talks, one in English and the other in Japanese. As she does so, another student will simultaneously interpret the talks.

履修上の留意点

Students will need to practice speaking smoothly and clearly prior to class so that time in class will not have to be taken to correct their English. The emphasis of this course is on interpreting and not grammar or pronunciation, so students should practice those skills in other classes. Much preparation will be required to speak naturally in class without notes. Inability to do so will adversely affect a student's evaluation. Students will be evaluated at each class.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$ where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all evaluations, and α represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教 科 書

There are no assigned texts for this course.

参 考 書 等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

そ の 他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
秘書英語	もりもと まさえ 森 本 正 恵	短 英 1・2 選	2

講義のねらい

ビジネスにおける日常会話のsituationに応じてよく使われる定型表現の使い方を通じて、秘書としてマナーに適った使い方やその場に関連する実用的なエチケットについても学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーションー授業のねらいと進め方
Greetings & Farewells
2. Introduction
3. Thank you
4. Telephone Calls
5. Appointments
6. Apologies
7. Invitations
8. Directions
9. Clarifications
10. Agreement and Disagreement

履修上の留意点

グループワークや個人の実技など体験を通じた授業で進めますので、欠席すると課題や復習などが分からなくなります。また、グループワークを取り入れますので、欠席してメンバーに、迷惑をかけないように心がけること。

成績評価の方法

出席を重視します。定期テストおよび確認テストを実施します。実技についても含みます。

教 科 書

授業のはじめに指示します。

参 考 書 等

プリントなど資料を必要に応じ配布します。

そ の 他

習ったことがすぐ使えるように復習を十分すること。
確認テストを毎回実施しますので、意欲的な学生の参加を求めます。

英
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス実務概論 (前期)	もりもと まさえ 森 本 正 恵	短 英 1・2 選	2

講義のねらい

高度情報化社会にともない、社会のグローバル化、少子・高齢化など私たちを取り巻く社会環境の変化は著しいものがあります。このような中で求められているのは、自律した個性ある創造性豊かな人材であり、働き方も営利・非営利を問わず多様化しています。

ビジネス社会において求められる能力とは何か、ビジネス実務について理解を深め、知識・技能だけでなく人間を知り、文化の違いを感じとって、社会に広がるビジネス実務の「実践の知(知恵・知識・技術)」を創りだす人間としての基本を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. ビジネス実務とは何か 1
3. ビジネス実務とは何か 2
4. 個人業務とマネジメント
5. 協働業務とマネジメント
6. ビジネス実務を支える基本1
7. ビジネス実務を支える基本2
8. ビジネス実務を支える基本3
9. これからのビジネスワーカー
10. これからのビジネスとビジネスワーカー

英
文
科

履修上の留意点

講義と演習問題によるグループ討議など参加型学習で授業を進めます。各自の個別学習(予習)と全員での学習を効率よくかみ合わせ、発表の機会などを設け自分の考えが表現できるように創造的学習を行います。

欠席などで他のメンバーに迷惑をかけないように心掛けること。止むを得ず欠席した場合、課題などを確認し自己学習によってカバーしておくこと。

成績評価の方法

出席およびレポート提出を重視します。

毎回課するレポートがあるので、課題に対して問題意識を持ち、自分で考え、自分の言葉で表現できるようになることを望みます。課題は、指定された提出日に必ず出すこと。期限の遅れたものは評価しない。

2年生は就職活動で欠席を余儀なくされることもあります。欠席の届を出したうえ「就職活動の報告」を翌週に発表してもらい、欠席分を補えるものとします。

教 科 書

森脇道子 編著『ビジネス実務総論』(実務出版) 2000年刊 2,200円

参 考 書 等

授業のなかで適宜、示します。

そ の 他

1. オフィスワーカーとして多領域に亘る学習をするので、予習を必ずしておくこと
2. 出席を重視するので、止むを得ず欠席する場合は、必ず届を提出すること
3. 授業中私語が多かったり、遅刻して他人の迷惑になるような行動は慎むこと
4. 授業中は、大人の女性としての意識を持ち行動するように心掛けること

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス実務 (後期)	もりもと まさえ 森 本 正 恵	短 英 1・2 選	2

講義のねらい

急激なビジネス社会の変化に気づき、理解し、対応できる能力を身につけることを目指します。『ビジネス実務概論』で学んだことを基礎に、企業で働くために必要とする実務能力を修得します。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
2. ビジネス実務とは
3. 仕事の流れと進め方
4. タイムマネジメント
5. 職場のコミュニケーションと人間関係
6. ドキュメントコミュニケーション
7. 会議とコミュニケーション
8. 社交コミュニケーション
9. キャリアプランニング
10. IT時代の働き方

履修上の留意点

グループ別で進めることが多いため欠席してメンバーに迷惑をかけること。
基本的事項については個別学習 (予習) により理解をしておくこと。
クラスでは、創造的学習を目標とする。

- ・課題に対して自分の考えを人に伝えられるようになること。
- ・疑問や質問は積極的に発言すること。

『ビジネス実務概論』をベースに授業を組み立てていますので、共に受講することを勧めます。
また、就職対策にもなるので1年次で受講するのが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席を重視します
2. 筆記テスト
3. レポート提出
4. その他：検定取得、授業への参画意欲等の総合的評価

教 科 書

鎌田和江・大津洋子編著『新ビジネス実務の基本』(嵯峨野書院) 2001年刊 2,400円

参 考 書 等

プリントの他、授業で示します

そ の 他

出席、レポート提出を自己管理できること。
欠席の場合、必ず理由を明記した届を提出すること。
連絡先：morimom@komazawa-u.ac.jp TEL&FAX: 0467 - 33 - 1631

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ジャーナリズム研究	は た の と し お 旗 野 寿 雄	短 英 1・2 選	4

講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースの取材方法や報道のあり方を事例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材（マスメディア志望者）、あるいは、情報をうのみせず、冷静に解説・判断できる人間（読者）を育成する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。

第一線の記者、論説委員、アメリカ勤務などの体験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、日米ジャーナリズムの比較なども試みる。放送局や新聞社の見学も行う。

履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

成績評価の方法

ニュース分析、学習結果を応用したレポート、簡単なルボ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して点数をつける。

教科書

使用しない。毎日の新聞を教科書として欲しい。

参考書等

その都度指示する。

その他

私語厳禁、公語（質問、意見発表）歓迎。

英文科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ビジネスイングリッシュ	ま ち い やすし 町 井 靖	短 英 1・2 選	4

講義のねらい

『商品の輸出入に関する英文の手紙』を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファ、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階でよく使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるので、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注] を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参考書等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語教育法 (前期)(後期)	い し だ さ ゆ り 石 田 小 百 合	短 英 1・2 選	4

講義のねらい

日本語を教える際に必要な、日本語に関する知識を身につける。知識をうのみにするのではなく、自分で考え、分析し、判断できる能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語の体系(音声、語彙、文字、表記、文法)
日本語の運用(社会言語学)
異文化コミュニケーション

履修上の留意点

受講者には、日本語に関する知識だけではなく、自分の頭で考え、分析し、判断できる能力を養ってほしい。そのため授業は基本的に受講者主体で行う。毎回課題をこなし、全日程出席できる意欲ある者に受講してほしい。

最初の授業で授業内容の詳細を説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

試験及び出席、授業態度、課題提出などを総合して評価する。

教 科 書

後日指定する。

英
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実用表現法	は ぎ は ら よ し お 萩 原 義 雄	短 英 1・2 選	4

講義のねらい

〈パフォーマンス〉話すこと・読むこと・書くこと

1、話すこと

話し方には一対一で向かい合って特定の人と話す話し方と、複数の人に対して語りかけるように話す人前での話し方がある。このとき、同じ日本語でも標準語でなく自分の生まれ育った地域のことばで話すとしたら、この話し方はどう変貌するであろう。たとえば、青森出身の人と鹿児島出身の人が話をしたら、どうであろう。また、ことばの豊富な多様性の高い人とまったくことばの知らない人とが会話したらどうなるであろうか。さらに、話し手の発話テンポはどう影響するだろうか、実際の話し方のパフォーマンス表現に従って、その話し方の解明を進めて見たい。

2、読むこと

声にだして読む、これを“朗読”という。声に出さずして目でおって読む、これを“黙読”という。後者の“黙読”は、どの程度のスピードさで、どの程度理解して読んでいるのか第三者には定かではない。だが、前者の“朗読”については、声の質や抑揚である読み上げのテンポ・リズムミカルさなどから、朗読する側の伝達感覚状況をつぶさに知ることになるのである。ここでその読み方について、「音曲・語り・落語」などの多種多様の観点から考察を試みてみたい。

3、書くこと

次世代を超越して、人と人が出会うことのできる記憶媒体の形態として「書く」というパフォーマンスが存在する。何千年・何百年の過去の人物との出会える、いわば未来に残し伝えようとするメッセージ作成システムでもある。これを受信した人が、これをどう見つめ、どう表現しているのだろうか。実際、書くことのシステム領域を認識し、その書きぶりを知り、次にあなた自身が次の世代へ伝えていくメッセンジャーとして書く技術をどう生かしていくかを含め、大いに考えてみたい。

成績評価の方法

課題は、上記1、“話す”2、“読む”3“書く”部門毎に提示する。これによって評価する。また、当初の評価基準に達しない結果が提示された場合には、個人に勧告通知後、補足課題を用意する。

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

3 放 射 線 科

放射線科

Ⅱ. 専門教育科目

(3) 放射線科

放射線物理学	〈小山正希〉	269
電気工学	〈佐藤昌憲〉	269
放射線機器概論	〈氏家盛通〉	270
放射線写真学	〈古川克治〉	271
解剖学	〈作山攜子〉	271
生理学	〈樋口雄三〉	272
環境保健医学〔平成12年度以前入学生：衛生学及び公衆衛生学〕	〈吉田 稔〉	272
画像技術学概論〔平成12年度以前入学生：画像検査技術学概論〕	〈西尾誠示〉	273
放射線基礎数学	〈熊坂 さつき〉	273
近代物理学序論	〈小林久夫〉	274
放射化学序論	〈原田 和 正〉	274
実験 I A	〈西尾誠示・氏家盛通・三浦康平〉	275
実験 I B	〈佐藤昌憲・熊坂さつき・長谷川武・森啓〉	275
実験 I C	〈山本裕右・檀尾英次・原田和正〉	276
実験 I D	〈山本裕右・高田健夫・原田和正・村上雅彦〉	277
医学概論	〈作山携子〉	278
臨床医学概論	〈作山携子〉	278
放射線生物学	〈早川吉彦〉	279
病理学	〈作山携子〉	280
生化学	〈原田 和 正〉	280
画像数学〔平成12年度以前入学生：応用数学〕	〈熊坂 さつき〉	281
原子核物理学	〈青木 清〉	281
放射化学	〈山本裕右〉	282
電子工学	〈杉田 徹〉	282
放射線機器工学	〈中北倫男〉	283
画像工学	〈高野正雄〉	283
画像技術学	〈西尾誠示〉	284
放射線計測学	〈小山正希〉	285
関係法規	〈一守俊寛〉	286
実験 II A	〈西尾誠示・阿部敏・氏家盛通・金谷信一〉	287
実験 II B	〈小山正希・佐藤昌憲・中北倫男・中本淳〉	288
実験 II C	〈杉田徹・青木清・川副護・木村登〉	288
実験 II D	〈杉田徹・青木清・木村登・吉田正廣〉	289
実験 II E	〈檀尾英次・一守俊寛・中北倫男〉	289
病院実習 I	〈氏家盛通〉	290
放射線医学概論	〈作山携子〉	290
自動制御工学	〈青木 清〉	291
医用機器工学	〈檀尾英次〉	291
放射性同位元素応用機器工学	〈小山正希〉	292
画像情報学	〈西尾誠示〉	292
放射性同位元素検査技術学	〈氏家盛通〉	293
放射線治療技術学	〈高山 誠〉	293
放射線管理学	〈一守俊寛〉	294

放射線学演習	〈西尾誠示〉	294
実験Ⅲ	A 〈小山正希・佐藤昌憲・羽生毅〉	295
実験Ⅲ	B 〈青木清・杉田徹・永井喜則〉	296
実験Ⅲ	C 〈山本裕右・原田和正・村上雅彦〉	296
実験Ⅲ	D 〈榎尾英次・氏家盛通・小林久夫・高野正雄〉	297
病院実習	Ⅱ 〈氏家盛通〉	298
医学英語	〈伊藤典子〉	298
臨床医学特論	〈休講〉	
臨床放射線特論	〈休講〉	
統計学	〈休講〉	
情報工学	〈休講〉	
画像処理論	〈榎尾英次〉	299
化学特論	〈原田和正〉	299
応用計測学	〈榎尾英次〉	300
放射線学特論	〈星川嘉一〉	300
放射線学基礎演習	〈氏家盛通〉	301
放射線学基礎演習	〈小山正希〉	301
放射線学基礎演習	〈杉田徹〉	302
放射線学基礎演習	〈中北倫男〉	302
放射線学基礎演習	〈山本裕右〉	303
放射線学特別演習	〈青木清〉	303
放射線学特別演習	〈榎尾英次〉	304
放射線学特別演習	〈佐藤昌憲〉	304
放射線学特別演習	〈原田和正〉	304
放射線学特別演習	〈西尾誠示〉	305
放射線学特別演習	〈山本裕右〉	305

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線物理学	こやま まさき 小山 正 希	短 放 1 必	2

講義のねらい

診療放射線学の基礎的概念である放射線（ここでは主としてX線）と物質との相互作用を中心として、最も多用されているX線の発生機構を含めて、放射線とその作用効果の基本を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

主たる項目とその学習順序は凡そ次の通りである。

- 1) 放射線・放射能の定義と概念。
- 2) 放射線の種類と分類。
- 3) 光子（X線・ γ 線）の粒子性。
- 4) 光電効果。
- 5) 原子の構造・粒子の波動性。
- 6) X線回折・ブラグ反射。
- 7) 軌道電子のエネルギー準位。
- 8) 輝線スペクトル。
- 9) 制動X線・特性X線の発生機構。
- 10) X線の線質。
- 11) 光子と物質との相互作用（光電効果・コンプトン効果・電子対生成効果・トムソン散乱など）。
- 12) 吸収端現象とその応用。
- 13) 電子と物質との相互作用（電離・励起・制動輻射・チェレンコフ輻射など）。
- 14) 光子の減弱（吸収係数・再生係数・平均自由行程など）。
- 15) 電子の飛程。
- 16) 放射線の単位。

X線による写真や電子機器を通して得られる人体に関する画像は総べてここで学習するX線と物質との相互作用に依っている。即ち放射線の利用も、また放射線による損傷効果も、その基本的過程は相互作用にあると言える。従ってこの科目の内容は診療放射線学全体の理解に要する最も基本的な概念知識となっている。放射線の単位は、その内容が本科目での知識なしには理解し得ないので、最後に学ぶ事になるが、学習の各段階で折にふれ概要を説明する。

放射線科

成績評価の方法

定期試験の他、2～3回行う中間試験および出席状況により評価する。

教 科 書

教科書は使用しないが、参考となる書籍とその部分については適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
電気工学	さと う まさのり 佐 藤 昌 憲	短 放 1 必	2

講義のねらい

電気工学全般にわたる広い基礎知識を得ることを目的としている。この科目は、診療放射線技師国家試験科目であるので、十分な演習と中間テストも合わせて講義をする。

講義の内容・
授業スケジュール

次の内容で授業を進める。

- 1) 電気回路の電圧・電流
- 2) 消費電力と発生熱量
- 3) 電気抵抗
- 4) 磁界の強さと磁束密度
- 5) 磁気回路
- 6) 電磁力
- 7) 電磁誘導作用と電磁エネルギー
- 8) 静電現象
- 9) 電界の強さと電束密度
- 10) 静電エネルギー
- 11) 交流回路の基礎
- 12) 交流の平均値・実効値
- 13) 正弦波交流の基本回路
- 14) 交流の直列回路
- 15) 交流の並列回路
- 16) 交流の電力
- 17) 複素数とベクトル
- 18) 交流回路の計算
- 19) 相互インダクタンスを含む回路の計算
- 20) 三相交流の基礎
- 21) 三相の結線方法と電圧・電流の関係
- 22) 三相交流の電力と力率
- 23) 平衡三相交流回路の計算
- 24) 電気計測（電圧・電流・電力の測定）
- 25) 変圧器の基礎

成績評価の方法

中間テストと定期テストの結果より評価する。また、授業の出席数や課題レポートも加味する。

教 科 書

- 『新電気基礎問題集』（綜文館） 800円
『電気基礎上』（東京電気大学） 2,472円
『電気基礎下』（東京電気大学） 2,369円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線機器概論（後期）	うじいえ もりみち 氏 家 盛 通	短 放 1 必	1

講義のねらい

診療放射線業務を行うには医療用放射線機器や器具が必要である。それらのうち診療用の各種X線機器・装置・用具の構造・動作原理や取扱い方法・精度維持や安全管理に必要な知識について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①診療X線機器：X線機器の概要、X線管の構造、用具・感光材料の基礎知識。
- ②一般撮影装置：X線装置・X線発生装置、X線制御装置。
- ③X線源装置、X線用高電圧ケーブル、X線高電圧発生装置、電源設備。
- ④X線機械装置：透視撮影装置、保持装置・撮影台、その他の特殊装置。
- ⑤関連用品：散乱X線除去用グリッド、フィルムカセット、イメージング装置。
- ⑥診断用X線装置：外科系、消化器系、呼吸器系、頭部系等撮影装置。
- ⑦特殊X線装置：乳房用X線装置、泌尿器・婦人科系X線装置、乳幼児撮影装置。
- ⑧X線断層撮影装置、X線間接撮影装置、X線拡大撮影法・立体撮影法。
- ⑨循環器系X線検査装置：連続撮影装置、X線シネ装置と関連機器。
- ⑩X線CT装置：原理と画像再構成、前処理と補正、X線CT走査方式。
- ⑪X線CT検出器、寝台、X線発生装置、X線管、コンピュータシステム。
- ⑫X線CT装置の特徴：スリッピング方式、画像記録装置、画像記憶・表示装置。

履修上の留意点

診療放射線技師として必要なX線装置などの基礎的知識について教科書を用いて講義する。

成績評価の方法

定期試験の結果および出席状況による。

教 科 書

『診療放射線技術』上巻（南江堂）7,004円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線写真学（後期）	ふるかわ かつはる 古川 克治	短放 1 必	1

講義のねらい

画像診断の根幹をなす各種医用画像の画像形成を理解する。

画像のセンサーでありかつディスプレイや保管等、多機能を有する。フィルム／増感紙システムをはじめ、レーザー光による感光材料および感熱記録材料等最新の技術につき理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 感光材料概論
- ② 感光理論、感熱原理
- ③ 現像理論
- ④ 増感紙、蛍光板、II管、IP、FPD等
- ⑤ X線写真の形成
- ⑥ 種々のモダリティー画像 概要

感光材料	現像理論	増感紙等各種センサー	X線写真
感光理論			各種モダリティー画像
H14/10, 11	H14/11	H14/12	H14/12～H15/1

履修上の留意点

- ・期中2回程度のミニテストを実施予定。
- ・教科書・参考書・文献等で理解を深める。

成績評価の方法

期末試験を重視。出席、ミニテストを参考に最終評価する。追試のみ「実施」。

教科書

『新しい放射線写真学』改訂2版（富士フィルムメディカル（株）） 5,700円

参考書等

- ・日本写真学会編『写真工学の基礎』（コロナ社）
- ・友田宣忠著『写真科学』（通商産業研究社）
- ・笹井明『写真化学』（写真工業出版社）
- ・内田 他『放射線画像情報工学』（通商産業研究社）
- ・その他

その他

授業方法：講義、OHP、ビデオ、症例写真等併用

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
解剖学	さくやま けいこ 作山 攜子	短放 1 必	2

講義のねらい

医療の道を進む者にとって人体解剖学は最も基礎的な学問である。特に臨床の分野に従事する技師にとっては必須のものである。現状では画像は身体の前後像のみならず軸位、矢状、冠状各断面層像に加え、3Dイメージなどによって診断が行われている。これらの画像を撮像するためにも解剖の理解は重要である。

講義の内容・
授業スケジュール

骨格系、筋肉系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、内分泌、神経系などについて学ぶ。

履修上の留意点

将来診療放射線技師としてどの分野に従事するとしても基本的事項であるため、授業後は復習をし疑問点については次の時間に質問をする。

成績評価の方法

定期の筆記試験。出席は重視する。中間試験は評価の参加とする。

教科書

吉川、星、林共著『解剖生理学』（金原出版）3,000円

参考書等

講義を主とするが、OHPや模型を用いて重要なポイントを強調する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生理学（後期）	ひぐちゆうぞう 樋口雄三	11以降入学生/短放1必	1
		11以前入学生/短放1必	2

講義のねらい

生体の生命現象について、単にその調節機序を解説するのではなく、それらが互いに有機的に連関しあい恒常性が維持されていることをホリスティックな視点から理解を深めることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 生命と健康
2. 体液
3. 循環
4. 呼吸
5. 消化吸収
6. 栄養・代謝・体温
7. 排泄
8. 内分泌
9. 神経の興奮
10. 中枢神経系
11. 末梢神経系
12. 感覚
13. 筋収縮と運動
14. 生体の防御機構
15. 生殖

放射線科

履修上の留意点

講義内容は、教科書よりも高いレベルで重点的に話すのでノートを必ずとること。出席を重視する。

成績評価の方法

筆記試験。出席点を与える。

教 科 書

松村・越智・豊田著 『臨床検査技術学⑥生理学』（医学書院） 3,914円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環境保健医学（後期）	よしだみのる 吉田稔	11以降入学生/短放1必	1
衛生学及び公衆衛生学（後期）		11以前入学生/短放1必	2

講義のねらい

衛生・公衆衛生学は、人々を疾病から守り、健康を保持、増進および福祉の向上を目的とした学問である。しかも個人、家族、地域社会および国民の健康を対象とし、疾病のみならずすべての健康からの偏りを予防、コントロールし、積極的な健康の達成を目指すものである。しかしながら、健康の保持には環境、病因、宿主の間のバランスが重要である。今日では地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨といった地球規模での環境破壊が健康保持に深刻な問題を投げかけている。ここでは公衆衛生が果たす役割のみならず環境問題についても学ぶ。

教 科 書

鈴木庄助・久道茂編集 『シンプル衛生・公衆衛生学』 改訂7版（南江堂） 2,400円

参 考 書 等

『国民衛生の動向』（厚生省の指標 臨時増刊）厚生統計協会
 厚生省編『厚生白書』（厚生省統計協会）
 環境庁編『環境白書』（大蔵省印刷局）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像技術学概論（後期）	にしおせいし 西尾誠示	11以降入学生/短放1必	2
画像検査技術学概論（後期）		11以前入学生/短放1必	

講義のねらい

診療放射線技術学を学ぶ上で基礎となるX線画像の基礎知識および臨床現場で放射線技師に求められる条件などについて講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①放射線技師と医療社会
医療社会の構成、病院組織、関連職種、チーム医療などについて
 - ②放射線技師の役割
社会における診療放射線技師の役割、放射線学の歴史、将来の展望等について
 - ③X線の基礎
X線の発生、線質、減弱、物質との相互作用、写真効果などについて
 - ④X線画像の成り立ち
X線照射によって生じる写真効果と画像の拡大、歪み、重畳効果など
 - ⑤画質の基礎知識
画質を評価するときの対象となるコントラスト、鮮鋭度、粒状性について
 - ⑥画像を左右する要因
管電圧、フィルター、散乱線とグリッド、フィルム・増感紙などについて
 - ⑦撮影条件の設定と考え方
最適な画像を得るための理論的な考え方、課題と改善策について
 - ⑧体の基準線と名称
医療画像検査を行う上で重要な基準線、名称および体表解剖について
 - ⑨画像検査の種類
単純撮影、造影法、特殊検査の原理と検査の基礎的知識について
- 定期試験を基準にするが、各自の学習意欲を重視する。

成績評価の方法

教科書

立入弘著『診療放射線技術』（南江堂）6,800円

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線基礎数学	くまさか 熊坂さつき	短放1必	2

講義のねらい

放射線の科学・技術は数学ぬきでは考えられない。量と量の関係や多くの現象は数式で表され、数学的手法を使えば、精密な画像解析も可能になる。本講義では、ターゲットを「放射線学に 응용されている数学の世界」にターゲットを絞って、微分・積分、微分方程式、そして確率・統計など応用数学を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①確率・統計
a確率・統計学入門
b検定の原理
c群間の検定②微分・積分
- ②行列と行列式
- ③固有値と固有ベクトル
- ④a微分・積分（定積分、不定積分）
b自然法則と微分方程式
c微分方程式の初等解法

成績評価の方法

試験（2回/年）、レポート

教科書

プリントを配布

参考書等

『Ordinary Differential Equations』 著者：Paul C. Du Chatateau（Harper Perennial社）
和達三樹『微分積分』（岩波書店）
矢嶋信男『常微分方程式』（岩波書店）
十河 清『キーポイント確率・統計』（岩波書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代物理学序論	こばやし ひさお 小林 久夫	短 放 1 必	2

講義のねらい

近代物理学の成立過程とその進展、さらに現代物理学に至る道程を、この学問がどのように身の回りの世界に結びついているかを示しながら、できるだけ分かりやすく学ぶ。可能な限り数式を用いない形の講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 近代物理学の黎明
古典力学の確立と惑星の運動と海王星の発見、熱力学の確立と熱の本体・エントロピー・絶対零度、電磁気学の基礎の確立をとおして、近代物理学の夜明けをたどる。
- II. 近代物理学の誕生と現代物理学への進展
原子のなりたちと、量子論の誕生と粒子性・波動性の観測事実から、不確性の原理と量子力学の確立過程を明らかにする。その成果としての、レーザー光線、パウリの排他律と元素中の電子、半導体とエレクトロニクス、超流動ヘリウムの噴水、永久磁石と超伝導等についてその概要を論ずる。相対性理論とその世界、原子核とエネルギー利用、新粒子の発見と統一理論、宇宙の創生と星の一生などにも触れる。

履修上の留意点

講義はできるだけ参考書に沿って実施する。また、講義の理解度を確認し整理する意味で随時テスト・宿題を実施する。定規・電卓必要。
私語禁止、携帯を机の上に置くこと禁止。違反者は欠席扱いとする。

成績評価の方法

出席数・テスト・宿題を重視（60%）、期末試験（40%）。

教 科 書

信貴豊一郎『現代物理学への道標』（内田老鶴圃）

参 考 書 等

（高校での物理未履修者、物理計算に役立つ）
力武常次・都築嘉弘『チャート式シリーズ新物理ⅠB・Ⅱ』（数研出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射化学序論	はらだ かずまさ 原 田 和 正	短 放 1 必	2

講義のねらい

本講義では「放射化学」、「放射線写真学」、「生化学」などを学ぶ上で必要となる科学の基本事項について理解することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 原子・分子・モル
2. 電子配置と周期表
3. 化学結合
4. 化学平衡
5. 酸・塩素、酸化・還元
6. 反応速度論
7. 科学熱力学

成績評価の方法

定期試験の結果と平常点で評価する。

教 科 書

井本稔・岩本振武著『化学 その現代的理解』（東京化学同人）1,930円

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験ⅠA	にしお 西尾 誠示・氏家 盛道 みうら 三浦 康平	短放 1 必	実験Ⅰ (ⅠA～ⅠD) 5

講義のねらい

X線装置及び周辺機器の構造を理解し、正しい使用法を習得する。
X線画像を左右する様々な要因について基礎的な実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① X線量と写真濃度
被検体からより多い情報を得るための適切な線量を求める。ファントムを用いて、照射を行いX線の吸収と写真濃度を理解する。
- ② 照射野の線量分布と撮影距離
X線照射野とフィルム・X線焦点間距離を変化させ写真濃度を測定し、照射野内のX線分布を把握する。
- ③ フィルムの特性曲線の作成
距離の逆二乗則を利用した距離法にて複数の特性曲線を作成する。曲線からフィルムの特性を比較し、検査部位とフィルムの適合性について基礎を学ぶ。
- ④ 撮影電圧とコントラスト
電圧とフィルター厚を変化させ、線質の違いが画質に及ぼす影響を調べる。
X線吸収差の少ない被写体のコントラスト、微小検体の描出度を評価する。
- ⑤ 撮影条件表の作成
アクリル版を用い、その厚さの変化に対する適正な線量、電圧を求め、条件表を作成する。
- ⑥ 増感紙の感度
フィルムの特性曲線を用い、各種増感紙の相対感度を求める。感度と被曝線量の関係について学習する。
- ⑦ フィルム・増感紙の鮮鋭度/解像力
短形波チャートを用いたコントラスト法にて、フィルム・増感紙のMTFを求める。マイクロデンシトメータの取扱いを習得する。
- ⑧ 散乱線の評価
上記の特性曲線を用いて、鉛ディスク法による散乱線含有率を求める。被写体厚と照射野を変化させて散乱線の量を測定し、臨床におけるその量を把握する。
- ⑨ グリッドの性能評価
鉛ディスク法にて散乱線透過率、直接線透過率、全X線透過率から露出倍数、コントラスト改善度、選択度を求め、グリッドの基本的性能を評価する。

放射線科

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。

成績評価の方法

定期試験、実技試験、学習姿勢、レポートについて総合的に判定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験ⅠB	まどう 佐藤 昌憲・熊坂 さつき はせがわ 長谷川 武・森 啓	短放 1 必	実験Ⅰ (ⅠA～ⅠD) 5

講義のねらい

多くの学生にとっては初めての実験であると思われるので、前半・後半と分けて、前半は器具・機器の扱い方の練習をする。後半はデータを処理する方法を扱う実験を用意してある。現象を通じて理論を理解することも同時に身に付けてもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

内容は手引書を製作してあるのでこれを参照すること。少人数で実験をするために班分けをする。
そのためにスケジュールは個人によって異なる。入学後のガイダンスの際に班分けによるスケジュールを発表する。

成績評価の方法

1. レポート 2. 実験 3. 質疑応答 4. 調査・検索について点数化して総得点で評価する。

教科書

放射線科でいくつかの実験のために用意した手引書を制作してある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実験ⅠC	<small>やまもと</small> 山本 <small>ゆうすけ</small> 裕右 <small>かしお</small> ・ <small>えいじ</small> 櫛尾 英次 <small>はらだ</small> 原田 <small>かずまさ</small> 和正	短 放 1 必	実験Ⅰ (ⅠA～ⅠD) 5

講義のねらい

1年次後期で並行して学ぶ「放射線写真学」および2年次で学ぶ「画像工学」の基礎となる事項について実験を行う。医療用フィルム画像をよりよく理解するために、フィルムの現像、定着の化学から始まり、フィルム現像、エックス線フィルムの特性を測定するセンチメートルに至る実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の項目について実験を行う。

1. 基礎実験Ⅰ（ハロゲン化銀の性質、現像液の単薬調合）
2. 基礎実験Ⅱ（現像液組成薬品の科学的性質、定着液組成薬品の化学的性質）
3. フィルム現像
4. 引伸しプリント
5. センチメートル（感光計によるエックス線フィルムの特性曲線の作成）
6. 現像薬品と画像（異なる現像薬品組成をもつ現像液処理による画像の比較）
7. スライド作成（カラーホイルおよびポジフィルムによるスライド作成）
8. エックス線フィルム画像の複写
9. マイクロデンシトメータによる濃度測定
10. プートストラップ法による特性曲線の作成
11. 安全光試験

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教 科 書

実験プリント

参 考 書 等

高尾慶人他『新しい放射線写真学』新版（富士メディカルシステム） 5,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
実験ⅠD	<small>やまもと</small> 山本 <small>ゆうすけ</small> 裕右・ <small>たかだ</small> 高田 <small>はらだ</small> 原田 <small>たけお</small> 健夫 <small>まさひこ</small> 村上 雅彦 <small>かずまさ</small> 和正	短 放 1 必	実験Ⅰ (ⅠA～ⅠD) 5

講義のねらい

化学実験の基本操作を習得すると共に、実験の結果として得られたデータの処理法およびその解釈、報告書の作成について学習する。

化学実験は常に危険を伴うが、その危険は実験前の下調べ、正しい実験操作および実験中の注意深い観察により避けることができる。また、得られた実験結果に伴う誤差には原因がある。その原因を突き止め、誤差をいかに最小限にとどめるかは、実験者の洞察力と腕の見せ所である。これらのことは、実際に実験を行ってのみ経験でき、養えることである。

必ずしもよい結果だけを追いかける必要はない。失敗もまた次への大きな手がかりとなる。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. ガラス細工、器具の洗浄
3. 容量、重量の測定、試薬の調整法
4. 中和滴定による酸の定量
5. 薄層クロマトグラフィーによるアミノ酸の分離・同定
6. 分子模型実習
7. pHメータによる緩衝液の測定
8. 硫酸銅(Ⅱ)五水和物の合成
9. ヨウ素滴定による銅(Ⅱ)の定量
10. o-フェナントロリン法による鉄(Ⅱ)の比色分析
11. イオン交換樹脂の交換容量の測定

履修上の留意点

・欠席しないこと：実験操作を段階的、体系的に学習できるようにテーマを設定してあるので、欠席をすると次の実験に支障をきたす。

・遅刻しないこと：冒頭で実験についての注意事項を説明する。遅刻すると、これらの説明を聞かないで実験することになり、操作の誤りや、事故を起こしかねないので危険である。したがって、遅刻者には当日の実験を許可しない。

・予習、下調べをして実験のフローチャートを作製してくる：実験の詳細はプリントして2週間前に配布するので、当日までにフローチャートを作製し、使用する薬品の性質、器具の使用法について下調べしておく。

・実験室内での規則を守る：化学実験には危険や事故が付きまとう。これらをできる限り排除するように努力すべきである。そのためにはガイダンスでの注意事項を厳守する必要がある。

・レポートの提出：各テーマごとに実験終了1週間後にレポートを提出する。ガイダンスで説明する形式が守られていない場合、内容に誤りがあるか不十分な場合は再提出となる。最終的にレポートが受理されて初めてその実験が終了となる。

平常点、レポート、定期試験により評価する。

成績評価の方法

教科書

プリント使用。

参考書等

新版『実験を安全に行うために(正)事故・災害防止編』(化学同人) 800円
 新版『実験を安全に行うために(続)基本操作・基本測定編』(化学同人) 700円
 以上2冊は、実験時に常に持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医学概論（前期）	さくやま けいこ 作 山 攜 子	短 放 2 必	2

講義のねらい

医学とは何か。正しい医療はどうあるべきか。病気と人間の関わりについて。さらに診断、治療および予防について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 医学をどのようにとらえるか
- ② 医学の発達史
- ③ 健康・病気・医学の体系
- ④ 病気の原因
- ⑤ 病気による身体の変化
- ⑥ 病気の診断
- ⑦ 病気の治療とリハビリテーション
- ⑧ 病気の予防
- ⑨ 新しい医療システム
- ⑩ 健康教育と衛生統計
- ⑪ 医学の生命へのアプローチ

履修上の留意点

医学とはという大きなテーマであるが、平易な表現で医学の全体像を把握する。医学各論に入る前の重要な領域である。

成績評価の方法

定期的筆記試験。出席は重視する。

教科書

日野原重明著『医学概論』（医学書院）1,200円

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
臨床医学概論（後期）	さくやま けいこ 作 山 攜 子	短 放 2 必	2

講義のねらい

診療放射線技師として知っていなければならない医学的知識を総論的に学ぶ。また主要な疾患については診断および治療をも含め臨床医学とは何かを修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 疾患の分類
- ② 疾患の症状と診断
- ③ 疾患の治療
- ④ 発展する医療

疾患の分類については器質的疾患と機能的疾患、臓器別の疾患、種々の症候群、国際疾患分類についても学ぶ。

成績評価の方法

定期的筆記試験。出席は重視する。

教科書

玉木正男・林文字・林邦昭著『臨床医学概論』（名古屋大学出版会）3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線生物学（前期）	はやかわ よしひこ 早 川 吉 彦	短 放 2 必	1

講義のねらい

1895年レントゲンによってX線が発見された。翌年には、X線被曝による手の放射線皮膚炎が報告されている。放射線は医学利用だけでなく、文明社会の様々な側面でその進歩を支えてきた。その一方で人工放射線線源による被曝による障害が発生した。一世紀にわたり放射線の基礎研究・応用は、放射線の生体への影響研究及び障害防止の研究・応用とともに発展してきた。

ここ四半世紀に及ぶ遺伝子工学の時代に、生体への放射線影響の解析は著しく進歩した。この講義では、分子レベルから固体・集団レベルにおける高線量及び低線量の放射線の生物影響研究の最新の知識を伝えたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

次の各項目よりなる。

- 1 電離放射線と非電離放射線、電磁波と粒子線
- 2 放射線の物理・科学的作用、直接作用と間接作用
- 3 放射線影響の修飾：温度効果と酸素効果
- 4 放射線影響の修飾：LETとRBE
- 5 細胞死、細胞の生存率曲線
- 6 放射線感受性と細胞周期
- 7 DNA損傷とその修復
- 8 組織および臓器に対する放射線の作用
- 9 急性放射線障害と晩発性効果、放射線発癌
- 10 遺伝的影響、胚および胎児に対する効果
- 11 放射線治療の生物学的基礎
- 12 環境放射線と人工放射線、放射線被曝のリスク

履修上の留意点

授業開始ならびに終了時にレポートを提出していただくので時間厳守のこと。

成績評価の方法

評価は毎時間ごとのレポートにより判定する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

館野之男著『放射線と健康（新書版）』（岩波書店）2001年

そ の 他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
病理学 (後期)	さくやま けいこ 作 山 攜 子	!!以降入学生/短放!必	1
		!!以前入学生/短放!必	2

講義のねらい

病理学とは2つの面をもつ。1つは病気で死亡した患者を解剖し、死因を明らかにすることである。他の1つは生きている患者の病変を組織片や喀痰などから診断をする。したがって病理学は基礎医学と臨床を合せもつ学問といえる。総論としては次の項目を学ぶ。さらに現在では生体の組織を顕微鏡でみて診断する生検も重要な役割をもつことを知る。

講義の内容・授業スケジュール

- ①先天異常
- ②代謝異常
- ③循環障害
- ④炎症と免疫
- ⑤腫瘍
- ⑥老化と死

各論は各臓器の主な疾患の成り立ちについて学ぶ。

履修上の留意点

総論を理解して各論について修得する。

成績評価の方法

定期の筆記試験。出席は重視する。

教科書

『病理学』(系統看護学講座専門基礎4)(医学書院)2,000円

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生化学 (前期)	はらだ かずまさ 原 田 和 正	!!以降入学生/短放!必	1
		!!以前入学生/短放!必	2

講義のねらい

生化学の分野から、診療放射線技師にとって最低限必要と思われる項目に重点を置いて学習する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1.細胞 2.酵素とビタミン 3.代謝 4.核酸と遺伝子 5.タンパク質の生合成

成績評価の方法

定期試験の結果と平常点で評価する。

教科書

猪飼篤著『化学入門コース8生化学』(岩波書店) 2,913円

参考書等

林 典夫・廣野治子編『シンプル生化学』(南江堂) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像数学	くま さか 熊 坂 さつき	!!以降入学生/短放!必	2
応用数学		!!以前入学生/短放!必	

講義のねらい

放射線技術者として社会に出た時、必要となる画像数学の知識を養うことを目的とする。そのため、本講義では、主題を画像において、数学はその画像解析や画像処理の手段として位置付けた講義と演習を行う。特に広く画像処理に用いられているフーリエ変換を中心に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ①フーリエ変換
 - aフーリエの活躍と応用
 - bフーリエ級数のしくみ
 - cフーリエ級数からフーリエ変換へ
 - dフーリエ変換の画像への応用
- ②離散フーリエ変換
 - a連続信号の離散化
 - b離散信号のフーリエ変換（無限区間と有限区間）
- ③ラプラス変換

成績評価の方法

試験（2回/年）、レポート

教科書

氏原真代『画像数学入門』（東洋書店）
プリントを配布

参考書等

『応用数学－I工学専攻者のための』（内田老鶴園新社）
英保茂『医用画像処理』（朝倉書店）
今里悠一『画像処理』（昭晃堂）

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原子核物理学	あ お き きよし 青 木 清	短 放 ? 必	2

講義のねらい

放射線物理学で学習した内容を基礎とし、原子核と放射線に関する講義を行う。特に α ・ β 壊変と γ 線放射は、今後、放射性同位元素の応用を考える上での基礎となるものである。きちんと理解すると共に、他の科目との関連を意識しながら受講すること。

講義の内容・授業スケジュール

1. 原子核の性質（構成粒子、質量、結合エネルギー、核力、核模型、磁気モーメント）
2. 放射性壊変（放射能、 α ・ β ・ γ 線、壊変図）
3. α 壊変（ α 線のエネルギー、ガイガーヌッタルの法則、トンネル効果）
4. β 壊変（ β^- 壊変、 β^+ 壊変、 β 線のエネルギー、電子捕獲、カリープロット）
5. γ 線放射（ γ 線の角運動量、核異性体、内部転換、メスバウアー効果）
6. 核反応（核反応の種類、Q値、しきい値、核反応断面積、複合核、光核反応）
7. 中性子（中性子の性質、中性子発生源、エネルギーによる分類）
8. 原子炉（核分裂と放出エネルギー、中性子の減速、原子炉の構造、中性子捕捉療法）

履修上の留意点

講義中は板書したこと意外でも、大切そうなことはノートするように心がけてほしい。講義の後は、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験以外に中間試験を2回行い、その結果から成績を評価する。出席は重視する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

竹井力著『放射線物理学』（南山堂）
田島英三著『原子核物理概論』（地人書館）

その他

授業の中では演習問題も出題する。電卓を用意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射化学	やまもと ゆうすけ 山 本 裕 右	短 放 2 必	2

講義のねらい

診療放射線技師として必要な放射性同位元素の化学について学ぶ。
本講義では、すでに1年次に学んだ「放射化学序論」および「放射線物理学」、さらに2年次で平行して学ぶ「原子核物理学」で得た、化学的、物理的知識を基に、放射性同位元素の化学について解説する。またここで学ぶ事柄は、3年次の「実験ⅢC（放射化学実験）」を履修するための必要不可欠な学問的基礎となるものであると同時に、「放射性同位元素検査技術学」、「管理学」に必要な放射化学的知識の基礎となるものである。

なお、診療放射線技師国家試験科目として「放射化学」がある。

講義の内容・授業スケジュール

上記の観点から以下の内容について講義する。

1. 天然に存在する放射性同位元素
2. 放射能、放射壊変および壊変則
3. 放射平衡
4. 放射性同位元素の製造
5. 放射性同位元素の分離、精製
6. 放射能を利用する分析法
7. 放射性標識化合物の合成法

成績評価の方法

2回の中間試験および学年末試験により評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

データブックとして日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会）1,470円を使用する。講義には必ず持参すること。

放射線科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
電子工学	すぎた とおる 杉 田 徹	短 放 2 必	2

講義のねらい

電子工学の主役は「電子」である。電子工学はまず電子の挙動を制御する素子の理解に始まり、その展開上に回路技術を習得する。現在、電子工学は医療分野に於ける基礎技術として考えなければならない。そのような観点から、次に掲げる項目に従い講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 電子の性質
2. 場との相互作用
3. 素子への展開と周辺技術
4. 基礎的な回路技術
5. 電子応用機器の概論

履修上の留意点

時間的制約があり概論的な講義になるが、基本的な知識の修得を心掛けて欲しい。

成績評価の方法

中間試験、定期試験、出席状況により成績評価を行う。

教科書

宇佐美晶、曾根福保共著『テキストブック・電子工学概論』（日本理工出版会）2,500円

その他

国家試験該当科目である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線機器工学	なかまた つねお 中 北 倫 男	短 放 2 必	2

講義のねらい

診療用X線発生装置およびX線映像装置の構成、構成要素の構造、機能、特性、装置の動作原理、動作特性などについて学び、装置を取り扱うための基礎知識を身に付ける。

講義の内容・
授業スケジュール

X線発生装置は、X線管部、直流高電圧発生部および制御部などから構成される。直流高電圧の発生形式により、自己整流式、単相ならびに三相全波整流式、インバータ式およびコンデンサ式などの種別がある。またX線映像装置としてX線TV装置とミラーカメラ装置がある。

前期はX線管装置から単相ならびに三相全波整流式X線装置について講義し、後期はインバータ式、コンデンサ式および自己整流式X線装置と、X線TV装置およびミラーカメラ装置について講義する。

履修上の留意点

X線発生装置は、高電圧応用機器の一種でさまざまな技術要素を内包する。またX線映像装置はエレクトロニクスと光学の応用機器である。したがって、この教科をよく理解するには、電気工学、電子工学、物理学、化学、自動制御工学などを併せ履修することが望ましい。

成績評価の方法

年度内に行う試験（中間試験、定期試験）および出席状況により評価する。

教 科 書

青柳泰司ほか著『改訂 放射線機器工学（I）X線診断機器』（コロナ社）5,900円

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像工学（前期）	たかの まさお 高 野 正 雄	短 放 2 必	1

講義のねらい

X線画像形成過程を対象とし、画質の評価及び解析方法を理論的に学習する。さらに、臨床画像上との関連を深め、実際に役立つ知識にする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 医用画像情報の役割
2. アナログX線画像の評価と解析（特性曲線、鮮鋭度、粒状性）
3. 画像に関する数字（Fourier級数、Fourier変換）
4. Fourier解析による画像の評価と解析
5. ROC、DQE、他
6. デジタルX線画像の評価と解析
7. 画像処理の基礎（画像のデジタル化、基本的な画像処理）

履修上の留意点

ノートと配布資料をていねいにまとめておくこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、総合点。

教 科 書

医用放射線科学講座第14巻
岡部、瓜谷編集 『医用画像工学』（医歯薬出版）4,800円

そ の 他

途中1～2回、スライド等による復習講義をおこなう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画像技術学	にしおせいじ 西尾誠示	13以降入学生/短放必	4
		12以前入学生/短放必	2

講義のねらい

画像技術学はX線解剖学や画像工学を元にした幅広い分野から構成される。体表解剖、解剖・生理を裏付けとした整位・撮影条件、及び得られた画像の評価まで含めて講座を行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ① X線撮影の基礎的知識
- ② 胸部撮影の理論と技術
- ③ 腹部の撮影技術
- ④ 乳房・軟X線撮影の理論と技術
- ⑤ 頭部の撮影技術
- ⑥ 耳鼻科領域の撮影技術
- ⑦ 眼窩・顔面の撮影技術
- ⑧ 椎骨の撮影技術
- ⑨ 四肢の撮影技術
- ⑩ 上部消化管検査の技術
- ⑪ 小腸・大腸の検査について
- ⑫ 肝・胆・膵の画像検査について
- ⑬ 泌尿器系の画像検査について
- ⑭ 心臓大血管造影検査手順
- ⑮ 腹部の血管造影検査について
- ⑯ 脳神経系の画像検査について
- ⑰ CTの基礎
- ⑱ MRIの基礎

放射線科

成績評価の方法

定期試験及び中間試験が基準であるが、小テスト及び学習意欲を参考にする。

教 科 書

稲本一夫編 『放射線画像技術学』（医歯薬出版）4,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線計測学	こやま まさき 小 山 正 希	短 放 2 必	2

講義のねらい

万能である放射線計測系は存在していない。即ち、測定対象と必要なデータとを接続する計測系は測定対象によっても、また必要とされるデータによっても様々に異なってくる。診療放射線学における放射線計測学とは一般に、状況に応じて変えなければならない計測系を如何に選択し、かつ使用するかを主としている。ここで必要とされる素養はこのことを念頭に置いて、現存する多種類の検出系、計測系の放射線応答を出来る限り詳細に知ることであろう。これらの系の選択に当っては絶対的なものが無い以上、あくまでも相互比較によってより適切な物を決定する必要がある。従って単に事項の項目的理解では計測学を学んだことにならない。本科目ではこれらの点に留意して学習する。

講義の内容・ 授業スケジュール

主として取り上げる事項は次の通りである。

- 1) 放射線検出器分類上の着眼点。
- 2) 放射線検出器の全体像とそれぞれの検出器の位置づけ。
- 3) 電離箱型検出器の基本動作原理。
- 4) 電子及びイオンの運動。
- 5) 電離箱型検出器の基本特性。
- 6) 電離箱型検出器の種類とその概要。
- 7) 電離箱型検出器の出力回路と動作モード。
- 8) 各種電離箱（自由空気型、指頭型、空洞型、外挿型、シャロー型、均質型など）の基本原
理とその実際。
- 9) 線量計測とその実際。
- 10) 各種計数管（GM・比例・シンチレーション計数管など）の動作原理と特性。
- 11) パルス計測の基本とその応用。
- 12) 計測データの統計処理。
- 13) 半導体検出器の原理と応用。

検出器や計測系について、既成のコンポーネントの組合せでは目的が達せられない場合、必要なコンポーネント自身を研究開発し、実用に供するのが次の段階の計測学の内容となる。このレベルを念頭に置き学習したい。

成績評価の方法

定期試験の他、2～3回行なう中間試験および出席状況により評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
関係法規（後期）	い ち も り と し ひ ろ 一 守 俊 寛	!!以降入学生/短放!必	2
		!!以前入学生/短放!必	1

講義のねらい

法律上、放射性同位元素及び放射線発生装置に関しては放射線障害防止法により、診療用放射線装置に関しては診療放射線技師法により、放射性医薬品に関しては医療法・薬事法によって規制される。しかしながら、保護法益、取扱いの態様等により更に電離放射線障害防止規則等により規制される。各々の法律を正確に理解するには各人の相当な努力が要求される。整理・関連性等を重視し効率的な理解を旨論む。

講義の内容・授業スケジュール

- * 関係する各種法令の体系的な把握
- * 各法令での定義、規制に関する共通・特異性のある事項の抽出
- * 管理技術との関連性に着目して法令条項の理解度を増大させる。
- * 数値的規制が与えられている項目についての整理と数値の意味の把握
- * 係わる各種業務に対応した法令の把握
- * 想定される各種実務に対する整理された法令の理解・把握

履修上の留意点

国家試験該当科目「放射線管理学」に対応し、基本的事項を確実に理解するよう心掛けて欲しい。

成績評価の方法

出席率、定期試験により評価する。

教科書

医用放射線科学講座4『放射線安全管理学』（医歯薬出版KK）4,000円
配布資料

参考書等

日本アイソトープ協会
『医学における放射線の防護と安全』 ICRP Publication73 2,400円
『医療放射線防護関係法令集』2,200円
『放射線障害の防止に関する法令』概説と要点 1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実験IIA	にしお せいじ あべ さとし 西尾 誠示・阿部 敏 うじいえ もりみち かなや しんいち 氏家 盛道・金谷 信一	短 放 2 必	実験 II (IIA~IIE) 7

講義のねらい

X線装置等を用い、実際に人体ファントムを撮影する。実際の検査手順と体表解剖学を踏まえた撮影手技を学び、撮影法と得られた画像の関係について考察する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ① 頭部X線撮影法
ファントムを用い、頭部の撮影法を学ぶと共に、頭部の画像解剖を理解する。
- ② 副鼻腔X線撮影法
ファントムを用いて副鼻腔の撮影法を学び、画像解剖とその意義を理解する。
- ③ 側頭骨X線撮影法
頭部ファントムを用いて聴器の撮影法と画像解剖を理解する。
- ④ 上肢のX線撮影法
手関節、肘関節のファントムを用い、撮影技術を習得する。
- ⑤ 下肢のX線撮影法
膝関節、足関節のファントムを用い、撮影技術を習得する。
- ⑥ 腰椎、骨盤のX線撮影法
腹部ファントムを用い、多種に及ぶ腰部の撮影技術を習得する。
- ⑦ 胸部の撮影技術と感光材料
胸部の撮影手技を学ぶと共に、胸部に最適な撮影条件と検出系を選択する。
- ⑧ 乳房X線撮影 (Mammography)
乳房用X線装置、乳房ファントムを用いて照射条件毎の画像の変化を評価する。撮影に用いる機器類、感光材料から軟線 画像の特殊性を理解する。
- ⑨ 胃造影検査法
X線TV装置の操作法を習得するとともに、造影剤とファントムを用い透視撮影法を学ぶ。特に体位と画像評価が重要になる。
- ⑩ X線CT検査法
X線CT装置の原理と構造を理解し、ファントムを用いた検査手技、影像法を習得する。
- ⑪ CRの取扱法と画像処理
上記の実験と平行してCR (コンピューテッド・ラジオグラフィ) 装置の原理・構造と基礎的な画像処理について学ぶ。

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。

成績評価の方法

定期試験、学習姿勢、レポート・試問について総合的に判定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実験 II B	<small>こやま まさき さとう まさのり</small> 小山 正希・佐藤 昌憲 <small>なかきた つねお なかもと しゅん</small> 中北 倫男・中本 淳	短 放 2 必	実験 II (IIA~IIE) 7

講義のねらい

実際に放射線を測定することで、検出器を含む計測系の放射線応答から放射線についての知識の確認をすることを主眼とする。その題材として、ここでは診断用 X 線発生装置からの制動 X 線の実効エネルギー、エネルギー分析のためのパルス波高選別の基礎的手法、診療に用いられる放射線場測定の主たる検出器である電離箱の基本特性、計数管型検出器のパルス計数処理の基本である統計処理の基礎の手順などを取り上げて実験し、考察する。

講義の内容・授業スケジュール

実験項目は次の通りである。

- 1) 制動 X 線の実効エネルギーの測定。
連続エネルギー分布である制動 X 線を実効的に代表する単一のエネルギー値に置き換える。
- 2) シングルチャンネル波高分析器によるエネルギー分布測定。
シンチレーション型プローブを用いて γ 線のエネルギー分布測定のためのパルス波高分析の基礎的手法を学ぶ。
- 3) X 線による物質の 2 次電子平衡厚の測定。
2 次電子平衡の概念を理解する為に、 ^{60}Co 線源によって電離箱壁厚を変化させた時の出力応答を測定する方法により求める。同時に電離電流出力の飽和特性などの電離箱型放射線検出器の基本特性を求める。2 次電子平衡の概念は、吸収線量率や照射線量率の概念形成にきわめて重要な係わりがあることを確認する。
- 4) GM 計数管の基本特性と計数の統計。
最も普遍的な計数管である GM 計数管の基本的応答特性と得られる計数率の統計処理の基礎を学ぶ。GM 計数管の分解時間と電子回路系の弁別レベルとの関係、ダブルパルス分解能、プラトー特性の意味、印加電圧レベルの与える効果、実測された計数率から確からしい値を得る方法などの計数率の統計を学ぶ。

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況、定期試験によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実験 II C	<small>すぎた とおる あおき きよし</small> 杉田 徹・青木 清 <small>かわぞえ まもる きむら のぼる</small> 川副 護・木村 登	短 放 2 必	実験 II (IIA~IIE) 7

講義のねらい

電子工学分野の実際を経験する。数人のグループ構成で行うものと各自が行うものがある。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目について実験を行う。

1. 真空管 (三極真空管の静特性)
2. 半導体素子 (ダイオード、トランジスタ、サイリスタの代表的特性)
3. 集積回路 (オペアンプとデジタル素子)
4. パルス波形の観測 (シンクロスコープによる観測)
5. 波形変形回路 (微、積分回路、ダイオードクリッパー)
6. 波形整形回路 (シュミット・トリガー回路の特性)
7. パーソナルコンピュータ (図形処理 I)
8. パーソナルコンピュータ (図形処理 II)

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教 科 書

『実験書 (I B・II B・II C・II D・III A・III B)』〔第四版〕

そ の 他

パーソナルコンピュータの実験は情報教育センターで行う。
前期、後期の初めにガイダンスを行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
実験ⅡD	すぎた 杉田 きむら 木村 とおる 徹・青木 のぼる 登・吉田 あおき きよし 清 よしだ まさひろ 正廣	短 放 2 必	実験Ⅱ (ⅡA～ⅡE) 7

講義のねらい

電気工学分野の実験を経験する。数人のグループ構成で行う。下記の項目について実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

1. コンデンサーの充放電特性
2. 直、並列共振（共振現象の基礎知識を得る）
3. 交流ブリッジ（インダクタンス、キャパシタンス）
4. R-C回路（インピーダンスとベクトル）
5. 整流回路（整流と平滑、定電圧回路）
6. 変圧器（電磁誘導、巻数比と電圧比）
7. 三相12ピーク整流回路（多相整流）
8. 高電圧発生回路（倍電圧、コッククロフト回路）

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教科書

『実験書（ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB）〔第四版〕』

その他

前期、後期の初めにガイダンスを行う。

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
実験ⅡE	かしお 榎尾 なかきた 中北 えいじ 英次・一守 つねお 倫男 いりもり としひろ 俊寛	短 放 2 必	実験Ⅱ (ⅡA～ⅡE) 7

講義のねらい

放射線機器工学で学修する理論を実験を通じて理解させることに主眼を置き、併せて各種装置・機器の取扱法を習熟させることを目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

実験を遂行する上で必要な説明を加えながら、以下のテーマについて実験を行う。

1. X線管焦点寸法の測定
2. X線管電圧、X線管電流の測定
3. 撮影時間の測定
4. 三相全波整流装置の特性

履修上の留意点

実験は結果の修得のみを目的として行うものではなく、あくまでも関連する理論の学修を助け、より確実な知識修得を図る目的で設置された科目であるため、実験中はすでに学修済みの内容の確認とか、理論との間に生じる問題点などの把握に心掛けて欲しい。

報告書（レポート）の作成に当たっては、所定の書き方によるのは当然であるが書かれている内容を理解することが最も重要である事を認識して欲しい。報告書提出時の試問は記載内容の理解度を確認、評価するために行っているもので、理解度が極めて低い場合には再提出を求めることもある。

成績評価の方法

実験態度、報告書及び試問、中間テスト、定期試験などの結果によって総合評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

『JISハンドブック 放射線（能）』（日本規格協会）最新版（隔年発行）

その他

実験科目の単位取得には所定のテーマをすべて終了することが必要で、やむを得ない理由により欠席した場合は、追実験をうけなくてはならない（実験Ⅱの単位認定はⅡA～ⅡEすべての合格が条件である）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
病院実習Ⅰ（後期）	うじいえ もりみち 氏 家 盛 通	以降入学生/短放!必	4
		以前入学生/短放!必	3

講義のねらい

病院実習は指定規則により、診療放射線技師国家試験受験資格所得のための必須科目です。2学年期までの履修科目や実験で修得した基礎知識が、実習病院ではどのように応用されているかを知ると共に、実習指導者等による臨床の場での指導により研修し、将来の診療放射線技師としての資質を養う機会となる。特に学内では経験できない患者接遇のあり方など意義深いものがある。また学内での学習で不足していた点などに気付き、その後の学習意欲へつながることが多い。病院実習に先立って、実習ガイダンスを担当教員と、実習病院の実習指導者などによって学内で学習する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 病院実習の目的、実習手続上必要な書類と記入方法。
- ② 各実習病院の施設説明。実習生の実習病院希望調査。実習要項の説明。
- ③ 実習病院の決定。実習報告書についての説明。
- ④ 病院実習のための知識。病院の組織と業務や病院の機能について。
- ⑤ 患者待遇と患者心理について。
- ⑥ 病院実習における実習上の心得。
- ⑦ 実習病院の実習指導者による実習項目別ガイダンス。
 - a. 一般撮影系
 - b. 透視撮影系
 - c. 血管造影検査系
 - d. X線CT検査系
 - e. 救急検査系
 - f. 超音波・MR検査系

放射線科

成績評価の方法

実習病院からの実習成績評価報告書と実習生が提出する実習報告書・調査書等を参考として決定する。

教科書

病院実習要項・専門教育科目教科書参考書

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線医学概論（後期）	さくやま けいこ 作 山 攜 子	短 放 3 必	1

講義のねらい

診療放射線技師として特に必要な解剖学の復習をする。特に矢状断、冠状断の理解と復習をする。さらに診断学、治療学の発達の歴史、現状および今後の展開について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 単純X線写真
2. 超音波
3. CT
4. MRI、MRA
5. 血管撮影
6. IVR

履修上の留意点

将来放射線技師として医療に携わるものにとって放射線業務の医学への役割を知ることが極めて大切である。自分の職業に対しての自覚をもつような講義としたい。自由に発言できる機会をもつようにしたい。

成績評価の方法

定期的筆記試験。出席は重視する。

教科書

大澤忠編集『臨床放射線医学』（系統看護学講座別巻7）（医学書院）1,900円

参考書等

スライド、コンピュータまたはOHP使用のこともある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自動制御工学（前期）	あ お き きよし 青 木 清	短 放 3 必	2

講義のねらい

近年の医用装置は自動化が進んでおり、これを使いこなすには自動制御の考え方を理解しておくことが大切である。ここでは自動制御の基礎的な理論を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 自動制御の概要（自動制御の意味と種類、目標値、制御対象、制御量）
2. フィードバック制御
 - ①ラプラス変換とラプラス逆変換
 - ②制御系の構成（基本的構成と種類、サーボ機構、ブロック線図、伝達関数）
 - ③動作特性（過渡特性、インディシャル応答、定常特性、定常偏差）
 - ④周波数特性（周波数伝達関数、ベクトル軌跡、ボード線図）
 - ⑤安定判別（ナイキストの安定判別法、ゲイン余有、位相余有）
3. シーケンス制御
 - ①基本素子（命令スイッチ、検出スイッチ、電磁リレー）
 - ②リレー回路（自己保持回路、AND回路、OR回路、NAND回路、NOR回路、論理図）
 - ③基本回路（優先回路、禁止回路）

履修上の留意点

講義の後には、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験により成績評価を行う。出席は重視する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

柳瀬著『自動制御の入門』（東京電機大出版局）、深海・藤巻監『制御工学』（東京電機大出版局）

そ の 他

自動制御に関する実験を実験ⅢBにて行う。実験の内容も良く理解しておくこと。

放射線科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医用機器工学（後期）	か し お え い し 檀 尾 英 次	短 放 3 必	1

講義のねらい

この科目は医用画像診断装置の中で、X線CT装置とMRIを重点に講義する。また、放射線治療などに用いられる加速器についてはその概要を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. X線CT装置
 - 1) X線CTの原理および種々の方式
 - 2) 検出器およびデータ収集系
 - 3) システムおよび画像再構成
2. MRI装置
 - 1) 核磁気共鳴の物理的原理
 - 2) MRIシステムの概要
 - 3) 画像形成の原理（1）
 - 4) 画像形成の原理（2）
3. 加速器
 - 1) 加速器の概要、コッククロフト形とバンデグラーフ形加速器
 - 2) 線形加速器
 - 3) サイクロトロン、シンクロトロン
 - 4) ベータトロン、マイクロトロン

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。X線CT、MRI、および加速器の各講義の後演習を行う。過去の放射線機器工学の国家試験問題を事前に勉強しておくこと。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射性同位元素応用機器工学 (前期)	こやま まさき 小 山 正 希	短 放 3 必	2

講義のねらい

2年次における放射線計測学を基礎として、更に中性子計測・電子線計測・個人被曝線量計測について検出系の検出原理、応答特性、実測上の問題点などについてそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 中性子計測の全体像。
中性子の計測は、それが間接電離粒子であるという理由と荷電粒子への変換過程が光子ほどの普遍性がないことなどによって、他の放射線の計測に比較して未発達であると言える。従って計測系は種々の方法に分散している状況にある。ここでは現状での考え方を整理して中性子計測理解の一助とする。
- 2) 中性子検出の原理
中性子の検出には荷電粒子変換物質を選択利用するのが一般的である。ここでは変換物質の種類とその目的に応じた選択・利用法について学ぶ。
- 3) 電離箱によるもの。
変換された荷電粒子を電離箱で測定する方法について見る。
- 4) 計数管によるもの
計数管を用いて変換荷電粒子を測定する際の得失を見る。
- 5) 半導体検出器によるもの。
半導体検出器を利用する意味を把握する。
- 6) 核反応を利用した箔物質による測定法
- 7) 中性子線量測定
- 8) 電子線の測定と検出器
- 9) 個人被曝管理用検出器の原理と実際。
電離箱式・TLD・ガラス線量計・エキソ電子線量計・エレクトレット線量計など。
計測学は計測器による計測地を如何に評価するかの問題を常に含んでいる。アンフォールディング処理などもその一環であるが最も基本となるのは計測地の確度であり、従ってトレーサビリティを常に念頭に置く必要がある。ここではこれらの点についても考える。

放射線科

成績評価の方法

定期試験の他、随時おこなう中間試験、出席状況などにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像情報学 (前期)	にしお せいし 西 尾 誠 示	短 放 3 必	1

講義のねらい

X線画像、CT、MRIなどの臨床画像を主体に講義を行う。学生は実際の臨床写真を観察し、その伝達理論と画像評価を習得すること、最低限正常像の画像の解説ができることが望ましい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①画像情報概論
- ②画像形成に影響を与える因子と画質の評価尺度
- ③胸部の画像について
X線画像の最適化、CT画像を加えて立体的な画像解剖を学ぶ。
- ④腹部領域の画像
診断目的に応じた画像技術と画像解剖。CT画像との対比。
- ⑤乳房のX線画像
軟線と画質、CR画像、正診率、被曝線量、集団検診の現状など
- ⑥頭部の画像
頭部単純写真、CT像、MR像の画像評価の基礎
- ⑦椎骨と四肢骨の画像解剖

成績評価の方法

定期試験および学習意欲により判定する。

教 科 書

稲本 一夫 『放射線画像医学』(医歯薬出版) 3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射性同位元素検査技術学	うじいえ もりみち 氏 家 盛 通	短放 3 必	2

講義のねらい

検査技術学は、放射線医学のひとつである核医学部門の検査技術学である。核医学は医学・理工学・薬学の諸分野と緊密に結びつき、それぞれの進歩とともに発展してきた専門分野である。疾病の診断のために放射性医薬品を利用して、病態生理、生化学的な代謝と機能状態を核医学検査機器にて行う検査法である。

これらの検査法は測定の対象に従って、生体の測定（患者検査）および医学試料の測定（血液・糞尿など）に大別される。これらは放射性医薬品を生体内に投与するもの（インビボ法）と投与しないもの（インビトロ法）の2種類となる。核医学検査法に関する放射性医薬品、試薬キット類、検査機器、検査手技、データ処理法などについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 核医学検査概論、検査装置、機器、放射性医薬品概論、放射性医薬品の体内集積機序。
- ② 医薬品ジェネレータ、薬剤管理、検査法概論、シンチグラフィ概論。
- ③ 検査法前処置、放射性医薬品投与方法、画像処理の基本概念、R I 動態検査法。
- ④ R I 動態検査データ解析法、臓器摂取・代謝機能測定法・R I 動態機能検査装置。
- ⑤ R I 試料測定装置、ポジトロン断層装置・ヒューマンカウンタ。
- ⑥ インビボ検査各論、脳神経系シンチグラフィ。
- ⑦ 脳循環動態計測、甲状腺摂取率測定・シンチグラフィ。
- ⑧ 甲状腺癌・副甲状腺・副腎皮質・髄質シンチグラフィ。
- ⑨ 肺血流・肺換気・肺吸入シンチグラフィ、心筋シンチグラフィとデータ解析法。
- ⑩ 心プールシンチグラフィ、心機能データ解析法、末梢循環・血栓・脾シンチグラフィ。
- ⑪ 腫瘍・炎症・リンパ節シンチグラフィ。
- ⑫ ヘパトグラム、肝血流測定法、メッケル憩室、消化管出血、唾液腺シンチグラフィ。
- ⑬ V B 1 2 吸収試験、蛋白漏出試験、腎・腎動態シンチグラフィとレノグラム。
- ⑭ 循環血液量・血漿量・血球量測定・鉄代謝・赤血球寿命測定。
- ⑮ 血小板寿命・カルシウム代謝測定、ポジトロン断層検査法。
- ⑯ インビトロ検査概論。インビトロ放射性医薬品・検査法の原理・B/F分離法
- ⑰ 測定試薬、基準値、精度管理、インビトロ検査の臨床的意義。
- ⑱ インビトロ検査各論。AFP、CEA、CA19-9、エクスターゼ、PA、CA125、CA15-3、NSE他の腫瘍マーカー。ACTH、T3、T4、PTH、HB他。

放射線科

成績評価の方法

中間試験・定期試験の結果および出席状況による。

教科書

『最新核医学検査技術』（メディカルビューン）5,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線治療技術学	たかやま まこと 高 山 誠	短放 3 必	4

講義のねらい

前半では癌治療における放射線治療の役割や意義を中心とした放射線治療概論について講ずる。放射線の人体に対する影響などの放射線生物学や実際の臨床に用いられる放射線治療機器について解説を行い、放射線治療の計画と実技、線量分布や照射方法（外部照射、密封小線源治療等）の総論的項目について考える。

また後半では各疾患別の放射線治療について各論的項目を検討していく。

教科書

村上晃一著『放射線治療技術』
立入 弘監修『診療放射線技術』下巻 改訂第5版

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線管理学 (前期)	い ち も り と し ひ ろ 一 守 俊 寛	短 放 3 必	1

講義のねらい

放射線防護の観点からは、人間の被曝を伴う諸活動に対して適切に安全な諸条件を作り上げ維持することが重要であり、そのための基本的な理念と指針を与えている「国際放射線防護委員会 (ICRP) の勧告」の概要について理解し、放射線計測・線量測定技術に支えられた放射線・放射性物質の取扱・管理についての知識を修得することを目的としている。また、国内法令による管理基準との関係について注意をはらう。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 基本的な概念
- 2) 放射線生物学上の考察
- 3) 線量制限の体系と放射線防護体系
- 4) 放射線防護実施の一般原則
- 5) 職業上、医療上の被曝
- 6) 放射線モニタリング技術
- 7) 被曝計測評価
- 8) 個人被曝管理
- 9) 放射性同位元素の管理と取扱
- 10) 放射線遮蔽

履修上の留意点

学術面よりも実務上で役立つことを重視する。《関係法規》の知識と関連させた視点で理解するよう心掛けて欲しい。

成績評価の方法

定期試験、出席状況を加味して評価する。

教 科 書

医用放射線科学講座4『放射線安全管理学』(医歯薬出版KK) 4,000円

参 考 書 等

日本アイソトープ協会
『国際放射線防護委員会勧告』ICRP Publication26
『国際放射線防護委員会の1990年勧告』ICRP Publication60 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学演習 (後期)	に し お せ い じ 西 尾 誠 示	短 放 3 必	2

講義のねらい

この授業は放射線科の課程で学ぶ全科目の総括的評価を行うことを目的としている。即ち診療放射線技師として最低限必要な知識を習得し、放射線業務を遂行するに耐える能力、学力を身につけることである。

講義の内容・
授業スケジュール

学生が主体となって教員支援のもとに国家試験対策を強化してゆく。
ゼミ形式の学習体制をつくり、学生の能力、到達度に応じた指導を行う。

成績評価の方法

中間試験、定期試験の成績によって評価する。

教 科 書

『診療放射線技師国家試験対策全科』(金芳堂) 8,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実験ⅢA	こやま まさき さとう まさのり 小山 正希・佐藤 昌憲 はぶ たけし 羽生 毅	短 放 3 必	実験Ⅲ (ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

放射能の測定手順・放射能測定計測系の機能・放射線治療を念頭に置いた吸収線量測定のご概念と実測技術の基礎を把握する。

講義の内容・ 授業スケジュール

主として行なわれる実験題目とその概要は次の通りである。

1) 吸収線量の測定。

高エネルギー放射線による治療では人体組織に対する吸収線量の附与レベル決定がきわめて重要な因子である。ここでは⁶⁰Co線源を用いて、指頭型電離箱と樹脂ファントムの組合わせによる吸収線量測定の基礎的手順を学ぶ。⁶⁰Co線源に対する照射線量率定数・指頭型電離箱の特性と使用法・線源-ファントム-電離箱の幾何学的位置関係の効果・吸収線量率値とファントム厚さとの関係などに注意する必要がある。

2) フィルムによる放射線場の測定。

計測器としてのフィルムは実時間(リアルタイム)応答の計測器では容易に得ることのできない特性を持っている。ここでは⁶⁰Co線源を使用して、照射線量分布・肺近以不均等物質での深部線量百分率補正などの実測手順を学ぶ。

3) 半導体検出器による α 線の測定。

表面障壁型半導体検出器を使用して α 線による波高分布を測定する。逆方向電圧による電荷集収率・エネルギー分解能などへ与える効果、空乏層との関係を中心として学ぶ。

4) GM計数管による線源の β^- 壊変率測定。

GM計数管を検出器とする比較的簡単な測定装置を用いて線源の壊変率を求める手順と、その補正の考え方を学ぶ。

実験で取上げる項目は少ないものであるが、各々の知識が実際にはどの様に係わり、結果に影響してくるかを実感して欲しい。

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況、随時おこなう中間テストなどにより評価する。

参 考 書 等

放射線学会編『吸収線量の標準測定法』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実験 III B	青木 清・杉田 徹 永井 喜則	短 放 3 必	実験 III (III A～III D) 5

講義のねらい

自動制御に関する基礎的実験を行うことにより、放射線機器で使用されている自動制御機構についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目について実験する。

1. フィードバック制御 I (二次遅れ要素および基本的な自動制御回路について、過度特性、定常特性、安定性、周波数特性を測定し、理論との比較を行う。)
2. フィードバック制御 II (自動電圧調整器について実験し、電圧調整特性、定常偏差、整定時間、インディシャル応等と増幅部特性との関係について調べる。)
3. シーケンス制御 I (エックス線撮影用ホトタイマの模擬装置を使用し、装置構成要素である積分器、比較器、NOR回路、ソリッドステートリレー等の特性を測定する。)
4. シーケンス制御 II (各構成要素をつなぐことによりホトタイマを組み上げ、その制御特性を種々の条件で測定する。)
5. コンピュータ制御 I (パソコンにAD変換器をつなぎ、その制御プログラムを作成する。)
6. コンピュータ制御 II (AD変換器とデジタル入出力ボードにより温度の制御を行う。)
7. コンピュータ制御 III (パーソナルコンピュータを組み立て、構造を調べる。)

履修上の留意点

実験の前に実験内容を予習し、必要をなるグラフ用紙や電卓などを用意しておくこと。自動制御の理論については「自動制御工学」で講義する。実験の前に講義の復習もしておくこと。

成績評価の方法

実験の実施状況、実験レポート、定期試験により成績評価を行う。

教科書

『実験書 (II C・II D・III B) 第五版』

その他

一つのテーマについての実験を3～4人のグループで実施する。

放射線科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実験 III C	山本 裕右・原田 和正 村上 雅彦	短 放 3 必	実験 III (III A～III D) 5

講義のねらい

主として放射化学領域における実験を行う。

本実験では、2年次に学んだ「放射化学」、「放射線計測学」での知識を基に、放射性核種の製造、放射平衡、放射化学的分離法についての実験を行い、マルチチャンネル波高分析器によるγ線スペクトルおよび半減期を測定する。また、3年次で並行して学ぶ「管理学」の実践の場でもある。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目について実験を行う。

1. ^{99m}Tc のミルキング
 - a) コールドラン
 - b) ホットラン： ^{99}Mo の製造、溶媒抽出法による ^{99m}Tc のミルキング、γ線スペクトルの測定、半減期の測定
ホットランは学外実習として行う。
2. マイクロピペットの検定 (重量法、吸光度法)

履修上の留意点

非密封放射性同位元素は医学、化学、生物などの研究においてきわめて有用な情報を我々に与えてくれるものであると同時に、放射能汚染や被曝の問題など、危険な側面ももっている。従って、実験に対する準備を十分におこない、事前に実験操作、手順を理解しておくと同時に取り扱う放射性同位元素の性質を熟知しておくことが必要である。

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教科書

実験プリント

参考書等

日本アイソトープ協会編 『アイソトープ手帳』 (日本アイソトープ協会) 1,470円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実験ⅢD	<small>かしお</small> 櫻尾 英次・ <small>うじいえ</small> 氏家 盛道 <small>こばやし</small> 小林 久夫・ <small>たかの</small> 高野 正雄	短 放 3 必	実験Ⅲ (ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

放射性同位元素検査技術学、医用機器工学、画像処理および放射線計測学に関連するテーマについて実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 主な実験テーマは次の通り。
- 1) ガンマカメラの性能評価
ガンマカメラの基本性能をファントムを使用して測定する。
 - 2) ポジトロン同時計数測定
PETの基本的な実験として、ポジトロン核種を用いた同時計数の実験を行う。
 - 3) 超音波の各種特性の測定
超音波装置を使用して、超音波が水中を伝播中に生じる反射、散乱、減衰などの特性と装置の主要な性能を測定する。
 - 4) マルチチャンネル計測法
マルチチャンネル波高分析器を使用して、未知の核種を測定し、そのデータより核種を同定する。
 - 5) X線CT装置による画像処置
X線CT装置を使用して水ファントム、校正用ファントムを測定する。このデータを画像処理し、結果を表示させる。
 - 6) 甲状腺ヨード摂取率測定
模擬ヨード線源を用いて甲状腺ヨード摂取率測定の実験を行う。
 - 7) C言語による画像処理
サンプルの画像データを使用して、濃度ヒストグラムの作成、階調表示および空間フィルタリング等について画像処理を行う。
 - 8) FCRによる画像処理と画質
前期は撮影管電圧、撮影X線線量の変化と階調処理、後期は“ボケマスク処理法”による空間周波数処理を行い画質との関係を調べる。

履修上の留意点

あらかじめ実験ガイダンスを行うので、実験の前に予習しておくこと。

成績評価の方法

報告書と定期試験により評価する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
病院実習Ⅱ（前期）	うじいえ もりみち 氏 家 盛 通	短 放 3 必	3

講義のねらい

3学年期の病院実習も2学年期と同じ、指定規則による必須科目となっている。実習科目は、放射性同位元素検査技術学（核医学検査技術学）と放射線治療技術学および放射線管理技術学に関する実習である。実習病院では、診療業務を実施しながら指導してくれる。実習生は限られた期間内で確実な結果を得るよう積極的、意欲的に知識と技術を習得し、医療技術者としての修練と、自覚を高め目的意識を把握することによってこの貴重な体験を将来に活かして欲しい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 病院実習の内容、実習に必要な手続上の書類の説明と記入方法。
- ② 病院実習施設の説明と実習先希望調査。
- ③ 病院実習先の決定と学割定期の申請
- ④ 実習要項（核医学系）の説明
- ⑤ 実習要項（放射線治療系）の説明
放射性同位元素の取り扱い上の注意。
- ⑥ 非密封放射性元素管理。
- ⑦ 実習報告書の説明。
- ⑧ 患者接遇（3学年実習関係）について。
- ⑨ 病院実習における実習生の心得。
- ⑩ 実習病院の実習指導者による実習項目と内容の説明。
 - a. 核医学検査法
 - b. 放射線治療法
 - c. 核医学診療・放射線治療の放射線管理。

放射線科

成績評価の方法

実習病院からの実習成績評価報告書と実習生が提出する実習報告書・調査書等を参考として決定する。

教 科 書

病院実習要項と3学年期で使用している教科書等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医学英語（前期）	いと う の り こ 伊 藤 典 子	短 放 2 選	1

講義のねらい

朝日出版社発行の『英語で学ぶ医療と健康—新訂版—Health Care Today』を半期4月から7月迄、人間が生涯を通して健康に生きる為の基本的問題、医療従事者の役割、最新の治療法、医療と倫理等に関する英文を読みながら、医学英語を学んで行く。また医療従事者に必要な英会話も併せて練習して行く。さらに多様な練習問題を毎授業で試験として行ない、その試験の総合点を最終評価とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像処理論（後期）	か し お え い じ 檀 尾 英 次	短 放 3 選	1

講義のねらい

コンピュータのハードウェアの小型化は、マルチプロセッサの使用を可能とし、大容量で高速な画像処理が可能となった。それに伴いコンピュータを用いた画像処理が、今後ますます盛んになるものと思われる。

コンピュータによる画像の処理と認識は、その処理の柔軟性からさまざまな応用が考えられ、その重要性が高まるであろう。

最近の医用画像診断機器は、ほとんどがコンピュータを内蔵し、画像処理した結果を出力としている。講義では画像の処理と認識の基本を修得することを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は次の通り。

- 1) 画像の処理と認識について
- 2) 画像の入出力
- 3) 画像のフィルタリング
- 4) 画像の直交変換
- 5) 2 値画像処理
- 6) 特徴空間とクラスタリング
- 7) パターンマッチング
- 8) 構文解析的パターン認識
- 9) 画像の領域分割
- 10) 立体認識
- 11) 神経回路網による画像認識

履修上の留意点

画像処理の基本を理解するように努力されたい。

教科書

安居院猛、長尾智晴共著『画像の処理と認識』（昭晃堂）3,675円

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学特論（後期）	は ら だ か ず ま さ 原 田 和 正	短 放 3 選	1

講義のねらい

核医学で用いられる放射性同位元素および標識化合物についての各論を学ぶ。現在、放射性医薬品として使われている放射性核種は99m-テクネチウムを中心として、133-キセノン、67、68-ガリウム、123、125、131-ヨウ素など多種にわたる。これらの核種を利用しての核医学検査技術的な面については、3年次の「放射性同位元素検査技術学」で学ぶが、本講義においてはin vivo放射性医薬品の体内での挙動を理解するうえで基礎となる事項を中心に解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の観点から、in vivo放射性医薬品として使用されている放射性同位元素を同属元素別にまとめ、以下の内容について講義する。

1. テクネチウム（発見の歴史、核的性質、化学的性質、製造法、ジェネレータ、標識化合物の性質と標識法）
2. キセノン、クリプトン（希ガス発見の歴史とその存在、化学的性質、核的性質、製造法、⁸¹Rb-^{81m}Kr ジェネレータ）
3. ガリウム、インジウム、タリウム（発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法）
4. ヨウ素（発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法）

成績評価の方法

学年末試験と平常点により評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

データブックとして日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会）1,470円を使用する。講義には必ず持参すること。その他、参考書として厚生省薬務局審査課編『放射性医薬品基準ハンドブック』（日本アイソトープ協会）2,310円をもつとよい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用計測学 (前期)	か し お え い じ 檀 尾 英 次	短 放 3 選	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。

医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
 - 放射性核種および放射線計測の基礎
 - ガンマカメラ
 - SPECT
 - PET
 - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) 超音波診断装置
- 3) PACS (画像管理システム)
- 4) 生体電気計測
- 5) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

放射線科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特論 (後期)	ほ し か わ よ し か ず 星 川 嘉 一	短 放 3 選	1

講義のねらい

既に学んだ放射線物理学、写真学や解剖学の基礎の上に実際の画像を見ながら、医師、看護婦、放射線技師等で形成される医療チームに於ける臨床放射線技師の役割を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

単純写真、造影検査、CT、MRI、血管造影等のモダリティ別、又は頭部、頸部、胸部、腹部、四肢等の臓器別に実際の症例を見ながら臨床に則した形の内容とする。

履修上の留意点

一方的な受け身ではなく、積極的な発言等の授業への参加を求める。

成績評価の方法

基本的には期末試験の結果で評価を行うが、授業への出席やその態度についても参考にする。

そ の 他

授業の方法は実際のレントゲン写真、スライド、ビデオ、OHPを使用し、学生の参加を主体として進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習（前期）	うじいえ もりみち 氏 家 盛 通	短 放 1 選	1

講義のねらい

将来診療放射線技師として医療に従事する者にとって、これから放射線関連の多くの専門科目を履修しなければならない。そこで放射線や放射能に関連する文献を選び、具体的な事例をもとに講述する。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ①生活環境と放射線
- ②奥の細道と放射線
- ③植物と放射線
- ④食品中の放射性物質
- ⑤核実験と放射能
- ⑥食生活と人工放射能
- ⑦実効線量当量
- ⑧線量限度の考え方
- ⑨海洋の放射能
- ⑩病院での放射線
- ⑪放射能時計

これらのことを中心に4月より7月にかけて講述する。

成績評価の方法

小論文・学習状況・出席などにより評価する。

教 科 書

授業に使用する資料は、毎回配布する。

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習（前期）	こやま まさき 小 山 正 希	短 放 1 選	1

講義のねらい

この科目の目的は、専門的な科目を学ぶ初学者に必要とされる学習の姿勢・考え方を培い、自前なりに学習の方法論を獲得しようとする場合に役立つようにしたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

比較的基礎的な放射線・放射能の応用機器・放射線の種々の物質に対する効果などに関する文献・書籍の内容を題材として、それらについての最新の動向・展望を含めて、何が、どのような視点で、どのように取扱われているかを検討し、議論を加えてゆく。取上げる題材の例を掲げれば（概要）

- X線を用いた元素分析
- 放射線定量の概念
- 医療用放射線機器
- 放射線と発光効果
- 放射線と天文学

などである。これらの題材はその内容・知識を獲得することが目的ではなく、テキストを通じて、放射線の世界のどこかに好奇心の対象を見出し、それへの関心を核として学習にはずみをつけること、種々の事項を関連づけて考える姿勢を身につけることなどを目標としているのである。専門科目を受講するときに陥り易い、単なる項目的理解を超えて、概念の流れを理解し、項目それぞれの位置づけが可能な学習姿勢培養の一助としたい。

履修上の留意点

小テストなど授業時間内の学習状況により評価する。

成績評価の方法

授業に使用するテキストはプリントなどの形式で配布し、参考書などは個々の問題について、その都度紹介してゆく。

教 科 書

授業の方法はゼミ形式で行い、テキストの消化量より、討論を主としたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学基礎演習（前期）	すぎ た とおる 杉 田 徹	短 放 1 選	1

講義のねらい

新入生の諸君には一つの場を提供し、いかに学ぶべきかを教員と共に考えることを目的としている。具体的にはゼミ形式をとり授業を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

専門分野のテーマにこだわらず広く問題意識が発現出来る授業としたい。

履修上の留意点

やる気のある学生の受講を望む。

成績評価の方法

試験は行わない。(レポートと平常点により評価)

教 科 書

資料は毎回配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学基礎演習（前期）	な か き た つ ね お 中 北 倫 男	短 放 1 選	1

講義のねらい

放射線科における学業になじみ、将来診療放射線技師として立つための自覚を促し、学習意欲を引き出したい。

講義の内容・
授業スケジュール

輪読を中心に、放射線発見の歴史を辿り、また、放射線に関する平易な解説パンフレットにしたがい放射線学への緒を学ぶ。さらに、医療技術の革新状況、画像診断機器の現状と将来、医師との共働者（COMEDICAL）としての診療放射線技師の役割と位置づけなどを、最近の文献から読み取り、認識と展望を持つ。

履修上の留意点

この演習を契機として、それぞれ学習と自己啓発を発展させることを期待する。意欲ある学生の受講を望む。

成績評価の方法

演習への参加、取り組み状況による。

教 科 書

資料は、必要に応じてその都度配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学基礎演習（前期）	やまもと ゆうすけ 山 本 裕 右	短 放 1 選	1

講義のねらい

自然科学においては物事をどのように捉え、解釈し、理解するのか。また未知の事柄に対してどのように取り組むのか。これらの一端を覗くことをしてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

原子および放射線、放射能、原子力についての基礎的事項をいくつか限定して取り上げ、少し深くまで探ることをする。具体的には以下のようなテーマを取り上げ、ゼミ形式で進める。

- ・原子とは
- ・原子の中の電子
- ・安定同位体と放射性同位体
- ・放射能とは
- ・放射線とは
- ・エネルギー問題と原子力

履修上の留意点

ただ座っていたのでは何も与えられません。自ら積極的に調べ、発表し、疑問な点は遠慮なく質問してください。そして、自分にとって未知の物事がはっきり見え出したときの喜びを味わってください。

成績評価の方法

平常点

教 科 書

その都度プリントを配布する。

放射線科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	あ お き きよし 青 木 清	短 放 3 選	2

講義のねらい

診断用エックス線およびその散乱線の線量と線質に関する実験を行い、研究発表ができるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

エックス線の測定は線量計や半導体検出器を用いて行う。測定結果はパソコンにより処理し、実効線量や実効エネルギーを求める。テーマによってはパソコンによるシミュレーションも行う。これらの結果から、診断時の患者・術者の被曝線量を求めると共に、被曝低減の可能性を考える。

活動は下記のような順序で行う。

1. 論文や報告書の講読
2. 実験テーマの設定
3. 実験の実施
4. 報告書の作成
5. 研究発表

履修上の留意点

通常の学生実験と異なり、テーマや方法が最初から決まっているものではない。それらは学生同士がお互い議論の中から決めていくものであり、自主的な取り組みが最も大切である。

成績評価の方法

普段の活動状況、報告書、研究発表の内容から成績を評価する。試験は行わない。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

テーマに即した内容の論文や報告書を使用する。

そ の 他

ゼミ形式で論文講読や討論を行うと共に、個人またはグループ単位で実験を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	か し お え い じ 檀 尾 英 次	短 放 3 選	2

講義のねらい

パソコンを利用したデータ処理に関する分野からテーマを選び、データ処理の実験を行い、研究レポートとしてまとめる。

講義の内容・
授業スケジュール

ニューラルネットワークや遺伝的アルゴリズムについての基礎を学習し、これの基本的なプログラムについてパソコンを利用して実習する。

- 1) テキストおよび論文の講読
- 2) 実験テーマの選定
- 3) 実験
- 4) 研究レポートの作成
- 5) 研究発表

履修上の留意点

あらかじめ本演習についての大纲を示すので、実験テーマおよび実験計画について、全員で討議して決める。

成績評価の方法

ゼミの活動状況、研究レポートおよび研究発表を総合して評価する。

教 科 書

ゼミのテキストとして適したものを採用する予定である。

そ の 他

ゼミ形式で講読を行い、メンバー全員が参加して実験を進める。メンバーの自主的な活動を期待する。

放射線科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	さ と う ま さ の り 佐 藤 昌 憲	短 放 3 選	2

講義のねらい

この特別演習では、放射線線量計測に関したテーマを選び、実験を行い、論文としてまとめ、発表できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

テーマ

- 自由空気外挿電離箱の開発
- 電離箱によるX線線量の評価
- 電離箱によるγ線線量の評価
- パソコンによるシミュレーション

成績評価の方法

研究論文にて評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	は ら だ か ず ま さ 原 田 和 正	短 放 3 選	2

講義のねらい

各種の発光体材料など、放射線技術学に関連が深い物質について実験を行い、その特性やメカニズムを理解するとともに、実験結果について考察する力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

各自一つの研究テーマを設定し、そのテーマに沿って行った実験の結果をレポートとしてまとめ、発表する。また、関連分野の文献について輪読を行う。

履修上の留意点

学生実験とは異なり、研究実験において「模範解答」は存在しない。各自が得た実験結果から、未知の解答を各自が導き出すものである。1年間、研究テーマに対して自発的・積極的に取り組む姿勢が必要である。

成績評価の方法

レポートの内容と平常点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	にしおせいし 西尾 誠 示	短 放 3 選	2

講義のねらい

画質を維持・改善するためには、画像評価を含めた基礎的な画像工学的知識が必要不可欠である。まず最初に画像形成過程における事象について知識を持つこと、更に良質な画像を得るための諸条件を研究すること、得られた画像について理論的な評価ができることが望ましい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①画質を左右する諸因子について実験を行う
- ②画質の物理的・視覚的評価法の研究を行う

履修上の留意点

学生個人で研究テーマを定め、学内発表会で結果を報告できるようにする。

成績評価の方法

研究に対する意欲、報告書の内容について評価する。

そ の 他

関連学会、研究会に参加する。毎週、討論会を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	やまもと ゆうすけ 山 本 裕 右	短 放 3 選	2

放射線科

講義のねらい

放射線技術学の分野では、放射線検出のために熱ルミネセンス、輝尽発光、ラジオルミネセンス（シンチレーション）など種々の発光現象が利用されている。本演習においては、これらの発光を示す発光体材料を実際に取り扱い、新しい発光体に開発、あるいは既存の発光体について種々の特性を測定することにより、発光現象をより深く理解すると共に、得られたデータを解析、考察し、一つのレポートとしてまとめる作業を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

学年当初に履修者と相談のうえ各自の1年間のテーマを決定する。それぞれの学生は各自のテーマについて実験を行い、学年末までにレポートをまとめる。また、得られた成果についての発表会を行う。

さらに、各自のテーマとは別に、発光体関係の基礎的な文献または専門書を選び輪講を行う。

履修上の留意点

本演習を履修するにあたっては、学生各自の独自の工夫や創造性が要求される。すなわち、指示されたことを受け身で行うのではなく、各自が積極的に自分のテーマに取り組み、文献調査を行い、独自の観点からまとめることが必要である。

成績評価の方法

平常点。

Ⅲ 他学部履修科目

Ⅲ. 他学部履修科目

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

禅学概論	〈佐藤秀孝〉	313
中国禅宗史	〈田中良昭〉	313
日本禅宗史	〈石井清純〉	314
禅籍講読Ⅰ	〈石井修道〉	314
禅籍講読Ⅲ	〈石井清純〉	315
仏教概論	〈池田練太郎〉	316
インド仏教文化史	〈金沢篤〉	316
中国仏教文化史	〈永井政之〉	316
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	316
中国古典語初級	〈石井公成〉	317
中国哲学史	〈前川亨〉	317
上代文学研究Ⅰ	〈小野寛〉	318
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	318
中世文学研究Ⅰ	〈櫻井陽子〉	319
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	319
近代文学研究Ⅰ	〈山崎眞紀子〉	320
比較文学	〈満谷マーガレット〉	320
児童文学	〈国松俊英〉	321
西洋思想史	〈柴野博子〉	321
演劇概論	〈井上理恵〉	321
編集実務	〈長谷川孝〉	322
イギリス文学特講Ⅰ	〈荒井良雄〉	322
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	323
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	323
イギリス文学特講Ⅳ	〈中岡洋〉	324
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	324
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	325
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	326
アメリカ文学特講Ⅲ	〈足田和人〉	326
演劇特講〔イギリス・アメリカ〕	〈落合和昭〉	327
時事英語	〈荒井良雄〉	327
地理思想史	〈竹内啓一〉	328
地形学	〈小池一之〉	329
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈小泉雅弘〉	329
考古学特講Ⅲ	〈酒井清治〉	330
日本仏教史Ⅱ	〈休講〉	
西洋文化史Ⅰ	〈佐々木真〉	330
日本民俗学	〈谷口貢〉	331
哲学史	〈山口祐弘〉	331
歴史哲学	〈久保陽一〉	332
産業・職業社会学	〈山田信行〉	332
マス・コミュニケーション論	〈川本勝〉	333
社会福祉発達史	〈林千代〉	333
国民所得論	〈吉野紀〉	334

日本経済史	〈橋野知子〉	335
中小企業政策	〈吉田敬一〉	336
日本経済論	〈光岡博美〉	337
アジア経済論	〈小林正人〉	338
中国経済論	〈鄭章淵〉	339
アメリカ経済論	〈小杉修二〉	340
アジア・東欧経済論	〈瀬戸岡紘志〉	341
商業政策	〈山縣弘志〉	342
マネージメント	〈岩下弘〉	343
経営管理論	〈曾我信孝〉	344
労務管理論	〈百田義治〉	345
財務会計論	〈堀龍二〉	346
会計監査論	〈小栗崇資〉	347
貿易行法	〈森田佳宏〉	348
銀行比較	〈石川祐二〉	348
親族統制	〈古沢紘造〉	349
西洋法米	〈齊藤正壽〉	350
英法米	〈齊藤正壽〉	351
経済政治論	〈竹中智香〉	353
ヨロツバ	〈竹中智香〉	353
国際政治学	〈北野かほる〉	354
地方自治学	〈北野かほる〉	355
比較代	〈岡田外司博〉	356
現比較	〈中野裕二〉	357
商情報	〈小堀訓男〉	358
経情報	〈富井幸雄〉	358
経営	〈前田英昭〉	359
経営	〈三竹直哉〉	360
経営	〈大塚桂〉	361
経営	〈休講〉	362
経営	〈山田勝〉	362
経営	〈高井徹雄〉	363
経営	〈西村和夫〉	364
経営	〈鹿島秀晃〉	365
経営	〈石名坂昭〉	366
経営	〈長国強〉	367
経営	〈片桐伸夫〉	368
経営	〈高木克己〉	369
経営	〈渡辺惠一郎〉	370
経営	〈茂垣広志〉	371
経営	〈佐原作美〉	371
経営	〈鈴木裕子〉	371
経営	〈坂口博規〉	371
経営	〈清田啓子〉	372
経営	〈井上優治〉	372
経営	〈小林治子〉	372
経営	〈奥原淳子〉	372
異文化コミュニケーション	〈奥原淳子〉	372

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学概論	さとう しゅうこう 佐藤 秀孝	短国・短英	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禪那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にはかならない。

はじめにインド仏教における禅（禪定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習態度）と年度末の定期試験による。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国禅宗史	たなか りょうしょう 田中 良昭	短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達摩を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達摩の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪州宗、石頭の石頭宗によって禅宗が一宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を発揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものにしておくことが、その後の学習にとって最善の方法である。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教科書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参考書等

比較的理解しやすいものに、〈講座禅〉第3巻『禅の歴史 —中国—』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』と近刊の伊吹敦『禅の歴史』がある。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、『禅仏教の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、『中国禅宗史論考』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものであり、研究の手引書として田中良昭編『禅学研究入門』がある。

その他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本禅宗史	い し い せいじゆん 石 井 清 純	短国・短英	4

講義のねらい

中国において成立した禅宗は、鎌倉時代に日本に伝播し発展した。それは、ある部分では中国の叢林制度そのままの移植であり、またある部分では柔軟に日本の文化に順応して変容した。本講義では、その展開の様相を歴史的に概観し、現存する禅宗各派の成立基盤を明確化してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

禅の伝来より、時代を追って明治時代の禅宗三派の成立までを概観する。
 1. 奈良・平安時代の「禅」の伝来、2. 「禅宗」の成立、3. 五山と林下、
 4. 禅宗教団の地方展開、5. 江戸幕府の宗教政策と禅宗、6. 隠元の来朝
 7. 明治維新と禅宗の統合、8. 禅宗各派の再成立。

成績評価の方法

前期終了時のレポートおよび年度末の筆記試験をもって判定する。

教 科 書

講義ごとにプリントを配布。

参 考 書 等

竹貫元勝『日本禅宗史』（大蔵出版）・船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅籍講読Ⅰ	い し い しゆうどう 石 井 修 道	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は禅宗史話を原典テキストで味読するものである。唐代の最も魅力ある禅者を一人一人読み進めて行きたいが、年間、数限られた人数しか触れられないであろう。しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭鴻山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを中心としたい。話は公案化されたよく知られたものを紹介したいが、興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート提出20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教 科 書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参 考 書 等

入矢義高『臨濟録』（岩波文庫）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）

履他
修学
科目部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅籍講読Ⅲ	い し い せいじゆん 石 井 清 純	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、日本において禅宗が成立した当時の禅籍を講読するものである。具体的には、日本史の時代区分でいうところの中世、すなわち鎌倉時代から室町南北朝時代に編集された禅語録や法語類がこれにあたる。

禅宗は、鎌倉時代、武家政権の幕開けと共に日本に伝来したことで知られる。そしてそれは、その後、一部では中国の五山制度を導入することにより中央に進出し、また他方では、種々の宗教的要素を取り込んで地方に展開していった。つまり、この時代は、まさに日本の禅宗が生まれ、そして独り歩きを始めた時代なのである。

この講義では、まず、禅の表現形式に慣れるために、各種仏教関連の辞書を用いて丹念に禅籍を読み進める。そしてさらに、読み進んだ内容から、日本の禅林の思想的特徴を把握できればと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は、日本における禅思想の特徴を見出す意味から、臨済宗大応派の日本人禅匠の語録を読み進める。この派は、後の日本禅林の展開に大きな影響を与えたものであり、その主張を知るとは、禅の日本的展開の様相を知るに不可欠といえる。

講義前半は、対象となるテキストをプリントにて配布、そこに現われる禅語の意味を、一つ一つ丹念に辞書を用いて確認してゆく。これは、禅籍の独自の漢文表現と、仏教関係辞書の検索方法の双方に慣れることを意図したものである。

辞書の使用方法と漢文表記に慣れたところで、後半は、思想的内容を読解する演習へと移行してゆく予定である。

履修上の留意点

辞書や参考書類は用意するが、自己の読解力を高める意味でも、講義中に用いる基本的な辞書類は各自で用意されたい。

成績評価の方法

前期中に2回、後期中に1回、計3回の小テスト（ペーパーテスト）を行なう。それに年度末の定期試験を加えた計4回のテストを総合して成績を評価する。

教科書

講義ごとにプリントを配布。

参考書等

講義中に使用する予定の辞書類

『禅学大辞典』（大修館書店）、『中日大辞典』（大修館書店）、『禅語辞典』（思文閣）

『新字源』（角川書店）、『助字小字典』（内山書店）

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教概論	い け だ れんたろう 池 田 練 太郎	短国・短英	4

講義のねらい

本講義は、仏教の基本的な要素である三宝（仏・法・僧）の体系にしたがって、開祖であるブッダ、その教義、それを維持し展開させた教団の順に仏教の基本的立場を概説していく。内容はインド仏教が中心になるが、中国・日本などの諸地域に広まった仏教にもふれていく予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第にしたがい、最初に「仏教とは何か」について考え、その後、①ブッダの生涯、②仏の本質、③法 仏教の真理観、④一切法 法の分類、⑤輪廻と業・煩惱、⑥悟りへの道、⑦心 実践の主体、⑧修行者の理想像、⑨戒律と教団の組織、⑩仏教の歴史（インドとその周辺・中国・朝鮮・日本）の順に進めていく。

成績評価の方法

授業中に数回行う予定の小テスト、及び年度末の定期試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会刊）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教文化史	かなざわ あつし 金 沢 篤	短国・短英	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教 科 書

指定なし（資料は教場で適宜指示する）。

参 考 書 等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教文化史	なが い ま さ し 永 井 政 之	短国・短英	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」ととらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「仏・菩薩への信仰」を取りあげて考えてみたい。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

参 考 書 等

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教文化史	は か ま や の り あ き 袴 谷 憲 昭	短国・短英	4

講義のねらい

この講義では、日本に完全に定着してしまった仏教文化の実態を、江戸期に成立した仏教以外の文献を通して、分析的に考察することに主眼を置く。その目的で、文献としては、江戸初期に成立したと見做される邦人イルマン不干斎巴鼻庵の『妙貞問答』上巻と、江戸末期に富永仲基（1715-1746）によって著わされた、『翁の文』『出定後語』とを主として取り上げる。これらの講義を通して、永い鎖国政策の間の仏教が、これ以前に成立していた仏教と、明治以降今日に至る仏教との間で、いかなる意味で思想的につながっているかを再考することになるであろう。

講義の内容・
授業スケジュール

講義における文献の取り上げ方は、必ずしも通時的ではないだろうが、前期にまず『翁の文』を講読して、仲基の「加上説」が思想史における思想構築の意味をどのように認識したものであるかを検討することから開始することは決っている。

履修上の留意点

参加者は、文献を自ら読もうとしていることが要求される。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法も変りうる。

教 科 書

石浜純一郎・水田紀久・大庭脩校注『翁の文』、日本古典文学大系97、『近世思想家文集』（岩波書店）1966年 ただし、入手困難かもしれないので、必要に応じてコピーを配布する。

参 考 書 等

講義において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国古典語初級	い し い こう せい 石 井 公 成	短国・短英	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教 科 書

使用せず、コピーを配布する。

参 考 書 等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国哲学史	ま え か わ とおる 前 川 亨	短国・短英	4

講義のねらい

中国人の世界観、人間観の歴史的展開を把握することを目的とする。儒教・道教・仏教の思想とその相互関係の理解が主な課題である。特に、東アジア世界の中での中国思想という視野を失わないように心掛けたい。中国人の思考様式の特徴を明らかにし、それが日本人の思考様式とどこまで共通し、どれだけ異なるかを考える機会となれば幸いである。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は孔子から始めて唐宋代に至る時代を取り扱う。その場合にも、断代史的ではなく問題史的に進めていくので、近・現代との関係も考慮することになるであろう。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。

履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化・社会などに関心を有する多様な受講者の参加を希望する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもっていること（少なくともそれらの語学に履修意欲をもっていること）が望ましいが、授業じたいはその方面の知識なしでも理解可能であろう。ただし、継続して出席する意志と意欲を有する者以外の登録は認めない。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちでの受講はお断りする。問題意識と積極的な意欲に富む受講者を求める。

成績評価の方法

授業の内容に関連するレポートを前期と後期に提出してもらう。

教 科 書

特に必要としない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めたい。積極的な問題提起、討論を歓迎する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学研究Ⅰ	おのひろし 小野寛	短国・短英2年	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

万葉集全20巻から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学研究Ⅰ	まつおかともゆき 松岡智之	短国・短英	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。
②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

他履修
学部
科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中世文学研究Ⅰ	ま くら い よ う こ 櫻 井 陽 子	短国・短英2年	4

講義のねらい

源義経（牛若丸）像が日本の文学や芸能の中で、どのように形成され、また、変貌を遂げていったのかを追い、日本人がこの悲劇的、英雄的生涯を終えた人物に何を託したかったのかを、作品に触れながら明らかにしていく。また、知識階級の占有物ではない文学、或いは文化を考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

義経についての記載を追って、下記の各文献を読む。

平家物語
平治物語
吾妻鏡、及び歴史史料
義経記
謡曲
おとぎ草子

成績評価の方法

出席、授業態度、レポートによって総合的に評価する。

教 科 書

授業時に適宜プリントを用意する。

参 考 書 等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近世文学研究Ⅰ	こ の え の り こ 近 衛 典 子	短国・短英2年	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教 科 書

鴛山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

そ の 他

講義

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学研究 I	やまざき まさきこ 山 崎 眞 紀 子	短国・短英 2 年	4

講義のねらい

1979年『風の歌を聴け』でデビューした村上春樹は、現在も第一線で活躍している作家である。この間、日本は経済効率優先の社会システムのもとに進んできた。結果、バブル経済、サブカルチャー、家族制度の崩壊などを生みだしてきた。共闘から個人へと変換してきたことも大きいだろう。村上春樹は人々が共闘している際にも個人で、徹底的に自分の足元を見続け、たとえていえば自分の中の井戸を汲み上げるようにして書いてきた作家である。もはや、現代は経済効率優先の社会システムのままでは、各所にほころびが生じてきている。こういう時代に、村上春樹作品を読むことによって、社会システム内に無自覚に呑み込まれるのではなく、個人一人一人が自分の井戸を汲み上げ、これから先の時間をどのように構築していくのかを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

村上春樹作品の代表作を基本的には発表時間順に読んでいく。主に文庫本をテキストとする。

履修上の留意点

事前にテキストの指定部分を必ず読んでくること。授業時間の前半は講義式で進め、後半は各自考察を深めるために課題に従って文章化したり、意見を発表して貰ったりする。従って、授業に積極的に参加する姿勢が必要となってくる。テキストを読んでこなかったり、私語をしたり、テキストを持参せず眠っている、などという態度は困るので、履修をする場合は、これらのことをしないことが条件となる。なお、携帯電話は講義中に触れることも認めません。

成績評価の方法

平常点（授業への参加度や授業時の意見や文章等）を何よりも重要視する。学年末にレポート提出を課すか、ペーパーテストを行うかは、受講者の反応に従って決定したい。全講義数のうち、3分の1以上の欠席の場合は単位を認定しないので注意すること。

教科書

（新潮文庫）『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』（上・下）、（新潮文庫）『ねじまき鳥クロニクル』（第1部～第3部 全三巻）、「図書館奇譚」（講談社『カンガルー日和』所収）、「眠り」（文春文庫『TVビープル』所収）、「ねじまき鳥と火曜日の女たち」（文春文庫『パン屋再襲撃』）、「街と、その不確かな壁」（文庫本未収録なのでプリント作成）

参考書等

総合的には『村上春樹作品研究辞典』（鼎書房）3,800円があるが、購入を強制するものではない。他の参考書及びサブテキストについて授業中適宜指示する。

他履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較文学	みつたに 満谷 マーガレット	短 英	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教科書

プリント

参考書等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995年
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991年
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994年など

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児童文学	くにまつ としひで 国 松 俊 英	短 英	4

講義のねらい

童話や児童文学といえば、かつては「子どもに役立つ文学」、「子どものためになる文学」という考えが中心だった、大人が子どもに与えるものであった。けれどその考えは、時代とともに変わってきた。現代では「大人と子どもが共有できる文学」と考える人がふえてきた。大人が楽しみ、感動できる児童文学が多く生まれるようになった。この時間は、児童文学の特質、そのジャンル、作家と作品について学ぶ。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、レポート

教科書

適宜プリントを配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋思想史	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

生の哲学と解釈学を中心に、19世紀から20世紀の西洋思想をみてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はショーペンハウアーとニーチェの思想をとりあげ、後期はデイルタイとガダマーの解釈学をとりあげます。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教科書

久保陽一『原典による哲学の歴史』（公論社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演劇概論	いのう え よし え 井 上 理 恵	短 英	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかように収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

演劇史、ドラマトウルギー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになろう。ビデオや舞台で展開される演劇を観て、西洋と日本の文化の違いを理解し考えるつもりである。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は国文学特講Xを同時に受講されることが望ましい。

また、実際の舞台を見にいて批評を書いてもらうつもりでいるから本講座を受講する者は前期一回、後期一回、劇場に足を運ぶことを条件としたい。

成績評価の方法

成績評価はレポート（二回の観劇批評およびその他二回）およびテスト。

教科書

授業時に販売（約500～800円）「井上理恵講義ノート」（私家版）

参考書等

毛利三彌『東西演劇の比較』放送大学教育振興会

その他

講義形式。ビデオ視聴や観劇後には討論をする。

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編集実務	はせがわ たかし 長谷川 孝	短 英	4

講義のねらい

編集とは、<誰かに一何かを一伝える>過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」(視点・視野・視角)をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・現行の整理やレイアウトなど、実際の常識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取り、問う力、自分の表現をつくり出す力を養うよう考えています。

履修上の留意点

授業を「取材」する(「教わる」ではなく)という構えで参加してください。また授業で「取材」した(自分なりに感じ気づき考えたことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

自己評価点および、課題作品(B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作)と授業で書く短文(感想文)など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

履修科目
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	あらい よしお 荒井良雄	短国・短英2年	4

講義のねらい

シェイクスピアの全作品を中心に、エリザベス朝演劇をとりあげて、イギリス演劇の特色と思想的文化的背景を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

ギリシャ・ローマ演劇やシェイクスピア以前の聖書劇や道徳劇にふれたのち、シェイクスピアの史劇、喜劇、悲劇、悲喜劇と、クリストファー・マーロウやベン・ジョンソンなどの劇をとりあげる。

履修上の留意点

イギリス演劇史の中で最も活気に満ちたルネッサンス時代の演劇を考察するので、イギリス史や演劇史の参考書を読んでおくことが望ましい。

成績評価の方法

夏休みのレポートと冬休み前の試験で評価する。

教科書

『イギリス文学案内』野町二・荒井良雄著(朝日出版社)

参考書等

『シェイクスピア全集』小田島雄志訳(白水社)(全37巻各冊600円から800円)
『シェイクスピア事典』高橋康也・他編(研究社)14,000円(図書館で利用できる。)

その他

演劇の講義なので、作品理解の補助手段として、イギリス演劇の映画化作品やテレビ→作品、そして日本での翻訳上演などを見ることをすすめる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお 高野正夫	短国・短英2年	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版されたLyrical Balladsという、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅲ	おかざきとしいちろう 岡崎寿一郎	短国・短英2年	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なかおか 中 岡 洋	短国・短英2年	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいいがたくなっているフロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にはCharlotte Bronte (1816 - 55) のJane Eyre (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教 科 書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参 考 書 等

教場で適宜指示する。

そ の 他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

他履修科目
学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	ふじかわ 富 士 川 義 之	短国・短英2年	4

講義のねらい

英国における文学と絵画についての講義。ロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性についてふれる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

適宜指定する。

そ の 他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄	短国・短英2年	4

講義のねらい

文学研究が感動に始まるとすれば、それは個人的・主観的です。個人的・主観的であるとは、読み手の深奥の中心から「叫びのような声」に触れることです。批評することは、実は、文学テキストと読み手とをリアル・タイムで結んでゆくネットワークのようなものです。作者の世界と読み手の世界とをリアル・タイムで結びつけることで、読み手はテキスト世界との出会いに自らの心を開き、その出合のときその世界に対して読み手は違和感を抱く。かくして読み手は自らの世界を更新してゆくモーメントを獲得することになり、批評が始まります。

批評の世界は個人的・主観的な世界から宇宙的な世界に向けて発信し、文学以外の人間のさまざまな領域と共存し対峙していくわけです。批評的行為はいつまでも文学テキストに寄生しないで、自立していきます。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての自分をどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしていきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の折り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを見出すことです。その結果文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題となってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文学テキストの虚構の世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

『Elements of fiction by R.Scholes』（英宝社）
・プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

参考書等

『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）
『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎	短国・短英2年	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそつて、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を採り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

教科書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参考書等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あしだ かずひと 足 田 和 人	短国・短英2年	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の文学に共通した特長を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら、講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを、読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席点とし、前期・後期2回のレポートを課す。

教科書

プリントを配布。

参考書等

必要に応じて紹介する。

他履修
学部
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 〔イギリス・アメリカ〕	おちあい かずあき 落合 和 昭	短国・短英2年	4

講義のねらい

主として、20世紀アメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼らの劇の特徴を、劇の構成要素（「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果（背景、照明等）」、「効果音（音楽も含む）」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が概念的、抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカ劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀アイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般的には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇（短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇）を書いた劇作家も取り上げ、一幕劇の特徴やその多様性をも考察する。また、講義の中で、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主な劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Engene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-), Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-), Sam Shepard (1943-), David Mamet (1947-), アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Harold Pinter (1930-)等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚（ワープロの場合は、2000字から4000字）とする。出席率が3分の2以上を超えなければ、成績は不可とする。

教科書

- 1) 『The New Penguin Dictionary of Theatre』(洋書) (ペンギン)
- 2) プリント

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	あらい よしお 荒井 良 雄	短国2年	4

講義のねらい

このクラスでは、Newspaper EnglishとRadio Englishを中心に、Current Englishを学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

英字新聞、ラジオの英語、映画やテレビの英語、雑誌の英語を使って、Current Englishと英米文化の背景を研究し、刻々と変る世界情勢を理解し、国際的視野を広げる事を目標とする。

履修上の留意点

その日のラジオの英語や英字新聞の英語を主として扱うので、各自が自習するとともに、辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎時間の小テストと、夏休み前と冬休み前の2回のテストで評価する。

教科書

International Herald Tribune 新聞や駅の売店で発売 (150円)

参考書等

各種の時事英語辞典。

その他

テープを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理思想史	たけうち けい いち 竹 内 啓 一	短国・短英2年	4

講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、ここで、地理思想史とは、領域、場所、環境といった空間的な生活条件に関する社会思想史であり、そのような地理思想史が、時代により、世界各地の文化により、どのように異なり、同時に普遍性、共通性を持っているかということが、まず大きなテーマになる。また地理思想史という場合、民衆レベルでの思想と実践 (folk geography) から、統治者のもの (official geography)、近代における制度化された高等教育機関でアカデミシャンとして禄をはんでいる者のもの (academic geography) まで、様々な次元のものがあ、これらの社会的背景を異にする多様な地理思想の間の接続と断絶関係を明かにすることも、この講義の一つの課題である。また地理的イマジネーション、環境に対する関心、地理的実践は空間的に限定された局地的なもの (local concerns)、国家レベルのもの (national concerns)、世界的なもの (global concerns) とスケールを異にするものがあり、これらの間には多様な拮抗関係があつて、その解明も地理思想研究の課題となる。このようなfolk、official academic geographiesが、local、national、global、concernsをめぐって、どのような関係にあったかを、通時的 (diachronic)、かつ通文化的 (cross-cultural) に解明するのがこの講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書、および配布資料を用いて、講述方式で講義をすすめる。まず上記の私の問題意識にしたがつて、地理思想史の構造について話をし、後半の部分では地理的知識の形成と知の体系として地理学の展開、土木、軍事などにおける地理的実践の歴史を、いくつかのトピックごとに時代をおいながら話していく。

履修上の留意点

在外研究のため6月から10月にかけて休講するので、12月の補講期間に集中的補講をするので、あらかじめ心得ておいていただきたい。

成績評価の方法

学年末の持ち込み一切自由の筆記試験による。

教科書

ポール・クラヴァル (竹内訳) 『現代地理学の論理』 (大明堂) 2,500円
日本の地理思想史については、私が作成した資料を配布。

参考書等

読むべき文献・参考書等は講義中に提示するが、アカデミー地理学の歴史、地図史、探検史に関する文献を以下にかかげておく。
手塚章 (訳編) 『地理学の古典』 (古今書院)
西川治 (編) 『地理学総論』 (総総観地理学講座1) (朝倉書店)
水津一郎 『近代地理学の開拓者たち』 (地人書房)
野沢秀樹 『フランス地理学の群像』 (地人書房)
飯塚浩二 『人文地理学説史：方法論のための学説史的反省』 (日本評論社) (『飯塚浩二著作集』6 平凡社に収録)
野沢秀樹 『ヴィダル・ド・ラ・ブラーシュ研究』 (地人書房)
織田武雄 『古地図の世界』 (講談社)
織田武雄 『地図の歴史』 (講談社)
長澤和俊 『世界探検史』 (白水社)
竹内啓一・杉浦芳夫編 『20世紀の地理学者』 (古今書院)
R.J. ジョNSTON (竹内監訳) 『場所をめぐる問題：人文地理学の再構築のために』 (古今書院)
日本における近代地理学の発達については以下の私の著書と『地理学評論』2000年4月号の日本地理学会75周年記念号が参考になる。
Modern Japanese Geography : An Intellectual History. Kokon-Shoin

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地形学	こいけ かずゆき 小 池 一 之	短国・短英2年	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。

このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成させる地形（火山地形など）、地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

貝塚爽平著(1998)『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編(1985)『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税
小池一之ほか訳(1984)『一般地質学 2』（東京大学出版会）3,400円＋税

その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講 VII〔近代〕	こいずみ まさひろ 小 泉 雅 弘	短国・短英2年	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民蔵分離問題、廃藩置県、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学特講Ⅲ	酒 井 清 治	短国・短英2年	4

講義のねらい

古墳時代から古代にかけて朝鮮半島から伝わった須恵器が作られるが、この須恵器は古墳時代の畿内政権あるいは各地の首長層と密接な関連があり、古墳時代あるいは古代を考えるに重要な土器である。この須恵器は、現在全国各地で詳細な編年ができ、考古学的な年代決定の重要な資料となっている。また、生産地である窯跡が判明しており、消費地との需給関係がわかる。さらに須恵器生産は古墳時代にあってはきわめて政治的に生産が開始されており、窯業生産地から生産体制を解明する材料となりうる。当時の手工業史としての須恵器生産史や流通史を解明

講義の内容・授業スケジュール

須恵器に関する論文を紹介しながら、須恵器の生産・流通・歴史的背景を概観する。

履修上の留意点

遅刻しないこと。

成績評価の方法

定期試験とレポートおよび平常点

教科書

授業の中で適宜紹介する。

参考書等

中村浩『須恵器』（ニュー・サイエンス社）
中村浩『和泉陶器窯の研究』（柏書房）
山田邦和『須恵器生産の研究』（学生社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋文化史Ⅰ	佐 々 木 真	短国・短英2年	4

講義のねらい

近代社会の成立において、「管理」や「規律」といった概念が重要な役割を果たしたことは、さまざまな歴史家によって指摘されていることである。そこで、本講義では、近世末から近代にかけて、ヨーロッパ諸国において戦争や軍隊が有していた意味を考えつつ、上記の問題を検討してみたい。軍隊のあり方やその機能、国家による戦争の遂行は、近代国家や近代社会の形成に非常に大きな影響を与えており、最近ではそのような視点に立った研究が見られるようになった。本講義では、そのような研究動向をふまえ、フランスを主な題材として、近世から近代への移行において、戦争や軍隊がどのような役割を果たしたのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。

1. 絶対王政期の軍隊と戦争（戦術の変化、軍隊の実態、軍制改革、王権と戦争）
2. フランス革命と戦争（革命下の軍制改革、兵士と市民的自由）
3. 近代社会と戦争・軍隊（国民化・近代システムと軍隊、国家と軍隊、総力戦体制）

履修上の留意点

授業中に紹介する文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加算して判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考文献は、授業中に随時紹介するが、主要なものとしては以下のようなものがある。
アルフレート・ファークツ『ミラクリズムの歴史』（福村出版）
山内進『掠奪の法観念史』（東京大学出版会）
専修大学人文科学研究所編『フランス革命とナポレオン』（未来社）
ジェフリ・パーカー『長篠合戦の世界史』（同文館）
A.J.P. テイラー『戦争はなぜ起こるか』（新評論）
マイケル・ハワード『ヨーロッパ史と戦争』（学陽書房）

そ の 他

授業は講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本民俗学	<small>たにぐち</small> 谷 口 <small>みつぎ</small> 貢	短国・短英2年	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼——出産と子育て——
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲学史	<small>やまぐち</small> 山 口 <small>まさひろ</small> 祐 弘	短国・短英2年	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参 考 書 等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史哲学	くぼ よういち 久保陽一	短国・短英2年	4

講義のねらい

歴史哲学は、個々の事件を理念や原理から統一的に説明したり評価する歴史形而上学や、歴史認識の可能性や方法論を問う歴史認識論とに大別される。本講義では、これらの考え方を歴史的に検討し、今日の歴史認識の方向を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ヘルダーと和辻の風土論
- 2 ヘーゲルの歴史哲学
- 3 マルクスの史的唯物論
- 4 新カント派の文化科学方法論
- 5 デルタイの精神科学基礎論
- 6 ハイデガー、ガダマーの解釈学

履修上の留意点

ノートをよく取ること。私語はつつしむこと。

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験。

教科書

ヘーゲル『歴史哲学』（上中下三冊）岩波文庫

参考書等

渡辺二郎『現代の思想的状況—歴史の哲学』（放送大学教育振興会）、シュネーデルバッハ『ヘーゲル以後の歴史哲学』（法政大学出版局）、久保陽一『初期ヘーゲル哲学研究』（東大出版会）

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業・職業社会学	やま だ のぶ ゆ き 山田信行	短国・短英2年	4

講義のねらい

“労使関係”をキイ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2部から構成される。第1部（前期）では、産業社会学の主要な分野について日本の事例について紹介しながら概説する。第2部（後期）では、“国際化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは以下の通り。

第1部 現代日本の産業・労働

1. 産業社会の対象・方法・課題
2. 労使関係とはどんな関係なのか
3. 賃金・雇用・労働者
4. 労働者の統制と参加
5. 労働組合と労働運動
6. 技術革新と技能の変化
7. 国家と労使関係
8. 変容する産業・労働の世界

第2部 労使関係の国際比較

1. グローバリゼーションと労使関係
2. インダストリアリズムと多元的資本主義発展
3. アメリカ合衆国と不自由労働
4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
5. 周辺社会とマレーシアの労使関係と資本主義発展
6. 労使関係と社会活動

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

学年末試験による

教科書

山田信行『労使関係の歴史社会学』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもと 勝 <small>まさる</small>	短国・短英2年	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能、影響過程を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションとの関連を考える。
 ・社会的コミュニケーションの諸形態と特質。
 ・情報環境の変容とコミュニケーション内容。
 ・社会生活とコミュニケーション行動。
 後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのような機能やインパクトを与えているかを考える。
 ・マス・コミュニケーション活動と諸問題。
 ・メディア・コミュニケーションの社会的機能。
 ・受容過程の特質と効果研究。

履修上の留意点

他学部・学科履修科目であるが、他学部・他学科の学生は、社会学の科目を履修して社会学の基礎知識を修得しておくこと。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教 科 書

特に用いない。

参 考 書 等

講義中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 千代 <small>ちよ</small>	短国・短英2年	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。
 特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

そ の 他

特に無し。

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国民所得論	よしの吉野 紀	短 仏	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万（平成3年）あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然とも言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」 5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」 4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行われる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」 8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」 4回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果が取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」 5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

他履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経済史	はし の と も こ 橋 野 知 子	短国・短仏	4

講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義での考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。知ることこそが重要なのです。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 近代日本経済史へのアプローチ1－日本経済史に対するさまざまな見方
2. 近代日本経済史へのアプローチ2－幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
3. 近代経済成長の始動－殖産興業と松方財政、在来部門の成長と再編成
4. 国際政治・経済秩序「ボックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
5. 工業化の進展1－近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
6. 工業化の進展2－農業部門と非農業部門との関係
7. 日清・日露戦争と日本経済
8. 第一次世界大戦と日本経済1－世界秩序の変化と日本経済
9. 第一次世界大戦と日本経済2－動力革命、在来産業の近代化、重化学工業化の進展
10. 「慢性的不況」－金融再編成と産業合理化
11. 二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
12. 「ボックス・ブリタニカ」の解体と日本経済－国際金本位制度の終焉
13. 1930年代の経済成長1－政策の転換、銀行制度
14. 1930年代の経済成長2－産業構造、産業組織の変化
15. 戦後経済史への展望－市場経済の変容、戦時統制経済、太平洋戦争

履修上の留意点

重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。配布された資料を通じて、図表を理解する力を養いましょう。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起こっているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ？どうして？」という疑問を大切にして下さい。また、当時の社会や経済を実際に知る人の話を積極的に聞いてみて下さい。教科書では得られない新鮮な驚きや発見があるはずです。

成績評価の方法

期末試験、レポート、出席（小テストを実施）などで総合的に評価します。再試験はありません。

教科書

指定しません。毎回プリントを配布します。

参考書等

講義の中でその都度紹介します。

その他

授業は講義形式ですが、昨年度と同様に映像の利用による説明も取り入れたいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中小企業論	よ し だ け い い ち 吉 田 敬 一	短 仏	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業者は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を支えてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。日本経済に占めるこうした経済的比重を考えると、中小企業の21世紀的再生を抜きにして日本経済の復活・発展がありえないことは明確です。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割と、それとは逆に中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題
- V 21世紀の日本経済の課題と中小企業の新たな展望

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので（例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など）、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）
 （レポート課題指定文献）
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

他履修科目
学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会政策	みつおか はくみ 光 岡 博 美	短 国 ・ 短 仏	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正 人	短国・短英2年 短 仏	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本の経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展
産業構造の理論と歴史
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
情報通信革命（インターネット）

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義ではOHPなどをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教 科 書

なし

参 考 書 等

適時指定する。

他履修
学部
科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちやんよん 章 淵	短 仏	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

[前期]

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

[後期]

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。追・再試験を実施する。

教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国経済論	こすぎ しゅうじ 小 杉 修 二	短 仏	4

講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。
現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。
本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

講義の内容・ 授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的解明をはかる。
前期授業のはじめに、キーワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。
これにつづいて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立（1949年）から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル（1949～57年）、(2)毛沢東モデル（1958～78年）、(3)鄧小平モデル（1978～）として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。
このような方法をとるのは、今現在の目の前の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えられるからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないうであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。
上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。
教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。
また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事（中国経済）を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無教に在る専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である（学説の受入れとは異なる）。テストは基準となる一つの学説（とりあえず、私の説）の正確な理解ができたかどうかを見るものである。
<再試験あり>

教 科 書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』（龍溪書舎）4,000円

そ の 他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ経済論	<small>せとおか</small> 瀬戸岡 <small>ひろし</small> 紘	短 仏	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。

◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇他国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のたてまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』瀬戸岡訳（青木書店）1994年をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	短 仏	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じるということ形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まざれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいため、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。
再試験あり。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業政策	いわした 岩 下 弘	短 仏	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論
 - 2 流通近代化政策論
 - 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告
 - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題－商店法
 - 2 フランス－ロワイエ法
 - 3 ドイツ－土地利用計画
 - 4 アメリカ－ゾーニング規制

他
履
修
学
科
目

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教 科 書

指定しない

参 考 書 等

その都度指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マーケティング	そ が の ぶ た か 曾 我 信 孝	短 国 ・ 短 仏	4

講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いとしている。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. マーケティングの問題点
 - ・消費者の価値観とマーケティング支配
 - ・マーケティングと収奪関係
2. 製品政策
 - ・新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
 - ・差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
 - ・ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
3. 価格政策
 - ・価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
 - ・価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
 - ・新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
 - ・再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょう）
4. チャンネル政策
 - ・流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
 - ・販売チャンネル（販売チャンネルを支配する理由は何でしょう）
 - ・チャンネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
5. 販売促進政策
 - ・販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
 - ・広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
 - ・サービス（現在存在していないようなサービスを思いつきますか）
6. 国際化戦略
 - ・現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
 - ・マーケティングの現地化（なぜ現地でマーケティングを展開する必要があったのか）

他履修 科目 目

履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2～4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけでなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

成績評価の方法

1. 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができていのかどうかを判断する。したがって、参考文献等の抜き書き解答等には厳しい評価となる。
2. 中間期に夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
3. 著しく授業を妨害したものは、評価対象からはずす可能性がある。
4. 再試験は実施する。

教 科 書

指定なし

参 考 書 等

1. 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
2. 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営管理論	ひやくた よしはる 百 田 義 治	短 国	4

講義のねらい

21世紀を迎えて、日本企業は大きく変貌しています。その底流には、IT革命やグローバル化の進展があります。IT革命はいん石が地球に衝突した（恐竜の死滅）のと同様な影響を産業構造・経営組織・労働組織に及ぼし、コア・コンピタンスを武器としたネットワーク型経営を現実化し、ビッグ・ビジネスだけが競争優位を確立できる時代に終止符を打とうとしています。また、ボーダレス化したグローバルな市場統合はメガ・コンペティション（大競争）を現出し、「グローバル・スタンダード（アメリカン・スタンダード）」が「日本的経営」の根本的変革を追っています。頻繁かつ大規模な企業再編（合併や提携）、持株会社の解禁・普及、企業集団や下請関係の再編、猛烈なリストラ、終身雇用・年功制の崩壊、能力主義・成果主義の台頭などなど、日本企業の変貌が日々新聞やテレビで報じられています。本講義では、このような激動のなかにある日本企業の経営管理の問題に焦点をあて、国際比較の視点からその現状と今後の課題についてアプローチします。

講義の内容・ 授業スケジュール

（前期の授業スケジュール）

- ① 授業ガイダンス（経営管理論とはどのような学問か）
- ② 現代企業と経営管理（経営管理とは何か）
- ③ 大量生産体制と経営管理（テイラー・システム、フォード・システム）
- ④ 経営管理と人間性（人間関係論と行動科学、労働の人間化…）
- ⑤ 経営組織の基本形態と発展形態（ラインとスタッフ、事業部制、カンパニー制、分社化…）

（夏休みのレポート）

（後期の授業スケジュール）

- ⑥ IT革命の進展と企業経営の変容（ネットワーク型経営と企業間関係）
- ⑦ グローバリゼーションの進展と企業経営の課題（グローバル化、ローカル化、異文化共生）
- ⑧ 日本的企業システムの変化（所有構造、統治システム、企業と政府）
- ⑨ 日本的生産システムの再編（トヨタ・システム、製販統合システム…）
- ⑩ 日本的労働システムの変化（終身雇用、年功制、能力主義、成果主義、…）

（学年末試験）

履修上の留意点

現代の企業経営をめぐるホットな話題を取り上げ、授業テーマと関連づけて講義します。新聞・雑誌・ニュースなどを通して企業、経営、労働などに関心に向け、現代の企業経営についての問題意識をもって授業に参加してください。また、経営学総論、経営学史、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどと併せて履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席、レポート、試験で総合的に評価します。再試験なし。

教科書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2002年

参考書等

授業や課題レポート（夏休み）に関連して随時紹介します。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労務管理論	ほり 堀 龍 二	短 仏	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用形態の多様化
 2. 賃金・処遇の成果主義化
 3. 職能資格制度とキャリア形成
 4. 成果主義と目標管理と人事考課
 5. 労働時間の弾力化
 6. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財務会計論	おぐりたかし 小栗 崇 資	短国・短英2年 短 仏	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・ 授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要で、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教 科 書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論』（白桃書房）

参 考 書 等

必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	もりた よしひろ 森 田 佳 宏	短 仏	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または成否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、鑑査基準等に関する研究を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに、「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則として試験の結果により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

税務研究会編『企業会計規則集』（税務研究会出版局）
飯岡透、市村一之、島崎規子『会計監査概論』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管理会計論	いしかわ ゆうじ 石 川 祐 二	短 仏	4

講義のねらい

実務においても適応可能な管理会計上の基礎的知識と基礎的論理を身につけてもらうことが、本講義の最大の目標である。とりわけ、経済的状況が厳しい現代において、企業の生き残りのために企業管理を適切に実施する必要性が高まり、その時に管理会計情報を有効に利用することが、一つの重要な鍵になると考えられる。情報を有効に利用するためには、それを生み出す仕組みを理解し、さらに、社会的諸関係の中でその情報が果たす役割・意味を知ることが大切である。そのような理解が進むよう、講義を行いたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：管理会計をとらえる視点を最初に明らかにし、その後、原価概念と利益概念を中心とした基礎概念を示す。さらには、管理会計上の伝統的技法をとり上げる。
後期：近年、議論の中心となっている管理会計上の技法をいくつか取り上げ、その意味を考える。

履修上の留意点

電卓を用いるので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義において適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿易論	ふるさわ こうそう 古 沢 紘 造	短 仏	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. 公正と貿易
 4. グローバリゼーションと貿易
 5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施する。

教 科 書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
銀行論	さいとう 藤 正	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」の展開のなかで日本の金融制度は大きく様変わりした。大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている一方、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、銀行の基礎理論に関連づけながら戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面して諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 前期は銀行の基礎理論を中心に講義する。
 - 1) 銀行経営の不振とは対照的に消費者金融会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
 - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- (3) 後期は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
 - 1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業専門金融機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
 - 2) 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、バブル崩壊以降（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
- (4) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革を目指すビッグバンを様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

履修科目

履修上の留意点

成績は、前期試験（またはレポート）と後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

成績評価の方法

成績は、前期試験（またはレポート）と後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業はレジメに沿って進める。

参考書等

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』（大月書店）2001年
 山田・野田編『現代日本の金融』（新日本出版社）1997年
 日本銀行『新版 わが国の金融制度』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政法各論	さいとう 藤 寿 ひさし	短 仏	4

講義のねらい

「各種行政法原理の究明」
1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用取用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望
この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。
——私が、みなさんを、「水飲み場」へ、ご案内します。
目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。
Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) ——との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送りたい。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較憲法	さいとう 藤 寿	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

人権保障制度、国会制度、内閣制度、司法制度、自治制度、財政制度など、各国の憲法制度について興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。また、西欧主要諸国の憲法にとどまらず、アジア・アフリカ諸国や中南米諸国の憲法にもふれ、その特色を楽しく研究します。これらの講義は、1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 イギリス憲法は、どのように歩んできたか。
 第2回 アメリカ憲法は、どのように歩んできたか。
 第3回 フランス憲法は、どのように歩んできたか。
 第4回 ドイツ憲法は、どのように歩んできたか。
 第5回 東ヨーロッパ憲法は、どのように歩んできたか。
 第6回 中国憲法は、どのように歩んできたか。
 第7回 発展途上国憲法（アジア・アフリカ・中南米諸国憲法）はどのように歩んできたか。
 第8回 世界各国の憲法は、どのような類型化が可能か。また、その特質は何か。
 第9回 君主国憲法（イギリス・ベルギー・デンマーク憲法）の憲法上の特質は何か。
 第10回 共和国憲法（アメリカ・フランス・ドイツ・イタリア・スイス憲法）の憲法上の特質は何か。
 第11回 ロシア・中国憲法の憲法上の特質は何か。
 第12回 発展途上国憲法の憲法上の特質は何か。
 第13回 これまで（第1回～第12回）のreview。
 第14回 世界各国憲法の人権保障制度は、どのようにになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
 第15回 世界各国憲法の平等権保障について。
 第16回 世界各国憲法の自由権保障について。
 第17回 世界各国憲法的人身保護権保障について。
 第18回 世界各国憲法の救済権保障について。
 第19回 世界各国憲法の参政権保障について。
 第20回 世界各国憲法の社会権保障について。
 第21回 世界各国憲法の統治制度は、どのようにになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
 第22回 世界各国憲法の国会制度について。
 第23回 世界各国憲法の議院内閣制度について。
 第24回 世界各国憲法の大統領制度について。
 第25回 世界各国憲法の司法制度について。
 第26回 世界各国憲法の自治制度について。
 第27回 現代世界諸国の憲法上、人権保障制度と統治制度は、どのように運用されているか。また、今後は、どのように運用されるべきか。
 第28回 これまで（第14回～第27回）のreview。
 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「比較憲法」を楽しく研究してみませんか。——私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) ——との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて、学年の成績とします。

教科書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親族法	たけなか ちか 竹 中 智 香	短国・短英・短放	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（8）親族〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相続法	たけなか ちか 竹 中 智 香	短国・短仏	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・
授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（9）相続〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円
六法

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋法制史	きたの 北野かほる	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造1 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造2 イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各目のノートである。今年度から講義内容を少し偏向するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英米法	北野 かのる <small>きたの</small>	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1編 概論
 - 第1章 法系論
 - 第1節 西洋近代法の法系
 - 第2節 英米法系の特色
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - 第2節 法観念の社会性
 - 第3節 法思考の実務性
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 総論：「判例法主義」
 - 第2節 先例拘束性の原理
 - 第3節 判決における「法」
 - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
 - 第1章 裁判所制度
 - 第1節 イギリス
 - 第2節 アメリカ合衆国
 - 第2章 訴訟過程
 - 第1節 英米訴訟制度の特徴
 - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

今年度から講義進行計画に一部変更が生じるため、上記シラバス内で力点の置き方が変わる。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がるので、各自注意して出席し、ノートをとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済法	おかだとしひろ 岡 田 外 司 博	短 仏	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえつつできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論（１）	な かの ゆ う じ 中 野 裕 二	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

この講義は西ヨーロッパ諸国の政治に焦点を当てる。西ヨーロッパの国々を全て網羅することは不可能であるので、平成14(2002)年度はイギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、そしてEUを扱うこととする。各国の政治機構をごく簡単に理解した上で、各国政治の特徴と考えられる事象を取り上げ、考察を加え、各国の政治に対する理解を深める。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は以下の予定で進む。ただし、現実政治や学生の理解度によって内容や進度は変更があり得る。

1. イントロダクション
講義の進め方と成績評価などについての説明
2. イギリス
政治機構
政党政治——サッチャー保守党政権とブレア労働党政権
地方問題——北アイルランド問題
3. フランス
政治機構
移民問題——社会構造と政治の関係
極右政党の台頭——グローバル時代の問題
4. ドイツ
政治機構
連邦制国家の構造——EUのモデル？
選挙制度——人物本位の比例代表制
5. イタリア
政治機構
選挙制度と政党政治
6. スペイン
政治機構
フランコ時代から民主国家へ
地域主義
7. EU
政治機構
統合のプロセス——政府間主義か超国家主義か？
「民主主義の赤字」とサブシディアリティ原則

履修上の留意点

西ヨーロッパの政治に興味のある学生はもちろんのこと、日本の政治に興味のある学生の受講を希望する。講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、常に日本との比較を念頭に置いて講義を聴いて欲しい。

授業中の私語などには厳しく対処する。

成績評価の方法

学年末試験を70点、4回程度実施予定の小テストなどを30点に換算し100点満点で評価する。ただし、授業中の質問や発言などの積極的な参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いないが、下の参考書は重要。詳細は、KOMANETのシラバス詳細画面を参照。その他の参考文献は講義内で適宜紹介する。

参考書等

田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度論』（法律文化社）1999年
川勝平太・三好陽編『イギリスの政治』（早稲田大学出版部）1999年
奥島孝康・中村紘一編『フランスの政治』（早稲田大学出版部）1993年
大西建夫編『ドイツの政治』（早稲田大学出版部）1992年
馬場康雄・岡沢憲美編『イタリアの政治』（早稲田大学出版部）1999年
川成洋・奥島孝康編『スペインの政治』（早稲田大学出版部）1998年
大西建夫・中曾根佐織編『EU 制度と機能』（早稲田大学出版部）1995年
宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』（人文書院）1998年
中野裕二『フランス国家とマイノリティ』（国際書院）1996年
畑山敏夫『フランス極右の新展開』（国際書院）1997年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際政治学	こぼりのりお 小堀訓男	短国・短英	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教 科 書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

他履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地方自治法	とみいゆきお 富井幸雄	短 国	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。

教 科 書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参 考 書 等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
議会関係法	まえだ ひであき 前 田 英 昭	短国・短英	4

講義のねらい

今年度は選挙法を中心に取り上げる。

選挙は、民主政治の基盤をなすものであり、民主政治の健全な発達を期するためには選挙が公明かつ適正に行われなければならない。選挙を公明かつ適正に行うためには、その根幹をなす公職選挙法や政治資金規正法や政党助成法などの規定を国民すべてが十分理解することが最も重要なことである。

衆議院選挙制度に関しては、賛否の議論の末、小選挙区比例代表並立制が導入され、1996年秋、改正法に基づく初めての総選挙が実施されたところであり、今年も総選挙が予想される。このような情勢を踏まえて、制度改正に民間政治臨調の委員として参画した経験をまじえながら、全学開講科目として、多くの学生にわかりやすく選挙法の趣旨を講義することとし、今年度から新たに「議会関係法」をスタートさせる。

講義の内容・
授業スケジュール

1 選挙制度改正の理由、2 選挙権と非選挙権、3 小選挙区比例代表並立制の内容、4 政党・政策本位の選挙、5 供託金、6 重複立候補、7 選挙運動期間、8 戸別訪問、9 連呼行為などの選挙運動、10新聞・放送による選挙運動、11選挙運動費用、12選挙運動・政治活動・選挙広告、13選挙違反と連座制、14選挙犯罪、15公務員の地位利用、16政治資金、17団体・個人の寄付制限、18政党交付金とその使途など。

履修上の留意点

できるだけ出席受講すること。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点の総合評価。

教 科 書

前田英昭著『選挙法・資料』高文堂出版社
 前田英昭監修『明解選挙法・政治資金法の手引』（新日本法規出版）
 前田英昭『政治腐敗防止法を考える』（信山社）
 その他各種の選挙法に関する解説書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較政治学	み た け な お や 三 竹 直 哉	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることを手がかりに、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、指定してある教科書を使い、方法論の基礎の基礎を勉強します。それから、優れたドキュメンタリーなど、かなりの数のビデオ教材を見て外国の様子を知り、随所で比較政治学分野で現在行われている最新の研究を紹介していきたいと思っています。2002年度は、移民政策の比較研究に特に力を入れたいと思っています。

前期中もしくは、後期中に、もう一冊か二冊、教科書として指定した本を買っていただく可能性があります。

この授業についての最新の情報は、下記のホームページで見られますので、ご利用ください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3~4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたいと思いますので、そのつもりで参加してください。

なお、本を教科書として指定した場合には、授業は指定した箇所を読んできて、内容について討論する形式になります。読んできていない人は授業に参加できなくなりますので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2002年3月まで掲載されているものは、あくまでも2001年度用です。2002年度用の情報は、2002年4月に入ってから確認してください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教 科 書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円
他に一冊、もしくは二冊、指定する可能性があります。

参 考 書 等

適宜指示します。

そ の 他

授業では、みなさんがせつかく6年間（以上）も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代国家論	おおつか 大塚 かつら 桂	短国・短英	4

講義のねらい

福祉国家の見直しが叫ばれて久しい状況にあります。大国・日本丸はどこへすすもうとしているのでしょうか。ありうべき国家とは何か、が現代政治学において重要課題とされています。本講義は、諸君がいままで履修してきた政治学、憲法学などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあたって、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論(史)的に整理することからはじめるのが、ベターでしょう。政治学の発達を顧みたとき、政治学=国家論であったことがわかります。講義では、隣接科目(憲法・行政法・政治制度・政治思想史・政治史・行政学)の研究成果を積極的にとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。国家論は総合科学としての性格を有するからです。

講義の内容・ 授業スケジュール

A 国家論の課題ならびに研究方法

①序論 ②官立アカデミズムの形成

B 国家学説の史的展開

①古代国家学説 ②中世国家学説 ③近代国家学説 ④現代国家学説

C 法治国家の構成原理

①法治国家論 ②政治制度 ③官僚制 ④国家緊急権

D 行政国家の構成原理

①福祉国家論 ②ネオ・コーポラティズム ③シティズンシップ ④きたるべき国家像

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。

A 方式 (レポートによる単位認定)

～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。

B 方式 (試験による単位認定)

～ペーパーテスト(中間・期末)による評価です。

C 方式 (AとBの折衷)

※ なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教 科 書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』(成文堂) 3,000円

参 考 書 等

上記教科書にかかげてある〈関連文献〉を参照のこと

そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階(2835)にあります。電話は、3418-9377(直)です。質問など気軽に訪問してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業史	や ま だ ま さ る 山 田 勝	短 国 ・ 短 仏	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継 続 性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流 通 量 |
| (3) 利 潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商 品 | (9) 価格革命 |
| (5) 市 場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。

教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

そ の 他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営情報論	た か い て つ お 高 井 徹 雄	短 国 ・ 短 仏	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学のシステムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報理論	にしむら かずお 西 村 和 夫	短国・短仏	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえば DNA の情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をして、現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月 3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月 3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月 4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月 3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月 2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月 2回 符号化（JISコード、国際符号化文字集合）、対数・情報量の中間試験
- 10月 2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月 2回 遷移確率と同時確率
- 11月 1回 エントロピーの定義
- 12月 2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月 1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月 1回 検査術（CD）、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表 5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕 → 経営情報論
この科目は、再試験を実施しません。
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/Nis/lecture/info.html>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営労務論	か し ま ひ で あ き 鹿 嶋 秀 晃	短 仏	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったように問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明をする。出席は取らないので、出席点はなし。私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのではないこと。携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、減点の対象とする。

成績評価の方法

評価は学期末試験のみによる。出席点、レポート、中間テストはなし。詳細はホームページでも公開。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993年、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995年、経営労務をより体系的に深く学習するのにより白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992年、など。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。参考文献はホームページで紹介。

そ の 他

授業は講義の形式でおこなうが、図表やグラフ、ビデオを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保険経営論	<small>いしなざか くにあき</small> 石名坂 邦 昭	短 仏	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的發展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営統計	ちやう 長 こきよう 国 強	短 仏	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。
 経営統計について：経営統計の役割、基礎概念
 統計特性値：平均、分散、正規分布
 市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理
 経営時系列：季節指数、時系列予測
 経営指数：物価指数、数量指数
 統計推測：標本分布、区間推定、仮説検定
 統計的意志決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間6回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

そ の 他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
 この科目は、再試験を実施しません。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営分析論	かたぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	短 仏	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配付するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

開講時、指示します。

参 考 書 等

随時、紹介します。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税務会計論	た か き か つ み 高 木 克 巳	短 仏	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。
この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財務会計論	わたなべ えいいちろう 渡 邊 恵 一 郎	短 仏	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心に課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造及び会計公準と会計原則（財務会計の前提、質的特徴及び一般原則など）
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開など）
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と表示、外貨換算、財務分析、国際会計基準の動向など）

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教 科 書

染谷恭次郎著『現代財務会計』（中央経済社）

参 考 書 等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

そ の 他

（1）授業の方法は、講義による。（2）簿記学・会計学の単位を修得していること。この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際経営論	も が き ひ ろ し 茂 垣 広 志	短 仏	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて授業を進める。また、必要に応じて資料を配布する。
この科目は、再試験を実施しません。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上代文学史	さ は ら さ く み 佐 原 作 美	短 英	4

(P. 162) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中古文学史	す ず き ひ ろ こ 鈴 木 裕 子	短 英	4

(P. 163) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中世文学史	さ か ぐ ち ひ ろ き 坂 口 博 規	短 英	4

(P. 163) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学史	せいだけいこ 清田啓子	短 英	4

(P. 163) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学史	させおうじ 笹瀬王子	短 英	4

(P. 164) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学史	こばやし おさむ 小林 治	短 英	4

(P. 164) 参照

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
異文化コミュニケーション	おくはら じゅんこ 奥原 淳子	短 英	4

(P. 173) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	おかもと まこと 岡本 誠	短 国	4

(P. 243) 参照

Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目

IV. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日	本	語	I	〈佐野典子〉	377
日	本	語	I	〈多田羅哲子〉	377
日	本	語	II	〈佐野典子〉	377
日	本	語	II	〈多田羅哲子〉	378
日	本	語	III	〈多田羅哲子〉	378
日	本	語	III	〈湯村礼子〉	379
日	本	語	IV	〈石川守〉	379
日	本	語	IV	〈湯村礼子〉	379
日	本	語	V	〈石川守〉	380
日	本	語	V	〈多田羅哲子〉	380
日	本	語	VI	〈石川守〉	381
日	本	語	VI	〈多田羅哲子〉	381

《日本事情科目》

日	本	事情	I	〔地理〕	〈須山 聡〉	381
日	本	事情	II	〔自然〕	〈清水 善和〉	382
日	本	事情	III	〔歴史〕	〈宮本 由紀子〉	383
日	本	事情	IV	〔思想〕	〈赤羽 由規子〉	383
日	本	事情	V	〔社会〕	〈山田 信行〉	384
日	本	事情	VI	〔政治・法律〕	〈前田 英昭〉	384
日	本	事情	VII	〔文学〕	〈岡田 豊〉	385
日	本	事情	VIII	〔文化・芸術〕	〈赤羽 由規子〉	385
日	本	事情	IX	〔経済〕	〈瀬戸岡 紘〉	386
日	本	事情	X	〔経営〕	〈鈴木 幸毅〉	386

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅰ	さののりこ 佐野典子	短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の聴解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の映画・TVドラマなどの内容を把握する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率などにより、総合的に評価する。

教科書

特に教科書は使わない。聴解シートは、その都度、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅰ	たたらあきこ 多田羅哲子	短大 (短放随意)	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- ・語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- ・助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

「日本語
日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ	さののりこ 佐野典子	短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の読解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

小説、ノンフィクション、エッセイなどを輪読する。

成績評価の方法

試験、発表、提出物、出席率などにより総合的に評価する。

教科書

授業で使用する教材は、担当者が、そのコピーを用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語II	た た ら あ き こ 多田羅 哲子	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- ・事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
 - ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
 - ・あわせて書く練習もする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- ・読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- ・スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ・ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- ・話したことを文章にまとめる。
- ・テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語III	た た ら あ き こ 多田羅 哲子	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- ・話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
 - ・一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- ・その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発音や提出物を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅲ	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行なったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テストetc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度etc）を総合的に評価する。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅳ	石川 守 <small>いしかわ まもる</small>	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の中上級の文型、表現、会話の表現を学ぶことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 形式名詞を中心とした表現。
2. 最近よく使われる会話文型を分析する。
3. 会話特有の表現について学ぶ。

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみと期末試験等で総合的に評価する。特に出席は重視。

教 科 書

授業中に配布する。

参 考 書 等

特になし。

「日本語
事情」

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅳ	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物etc）

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅴ	いしかわ 石 川 まもる 守	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅴ	たたらあきこ 多田羅 哲 子	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

- ・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
- ・現在マスコミ等によく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。

テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

プリントを配布、ビデオも使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅵ	いしかわ まもる 石川 守	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい	「いろはがるた」にあらわれる古くから庶民に親しまれてきた日本のことわざを通し、日本人の考え、日本語の表現、文法などを学んでいく。
講義の内容・授業スケジュール	「いろはがるた」を読みながら、その内容について討論し、また、自国のことわざについて考えていく。
履修上の留意点	できるだけ、発言すること。
成績評価の方法	平常点と試験
教科書	コピーを配布する。
参考書等	随時、教室で指示する。
その他	特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅵ	たたら あきこ 多田羅 哲子	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい	読解能力を向上させる。 文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。
履修上の留意点	授業に積極的に参加すること。
成績評価の方法	平常点と筆記試験
教科書	プリントを配布。

「日本語
日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅰ 〔地理〕(前期)	すやま さとし 須山 聡	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。
講義の内容・授業スケジュール	授業はゼミ形式で進める。受講者で日本の特定地域(都道府県あるいは都市)を分担し、それぞれに地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。
成績評価の方法	出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情II 〔自然〕(前期)	しみず よしかず 清水 善和	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 章 位置
 - 1. 国土の範囲
 - 2. 行政区分
 - 3. 位置の特徴
- II 章 気候
 - 1. 世界の気候帯
 - 2. 海流
 - 3. 気候の特徴
 - 4. 気団と季節
 - 5. 台風
 - 6. 天気予報
 - 7. 生物季節
 - 8. 俳句と季節
- III 章 地質・地形
 - 1. 弧状列島
 - 2. 変動の歴史
 - 3. 多様な地形
 - 4. 火山
 - 5. 地震
- IV 章 生物
 - 1. 世界の植生帯
 - 2. 日本の植生帯
 - 3. 生物地理区
 - 4. 日本の海産生物
 - 5. 帰化種の侵入
 - 6. 自然保護の制度

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教 科 書

特定の教科書はなし。

参 考 書 等

参考書は適宜紹介する。

そ の 他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとして。

講義の内容・
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートまたは筆記試験で成績の評価とする。

教 科 書

なし

参 考 書 等

その都度知らせる。

そ の 他

講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	あかば ゆきこ 赤 羽 由 規 子	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

そ の 他

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅴ 〔社会〕(前期)	や ま だ の ぶ ゆ き 山 田 信 行	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

歴史的背景を考慮しながら、現代日本社会の基本的な趨勢と問題について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 戦後日本の社会変動
－高度成長から低成長へ－
2. 現代日本の基本的趨勢
－情報化・グローバル化・高齢化(少子化)－
3. 現代日本の社会問題

- ・景気後退と失業
- ・教育問題
- ・その他の病理現象

それぞれについて、新聞その他の記事を資料として用いる予定。

成績評価の方法

学期末レポートによる(予定)。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

資料を配布。

そ の 他

講義形式の予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅵ 〔政治・法律〕(後期)	ま え だ ひ で あ き 前 田 英 昭	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本の政治状況を外国との比較において解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の政治状況をとらえた新聞記事などを読み、学生の間で意見交換する方法で勉強し、主として次のテーマの理解につとめる。

日本の国会、選挙、官僚、政策、政治史、政治文化など。

成績評価の方法

出席回数と平常点による。

教 科 書

『国会と政治改革』(小学館文庫)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅶ 〔文学〕（後期）	お か だ 岡 田 豊	短 大 （短放随意）	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の現代作家の作品を取り上げて、現代の日本の文化事情や時代性と表現とを関わせて考察する。扱う作家は、村上春樹・村上龍・吉本ばなな・辻仁成を予定している。各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進める。ビデオを上映して、作品との比較を試み、討議するときもある。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度

教 科 書

その都度指示する。

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕（後期）	あ か ぼ ゆ き こ 赤 羽 由 規 子	短 大 （短放随意）	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回日にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

「日本語」
「日本事情」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅸ 〔経済〕(前期)	せとおか 瀬戸岡	ひろし 大 紘 (短放随意)	2

講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話することがねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

◇日本の工業、◇日本の農業および水産業、◇日本のサービス業および金融、◇明治維新以前の日本経済の歴史、◇明治維新以降の日本経済の歴史、◇第2次世界大戦以降の日本経済の展開、◇日本経済とアメリカ経済、◇日本経済とアジア経済、◇日本経済と政府の役割、◇日本の労働者・サラリーマンの生活、◇日本経済と社会や文化の変化

成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト30%、宿題30%が目安です。再試験は実施いたしません。

教 科 書

特定の教科書は使いません。授業のなかで随時適切な本を紹介し、日ごろあなたが目にすることそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	すずき 鈴木 幸毅	ひろし 大 毅 (短放随意)	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

教 科 書

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

V 教職課程・資格講座

※平成12年度以降入学生は大学（学部）に開講されている下記の科目を履修することができます。ただし、できるかぎり短大の開講科目を履修することが望ましいです。やむを得ず履修しなければならない場合は教職窓口（教務部②番）に相談して下さい。

科目名

「教職入門」「教育とメディア」「道徳教育の研究」「特別活動」「生徒指導論（進路指導を含む）」
「教育臨床」「総合演習」「学校経営と学校図書館」「読書と豊かな人間性」
「学校図書館メディアの活用」「情報メディアの活用」「学習指導と学校図書館」

V. 教職課程・資格講座科目

[注意] 頁 () は、他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は、主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示しています。

I 教職課程

(1) 教職に関する専門科目 (必修)

教 職 入 門	〈大浜幾久子・伊藤茂樹・遠藤司・北村三子 坂本信昭・豊田千代子・荻原健次郎〉	391
教育の思想	〈北村三子〉	391
教育と社会	〈北村三子〉	392
発達と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	392
カリキュラムと学習	〈大浜幾久子〉	393
教育とメディア	〈石橋達也〉	393
国語科教育法	〈小林治〉	394
英語科教育法	〈山縣裕〉	394
特別活導	〈山田忠行〉	395
生徒指導論 (進路指導を含む)	〈遠藤司〉	395
道徳教育の研究	〈山田忠行〉	396
教育臨床	〈遠藤司〉	396
総合演習 [現代生活を見直す]	〈北村三子〉	397
教育実習 I・II	〈坂本信昭〉	397
教育実習 I・II	〈荻原建次郎〉	398

(2) 教科又は教職に関する科目 (12年度以降入学生)

教育関係法規	〈広沢明〉	398
学校経営と学校図書館	〈山田節子〉	(398)
読書と豊かな人間性	〈山田節子〉	(399)
学校図書館メディアの構成	〈源昌久〉	(399)
情報メディアの活用	〈源昌久〉	(399)
学習指導と学校図書館	〈山田節子〉	(399)

II 学校図書館司書教諭講座

学校経営と学校図書館	〈山田節子〉	400
読書と豊かな人間性	〈山田節子〉	400
学校図書館メディアの構成	〈源昌久〉	401
情報メディアの活用	〈源昌久〉	401
学習指導と学校図書館	〈山田節子〉	402

I 教職課程

(1) 教職に関する科目 (必修)

科目名	担当者名	配当学科	単位
教職入門 (後期)	大浜 幾久子・伊藤 茂樹 遠藤 司・北村 三子 坂本 信昭・豊田千代子 萩原 建次郎	1以降入学生/教職1必 (短国・短英)	2

講義のねらい

高度消費社会の出現や、情報化社会の進展の中で、今日の日本の教育界は多くの困難な問題を抱えています。将来教師になろうとする人には、そうした問題に自ら取り組んでいく覚悟とそれを越えてゆける力量が必要となるでしょう。その力量の中には、知識ばかりでなく、関心の広さ、感受性、想像力、柔軟な発想、そして体力など、きわめて多様なものが含まれます。この講義では、教職課程の専任教員7名に加え、外部からも講師をお迎えして、さまざまな角度から教育を語っていきますが、教師になるための勉強の第一歩として、教師という職業には関心を持つべき多くのことがあるということ、まずは実感してください。

講義の内容・授業スケジュール

今日の教育に関する諸問題をオムニバス形式で講じていきます(毎回テーマと講師が代わっていきます)。また、詳しいスケジュールは、初回の講義時に発表します。

成績評価の方法

出席を重視した評価の予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	北村 三子	短国・短英1必	2

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴……18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものをいくつか取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考……今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探る

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験(あるいはそれに代わるレポート)

参考書等

教場で指示。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	きたむら みつこ 北 村 三 子	短国・短英1必	2

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①近代学校システムの特質……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて……不登校その他の具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（またはそれに代わるレポート）

参 考 書 等

教場で指示

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	短国・短英1必	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教 科 書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	以降入学生/短国短英必	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』 文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育とメディア (前期)	いしばし たつや 石 橋 達 也	教職1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

本授業では、情報化社会が著しく進展していく今日の状況での教育の在り方について学んでいきます。はじめに、教育/学習あるいは授業の捉え方や教育におけるメディアの利用の仕方について、教育心理学や教育方法学の観点から眺めます。それに続いて、インターネットなどを含めたコンピュータ活用教育について焦点を当て、その実践のために必要な操作や教師としての姿勢などについて学ぶとともに、コンピュータ利用上の注意点や問題点についても検討していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

授業のスケジュールとしては、およそ以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。1. 教育の情報化と教育方法、2. 授業と学習過程の理解、3. 学習者特性の理解、4. 授業モデルと授業設計、5. 教育メディアとメディアリテラシー、6. 教育へのコンピュータの導入、7. コンピュータと情報活用能力、8. インターネットの活用と協同学習、9. インターネット社会への参加態度など。

履修上の留意点

履修する学生には、この授業が教職を目指す上で必要な科目であることを自覚して、毎回はじめに出席することと授業に積極的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は、期末試験の得点を中心にして、授業への出席状況や参加態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書

使用する教科書については、初回の授業の中で伝える予定です。

参考書等

授業の中で必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していく予定です。

その他

授業の中で、毎回コンピュータを使用する実習時間があります。初歩的なレベルから始めていきますので、初心者でも積極的な学ぶ意欲があれば、安心して学習していけるはずです。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語科教育法	こばやし 小林 治	教 職 1 必 (短 国)	4

講義のねらい

本講座の受講生は、その大半が一年後には教育実習生として、教室で生徒を前に授業という形で国語の教科指導を行なうことになる。あるいは、将来、教師として教壇に立つこともあるだろう。そのような時に、国語という科目をどのように教えることができるか、その方法と実際に学ぶための講座である。

国語という科目は大きく分けて、理解と表現という二領域があると考えられる。理解とは、論説文、文学作品などの読解、鑑賞であり、表現とは、文章表現（書く）、口頭表現（話す・聞く）に関わることである。そして、この二領域を横断する要素として、考えること（思考）がある。これらの領域、要素にまたがって、様々な教材を使って生徒の総合的な国語力修得をはかることが、教科指導の目的である。しかし、教育現場において生徒一人一人は、その能力、適性、学習の進度に大きな差があり、一律には指導できない。その多様さに応じた学習指導上の工夫も必須であると言えよう。よって、本講座では従来の一斉授業の枠の中でその長所を把握し、そこにおける効率的学習のあり方を考えることを経て、個人差に応じた学習指導の工夫を試みる授業形態を考えていくことになろう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 2002年実施の新学習指導要領について。
2. 国語科教育の基本的な知識と方法。
3. 中学校教科書を用いた授業展開例の紹介と、その問題点の把握。
4. 実際に教育現場で行なわれている新しい指導法の紹介。
5. 指導案の作成。
6. 中学校教科書を用いての受講者一人一人の模擬授業。

履修上の留意点

受講生が教育現場で教壇に立った時に遭遇する様々な困難を想定し、それに対処できるような実践力の養成を行ないたいので、漠然とした教師への憧れや、安易な資格取得目的による受講がないよう希望する。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容（教科指導案を含む）、模擬授業の内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教科書

『実践的国語科教育法』（新典社）2,000円
中学校教科書『現代の国語1』（三省堂）690円（五月以降に購入可能）

参考書等

その都度指示する。なお、適宜、プリントを配布する。

その他

ビデオ等を使って各校の授業展開例を紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語科教育法	やまがた 山 縣 裕	教 職 1 必 (短 英)	4

講義のねらい

中学校での英語科教育を中心に、日本の英語科教育がもつ諸問題にふれていく。ビデオによる実際の教育現場体験もしていく。

履修上の留意点

6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。

成績評価の方法

出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。

教科書

2冊の教科書を使用する。

- ①『新学習指導要領にもとづく英語科教育法』望月昭彦編著（大修館書店）2,300円
- ②『中学校学習指導要領（平成10年12月）解説—外国語編—』文部省（東京書籍）60円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
特別活動 (後期)	や ま だ た だ ゆ き 山 田 忠 行	教 職 1・2 必 (短国・短英)	2

講義のねらい

「特別活動」は、望ましい集団活動を通して、好ましい人間関係を形成し、社会の一員としての自覚と責任ある態度を身につけるとともに、人間としての生き方を探求し自己を生かす能力などを養うものである。この「特別活動」の教育的意義や目標及び内容、方法等について、理論と実践の両面から研究を行う。特に、実践的な面では、特別活動の活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての具体的な研究を行い、実践的な指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

①特別活動の教育的な意義 ②特別活動の目標 ③特別活動の歴史の変遷 ④学級活動の特質と活動内容 ⑤学級活動の指導案 ⑥生徒会活動の特質と活動内容 ⑦学校行事の特質と活動内容 ⑧特別活動と生徒指導 ⑨ガイダンスの機能の充実 ⑩特別活動とボランティア活動 ⑪特別活動と総合的な学習の時間 ⑫特別活動における評価

履修上の留意点

人間形成に果たす特別活動の役割について研究を深めるとともに、特別活動の具体的な実践にかかわる指導計画の作成や指導内容、指導方法等についての研究を深め、実践的な指導力を身につけてほしい。

成績評価の方法

試験、出席状況、学習指導案の作成やレポート等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部科学省『中学校学習指導要領解説－特別活動編－』（ぎょうせい）70円

参考書等

森嶋昭伸・鹿嶋研之助編著『中学校新教育課程の解説－特別活動－』（第一法規）1,300円

その他

講義、指導案の立案、毎時間講義内容に則した、小レポートを提出する等。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前期)	え ん ど う つ か さ 遠 藤 司	教 職 1・2 必 (短国・短英)	2

講義のねらい

教師が生徒の生活面を指導することは、現在の学校において様々な形で行われている。将来、教職に就こうとしている人間として、生徒（他者）の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生徒指導観、あるいは進路指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生徒指導、進路指導の理論、歴史とその目的の変遷
2. 「問題行動とは何か」という問いに関わる諸問題
3. 不登校、いじめ等の実際の事例を通しての実践的考察
4. 教師－生徒関係の中での生徒指導、進路指導
5. 個の尊重と組織・集団活動との相克の中での生徒指導、進路指導

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

授業への参加の仕方を総合的に判断して評価を行う。詳細は授業中に説明する。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

教職課程
資格講座

科目名	担当者名	配当学科	単 位
道徳教育の研究 (前期)	やま だ た だ ゆ き 山 田 忠 行	教 職 2 必 (短国・短英)	2

講義のねらい

「道徳教育」の充実が、我が国の大きな課題であり、学校教育全体において充実した取り組みが必要である。そのために、小・中学校においては教育課程に「道徳」が位置付けられ、高校においては、人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行わなければならない。この「道徳教育」の教育的意義や目標及び内容、方法等について理論と実践の両面から研究を行う。道徳教育を進めるに当たっては、豊かな体験を通して生徒の内面に根ざした道徳性の育成が求められる。教師としての実践的な指導力を身につけるために、道徳教育の内容や活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての具体的な研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

①道徳教育の歩み ②今求められる心の教育 ③道徳教育の基本的な在り方 ④道徳教育の目標と道徳の時間の目標 ⑤道徳の指導内容 ⑥道徳の指導計画 ⑦道徳の時間の学習指導案 ⑧道徳の時間の資料の開発と活用 ⑨全教育活動における道徳教育 ⑩内面に根差した道徳性の育成 ⑪家庭や地域社会との連携 ⑫生徒理解に基づく道徳教育の評価

履修上の留意点

文献に基づく道徳や道徳教育に関する理論的な研究とともに、道徳教育の具体的な指導計画の作成や指導内容、指導方法等について理解を深め、指導力を身につけてほしい。

成績評価の方法

試験、出席状況、学習指導案の作成やレポート等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部科学省『中学校学習指導要領解説―道徳編―』（財務省印刷局）260円

参考書等

七條正典・押谷慶昭編著『中学校新教育課程の解説―道徳―』（第一法規）1,300円

その他

講義、指導案の立案、毎時間講義内容に則した小レポートを提出する等

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育臨床 (後期)	えん どう つかき 遠 藤 司	11以降入学生/教職・必 (短国・短英)	2

講義のねらい

心の教育が重視されている現在の教育現場において、生徒が自らの生き方を考え、自己を確立するために、一方的な指導ではなく、相互の対話を基に生徒との関係を作ろうとする教師の姿勢が求められている。特に、カウンセリングに代表されるような、臨床心理学的視点をもつ教師の育成が求められている。この授業においては、臨床心理学的視点に学びながら、生徒が陥りやすい心の危機に対する対処法や援助法について、実践的に学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 人が人と関係をもつことの意味
2. カウンセリングマインドとは
3. 教師としてカウンセリングマインドをもつことの意味
4. 教師―生徒関係の見直しと再生の過程
5. 人間の生涯における思春期・青年期の諸問題

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

授業への参加の仕方を総合的に判断して評価を行う。詳細は授業中に説明する。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等は授業中適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習〔現代生活を見直す〕 (後期)	きたむら みつこ 北 村 三 子	11以降入学生/教職 ¹ 必 (短国・短英)	2

講義のねらい

環境汚染は日々深刻さを増してきており、私たちの子供や孫の世代が健康に暮らしていけるかどうかさえ怪しくなっている。人類の未だ経験したことのないこの危機に、私たちはどう対処していったらよいのだろうか。この授業では、現代人の生活を見直すことを通じて、私たちに何ができるかを考えていきたい。また、「総合的学習」の指導にもこの演習が役立つようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

「総合的学習」についての解説したあと、食品など健康に関する問題を中心に検討したい。文献を読み議論することが中心となるが、必要に応じて自分達で調査することも試みたい。

成績評価の方法

レポート (または平常点)

参 考 書 等

教場で指示

そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育実習Ⅰ	さかもと のぶあき 坂 本 信 昭	11以前入学生/教職 ¹ 必短国	3
教育実習Ⅱ		11以降入学生/教職 ¹ 必短国	5

講義のねらい

教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくするというよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導 (教育) も大事にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容 (領域) 等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後には、各自の教育実習報告、レポート作成 (提出)、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か どうあるべきか について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

①実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、②教育実習報告 (口頭報告) 及び報告レポート、③ビデオ視聴のコメント (感想)、④年度末試験 (または、課題レポート) によって、総合的に評価します。なお、①～④について重視する場合は、全て同グレードに考えている。

教 科 書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』(宣協社) 1,500円

参 考 書 等

寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』(学文社) 1,000円
西村絢子他編『現代教育を考える』(昭和堂) 2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習Ⅰ	はぎわら けんじろう 萩原 健次郎	『以前入学生/教職必 短英』	3
教育実習Ⅱ		『以降入学生/教職必 短英』	5

講義のねらい

教育実習をはさんで、教育実践体験を受講者同士で深め合い、教育現実を深くつかんでいくまなざしや、教師としての身体技法を養っていききたい。

講義の内容・授業スケジュール

実習前には実習に関するビデオを見たり、模擬授業をおこないながら、指導案作成の方法を学び、実習することの意義や心がまえなどを考えたい。実習後は各自体験レポートを持ち寄り、実習のふりかえりと分かち合いをおこなう。そこから共通して考えるべきテーマ、話題があれば適宜とりあげて受講者同士と共に考えていきたいと思っている。

履修上の留意点

教育実習を中心とした体験学習、参加型の学習なので、受講者の主体的な参加が求められる。

成績評価の方法

実習校からの評価、レポート、出席状況、参加度を総合して評価する。

教科書

教科書・参考書はそのつど指示する。

参考書等

教科書・参考書はそのつど指示する。

教科又は教職に関する科目（選択）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育関係法規	ひろさわ あきら 広 沢 明	教職 1・2 選 (短国・短英)	4

講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 学校の種類
2. 教育の機会均等（民族・性・障害）
3. 義務教育
4. 教育の中立性（政治・宗教）
5. 教育行政
6. 懲戒

履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きな姿勢を求めらる。

成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

教科書

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 (前期)	やまだ せつこ 山 田 節 子	教職 1・2 選 (短国・短英)	2

(P. 400) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P. 400) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと しょうきゅう 源 昌 久	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P. 401) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと しょうきゅう 源 昌 久	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P. 401) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P. 402) 参照

教職課程
資格講座

Ⅱ 学校図書館司書教諭講座

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題・教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめどす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 学校図書館の理念と教育的意義
- 2 学校図書館の発展と課題
- 3 教育行政と学校図書館
- 4 学校図書館の経営
- 5 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修
- 6 学校図書館メディアの選択と管理、提供
- 7 学校図書館活動
- 8 図書館の相互協力とネットワーク

成績評価の方法

小論文とテストによる。

参 考 書 等

- 全国SLA図書館学編集委員会編『学校図書館学 1 学校図書館の原理と運営』
- 全国SLA編『司書教諭の任務と職務』

そ の 他

講義・討論・ビデオ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本を結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と自らの責務を中心に、活動の原理と方法、技能についても、具体的に体得してもらおう。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 読書の意義と目的
- 2 子どもの読書実態と指導
- 3 読書資料の種類と活用
- 4 発達段階に応じた読書指導
- 5 子どもと本を結ぶための方法
- 6 読書指導推進活動と教員の責務
- 7 地域社会の関連施設等との連携

成績評価の方法

小論文とテストによる

参 考 書 等

- 全国SLA編『学校図書館白書 2 学校図書館と子どもの読書の現状と課題』
- 全国SLA編『司書教諭の任務と職務』

そ の 他

この科目の受講は下記の1、2を終了してからが望ましい。

1. 学校経営と学校図書館 (前期)
2. 学習指導と学校図書館 (前期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと 源 昌久	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

1) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク 2) 分類法(表)の解説・演習 3) 目録の解説・演習 4) 資料組織の機械化 5) 多様な学習環と学校図書館メディアの配置

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教 科 書

『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会) セット定価 6,000円
『日本目録規則 1987年版 改訂版2版』(日本図書館協会) 3,500円

参 考 書 等

講義中に指示する。

そ の 他

必要に応じて、ビデオを活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと 源 昌久	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

1) 情報化社会と人間 2) 情報メディアの特性と選択 3) 視聴覚メディアの活用
4) 学校図書館におけるコンピュータの活用 5) 情報検索

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教 科 書

講義中に指示する。

参 考 書 等

講義中に指示する。

そ の 他

必要に応じて、ビデオを活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	や ま だ せ つ こ 山 田 節 子	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学習図書館は、児童生徒が、「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動のさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。
この科目は、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関し、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 教育課程の展開と学校図書館
- 2 発達段階に応じた学校図書館メディアの選択
- 3 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成
- 4 学習課程における学校図書館メディア活用の実際
- 5 学習指導における学校図書館の利用
- 6 学校図書館における情報サービス
- 7 教師への支援と働きかけ

成績評価の方法

小論文とテストによる。

参 考 書 等

- 全国SLA編『これからの学校図書館と司書教諭の役割：改正学校図書館法マニュアル』
- 井澤純著『図書館学大系7 読書教育原論』（全国SLA刊行）

そ の 他

講義・討論・ビデオ・演習

専攻科

(放射線技術科学専攻)

専攻科（放射線技術科学専攻）

応用医療生物学	〈日下部 正 宏〉	407
放射線の生物影響	〈日下部 正 宏〉	407
放射線生物工学研究	〈作 山 攜 子〉	408
放射線生物学特別実験	〈作 山 攜 子〉	408
疾 病 と 画 像	〈作 山 攜 子〉	408
放射線治療効果	〈作 山 攜 子〉	409
画像医学研究	〈作山攜子・氏家盛通・西尾誠示〉	409
画像医学特別実験	〈作 山 攜 子〉	409
線量計測工学	〈小 山 正 希〉	409
放射線検出器工学	〈小 山 正 希〉	410
放射線計測工学研究	〈小山正希・青木 清・佐藤昌憲・杉田 徹〉	410
放射線計測工学特別実験	〈小 山 正 希〉	410
放射線感光化学	〈山 本 裕 右〉	410
放射線化学特論	〈山 本 裕 右〉	411
応用放射線化学研究	〈山本 裕右・原田 和正〉	411
応用放射線化学特別実験	〈山 本 裕 右〉	411
放射線リスク評価学	〈一 守 俊 寛〉	412
最新放射線治療技術	〈久保田 進〉	412
診療機器工学研究	〈中北 倫男・檀尾 英次〉	413
診療機器工学特別実験	〈中 北 倫 男〉	413
診療機器システム基礎工学	〈中 北 倫 男〉	413
診療機器材料・デバイス工学	〈中 北 倫 男〉	413
放射線画像工学研究	〈高野 正雄・熊坂さつき〉	414
放射線画像工学特別実験	〈高 野 正 雄〉	414
放射線画像解析工学	〈高 野 正 雄〉	414
放射線画像処理工学	〈高 野 正 雄〉	415

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用医療生物学 (前期)	くさかべ まさひろ 日下部 正 宏	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

ヒトの体の構造と機能を理解する。また、生物に共通する現象や法則性についても理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

医療人として必要となる、解剖学、生理学、分子生物学の知識を、最近のトピックスを含めて講義する。

- 1) 神経系の構造と機能
- 2) 循環系の構造と機能
- 3) 呼吸系の機能と構造
- 4) 消化器系の機能と構造
- 5) 泌尿器系の機能と構造
- 6) 生命と遺伝情報

履修上の留意点

授業に出席すること。

成績評価の方法

定期試験とレポートにより評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリント。

参考書等

中野昭一著『学生のための生理学』(医学書院)
松田幸次郎ら共訳『医科生理学の展望』(丸善)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線の生物影響 (後期)	くさかべ まさひろ 日下部 正 宏	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線が生物に与える影響について理解する。また放射線治療学の基礎となる学習としても理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

放射線作用の特徴、放射線の分子・細胞レベルにおける作用機構、放射線が臓器および個体に与える影響について講義する。

- 1) 放射線と分子生物学
- 2) 放射線と臓器および個体
- 3) 放射線と温熱作用
- 4) 放射線治療の基礎
- 5) 放射線ホルミシス効果

履修上の留意点

授業に出席すること。英語の辞書を持参すること

成績評価の方法

定期試験とレポートにより評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリント。

参考書等

菅原努 監修『放射線基礎医学』(金芳堂)
ERIC J. HALL, Radiobiology for the Radiologist (Lippincott Company)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線生物工学研究	さくやま けいこ 作 山 攜 子	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

英語の文献に接することを多くし、自分も欧文の論文を書く努力をする。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の学術雑誌に掲載されてる論文を取り上げて研究する。

- ・Radiation Research
 - ・Mutation Research
 - ・Cancer Research
 - ・Radiation Protection Dosimetry
- これらの成果を発表する。

成績評価の方法

レポートの結果と授業内試験

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線生物工学特別実験 (前期)	さくやま けいこ 作 山 攜 子	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

コンピュータを駆使し、突然変異検出の基本原理のための実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

突然変異検出の技術・方法について学ぶ。

成績評価の方法

レポートの結果と授業内試験

科目名	担当者名	配当学科	単 位
疾病と画像 (前期)	さくやま けいこ 作 山 攜 子	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各臓器の主な疾患について理解するとともにその疾患の主なレントゲン所見を知ることを目的とする。また各疾患に最も必要な検査法は何かをも理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①頭頸部
- ②胸部（心臓、血管系を含む）
- ③消化器系（肝、胆道系を含む）
- ④泌尿生殖器
- ⑤骨軟部組織
- ⑥小児放射線
- ⑦救急放射線医学
- ⑧Interventional Radiology

これらの臓器のうち代表的疾患について単純写真、CT、超音波、MRI、血管造影、核医学の画像を理解し、疾患を最もよく描出するための技術を学ぶ。

履修上の留意点

コンピュータ、スライドおよびOHPを用い実際の症例について検討する。

成績評価の方法

出席と授業時間内のテストの結果による。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線治療効果 (後期)	さくやま けいこ 作 山 攜 子	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各臓器の悪性腫瘍のstage分類、TMN分類を決める前の検査としてのCT、MRIの有用性とその所見を理解することを第一とし、これらの異常所見の描出するための技術的方法の習得を目標とする。放射線治療後の経過観察のための検査法の選択と画像診断の所見について検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①頭頸部および顔面（副鼻腔を含む）
- ②肺
- ③腹部臓器
- ④男性性器（前立腺、睾丸）
- ⑤女性性器（子宮、卵巣、付属器）
- ⑥乳房
- ⑦骨軟部組織
- ⑧骨髄・リンパ節

成績評価の方法

授業時間内テストの結果による。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像医学研究	さくやま けいこ うえいけい せいどう 作 山 攜 子 ・ 氏 家 盛 道 にしん けんじ 西 尾 誠 示	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各種の画像診断の技術は日々発展し続けている。各画像診断法の基礎的研究と臨床への応用と発展に対応できる知識を身につけるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語による文献による討論、さらに欧米の文献による知識を得ることも心がける。自分が選んだ論文を発表すること、また指定した論文のこともあり得る。

成績評価の方法

授業時間内テストの成績によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像医学特別実験 (前期)	さくやま けいこ 作 山 攜 子	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

現在すでに利用されている診断法でもさらに新しい撮像法が実行されている。例えばヘリカルCTは一般的なものとなり、3Dイメージ、マルチスライスCTは日常の検査法である。したがって適切な診断を行うための適切な撮法と条件の設定は診療放射線技師の判断に負うところが多い。そのため十分な医学的知識と実戦力を養うための実験を行う。

成績評価の方法

出席率・授業時間内テストにより評価

科目名	担当者名	配当学科	単 位
線量計測工学 (前期)	こやま まさき 小 山 正 希	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

照射線量、吸収線量、等価線量を定めるための測定ではまず各線量概念を明確にすることが必要である。次にこれらの線量概念を実測するための測定装置について、現時点での対応とその問題点について明らかにしこれら問題点を解決するための方針について考える。国際勧告で提示される線量概念とその同定法に関する指針に準拠し、かつ在来の測定法に必ずしもとらわれずに計測系を構成することを考えてゆく。又、同一条件下で異なる検出系、例えば電離箱型と半導体検出器との測定結果を比較することで測定対象をより明らかにするなどの手法を考えてみる。

成績評価の方法

中間テストによる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線検出器工学 (後期)	こやま まさき 小山正希	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

主として比較的新しい形式の検出器の内容を紹介し、計測系全体を見渡して特定のものを選択する場合の参考となるようにしたい。

成績評価の方法

授業時間内テストによる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線計測工学研究	こやま まさき あおき 佐藤昌憲・青木清徹 杉田 徹	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

- ・Radiation Research
- ・Physics in Medicine & Biology
- ・Medical Physics
- ・Nuclear Instruments and Methods
- ・British Journal of Radiology

等の関連外国雑誌から主として医療に係わる、或は関連のある論文を主題にして放射線計測についての新しい知見と在来技術との関係などについて議論する。

成績評価の方法

授業時間内テストによる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線計測工学特別実験 (前期)	こやま まさき 小山正希	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

半導体放射線検出器による制動X線のエネルギー分布測定など、放射線線束、被放射場の特性及び線量計測システムに関する実験を行う。

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況などにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線感光化学 (後期)	やまもと ゆうすけ 山本裕右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線の感光材料としてはフィルムが最も一般的であり広く使用されているが、本講義においては、医療分野でフィルムと組み合わせて使用される増感紙、および放射線に対する新しい感光材料として近年使用されている輝尽発光体について、放射線と物質の相互作用に注目して解説する。増感紙については、まずラジオルミネセンスについて触れ、発光機構を説明すると共に、種々の増感紙材料の化学および発光特性について解説する。また、輝尽発光体については、輝尽発光の発光機構について説明し、種々の輝尽発光体材料の化学および発光特性について解説する。

成績評価の方法

試験およびレポート。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線化学特論 (前期)	やまもと ゆうすけ 山 本 裕 右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

本講義においては、固体の放射線化学のうち、特に、放射線と固体との相互作用を利用した放射線線量測定に関係する領域について解説する。まず、イオン結晶、共有結晶、ガラスについて放射線の固体への効果を概観し、固体に残される放射線効果と格子欠陥の関係、空孔と捕獲中心などに触れながら、放射線のエネルギーがいかんして固体中に蓄積されるか、また、蓄積されたエネルギーをいかんして開放するかを解説する。さらに、以上の事を基礎として、熱ルミネセンス、輝尽発光、エキソ電子放出現象についても言及する。

成績評価の方法

試験およびレポート。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用放射線化学研究	やまもと ゆうすけ へらだ かずまさ 山 本 裕 右・原 田 和 正	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

Journal of Luminescence, Journal of Physics, Physica status solidi, Journal of Applied Physicsなどの洋雑誌および専門書から、固体線量計、特にTLDおよび輝尽発光体に関する最近の代表的な研究論文、総説などを講読し、この分野における最新の研究状況に触れると共に、種々の研究法の詳細、および得られたデータの解釈についての理解を深める。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用放射線化学特別実験 (前期)	やまもと ゆうすけ 山 本 裕 右	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

熱ルミネセンス発光体 (TLD)、輝尽発光体 (FCRプレート) および増感紙の基本原理、基本特性および使用上の注意点等を理解するための実験を行う。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線リスク評価学 (後期)	い ち も り と し ひ ろ 一 守 俊 寛	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

人の感覚器官である目、耳、鼻、舌、皮膚は生物組織で構成された代表的なセンサであるといえる。センサを必要とする分野は産業界にかぎらず広範囲にわたっており今後益々重要度を増してくると考えられる。本講義では各種センサ素子の物理機構・特性に焦点をあて、それを利用したセンシング技術について理解を深めることを主目的としている。特に、対象に対する理解から新しい発想への発展を大切にする「考える」を実行すべく一部ゼミ形式をとり入れる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 観測とは(感覚する・測定する)
- 2) センサの分類・物理・基礎特性
- 3) 半導体センサ
- 4) 磁気センサ
- 5) 光ファイバセンサ
- 6) 超音波・マイクロ波センサ
- 7) 温度センサ
- 8) 化学センサとバイオセンサ
- 9) 歪みゲージ
- 10) クオーツで測る
- 11) 光でものを測る
- 12) 長さを、流れを、温度を、磁気を測る
- 13) 直接測定とリモートセンシング
- 14) センサの未来像

成績評価の方法

課題レポートで評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
最新放射線治療技術 (前期)	く ぼ た すずむ 久 保 田 進	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線による癌治療の歴史、現状、将来について学び、癌治療と放射線を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

4月から7月まで週一回、講義を行います。

履修上の留意点

直接にまた電子メールで、質問してください。

成績評価の方法

7月に試験を行います。

教 科 書

久保田進著『放射線治療ハンドブック』(ERC出版)

参 考 書 等

館野之男編『原典で読む放射線治療史』(エムイー振興協会)

そ の 他

<http://www2.justnet.ne.jp/~19500204/>
講義中に質問できなかったこと、後で疑問に思ったことは電子で質問してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
診療機器工学研究	なかきた つねお かしお えいじ 中北 倫男・榎尾 英次	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

下記のような内外の学会誌、専門誌、技術誌所載の論文、記事を講読し、診断、治療機器の現状と課題について展望をもつ。

- ・ American Journal of Roentgenology
- ・ Radiology
- ・ British Journal of Radiology
- ・ Medical Physics
- ・ INNERVISION
- ・ 新医療
- ・ 医用機器メーカー技術誌

成績評価の方法

論文の講読状況による。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
診療機器工学特別実験 (前期)	なかきた つねお 中北 倫男	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

診療機器・システムの基本回路を中心に、ハードまたはソフトによる模擬実験を行い、基本的特性について理解を深める。

成績評価の方法

実験への取り組み状況とレポートによる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
診療機器システム基礎工学 (後期)	なかきた つねお 中北 倫男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

診療機器・システムの最近の動向および運用、評価などについて、解説し、診療機器への理解を深める。

成績評価の方法

筆記試験、レポート、受講態度などによる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
診療機器材料・デバイス工学 (前期)	なかきた つねお 中北 倫男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

診療機器に関わる主要材料、デバイスの物性と諸特性について論じ、診療機器に関する理解を深める。

成績評価の方法

筆記試験、レポート、受講態度などによる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線画像工学研究	たかの まさお くまさか 高野 正雄・熊坂さつき	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

国内外の学会誌、専門雑誌から画像形成システム、画質評価と解析及び画像処理等に関する研究報告や総説を講読し、先端技術の理解を深めると共に、報告書のまとめ方なども学習する。

講義の内容・授業スケジュール

月1回、配布された論文を講読発表する。(英文は半期1回)

履修上の留意点

関連する文献の調査等をしっかりおこなうこと。

成績評価の方法

講読発表で理解度を評価。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線画像工学特別実験 (前期)	たかの まさお 高野 正雄	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

アナログ/デジタルX線画像形成システムと画像処理システムを使い、画質の評価法、解析法、処理法にチャレンジする。研究に対する考え方、進め方、まとめ方などを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

テーマは協議をして決定する。

履修上の留意点

関連する文献等の調査が重要。

成績評価の方法

レポート及び日常の学習姿勢。

そ の 他

積極的に討論することが良いレポートになる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線画像解析工学 (前期)	たかの まさお 高野 正雄	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

より確かな放射線画像の読影/診断を行うためには、より優れた画質の画像を作ることが必要である。そのためには、対象となる画像形成システム全体の画質評価とシステムを構成している各要素の解析及び評価をおこなわねばならない。本講では、その基礎となる理論と具体的手法について言及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. アナログ/デジタルFourier変換
2. 放射線領域の画像解析、X線管焦点、X線強度、錯乱X線、被写体の運動、受光系
3. 画像設計

成績評価の方法

試験とレポートの総合点

参考書等

内田、金森、稲津共著 『放射線画像情報工学1』((株)通商産業研究社) 8,000円

そ の 他

理解を深めるため、1~2回実験をおこなう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線画像処理工学 (後期)	たかのまさお 高野正雄	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

今日、病院で取り扱われている画像の多くは、デジタル化された電気信号をCPUで“画像処理”して出力されている。これらの画像は、視覚による読影／診断に供されるため、その画像処理条件の設定によっては、その情報量が異なることがある。本講では、より視覚的に情報量の多いデジタル画像を作り出す手法について、学習する。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 画像処理の基礎
 - 画像のデジタル化
 - フーリエ変換
 - 画像の前処理
 - 画像の表示法
 - 画像の分割、記述、2値化
2. イメージングシステム
 - CR、DSA、CT、他

成績評価の方法

試験とレポートの総合点

教 科 書

英保茂著『医用画像処理』（朝倉書店） 3,200円

参 考 書 等

プリントを配布する。

仏教科—夜間開講—

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間〈大西龍峯〉	424
-------------------	-----

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 仏教と人間 〔再クラス〕	お お に し り ゆ う ほう 大 西 龍 峯	短 仏 1 必 短 仏	4

講義のねらい

仏教の教えが、現代人にとってどんな意味をもち、またどんな役割をはたしうるかについて考えていくことが、本講座の目的であります。

講義の内容・
授業スケジュール

できるだけ現在われわれの身のまわりに起こっている問題をとりあげ、それに対し仏教がどういう考え方を示し、対処をなしうるかを検討し、あわせて仏教の基本的教義や、その宗教的特質を明確にしていきたいと思ひます。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

テキスト、資料等は、授業の中で配布します。

2. 教養教育科目

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

宗教学〔聖と俗〕	〈菅原 壽清〉	429
宗教学〔比較宗教文化〕	〈田中 かの子〉	430
文学(1)(3)〔日本文学-古典-〕	〈合瀬 純華〉	431
文学(2)〔日本文学-近代-〕	〈保明 陽子〉	431
歴史学(1)〔日本近代史〕	〈林 彰〉	432
歴史学(2)〔中国古代史〕	〈小林 惣八〉	432
歴史学(3)〔中国古代思想史〕	〈小林 惣八〉	432
哲学〔西洋思想の源流〕	〈河谷 淳〉	433
哲学〔近代の人間観と世界観〕	〈伊古田 理〉	433
哲学〔現代文明と人間〕	〈鈴木 聡〉	433
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈伊古田 理〉	434
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈麻生 享志〉	434
倫理学〔現代と倫理〕	〈古田 知章〉	435
倫理学〔人生と倫理〕	〈末木 恭彦〉	435

(2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕	〈鶏徳 啓登〉	436
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈長谷川 日出世〉	436
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈枝松 正行〉	437
経済学〔現代経済と人間〕	〈明瀬 政治〉	438
社会学〔現代社会を考える〕	〈呉 炳三〉	439
社会学〔現代文化を考える〕	〈橋爪 敏〉	439
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内 康慈〉	440
文化人類学〔文化と人間〕	〈川上 新二〉	440
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈浦田 早苗〉	441
政治学〔国際社会と日本〕	〈山村 恒雄〉	441

(3) 自然分野

心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈鈴木 順一〉	442
心理学(2)〔人間関係を考える〕	〈鈴木 順一〉	442
生物学〔生態と進化〕	〈清水 善和〉	443
生物学〔生物と環境〕	〈中村 敏枝〉	445
コンピュータ基礎(1)(3)〔コンピュータと情報〕	〈竹田 洋一〉	446
コンピュータ基礎(2)(4)〔コンピュータと情報〕	〈小川 健次郎〉	446
地球科学〔古環境の復元〕	〈山縣 毅〉	447
地球科学〔変動帯としての日本列島〕	〈藤井 享〉	448
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	〈篠原 正雄〉	449
自然環境論〔生命と環境〕	〈山縣 毅〉	449
情報数学〔情報と論理〕	〈小沢 誠〉	450

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教学 〔聖と俗〕	すがわら としきよ 菅 原 壽 清	短 仏 選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえて行きたいと思います。

授業の前期は宗教学・宗教人類学、特に「聖と俗」についての基礎的な問題を、後期は東南アジア・中国雲南の人びと、日本人などの宗教文化について具体的な事例を基にしながら、現代社会との関わりや人びとの暮らしと宗教について講義して行きたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

〈宗教人類学入門〉

1. 宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
2. 宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）

〈宗教の多様性〉

3. さまざまな宗教形態（その多様な形態）
4. 宗教の分類方法（現代の分類方法）
5. 聖と俗

〈聖なるコスモロジー〉

6. 東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
7. 日本人の生死観

シャーマニズムの世界

成績評価の方法

試験・出席・その他

教 科 書

指定なし。

参 考 書 等

授業で紹介。

そ の 他

東南アジア・中国雲南のビデオ・スライドなども使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教学 〔比較宗教文化〕	た な か 田 中 かの子	短 仏 選	4

講義のねらい

宗教は、人間が自他の生命（いのち）をより善くまっとうするための究極的な拠りどころと生き方を提示する。

諸宗教の興起し発展してきたこの世界において、わたくしたちはいま、宗教を比較して、宗教それぞれの現代的意義と役割を見出すべき時機を迎えている。

以上の視点から、本講の宗教学は、諸宗教のありかたをとおして生命（いのち）と人間性の普遍的価値を観ることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をともなう宗教のいくつかを選び、それぞれの歴史・思想・文化について解説する。さらに、宗教間に生じる誤解や偏見を指摘し、正しい「他者」認識と平和友好的な「人間」理解とはどうあるべきかを考える。それには何よりもまず、それぞれの宗教を信奉する人々が「生命（いのち）をまっとうするための道」（a way of 'Life'）をどのように歩んでいるのかを実際に観ることが望ましい。

ひとつの宗教につき2回分の講義を割り当てるなかで、2回目は主として、

- 1) 祈りの声や聖歌（録音テープ）を鑑賞して生きた宗教の聴覚的イメージをとらえ、
- 2) スライド上映により宗教生活の実際を垣間見る。

年間のプログラムは以下のとおりである。

I. 比較宗教学の基礎知識（宗教学における比較とは何か、宗教多元主義の問題点、聖なるものをめぐる諸宗教の構成要素・一覧）。

II. 宗教史の歴史的連関を考慮し、1) ゾロアスター教、2) ユダヤ教、3) キリスト教、4) イスラーム、5) シーク教、6) ヒンドゥー教、7) ジャイナ教、8) 仏教、9) 仏教とキリスト教の比較美術の順に講ずる。

履修上の留意点

世界の諸宗教と仏教との接点を探り、現代における仏教ならではの役割を見出そう。

成績評価の方法

各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教 科 書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文学(1)(3) 〔日本文学「古典」〕	お お せ す み か 合 瀬 純 華	短 仏 選	4

講義のねらい

平賀源内といえばエレキテルの発明家であり、本草学者、鉱山開発、殺人の末の獄死など、その破天荒な生涯から奇人変人として知られている。だが、彼の文学作品は当時の江戸の戯作者たちに影響を与え、「江戸戯作の祖」として評価されている。日本の古典文学史においては源内が生きた18世紀後半は、文化の中心が上方から江戸へ移行し、洒落本や黄表紙など多様な都市文芸が開花する時期でもある。以上の観点から、この講義では平賀源内の文学と江戸中期の戯作を鑑賞することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

まずは文学史的な知識をふまえた上で、平賀源内の生涯と時代背景を概観し、特に小説『風流志道軒伝』を現代語訳しながら講読する。その他の江戸戯作については、具体的な作品を影印と翻字によって読みながら、版本の書型とジャンルなど書誌的なことにも留意する。

履修上の留意点

講義中の私語、携帯電話の使用（含メール）は禁止する。

成績評価の方法

出席状況および前後期2回の定期試験による。

教科書

必要に応じてプリントして配布する。

参考書等

中村幸彦校注『風来山人集』（岩波書店、日本古典文学大系）
その他。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文学(2) 〔日本文学「近代」〕	ほ あ き よ う こ 保 明 陽 子	短 仏 選	4

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。先行する西欧の「近代化」を前提に、その影響を否応なく受けてきた過去の歴史的経緯を考慮しつつ、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ、日本独自の「近代化」を文学的視座からとらえる。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会をかいま見る。

講義の内容・授業スケジュール

文学作品に現れた様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組みをとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。具体的には、近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何を意味しているのか、を探求する。前者については講義開始時に公示するが、後者については明治大正時代に活躍した徳富蘆花の代表作『不如帰』などを取り上げる。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に「今」を考えることを主眼としている。年間を通して、文学作品を本格的に読むことでしか得られない情報を取得し、現在を一緒に考えていくために、実際に作品を読み、授業に出席し、かつ参加していくことが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して課されたテーマの考察が、不定期なレポート提出という形で成績に反映される。

教科書

適宜講義で指示する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 (1) 〔日本近代史〕	はやし 林 あきら 彰	短 仏 選	4

講義のねらい

本年度は、明治・大正期の思想を中心に考察していく予定である。西洋から輸入された近代思想が日本でどのように展開されるのか、逆に伝統的な思想（儒教など）が近代思想とどう対立・錯綜していくのか。それらを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は近代史の概説をこころみる。その後、知識人・民衆、体制側の思想動向をみていく。とくに、明治後期の思想（初期社会主義・修養思想など）には重視していきたい。

成績評価の方法

レポートと定期試験、講義への出席。

教科書

講義中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 (2) 〔中国古代史〕	こばやし 小林 惣八 そうぼち	短 仏 選	4

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 (3) 〔中国古代思想史〕	こばやし 小林 惣八 そうぼち	短 仏 選	4

講義のねらい

ユラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔西洋思想の源流〕	かわたに 河 谷 あつし 淳	短 仏 選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主に扱う。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば、現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。
①ギリシア哲学（ソクラテス以前・ソクラテス・プラトン・アリストテレス）
②キリスト教哲学（教父哲学、スコラ哲学）
③近代哲学（デカルト、ロック、カント）

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）、レポート、出欠による総合評価。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	いこた 伊 古 田 まさる 理	短 仏 選	4

講義のねらい

近代以降の人間の活動のありかたを考察することをねらいとするが、本年度は「技術」をテーマとし、「ものをつくる」という人間の活動のもつ意味と問題点をさぐる。

成績評価の方法

試験（夏期中間＋期末定期）＋レポート課題による。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔現代文明と人間〕	すずき 鈴 木 さとし 聡	短 仏 選	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

《合理的な行為と因果性》を中心テーマとし、以下の素材を叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果性
2. 逆向き因果
3. 時間論
4. ニューカムのパラドクス
5. 囚人のディレンマ

履修上の留意点

毎回の出席が望ましい。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小レポート・出席点で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

そ の 他

本講義は、講義→レポート（質問）→レポートを反映した講義→……という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	い 古 田 まさる 伊 古 田 理	短 仏 選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにした。

講義の内容・授業スケジュール

- ①古典的三段論法
- ②公理系Ⅰ～命題論理
- ③公理系Ⅱ～述語論理
- ④コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あ さ お た か し 麻 生 享 志	短 仏 選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものと考え、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで①論理とは何かを考え、②変化する論理学の各内容についての知識を持ち、③日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、パラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概論、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題が考えられる。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義を理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではない。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要である。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わる。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めたい。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

基本的にはなし。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めない。主体的な質問は大いに歓迎する。初日はガイダンスとし、定時から五分程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（その間は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学 〔現代と倫理〕	ふるた ともあき 古 田 知 章	短 仏 選	4

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上に立ってこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「自己」と「世界」あるいは「他者」との関係などの、「自己」と倫理をめぐる基礎的な諸問題を整理し、後期は、前期で扱った内容をもとに、現代社会で関心が集まっている、生命倫理、環境倫理といった応用倫理に関する諸問題の検討をおこなう。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学 〔人生と倫理〕	す え き や す ひ こ 末 木 恭 彦	短 仏 選	4

講義のねらい

人は一人では生きることができない。生きることは、必然的に人と人の関りの場に身を置かねばならない。人倫の中に生きるのである。人は、また、「よく」生きることを求める。ここに、どう生きるのが「よく」生きることか、また、それがどうして「よく」生きることになるのかという問題が生じる。これらは、「倫理学」の主要な内容をなす。本講義は、我々が生きることの「倫理」性に自覚を深めることを目的として、その参考となるように先人の「倫理」をめぐる諸説を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、特に環境との関わりに問題をしぼる。又、参考とする先人は、東洋（特に中国・日本）に限り、東洋の伝説的な思想が現代に於ていかに役立つかを課題としたい。教科書は、国際シンポジウム「東洋の伝統的環境思想の現代的意義」の報告論文集である。講義は、教科書に収める論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進みながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとる（板書を書き写すだけでなく口頭説明も的確に要をとらえ記録すること）

成績評価の方法

中間試験と学年末試験、レポートに出席態度を加味して判断する。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜に指示する。

仏教
教養
教育
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	けいとく ひろとう 鶏 徳 啓 登	短 仏 選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - 法の意義
 - 法発生の背景
 - 法とその近辺の社会規範
 - 法の種別と解釈
 - 法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	短 仏 選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	えだまつ まさゆき 枝 松 正 行	短 仏 選	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に近未来科学であり、社会の変化・生成・発展法則の先見的な究明と管理こそは学的使命なのである。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・ 授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や小泉「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教 科 書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参 考 書 等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

そ の 他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学 〔現代経済と人間〕	みよ う せ ま さ は る 明 瀬 政 治	短 仏 選	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

受講生にあつては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- ① 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
 - ② きょうは「経済学」か、と言わせたい
- そして、
- ③ 結構おもしろい（じゃん）、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りで業間チェック（クイズ）を行い、平常点として考慮します。

教 科 書

教科書は、開講時に指示します。基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

参 考 書 等

- 幸村千佳良 著『経済学事始』（多賀出版）
 伊藤 元重 著『入門経済学』（日本評論社）
 林 俊彦 著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 呉 びよんさん 炳 三	短 仏 選	4

講義のねらい

社会学が対象とする領域は「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「思想」「文化」など様々である。このような領域において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家庭生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバルイゼーションにともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する

教科書

開講時に説明する

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	はしづめ さとし 橋 爪 敏	短 仏 選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	短 仏 選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と諸手法を、現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- ①記述統計 ②標本空間と確率
③確率変数と確率分布 ④母集団と標本
⑤推定 ⑥検定 ⑦相関 ⑧回帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

出席状況、課題演習、期末試験を総合して評価します。

教科書

- ・P.G. ホーエル著（浅井晃、村上正康共訳） 『初等統計学』（培風館）1,650円
- ・必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

必要に応じて適時紹介します。

その他

教科書・配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学 〔文化と人間〕	かわかみ しんじ 川 上 新 二	短 仏 選	4

講義のねらい

日本にも韓国にも中国にも「愛人」という語があります。現在の日本でどのような意味で使われているか、すぐに思い当たると思いますが、韓国では恋人の意味で、中国では夫または妻の意味で使われています。また「親戚」というと、現在の私たちは具体的にどのくらい範囲の人々まで思い浮かべるでしょうか。イトコ（4等親）くらいまででしょうか。韓国では6等親（祖父の兄弟の孫）や8等親（ひいおじいさんの兄弟のひ孫）まで含んで考えられているようです。では中国では？などと、同じ語でも3つの国の人々が考える内容とは各々違うようです。中国や韓国の女性は結婚しても姓は変わりません。これは現在日本で検討されている夫婦別姓の問題と同じ線上で考えられる問題かどうかなど、東アジアの3国を比べただけでもさまざまな相違点が見つかります。世界にはさまざまな民族の文化や社会が存在していますが、文化人類学は分析、比較、考察を通じてさまざまな文化を理解し、人間とは何かを考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

文化人類学の学問の特徴や、家族、姻族、親族、呪術、宗教、経済、法などの諸問題について考察していきます。

成績評価の方法

定期試験や出席状況などで総合的に評価します。レポートを提出してもら場合もあります。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公親書）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	浦 田 早 苗 <small>う ら た さ な え</small>	短 仏 選	4

講義のねらい

二十一世紀が幕を開け、世界は更なる高度産業化時代を迎えた。産業・技術の進歩はこれまでにない早さで社会の変質をもたらし、そのため、「政官業のトライアングル」という言葉では、もはや日本の政治システムを語る事が難しくなってきた。政治改革、行政改革、税制改革が政治経済の緊急課題となっているが、システムの歪み、疲弊を探し当て、それを立て直すことにのみ関心をそそいでいたのなら日本の将来はないであろう。大切なのは新たなシステムの構築であり、そのためには、私たち国民一人一人が正面から政治を見つめ直すことが必要である。本講義では政治の現状を分析し、問題の根源がどこにあるのか考察して、そのためにわれわれがすべきこと、できることを考えるための一助を示してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の冒頭では各自の政治への関心を高めるため、その週に起こった国内外の時事問題を取り上げ解説し、現在の世界、日本が抱える課題について考える。前期の講義では、日本の政治事情の比較対象として、政治参加の進んだ欧米諸国の政治を概観する。後期は現代日本政治社会システムの分析を行う。取り上げるテーマは官僚制と天下り、会社主義の変容、スタグフレーションとその対策、公共投資の功罪、潜在的利益集団の意義、投票行動などである。

成績評価の方法

年5～6回行う小テストー簡単な政治論評ーは出席点代わりとし、学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する（ノートの持ち込みは不可）。

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細に研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。参考書は必読でないが、常に新聞を「読む」ことが全員に義務づけられている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学 〔国際社会と日本〕	山 村 恒 雄 <small>や ま む ら つ ね お</small>	短 仏 選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、素材として取り上げる問題は時事問題であるが、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治的問題に対して自分の意見を形成できるよう、素材として取り上げた問題を通して「分析の道具」を提供するものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 現代の国際政治
- 4 冷戦構造
- 5 核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本の貿易摩擦
- 9 日本の国際貢献

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

レポートと学期末試験による。評価基準については、別途配布する。なお、レポート未提出者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学(1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゅんいち 鈴木 順一	短 仏 選	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅でしていただきます。
授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』—自己理解ワークブック—（ナカニシヤ出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学(2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゅんいち 鈴木 順一	短 仏 選	4

講義のねらい

より良い人間関係を築くには、自分や他人の性格を深く理解し受容する必要があるでしょう。特に、自己を知り自分をコントロールすることは重要です。

自分のことは自分が一番良く知っているようでいて、実は案外知らないことが多いことを深層心理学は教えてくれます。他人という鏡を通して自己を見つめなおさないと、本当の自分の姿はなかなか見えてこないものです。

本講座では、主として性格心理学や臨床心理学を背景にして、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いの性格を理解し、より良い人間関係を築いていくような体験学習をしていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』—自己理解ワークブック—（ナカニシヤ出版）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 〔生態と進化〕	しみず よしかず 清水 善和	短 仏 選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に関連と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20 mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化-我ら生物みな兄弟
- (1) 生命の歴史性
 - (2) 遺伝子と生命現象
 - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化-偶然と必然が織りなす奇跡
- (1) 地質年代図
 - (2) マーグリスの共生説
 - (3) カンブリアの爆発
 - (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類-名もなき雑草はない
- (1) リンネ式分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 種の定義と属性
 - (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化-生物は誰がために生きるか
- (1) 動物行動学の歩み
 - (2) 適応度とゲーム理論
 - (3) 利他的行動と血縁淘汰
 - (4) 性選択と性比
 - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学-産めよ殖えよ地に満てよ
- (1) 潜在的な増殖率
 - (2) 密度効果
 - (3) 生命表
- 第6章 共生と競争-出し抜きながら深い仲
- (1) 種間関係と共生
 - (2) 花と昆虫の共進化
 - (3) 菌根
 - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化-ヒトは唯一の生き残り
- (1) 霊長類の系統
 - (2) ヒトの発展段階
 - (3) ホミニゼーション (ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論-進化論も進化する
- (1) ダーウィン以前
 - (2) ダーウィン進化論
 - (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系-命は無数のつながりの中で
- (1) 生態系 (エコ・システム)
 - (2) 食物連鎖と生物濃縮
 - (3) 光合成と呼吸

- (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環-元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則
 - (2) 水の循環
 - (3) 炭素の循環
 - (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移-裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル
 - (2) さまざまな遷移
 - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性-多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性
 - (2) 多様性の尺度
 - (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物-生物界のグローバルゼーション
 - (1) 里山の生物
 - (2) 都市と生物
 - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

章ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 〔生物と環境〕	<small>な か む ら と し え</small> 中 村 敏 枝	短 仏 選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追求の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・
授業スケジュール

1. はじめに 地球の歴史・生命の誕生
2. 生物の生活
 - a. 生命の維持
 - b. 植物の物質生産
 - c. 植物の生産過程
 - d. 植物の相互作用
 - e. 植物群落の遷移
 - f. 動物の個体群
 - g. 個体群の内部構造生殖行動
 - h. 生殖行動
 - i. 動物の種間関係
3. 生態系
 - a. 物質循環とエネルギーの流れ
 - b. 生態系の安定性
4. 人間の活動と地球環境
 - ・化学物質の功罪
 - a. 化学物質と生物
 - b. ダイオキシン
 - c. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
 - ・生物学
 - d. 遺伝子組み換え生物
 - e. クローンと動物工場
 - f. 生殖医療
 - ・地球環境問題
 - g. 開発による自然の改変
 - h. オゾン層の破壊
 - i. 地球温暖化
 - j. 原子力利用の諸問題
 - k. 食料と人口・人類の未来

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科はじめ各教科の知識を本講義の前提とする。
意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学 - 地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参 考 書 等

その都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(3) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	た け だ よう い ち 竹 田 洋 一	短 仏 選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン(OSはWindows)で主としてワープロソフト(WORD)と表計算ソフト(EXCEL)を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習(自宅または情報センターの自習室などのパソコンで)を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして筆記テストの三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教 科 書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (2)(4) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	お が わ けんじろう 小 川 健 次 郎	短 仏 選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。利用申請は、授業の中で適宜行う。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 〔古環境の復元〕	やまがた 山 縣 たけし 毅	短 仏 選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義を行います。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
 - ・ 関東平野の断層と地震
 - ・ 房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
 - ・ 伊豆大島、箱根の火山活動
 - ・ 関東山地の地質
 - ・ 関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

『最新 図表地学』（浜島書店）ISBN 4 - 8343 - 4002 - 3 C7344

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 〔変動帯としての日本列島〕	ふじい すずむ 藤 井 享	短 仏 選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯といって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

そ の 他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	し の は ら ま さ お 篠 原 正 雄	短 仏 選	4

講義のねらい

工場が周囲を汚染する公害問題から始まって、今日では全地球的な環境問題が議論されている。人類の活動が、物質循環においてもエネルギー循環においても惑星規模に達したことの当然の結果である。本講では個別の環境問題ではなく、[地球環境]とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを論じる。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきた。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にある。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきた。本講では、現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

太陽放射は地球環境の支配的な要因である。ところが人類は化石燃料の使用等により太陽放射と地球環境の関係を変えようとしている。前期は、まず太陽放射について学び、太陽系の他の惑星との比較をおりませつつオゾン層、地球温暖化について考える。

化石燃料を減らすには、原子力や太陽エネルギーなどの代替源が要る。しかしそれが別の環境破壊を引き起こす可能性もある。後期は核エネルギーと放射能環境、太陽エネルギー利用の可能性について学ぶ。さらに、地球独特の自然が形成されてきた歴史をたどり、未来を考える。

成績評価の方法

年度末に行う筆記試験による。平常点を加味する。

教 科 書

石田蕙一著『宇宙と地球環境』（成山堂書店）1,600円 その他、講義の中で紹介する。

参 考 書 等

小宮山宏著『地球持続の技術』（岩波新書）660円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 〔生命と環境〕	や ま が た た け し 山 縣 毅	短 仏 選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気の酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

講義の中で紹介します。

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報数学 〔情報と論理〕	お ざ わ 小 沢 誠	短 仏 選	4

講義のねらい

数学の特徴である論理的・抽象的な考え方と、それらが情報処理における具体的・計算的な方法といかに深い関連を持つかが理解出来るようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期に、集合・論理・図形と方程式・代数系・行列・行列式及び固有値を、後期に、微分・積分・積分の応用・確率・統計・数え上げの方法を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教 科 書

情報処理教育研究会『情報数学の基礎』（日本理工出版会）2,500円

参 考 書 等

野崎昭弘・田中公治『情報数学入門』（サイエンス社）1,117円

そ の 他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

3. 外国語科目

3. 外国語科目

英語	I	〈丹治 弘昌〉	455
英語 I〔再クラス〕		〈丹治 弘昌〉	455
ドイツ語	I	〈清水 修〉	455
ドイツ語 I〔再クラス〕		〈百濟 勇〉	455
フランス語	I	〈八木 明美〉	455
フランス語 I〔再クラス〕		〈前田 祝一〉	456
中国語	I	〈東 映全〉	456
中国語 I〔再クラス〕		〈大久保 明男〉	456
中国語 I〔再クラス〕		〈三田村 圭子〉	457
中国語 I〔再クラス〕		〈秋元 翼〉	457
スペイン語	I	〈大岩 功〉	458
スペイン語 I〔再クラス〕		〈栗林 ゆき絵〉	458
ロシア語	I	〈廣田 英靖〉	459
ロシア語 I〔再クラス〕		〈杉山 秀子〉	459
英会話	II	〈岡崎 寿一郎〉	460
英会話	I	〈コプレーマッキー, D.S.〉	460

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅰ	た ん じ ひ ろ ま さ 丹 治 弘 昌	短 仏 1 年	2
英語Ⅰ〔再クラス〕		短 仏 2 年	

講義の内容・
授業スケジュール

具体的には教場にて説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語Ⅰ	し み ず お さ び 清 水 修	短 仏 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業においては「読む・書く」に重点を置いて授業を進めます。語学の学習においては「聞く・話す」「読む・書く」という要素のバランスが重要であることはいうまでもない。しかし、初めて、しかも第二外国語としてドイツ語を学ぶには、まず文法と語彙を学ぶことが重要です。ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点

常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補っておいください。

成績評価の方法

年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断する。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語Ⅰ 〔再クラス〕	も も ず み い さ ぶ 百 済 勇	短 仏 2 年	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、ドイツ語、英会話文章で朗読に力点を置く。毎回、何等かの形で読ませ、それを採点する。その平常点を重視、その結果期末試験は行わない。プリントは教場で配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅰ	や き あ け み 八 木 明 美	短 仏 1 年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

期末に行う試験ほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書

『ル・フランセ』（白水社） 1,650円

外仏
国教
語科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅰ 〔再クラス〕	^{まえだのりかず} 前 田 祝 一	短 仏 2 年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、一番の基礎から開始します。

講義の内容・
授業スケジュール

練習問題をくり返し教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しいことの勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席すれば取り残されてしまいますから要注意。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、毎週の課題がどれだけ消化できているかについても配慮します。

教 科 書

朝倉剛編『総合フランス語—文法・演習・読章—』〈三訂版〉(朝日出版社) 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語Ⅰ	^{あずま えいぜん} 東 映 全	短 仏 1 年	2

講義のねらい

中国語の正しい発音、基本文型を学習し、それを活用できることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

正しい発音を習得するには、発音記号の「拼音字母」及び「四声」(声調記号)を併せて先に学習する。それから基本文型に入る。特に、「語順」が非常に大切なので、力を入れて授業を進めていきたい。

履修上の留意点

復習と予習が欠かせないことを心得ておくべき。

成績評価の方法

出席率や日常的な学習態度、試験等総合的に判断する。

教 科 書

斉藤道彦等共著『中国を知ろう』(神保出版)(テープ付き) 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語Ⅰ 〔再クラス〕	^{おおくぼ あきお} 大 久 保 明 男	短 仏 2 年	2

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得をめざす

履修上の留意点

毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

以下の三項目で総合評価する

- ① 出席率：全授業回数の四分之三以上出席すること。6回以上の欠席は単位放棄とみなす。
- ② 小テスト：各課終了後に小テストを行う。必ず受けること。
- ③ 学習態度：遅刻、早退、私語、指されて「わかりません」の即答などは、消極的な学習姿勢としてマイナス評価される。

教 科 書

尹景春・竹島毅『中国語はじめての一步』(白水社) 2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅰ 〔再クラス〕	<small>みたむらけいこ</small> 三田村 圭子	短 仏 2 年	2

講義のねらい

中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。

履修上の留意点

前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法

出席重視。試験は年4回実施する。遅刻は3回で1回の欠席とする。

教科書

相原茂『1年生のころ』（朝日出版社）2,500円

参考書等

第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅰ 〔再クラス〕	<small>あきもと たすく</small> 秋 元 翼	短 仏 2 年	2

講義のねらい

再履修者がこれまでの学習方法の欠点を自覚し、自分でその欠点を克服して当初の学習目標を達成できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

発音入門からやり直し、初級の文法と表現を一年間でマスターする。

履修上の留意点

発音訓練が重要なので、教室では口を大きく動かし、積極的に声を出すようにしてほしい。また、基本単語を覚えることも大事なので、CD等を活用し、復習することを望む。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度と理解度および前・後期の期末テストで評価する。

教科書

山田真一『500語マスター基本中国語』（同学社） 2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語Ⅰ	おおいわ 大 岩 功	短 仏 1 年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教 科 書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参 考 書 等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語Ⅰ 〔再クラス〕	くりばやし 栗 林 ゆき絵	短 仏 2 年	2

講義のねらい

基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。

履修上の留意点

指示された課題は必ずやってくる。

成績評価の方法

平常点（出席、課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教 科 書

堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円

参 考 書 等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語Ⅰ	<small>ひろた ひでやす</small> 廣 田 英 靖	短 仏 1 年	2

講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ぶと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておおらかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようにします。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

戸辺又方『1年生のロシア語』（白水社） 1,400円

参考書等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語Ⅰ 〔再クラス〕	<small>すぎやま ひでこ</small> 杉 山 秀 子	短 仏 2 年	2

講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ぶと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておおらかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようにします。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

戸辺又方『1年生のロシア語』（白水社）1,400円

参考書等

『露和辞書』

外
仏
国
教
語
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II	おかざき としちろう 岡 崎 寿 一 郎	短 仏 2 選	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教 科 書

教育課程英語研究会編『アドバンスト・イングリッシュ・リーリングズ』（文化書房博文社）
1,236円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	コブレマッキー, D. S.	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

To develop the students' ability to understand and use spoken English in everyday contexts.

講義の内容・
授業スケジュール

April: Introductions, greetings, asking for information
Talking and asking about families
May: Asking about and describing people
Asking and answering questions about personal history
Review
Test
June: Welcoming, making offers, accepting & refusing
Asking about and telling prices, paying for goods
Asking about & identifying locations (inside), giving directions
Describing procedures, narrating a sequence
July: Review
Test
September: Routines & schedules, telling time
Ordering food & drink, asking for information
October: Inviting, making excuses
Making suggestions, talking about the weather
Review
Test
November: Likes & Dislikes, gift giving
Suggestions, objections
Describing people & jobs
Asking & talking about past events
December: Review
Test
January: Presentations & Discussion

履修上の留意点

Must be active learners, using English individually, in pairs, and in groups. Weekly use of Internet resources will also be required.

成績評価の方法

Students will be assessed by homework, interview, role-play simulations and written tests. There will be two formal tests each semester.

教 科 書

The main text used will be 『Expressions : Book 1』, by David Nunan, published by Heinle & Heinle (price apx. ¥2,400). Students will also need to acquire accompanying cassette tapes or CD .

参 考 書 等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

仏外
教国
科語

4. 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、白己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習（ニュースポーツ）	〈大石 武士〉	465
健康・スポーツ実習（空手道）	〈高橋 俊介〉	466
健康・スポーツ実習（バドミントン）	〈秋田 浩一・三幣 晴三〉	467
健康・スポーツ実習（卓球）	〈村松 誠〉	468
健康・スポーツ論	〈鈴木 淳平〉	468
健康・スポーツ論	〈竹田 幸夫〉	469

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	お お い し た け し 大 石 武 士	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 10時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 11時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 12時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	た か は し し ゅん す け 高 橋 俊 介	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

- 1) 服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。
- 2) 教場：修道館（第2体育館）2階

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あきた こういち みぬさ はるみ 秋田 浩一・三幣 晴三	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習（バドミントンのスイング技術・グリップ）
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 3 時限目：スマッシュの基本技術／ネット際のプレー技術
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴（体育館用として中履きのシューズを使用すること）

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	みやざわ えいさく むらまつ まこと 宮沢 栄作・村松 誠	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

文明発達著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは益々減少しつつある。このような生活環境、特に二部学生に対して、たとえ少ない時間であっても、卓球を通じて身体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時限目：ラケットの種類の特長、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時限目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時限目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時限目：サービス、バックハンド
- 6 時限目：サーブレシーブ、バックハンド
- 7 時限目：総合練習
- 8 時限目：総合練習 シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：　　　　　　〃
- 11 時限目：　　　　　　〃
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：　　　　　　〃
- 14 時限目：　　　　　　〃
- 15 時限目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

そ の 他

服装は運動着、体育館用シューズ。
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	すずき じゅんぺい 鈴木 淳 平	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充の意識の育成を図る

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併せて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- 11 時限目：　　　　　　〃
- 12 時限目：トレーニング理論全般
- 13 時限目：　　　　　　〃
- 14 時限目：　　　　　　〃
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	た け だ ゆ き お 竹 田 幸 夫	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

健康・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行なう。健康については、現代病やストレス、肥満などのテーマで、とくに心と体の関わりで考えていく。体力については、基礎的な体力要素の特徴とトレーニング方法、またスポーツ運動学の立場から人間の運動のさまざまな特徴を具体的な例によって解説する。

大学生の年代は、将来におけるライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義の内容から、自分の健康や体力、さらにはスポーツに関する基礎的な知識と考え方について理解を深めてもらいたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限：人間と健康（心と体、現代病）
- 3 時限：〃（心と体、ストレス）
- 4 時限：〃（心と体、肥満とダイエット）
- 5 時限：体力とトレーニングの方法（基礎的な体力要素）
- 6 時限：〃（体力要素の特徴）
- 7 時限：〃（トレーニング方法）
- 8 時限：スポーツ運動の理論（スポーツ運動の特徴）
- 9 時限：〃（運動の上達、習熟とは）
- 10時限：〃（運動の発達）
- 11時限：〃（スポーツにおける右と左）
- 12時限：〃（イメージトレーニング）
- 13時限：〃
- 14時限：まとめ
- 15時限：試験

履修上の留意点

授業において扱う内容を、知識として聞くだけでなく、自分の身近な、そして具体的な問題として考えながら講義を聞いてほしい。

成績評価の方法

授業最後の試験と出席を加味して成績評価を行なう。

教 科 書

駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カツサ出版部） 1,700円

参 考 書 等

授業内容と関わりのある以下の書籍を参考図書として上げておきたい。

- 1) 芦原睦著『心でおきる身体の病』（講談社ブルーバックス）760円
- 2) D. チョプラ著『パーフェクトヘルス』（ダイヤモンド社）
- 3) 白石豊著『スポーツ上達の基礎理論』（自由現代社）1,200円

そ の 他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらおう場合もある。また、バイオフィードバック装置（脳波測定装置）等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

II. 専門教育科目

基礎	仏教	学	〈石井公成〉	475
坐		禅	〈角田泰隆・志部憲一〉	475
宗	学	研究	〈角田泰隆〉	476
禅	学	研究	〈奥野光賢〉	476
仏	典	研究	I 〈木村誠司〉	476
仏	典	研究	II 〈石井公成〉	477
仏	典	研究	III 〈袴谷憲昭〉	477
仏	教	語解	説 〈池田道浩〉	478
中	国	禅宗	史 〈須山長治〉	478
日	本	禅宗	史 〈角田泰隆〉	478
イ	ン	ド	仏教史	479
中	国	仏教	史	479
日	本	仏教	史	480
禅	籍	講	読 〈志部憲一〉	480
仏	典	講	読 〈大西龍峯〉	481
仏	教	伝	道 〈角田泰隆〉	481
中	国	古	典	482
書		道	道 〈野村宙弘〉	482
仏	教	と	文化	482
仏	教	と	現代	483
外	国	語	仏書演習	483
イ	ン	ド	・チベット	483
中	国	仏教	演習	484
仏	教	思想	演習	484
仏	教	文学	演習	485
宗	学	演	習	485
日	用	経	典概	486
宗	教	哲	学	486
キ	リ	ス	ト	487
仏	教	特	講	I
仏	教	特	講	II
宗	学	特	講	I
宗	学	特	講	II

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎仏教学	石井 公成	短仏1必	4

講義のねらい

この授業は、仏教科に進学した第1年次生に対して、仏教と仏教学の基礎知識を身につけてもらうことを目的としている。つまり、仏教の基本的な教義と歴史を学ぶとともに、関心をもった分野を自分で学んでゆくための知識と方法、そして深く考えつつ追及してゆく態度を身につけることが目的である。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の伝記と思想から出発し、インド・中国・朝鮮・日本・チベットその他の諸国・諸地域に展開してゆく仏教史の流れ、研究動向の変化、参考文献の性質やその利用法などについて講義する。講義に当たっては、縁起の思想の変化に重点を置き、禪宗に関しては仏教史における道元禪師及び登山禪師の思想の意義を明らかにする。

履修上の留意点

頻繁に質問し、その応答を通じて講義を進めてゆくため、積極的に参加することが望まれる。

成績評価の方法

学年末の試験によるが、質疑に積極的に参加した者については考慮する。

教科書

教科書は用いず、コピーを配布する。

参考書等

参考文献はきわめて多いため、一覧を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐禅	角田 泰隆・志部 憲一	短仏1必	4

講義のねらい

短大仏教科は「仏教とは何か」という基本的な研究の場であるとともに、曹洞宗宗侶の養成機関でもあり、曹洞宗教義の重要な実践としての坐禅の実修を必修科目としている。将来僧侶となることを希望する学生にとっては、宗門の重要な修行である坐禅の意義とその実践方法を学ぶ科目であり、一般学生にとっても坐禅という修行のほんとうの意義を知りそれを実際に体験できる科目として重要な意義をもっている。

講義の内容・授業スケジュール

この科目は、専ら坐禅を実修する。よって、教場は坐禅堂（禅研究館4階）である。坐禅を実際に修行し、曹洞宗の両祖の坐禅に関する教えを学びながら、坐禅の意義や作法を習得していただきたい。

実修時間の前半は只管打坐、後半は坐禅に関する文献の提唱をする。提唱には指定の講本を用いるので、各自購入して持参すること。筆記用具は不用。

履修上の留意点

坐禅は修練ではない。仏行である。従って服装・態度・動作等の厳粛・整齊であることが望まれる。

成績評価の方法

科目の性格上、評価方法は出席状況に重きをおくが、それに加えて服装・態度・動作・坐相等総合的な評価をするので、充分自覚して授業に臨んでいただきたい。原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、単位を認定しない。

教科書

『坐禅—講本—』（更生社）2,200円

参考書等

なし。

その他

身体上の不自由がある者は、予め申し出て指示を受けること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗学研究	つ の だ た い り ゆ う 角 田 泰 隆	短仏1・2選必	4

講義のねらい

本科目は、曹洞宗の基本的な教義について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストにより曹洞宗の両祖（道元禪師・瑩山禪師）の伝記をたどりながら、その基本的な教義にも触れてゆく。著作も断片的に講読してゆきたい。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績と、夏季休業中の課題レポートによって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参考書等

授業において紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅学研究	お く の み つ よ し 奥 野 光 賢	短仏1・2選必	4

講義のねらい

研究は山登りに似ているように思われる。いきなり頂上を目指して、高度な専門分野に飛び込んでいったとしてもさしたる成果は得られないだろう。やはり、基礎からコツコツと学んでいかなければならないと思われる。この授業は、これから本格的に「禅学」を学んで行くために必要な基本的事項の授業を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、「禅学」を学ぶ上で必要となる基礎知識（文献・歴史等）の解説を中心に授業を進める。

後期は、前期の授業を踏まえた上で、実際に文献講読を行う。講読する文献は、追って指示する。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席日数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

特に指定せず、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

そ の 他

前期の「解説」は講義形式、後期の「講読」は演習形式で授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏典研究Ⅰ	き む ら せ い し 木 村 誠 司	短仏1・2選必	4

講義のねらい

インド仏教の基本文献に触れる。資料の扱い方・先行業績の参照の仕方等を指導し、学生が、自分で研究を進められるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は、般若経・法華経等の經典類、中論や俱舍論といった論書類を扱う。

成績評価の方法

平常点と年度末の試験によって行う。

教科書

コピーで配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏典研究II	い し い こう せい 石 井 公 成	短仏1・2選必	4

講義のねらい

漢訳の原始仏教經典を講読する。漢訳經典は、早い時期に翻訳されているため、現存するパーリ語などのテキストより古い内容を伝えていることも多く、資料として貴重である。パーリ語テキストやその日本語訳なども適宜参照しつつ、初期の素朴な仏教のあり方を検討してゆきたい。語法・用例を徹底的に調べつつ厳密に読むために、パーソナル・コンピュータ(PC)を用いた研究法を体得できるようにする。本年はPerlによる分析も試みる。

講義の内容・授業スケジュール

仏教漢文の訓練もかねるため、初めは漢文の基礎を説明しながら進めてゆき、平易な經典から読む。秋からは注釈の読み方なども指導する。授業は主にコンピュータ教場を利用して実際にPCを使いながら進めてゆき、インターネット上のデータの探し方や活用用法などについても紹介する。

履修上の留意点

仏教漢文が中心となる。必ず漢文の力がつくよう指導するが、自分から取り組もうとする姿勢が必要とされる。日本語入力の仕方やインターネット入門などを指導する時間はないため、それらについては、各自で身につけておくこと。柔軟で複雑な検索方法などについては、わかりやすく説明するが、自宅で練習することが求められるため、進んでそうした練習に取り組む意欲のある学生でないと、授業についていけないだろう。1年間がんばれば、必ずPCを活用した研究ができるようにするので、努力を期待したい。

成績評価の方法

平常点によって判定するが、授業中に熱心に取り組んでいた者については、考慮する。

教 科 書

コピーを配布する。読む經典については、希望があれば考慮する。

参 考 書 等

読む經典に応じて教場で一覧を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏典研究III	は か ま や の り あ き 袴 谷 憲 昭	短仏1・2選必	4

講義のねらい

この演習は、日本の仏教文献の講読を通して、仏教思想を研究しようというものである。日本の仏教は、南都の六宗、平安の二宗、計八宗によって確立されたが、それらは、あたかも一旦源信に流れ込み、それがまた再び仏教の諸思想となって展開したかのような観を呈している。その意味で、源信は、日本の仏教を学ぶ上での原点と言ってもよい存在である。しかるに、その源信(942-1017)は、『往生要集』があまりにも有名であるため、彼の思想的著ともいってよい『大乘対俱舍抄』や『一乗要決』の研究が却って遅れているといった状況を呈している。本演習では、この両者のうち、『大乘対俱舍抄』の方を取り上げて、丁寧に講読していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本テキストは、『俱舍論』本頌に、それに見合った大乘の教義を、大乘仏教の諸漢訳テキストよりの引用によって対応せしめたものである。本演習においては、それらの引用の原典にまで遡ることによって、アビダルマ教義と大乘教義との対応の意味を、順次に検討していくであろう。

履修上の留意点

初めは困難なようにみえても、扱われている内容は、仏教思想の基本的なものであるから、それを自ら講読してみたいと願うものが望ましい。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、状況次第により変更することもありうる。

教 科 書

源信『大乘対俱舍抄』(大日本仏教全書85) 入手困難なものについてはコピーを用意する。

参 考 書 等

大久保良順訳註『一乗要決』(大蔵出版)1990年 5,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教語解説	い け だ みちひろ 池 田 道 浩	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

本講義は多くの仏教語に触れ、その言葉によって表現される仏教教理を理解することを目的とする。基礎的な仏教の術語を理解した後、その言葉の背景に存在するさまざまな思想的問題を考察していく。一つの語句が多様に理解され、その意味が変容していったことにぜひ関心をもってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、教科書によって多くの仏教語の基本的な意味を理解し、その後、必要に応じて多くのテキストを参照し、仏教思想の基礎的な概念を考察する。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験あるいはレポートによって評価する。

教 科 書

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国禅宗史	す や ま ちようじ 須 山 長 治	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を、禅の語録を通して考察して行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度に引き続き、本年度も『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅は時代とともにどのような問題意識を展開していったか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とはなにかを考えて行きたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

『碧巖録』（岩波文庫）、『雷寶頌古』（禅の語録シリーズ）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本禅宗史	つ の だ たいりゆう 角 田 泰 隆	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は、日本の禅宗の歴史について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書（第三部禅宗の歴史－日本篇）によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参 考 書 等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教史	い け だ み ち ひ ろ 池 田 道 浩	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返していたことが伝えられている。仏教における論争の歴史を学習することによって各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなると思われる。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。釈尊の教え、釈尊滅後の教団、大乘仏教の発生と展開等が主な項目である。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）
平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教史	お く の み つ よ し 奥 野 光 賢	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

中国における仏教の展開を、主として「教理史」に力点をおいて概説する。同時に中国仏教を学ぶ上で必要となる各種文献の解題も行なう。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、中国仏教を学ぶ上で必要となる各種文献の解説を行う。それを踏まえた上で、時代を追って中国における仏教の展開を見ていくこととする。各種文献に対する基礎的知識を習得しておけば、講義の中で興味をもった事柄について、各自が直接原資料にあたって調査・研究ができるようになるはずである。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席日数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

鎌田茂雄『新中国仏教史』（大東出版社）定価2,500円（税別）を教科書とするので、受講者はかならず用意すること。その他、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

授業は講義方式で進めるが、受講生には授業のたびに何らかの質問をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本仏教史	は か ま や の り あ き 袴 谷 憲 昭	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

下記の教科書により、日本仏教史を講義する。ただし、単なる講義に終わらせないために、17世紀に入るか入らないかに完成していたと思われる、邦人イルマン不干齋巴鼻庵の『妙貞問答』上巻によって、その論述するところの我が国の八宗の教義をも講読研究することにした。この講読によって、当時のキリシタンが、いかに我が国の仏教のことを理解していたかを知っておく必要があると考えるからである。

講義の内容・授業スケジュール

講義も講読も、以上の「ねらい」に即して、適宜進められるであろう。

履修上の留意点

単に講義を聞くだけでなく、上記の文献を自ら読んでみようと思うものの参加が望まれる。

成績評価の方法

学年末にレポートを課して評価したいと考えているが、状況次第で変更もありうる。

教 科 書

末木文美士『日本仏教史—思想史としてのアプローチ—』（新潮文庫）560円、井出勝美・海老沢有道『妙貞問答』上巻（海老沢有道他編著『キリシタン教理書』、キリシタン文学双書、キリシタン研究第30輯、教文館、1993年、287—354頁）。

参 考 書 等

ヴァリニャーノ著・家入敏光訳編『日本のカテキズモ』（天理図書館）1969年、袴谷憲昭『法然と明恵—日本仏教思想史序説—』（大蔵出版）1998年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅籍講読	し べ けんいち 志 部 憲 一	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

『正法眼蔵随聞記』をテキストとして使用する。この本は曹洞宗開祖の道元禪師が中国より帰朝して後、京都深草の興聖寺において門下の人々に示した言葉を収録したもの。内容は仏道修行の用心・秘訣を示したもので、和文で書かれており比較的読みやすい。また様々なテーマが取り上げられている。弟子の懐疑が聞くに随い書き留めたもので、道元禪師の生の声を聞くことができ、初めて禅を学ぶ者には好資料である。

講義の内容・授業スケジュール

講義の形式はテキストを読みながら禪者の考え方や修行の心構えを解説する形で行なう。

教 科 書

テキストは講義開始時にコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏典講読	お お に し り ゅ う ほう 大 西 龍 峯	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

仏教は長い歴史をもち、伝承も複雑多岐にわたることから、その教えを示す仏典も多様かつ膨大なものがあります。

本講座では、仏典として今日伝承されるものの概要を示し、かつ実際にそれらの仏典の一部に触れることを目的としております。

講義の内容・
授業スケジュール

できるだけ仏典に関する知識を広げてもらうために、特定の文献をひとつ選んで通読するのではなく、むしろ傾向の異なるさまざまな文献から教材となりそうなものを取りあげて講読してみようと思います。本年度は『維摩経』を中心に、それに関連した文献をとりあげ、その思想の特徴と影響を考えていきたいと思っています。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

随時配布します。

参 考 書 等

随時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教伝道	つ の だ た い り ゅ う 角 田 泰 隆	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

仏教は、これを学ばなくては説くことはできないが、学んで説くことがなければその存在意義を失う。道元禪師は「弘法救生」（仏法を広め、苦悩する多くの人々を救う）の思いを常に深く心に願われていたというが、曹洞宗宗侶もやはり同様の誓願を持たなければならないであろう。そこで必要なのが伝道・教化ということである。この科目では、この伝道・教化の理念と実践について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教の伝道において、一般の人々にわかりやすく説き広めるということは容易なことではない。この科目では、まず釈尊の生涯をたどりながら、仏教伝道の基本的あり方について考え、さらに現代の宗門寺院における中心的活動である葬儀と法事（年回忌法要）の意義について考察する。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語	須山長治	短仏1・2選	4

講義のねらい

昨年度に引き続き、『論語』を読む。中国の古典で最も有名なものは、何と言っても孔子とその弟子の言行録『論語』である。中国思想史としても、この書を中心として儒家の思想は展開する。本年度も『論語』を精読することによって、孔子を中心とした当時の人々の考え・思いそしてあり方を読み取っていききたい。

講義の内容・授業スケジュール

『論語』二十巻は、それぞれ断片的な短文の集りである。まずはその一文一文をきちんと訓読できるようにする。その上で口語訳を試み、そこで語られる内容を細かに分析し、2500年前の“現在”を浮き彫りにする。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述と訓読・口語訳。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

金谷治訳注『論語』（岩波文庫）等。

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道	野村宙弘	短仏1・2選	4

講義のねらい

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨、硯、筆、文鎮、下敷、半紙等の文房四宝の用意が必要。
(正しい用筆法、正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教科書

王羲之『蘭亭序』（清雅堂）360円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と文化	奥野光賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

日常生活において何気なく使われている言葉の中から、仏教に関わるものを毎回取り上げて、その言葉の持つ本来の意味、語義の変遷等を考察することによって、「仏教と文化」の問題を考えてみたい。その際、教理史・仏教史に対する知識は必要不可欠になるので、講義は必然的に教理史・仏教史を再度確認しながら進めることになるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、(1)に記したねらいにしたがって毎回ある「仏教語」を取り上げて講義形式で授業を進める。後期は、「仏教語」だけでなく日常行なわれている「仏教行事」等にも眼を向けて授業を進める予定である。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

特に指定せず、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

授業は講義形式とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と現代	モンテイロ、ジョアキン	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

本講義は次のような三つの目的に基づいている。一つは、日本の代表的な仏教教団における差別発言への検討である。もう一つは今日における人権思想の論点（具体例一人権の主体、正当化根拠、内容等の諸問題）を明らかにすることである。そして、最後に仏教の社会倫理と関連する代表的な文献に対する検討によって仏教と人権思想との関係を問題にすることである。

講義の内容・授業スケジュール

人権思想の本質と係わる部分は講義が中心的な形式となるが仏教特有の社会的倫理性と関連する部分は文献読解を中心とする。

履修上の留意点

討論に対する積極的な参加の姿勢が期待されている。

成績評価の方法

前期においてはレポートにするが、後期においては筆記試験とする。

教 科 書

特に無し。

参 考 書 等

- (1) JACK DONNELLY, UNIVERSAL HUMAN RIGHTS IN THEORY AND PRACTICE, CORNELL UNIVERSITY PRESS, 1989
- (2) BUDDHISM AND HUMAN RIGHTS, EDITED BY DAMIEN V. KEOWN, CHARLES S. PREBISH, WAYNE R. HUSTED, CURZON, 1998
- (3) 寿台順誠『世界人権宣言の研究－宣言の歴史と哲学』－日本図書刊行会－（近代文芸社）2000年
- (4) 『新国訳大蔵経－阿含部①』（大蔵出版）1993年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外国語仏書演習	木 村 誠 司	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

英文で書かれた仏教書を読む。テキストは受講者と相談の上決めたい。

講義の内容・授業スケジュール

講読はゆっくりしたペースで行う。

成績評価の方法

成績評価は基本的に平常点に依る。

教 科 書

コピーで配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド・チベット仏教演習	木 村 誠 司	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

インド・チベット仏教の代表的原典を、ていねいに読む。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、演習形式で行う。時間中は、自由に発言し、疑問に思ったことは、何でも質問して欲しい。本年度は、『俱舍論』を取り上げる。この書によって、仏教の本質が明らかになるはずである。

成績評価の方法

平常点と年度末の試験によって行う。

教 科 書

コピーで配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国仏教演習	おくのみつよし 奥野光賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

「演習」を通じて、中国仏教の歴史と教理の把握、および仏教文献の読解力養成を主たる目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

わが国、鎌倉時代の碩学、凝然（1240-1321）の『八宗綱要』を講読する。本書は、仏教各宗の歴史と教理を要領よくまとめた名著として古来より知られているものである。部分的な誤りは指摘されているにせよ、その価値は今日においてもいささかも減ずるものではない。本演習では、本書の講読を通じて、中国仏教各宗の歴史と教理を把握することを目標としたい。今年度は本書冒頭より読み始める。最初に講義形式で基礎的事項に関する説明をなした後、毎週当番を決めて演習形式で授業を進める。

履修上の留意点

演習なので事前の下調べが必要となる。指導にしたがって、一年間継続すれば、相当な力がつくはずである。指導は懇切丁寧に行う。

成績評価の方法

純然たる演習科目なので、成績評価は通常点のみの評価となる。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

事業は演習形式によって進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教思想演習	はがまやのりあき 袴谷憲昭	短仏1・2選	4

講義のねらい

この演習は、仏教文献、特に、日本のそれを通して、仏教思想を解明せんと設けられたものである。その目的のために、当面は、源信（942-1017）に先立つことほぼ一世紀前に活躍した我が国の安然（841-?）の著わした『真言宗教時義』を講読する。本書の四一教判によって、仏教の「全一思想」ともいうべき「本覚思想」が我が国においても確立されたと見做しうるのであるが、その「本覚思想」とはなにかを、この思想のその後の日本仏教へ与えた影響の大きさに鑑み、考察せんとするのが、本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

原漢文を最初より順次講読していく。

履修上の留意点

漢文の読解が苦手なものであっても、「本覚思想」のなんたるかを自ら吟味してみようと思うものであれば歓迎したい。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、状況次第により変更することもありうる。

教科書

安然『真言宗教時義』、大正新修大藏経、第75巻、374頁上-450頁上所収のものをテキストとする。入手困難なものにはコピーを用意したい。

参考書等

国訳一切経、和漢撰述部、諸宗部18。末木文美士訳『安然・源信』（大乘仏典、中国・日本篇19、中央公論社、1991年）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教文学演習	い し い こう せ い 石 井 公 成	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であって文学・音楽・美術・医学・建築その他の領域にまたがっており、それぞれの国の文化に大きな影響を与えている。本講義では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、経典・論書・戒律などであっても文学的に価値の高い仏教文献もとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。漢文・古文の文献を主とするが、現代日本語訳や英訳を用いる場合もある。本年は漢詩を木版本で読む楽しさを味わうことができるようにすることを目標の一つとする。

講義の内容・
授業スケジュール

男女の愛情・無常・自然観・夢その他のテーマを選び、そうしたテーマにかかわる散文や韻文の文献をいくつか比較しながら読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。

履修上の留意点

学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくとため、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらおう機会を持つようにしたい。

成績評価の方法

発表と日頃の応答によるが、討議などに積極的に参加していた者については評価する。

教 科 書

使用せず、コピーを配布する。

参 考 書 等

テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗学演習	つ の だ た い り ゅ う 角 田 泰 隆	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

本科目は、曹洞宗の宗旨に関わる学問研究を演習形式で行うものである。本年は、道元禅師の主著『正法眼蔵』を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の形式で行うが、学生による予習の成果を発表してもらいながら問答形式で授業を進め、テキストを読解してゆく。

履修上の留意点

事前の予習が必要である。予習においては、自ら辞書等にあたり、一々の文字言句を正確に解釈し、現代語訳を行ってもらう。出版されている種々の現代語訳はなるべく用いず、自ら解釈することを目指してほしい。

成績評価の方法

演習科目であるので、授業への出席、および授業での研究成果の発表によって評価する。よって欠席の多い学生や、所定の研究成果の発表を行わなかった学生には単位を認定しない。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日用經典概説	おくのみつよし 奥野光賢	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

この講義は、曹洞宗で日頃、読誦されている經典（教典）、回向文に対する解説を主たる内容とする授業である。

講義の内容・授業スケジュール

講義は当然のことながら、曹洞宗で日頃、読誦されている經典（教典）を主として扱うことになるが、内容は必然的に經典一般に及ぶことになる。したがって、前期は經典の成立史から講義をはじめめる。その上で、個々の經典に対して、曹洞宗の関わりから解説を試みる。後期は、曹洞宗で読誦される聖典のうち、主として『修証義』に的を絞り、種々の問題を考察することとした。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席日数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教 科 書

特に指定せず、プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

そ の 他

授業は基本的には講義方式とするが、受講生の人数によっては演習形式とする場合もある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教哲学	こんのかおる 紺野馨	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

現代世界における宗教の意味を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「理性と信仰」の関係を考える。これには哲学だけではなく、科学思想史、宗教史、宗教学などの成果を視野に入れる。後期は「現代社会と宗教」と題して、宗教の歴史的展開、近代化と宗教、さらには現代日本における宗教の様相などを考える。

履修上の留意点

なるべく受講生諸君にも身近な事柄を糸口として講義するが、受講生諸君にも積極的な「参加」の意欲をもって出席してほしい。

成績評価の方法

レポートによって評価する。出席も重視する。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

参考書等は教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
キリスト教概説	こ ん の かおる 紺 野 馨	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

キリスト教の教義等のみならず、キリスト教ヨーロッパの精神史を紹介する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は聖書を中心に、キリスト教の成立を主題とする。後期は、キリスト教史を中心に、歴史的形造物としてのキリスト教を考える。

成績評価の方法

前期・後期それぞれ学期内に試験を行なう。出席も重視する。

教 科 書

教室で指示する。

参 考 書 等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教特講Ⅰ	あ ら い ひろあき 荒 井 裕 明	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

『成実論』を中心として、仏教の様々な教理について勉強します。基本的な仏教用語の理解を深めながら、仏教内外の諸派の学説の相違に関しても言及したいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

『成実論』は漢訳（『大正新脩大藏経』32卷所収）のみが現存するので、これを基本的なテキストにするが、その国訳を必要に応じて利用する。

履修上の留意点

積極的に発言して講義に参加して欲しい。

成績評価の方法

講義の出席状況と定期試験によって評価する。

教 科 書

テキストはコピーして配布する。

参 考 書 等

『新国訳大藏経、成実論Ⅰ・Ⅱ』、大蔵出版等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教特講Ⅱ	みつはし 三 橋 正	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

日本仏教の特質について考えます。現代においても日本人にとって仏教は切り離せない存在ですが、教義の上から説明できないことも数多く存在します。死者を「ほとけ(仏)」、死ぬことを「往生」「お迎えが来る(=来迎)」などというのはどうしてでしょうか。「戒名」とは受戒の時に師から授かる名前ですが、なぜ葬式の場で死者に付けるのでしょうか。日本の神様は仏教によって排除されることなく信仰の対象となり続けますが、そもそも神信仰(神祇信仰・神道)とは何なのでしょう。神と仏はどのように使い分けられ、また融合(習合)したのでしょうか。このような日本人にとって身近な問題を取り上げ、それを歴史学的に検証していこうと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

最初は講義によって日本仏教の歴史を概観し、基本的な問題点を整理します。それをもとに皆さんに討論してもらいます。また、授業の内容に沿った形で、博物館見学などの学外の授業も取り入れていきたいと思っています。

履修上の留意点

問題意識を持って授業に積極的に参加し、予習復習をしっかりとしてください。

成績評価の方法

レポート(夏休み明けと年度末の2回提出)とテストによって評価します。

教 科 書

教科書は特に定めず、必要に応じてプリントを配ります。

参 考 書 等

参考書は、各自のレポートの題目に従って指導します。

そ の 他

授業では講義とともにレポート作成の指導に力を入れます。各自の決めたテーマに従って文献を探し、調査し、文章にまとめる。一年を通じてこの作業を繰り返し、年度末には各自の「日本仏教論」を組み立てていただきたいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗学特講Ⅰ	くまもと えい にん 熊 本 英 人	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

主に曹洞宗の寺院徒弟を対象として、曹洞宗寺院の諸行事法要の意味と意義の理解のための講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

曹洞宗寺院の主な法要の回向文の解説を中心に講義を進める。あわせて、1988(昭和63)年の曹洞宗行持軌範の改訂の意味についても触れたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験

教 科 書

櫻井秀雄著『修訂曹洞宗回向文講義』(曹洞宗宗務庁刊) 1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗学特講Ⅱ	は れ や ま し ゅ ん え い 晴 山 俊 英	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

禅家における種々の儀軌と集団生活の規範の根本は、いわゆる清規に求められる。現代においては他宗と比較してその独自性が強調され勝ちであるが、宗門の清規が禅家古来の正統を色濃く継承している点を明らかにしていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

戒律史上における清規と禅戒の特色を講じた後、『永平清規』を講読し宗門における僧堂生活の基礎を知るとともにその有効性について考えてみたい。講義はノートをとる方法を中心に進める。

履修上の留意点

自らの日常生活と照らし合わせ、出家と在家との現実的な境界線を模索してみたい。また、寺院徒弟ならば、今後予想される僧侶としての人生に、自分なりの意義付けを試みられたい。

成績評価の方法

出席の状況とレポートの提出による評価を考えている。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

Ⅲ 他学部履修科目

Ⅲ. 他学部履修科目

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

商学総論	〈大吹勝男〉	495
社会思想史	〈阿部 泓〉	496
国際経済論	〈休 講〉	
社会政策	〈光岡博美〉	497
価格理論	〈荒木勝啓〉	498
国民所得論	〈吉野 紀〉	499
銀行行論	〈休 講〉	
中小企業論	〈休 講〉	
人口論	〈休 講〉	
アメリカ経済論	〈休 講〉	
ヨーロッパ経済論	〈清水 卓〉	500
貿易論	〈休 講〉	
会計監査論	〈森田佳宏〉	501
管理会計論	〈休 講〉	
法思想史	〈河見 誠〉	502
日本法制史	〈茂野隆晴〉	503
西洋法制史	〈休 講〉	
経済法	〈岡田外司博〉	503
国際関係論	〈南山 淳〉	504
地方自治法	〈富井幸雄〉	504
倒産処理法	〈奥野善彦〉	505
国際紛争解決法	〈王 志安〉	505
アメリカ経営学	〈休 講〉	
経営財務論	〈高田光明〉	506
経営組織論	〈伊藤信二〉	507
公益企業論	〈園田哲男〉	507
公管理会計論	〈猿山義広〉	508
会計監査論	〈阿部 一人〉	509
日本経済論	〈羽 鳥 茂〉	510

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商学総論	お お ぶ き か つ お 大 吹 勝 男	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり、また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論・電子商取引（eコマース）
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粹流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

教 科 書

- | | | |
|------------------------------|---|----------------|
| 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社） | 5 | 『経済学論集』第22巻第4号 |
| 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号 | 6 | 『経済学論集』第26巻第1号 |
| 3 『経済学論集』第20巻第4号 | 7 | 『経済学論集』第27巻第1号 |
| 4 『経済学論集』第22巻第1号 | | |

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会思想史	あ べ ひろし 阿 部 弘	短国・短英・短放	4

講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係の関係を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策技術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパの帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開－マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

成績評価の方法

- 1 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。レポートは7月・10月・12月・1月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。年4回のレポートを行うのは、講義形式のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、とかく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。レポートの形式は、7月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからテーマを設定します。
- 2 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。
- 3 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」を実施しない関係で、それに付随した、「追試験」とか「再試験」は行いません

そ の 他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようにするために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204/TEL03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538/TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会政策	みつおか はくみ 光 岡 博 美	短国・短英・短放	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価格理論	あ ち き よ し ひ ろ 荒 木 勝 啓	短国・短英・短放	4

講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格といふよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといてもよい。従って講義のかなりの部分があるための準備と練習に当てられると期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験あり。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国民所得論	よしの 吉野 紀	短国・短英・短放	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万（平成3年）あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その一つ一つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。ここでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回
前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は原則として実施しない。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミックス（上）』（第6版）（多賀出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ経済論	しみず たかし 清水 卓	短国・短英・短放	4

講義のねらい

本年1月1日から、EU諸国の統一通貨であるユーロが一般に流通するようになり、EU諸国の経済統合は高度な段階に入りました。数年のうちには10カ国を超える中欧、東欧諸国がEUに加盟することになっており、EUの機構改革も着手されました。こうして、世界におけるEUの存在はますます大きくなってきます。
本講義はEUとメンバー諸国の動きを紹介し、その意義を明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期にはEUの主な課題の経過と現状を取り上げます。

市場統合の経過と現状
市場統合への道
1992年市場統合計画
現段階における市場統合への課題

欧州通貨統合
第2次世界大戦後の国際通貨体制と欧州
欧州通貨危機と欧州統合
欧州通貨制度（EMS）
欧州中央銀行制度

市民的・社会的ヨーロッパ
欧州失業問題
地域格差問題
欧州福祉国家の現状
欧州基本権憲章

EUの安全保障問題

後期は各国経済とEUの産業分野を取り上げます

各国経済の現状
フランス
ドイツ
イギリス
イタリア
スペイン
オランダ・ベルギー・ルクセンブルグ
北欧諸国

産業分野としては
農業・農村・食料
伝統的部門
先端産業

なお、随時、EUの最新トピックスを解説します。

履修上の留意点

講義を興味深く聞き、内容を理解するためには、ある程度の基礎知識や、EUで現実に起こっている出来事への関心が必要です。是非、インターネットや、新聞、雑誌で自分の興味が持てる事柄を探してください。

成績評価の方法

前期末と学年末にペーパー試験を行います。
成績評価に際しては、出席回数を考慮します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

- 1) 田中素香、長部重康、久保広正、岩田建治『現代ヨーロッパ経済』、有斐閣、2001年。
- 2) 藤井良弘『EUの知識』、日本経済新聞社

その他

卒業年次生に対する再試験は行いません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	もりた よしひろ 森 田 佳 宏	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等に関する研究を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則として試験の結果により評価する。なお、再試験は実施する。

教 科 書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

税務研究会編『企業会計規則集』（税務研究会出版局）
飯岡透，市村一之，島崎規子『会計監査概論』（中央経済社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法思想史	かわみ まこと 河 見 誠	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀的枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人に生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちがはじめて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代法思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想（ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、

中世ローマ・キリスト教の法思想（キケロ、アウグスティヌス、トマス・アキナス）

近代：自然権・社会契約論（ホブズ、ロック、ルソー） 功利主義（ベンサム、ミル）、ドイツ概念論（カント、ヘーゲル）

近代から現代へ：社会主義法思想（マルクス）新カント派法哲学（ケルゼン、ラートブルフ）、

再生自然法論（コーイング、カウフマン）、分析法理学（ハート）、現代正義論トリベラリズム（ロールズ、ドゥオーキン）

成績評価の方法

定期試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課すかもしれない。

教 科 書

田中成明他『法思想史（第2版）』（有斐閣Sシリーズ、1997年）1,700円

参 考 書 等

随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本法制史	しげの たかはる 茂野 隆晴	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

「法制史」は基礎法学の一つであるが、歴史学の一分野でもあるという両属性がある。私の担当する「日本法制史」は日本人の法生活の歴史的考察であり、それを時代区分をこなすことよって行っていくというものである。

各時代の人びとの生活を規範的側面より探求、分析していくものであるから、少しでもその実体にせまる上からも多くの史料を勉強して実際にもとの文章そのものを読んでいけば法制史の理解はより深まろう。

ともあれ、基礎法学あるいは理論法学といっても、その位置づけ、あり方については、未だ法学教育のうえで定かでないようである。ただ、基礎法学がより重視され、仮に実定法と同じような比重で科目配当されたとすれば、日本法制史について言うなら、古代・中世・近世・近現代といった名称が冠せられた講座がみられるようにもなろうか。

講義の内容・授業スケジュール

時代区分として、上古（氏族法時代）、中古（律令法時代）、中世（武家法時代前期）、近世（武家法時代後期）、近代（含む幕末）の5期に分ち、前期は、それぞれの時代の公法、刑事編を行なう。後期には、同じく時代を繰り返し、私法・民事編を行なう。

履修上の留意点

史資料に則して行なうことの多い授業ですのでテキストは必ずそろえて持参のこと。また、授業中の私語は厳禁ゆえに、守れないものがあれば直接にも指摘することになるだろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味して評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社刊）3,000円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,500円、このほかは、ばあいにより指示します。

その他

授業の方法は講義による。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済法	おかだ としひろ 岡田 外司博	短 仏	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際関係論	みなみやま 南 山 あつし 淳	短 仏	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国民国家体系は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきた。他方、「グローバル化」に象徴されるトランスナショナルな活動の増殖は、今日、国際間に極めて重要な影響を及ぼすようになってきている。つまり、現代国際関係の最大の特徴は、国家間関係とトランスナショナルな関係が同一の時空間に並存し、相互に影響を与えあっているという点にある。本講義の目的は、複雑化する現代国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を確定していく作業に他ならない。そのためには、国際関係史と国際関係理論を別々に考えるのではなく、双方を一体のものとして、有機的に理解することが不可欠となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地域環境、ジェンダーなど、現代国際関係における具体的な諸問題をとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治学、近現代史、国際問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験により評価する。

教科書

進藤榮一著『現代国際関係学』（有斐閣）
松岡完著『20世紀の国際政治』（同文館）

参考書等

講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地方自治法	とみいゆきお 富 井 幸 雄	短 仏	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジュメを配布し、それに添って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とる予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大幅な改正があるので、必ず平成12年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倒産処理法	おくのよしひこ 奥野善彦	短 仏	4

講義のねらい

私が管財人として任務を遂行した更正会社日本リースの事件処理などを通じ、可能な限り実践的な視点から倒産処理法を学ぶこととする。

倒産処理手続は、通常、任意整理と法的整理に区分され、さらにその目的に従い、再建型と清算型に分けられる。

任意整理は、裁判所外で債務者と債権者間で私的に進められる整理手続で、再建型にも清算型にも利用され、法的整理手続の原型となっている。これに対し、法的整理手続は、再建型の類型に入るものとしては、会社更正、会社整理、並びに民事再生手続があり、清算型の類型に入るものとしては特別清算と破産がある。

この講義では、「倒産」に直面している人又は企業に対し、如何なる手続を選択することが債権者及び債務者にとって最も好ましいか、というようなことから始め、最高学府で倒産処理法を学んだ者として、当然身につけなければならない法的知識並びに法的技法を習得することにした。

真面目で誠実で、且つガッツのある学生に履修してもらいたい。

履修上の留意点

成績評価の方法

履修態度、レポート並びに試験（論文式）

教科書

追って指定

参考書等

奥野善彦著『会社再建』（小学館）定価1,600円

その他

前期－講義 後期－ゼミ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際紛争解決法	おうしあん 王志安	短 仏	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしつかりと取ってもらいたい。

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

松田幹夫編著『現代国際法』（八千代出版）1997年 2,700円

参考書等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営財務論	た か だ み つ あ け 高 田 光 明	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつて意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教 科 書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参 考 書 等

染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

そ の 他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営組織論	伊 藤 信 二	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

我々は、「産業革命より大々的な文化変容」の時代に生きている。経済活動の主体である企業組織も内外に新たな問題を抱え、生き残りのため新たな方策を模索している。

本講義では、これまで企業の管理組織がどのような考え方で編成され、また、どのような変遷をたどって発展してきたかを概観した上で、今日の企業のさまざまな革新努力とその意味を理解し、新しい時代における企業組織と個人の関係のあり方を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

[前期講義]

- (1) 問題意識－歴史的な変化に直面する日本企業、構造的変化と循環的变化
- (2) 20世紀の支配的な経営原理－テーラーリズムの誕生とその意味
- (3) 経営における人間的側面－人間関係論、X理論とY理論など [後期講義]

[後期講義]

- (1) 管理組織の発展－歴史と発展の理論
- (2) 組織構造－組織の編成原理、組織図の読み方
- (3) 管理機構モデルの意義とその限界
- (4) 新しい企業組織のあり方－革新の試みと展望

履修上の留意点

問題意識を触発し、講義内容の理解を促進するために、また理解度を把握するために小課題を時々出します。基本的には講義形式をとりますが、受講生の意見も取り入れながら展開していく予定なので、参加意識をもって臨んでほしい。

成績評価の方法

課題への取り組み方、前後期の筆記試験によって評価します。

教科書

特定のテキストは用いず、参考文献は講義中に適宜指示します。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公益企業論	園 田 哲 男	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規則に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規則と区別された意味における公益企業規則である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規則が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行う。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意志決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意志のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、單元ごとに小テストやレポートをし、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しく評価を行なうつもりである。

教科書

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行なうつもりである。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管理会計論	さるやま よしひろ 猿 山 義 広	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思想を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。

教 科 書

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）
なお、適宜、プリントを配布する。

参 考 書 等

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会計監査論	あ べ か ず ひ と 阿 部 一 人	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
 もともと監査論は、その言葉自体のもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。
 監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。
 監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。
 まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているのかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は、財務諸表監査として特徴づけられる。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）
 - ①監査の必要 ②監査の意義
 - ③監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（総論）（2）
 - ①監査の目的 ②監査思想の変遷
 - ③監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - ①証券取引法監査 ②商法監査
 - ③その他の監査制度
8. 監査基準（1）
 - ①必要性 ②生成と展開
9. 監査基準（2）
 - ①意義 ②体系 ③一般基準
 - ④実施基準 ⑤報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - ①監査概念の拡大化
 - ②監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏期）および出席状況を考慮して総合的に判定する。

なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円

参考書等

田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
 山榊忠恕・檜田信男『監査基準精説』（税務経理協会）3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済論	は と り 羽 鳥 茂	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

履修上の留意点

受講生としての一般常識を持っていることはいままでもないですが、下記の参考文献を必要に応じて参照し、授業内容の理解を確かなものにするよう努力してください。

成績評価の方法

後期授業終了後、筆記試験で評価します。

教科書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年 3,200円

参考書等

読みやすいと思われる順になっています。
 [A] 鶴光太郎『日本的市場経済システム』（講談社現代新書）1994年
 [B] ジョン・マクミラン『経営戦略のゲーム理論』伊藤、林田訳（有斐閣）1995年
 [C] 中山幹夫『はじめてのゲーム理論』（有斐閣）1997年
 数学はつぎの2冊が適当だと思います。
 [D] 高橋渉『現代解析学入門』（近代科学社）1990年
 [E] 永谷裕昭『経済数学』（有斐閣）1998年

その他

数学が必要などときにはできるだけ解説しますが、諸君達の努力は不可欠です。意欲ある皆さんの出席を期待しています。この科目は再試験を実施しません。

IV 仏教学部開設科目

IV. 仏教学部開設科目

パ ー リ 語 初 級	〈片 山 一 良〉	515
サ ン ス ク リ ッ ト 語 初 級	〈金 沢 篤 篤〉	515
チ ベ ッ ト 語 初 級	〈松 本 史 朗〉	516
仏 教 美 術	〈松 田 誠 一 郎〉	516
詩 偈	〈塩 崎 幸 雄〉	517
原 始 仏 教	〈片 山 一 良〉	517
宗 教 史	〈長 谷 部 八 朗〉	518
イ ン ド 仏 教 文 化 史	〈金 沢 篤 篤〉	518
浄 土 学 概 論	〈金 子 寛 哉〉	519
真 言 学 概 論	〈松 崎 恵 水〉	520

科目名	担当者名	配当学科	単 位
パーリ語初級	かたやま いちろう 片 山 一 良	短 仏	4

講義のねらい

パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

前半は文法全体について講義し、後半は『シンガーラ教誡経』(Singalovada-sutta) [六方礼経]を読みたいと思う。

履修上の留意点

習得に丁寧であることが望まれる。

成績評価の方法

レポート(夏期)および年度末テストによる。

教科書

コピーにて配布する。

参考書等

水野弘元『パーリ語辞典』(春秋社)

その他

随時、テープ等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
サンスクリット語初級	かなざわ あつし 金 沢 篤	短 仏	4

講義のねらい

仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある以下の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際的・基礎的な力を養う。

履修上の留意点

予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

平常点と期末・年度末の筆記試験。

教科書

J・ゴンダ著『サンスクリット語初等文法』(春秋社)

参考書等

辻直四郎著『サンスクリット文法』(岩波書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
チベット語初級	まつもと しろう 松本史朗	短 仏	4

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの（チベット人の著作）を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教美術	まつだ せいいちろう 松田誠一郎	短 仏	4

講義のねらい

天平時代後期〔754～783〕から平安時代後期〔951～1185〕にいたる仏教彫塑の歴史を詳しく講義する。講義では、関連史料を講読して、作品が造られた歴史的背景をたどる一方、時代ごとの表現や技法の特徴を指摘し、その歴史の変遷や研究上の問題点を説明する。また、中国や朝鮮半島の作品との比較を通して、日本的な美意識の問題にも論及する。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 第1回 ガイダンス
- 第2～3回 1. 唐招提寺の鑑真和上像
- 第4～5回 2. 唐招提寺金堂の盧舎那仏像
- 第6～8回 3. 唐招提寺の天平後期木彫像
- 第9～10回 4. 神護寺の薬師如来像
- 第11～12回 5. 広隆寺金堂・講堂の仏像
- 第13～15回 進度調整のための予備日

【後期】

- 第1～3回 1. 東寺講堂の諸像
- 第4～5回 2. 神護寺の五大虚空蔵菩薩像
- 第6～7回 3. 観心寺の如意輪観音像
- 第8～9回 4. 室生寺金堂の諸像
- 第10～12回 5. 平等院鳳凰堂の阿弥陀如来像
- 第13～15回 進度調整のための予備日

履修上の留意点

仏像の本当のよさは、スライドを見ているだけではわからない。教室で講義を受けるだけでなく、できるだけ履修期間中に東京国立博物館の法隆寺宝物室や奈良・京都の古寺を訪れて、仏像に接する機会を積極的につくるように努力すること。

成績評価の方法

後期末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

教科書

水野敬三郎著『奈良・京都の古寺めぐり-仏像の見かた-』 1985年（岩波書店） 650円

参考書等

水野敬三郎監修『カラー版 日本仏像史』 2001年（美術出版社） 2,500円

その他

毎回スライドを使用する。参考文献については、講義ごとに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
詩偈	しおざき ゆきお 塩崎 幸雄	短 仏	4

講義のねらい

中国文化に対する関心を喚起し、漢文・漢詩に習熟させ、ひいては漢詩をもって自己の思想・感情を表現できるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

漢和辞典の引き方、旧字体の読み書き、漢文訓読による文の組み立ての修得、名詩紹介、試作、各規則の説明、課題による作詩、の順に進める予定である。

履修上の留意点

各自の創作意欲の発揮を期待する。他講義と異なり、本講義は研究・鑑賞等よりも創作に主眼を置いていることを忘れないでほしい。無文字時代の日本人に立ち返った心境で、漢字文化圏における文化的営為というものを真摯かつ旺盛に体得してほしい。

成績評価の方法

各自の作品によって評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

鈴木虎雄『支那詩論史』
野口寧斎『寧斎詩話』
森槐南『作詩法講話』
三浦梅園『詩敵』
何文煥編『歴代詩話』、丁福保編『統歴代詩話』

科目名	担当者名	配当学科	単位
原始仏教	かたやま いちろう 片山 一良	短 仏	4

講義のねらい

原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何か、を原始仏典の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前半は仏伝を紹介しつつ、縁起・四諦の教え、あるいは無常・苦・無我の三相による見方について講じる。後半は原始仏典を読み、とくに中道（八正道）、戒律などの実践について講じる。全体として、智慧と慈悲の教えを「法」と「律」の立場から考えるものである。

履修上の留意点

従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始経典を直接に読むことを勧めたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教科書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教史	はせべ はちろう 長谷部 八 朗	短 仏	4

講義のねらい

本講義では、仏教を中心に日本宗教史の概説を行う予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタンなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廃仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかをみる。新宗教の歴史にも言及したい。

成績評価の方法

未定である。なお、授業時に1、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

教 科 書

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの充実を望む。

参 考 書 等

授業時に必要に応じて紹介する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド仏教文化史	かなざわ あつし 金 沢 篤	短 仏	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教 科 書

指定なし（資料は教場で適宜指示する）。

参 考 書 等

教場で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
浄土学概論	か ね こ かん さい 金 子 寛 哉	短 仏	4

講義のねらい

浄土宗の教義組織とその内容について。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第一、浄土宗の教えの概要
 第二、浄土宗の名称と仏教中における浄土宗の位置。
 イ、宗の名称。
 ロ、浄土宗の位置（立場）。
 第三、浄土宗の拠り所とする経典、論書釈書。
 イ、浄土宗で拠り所とする三部の経典。
 ロ、世親の往生論。
 ハ、祖師の著作。
 第四、浄土宗信仰者の心構え。
 イ、心の持ち方の意義。
 ロ、まことの心。
 ハ、深く信ずる心。
 ニ、往生を願う心。
 第五、浄土宗信仰者の実践行。
 イ、中心になる行とそれ以外の行。
 ロ、中心になる五つの行。
 ハ、五つの行の中にある二つの側面。
 第六、日常生活の中での念仏行。
 イ、中心となる念仏行の実践方法。
 ロ、四種類の方法と、三種類の場合。
 第七、念仏行の根拠（本願）。
 イ、本願の意義。
 ロ、阿弥陀仏の本願。
 まとめ

履修上の留意点

テキストをあらかじめ読んで置くこと。

成績評価の方法

出席、テスト、受講態度。

教 科 書

阿川貫達著『浄土宗義概説』（浄土宗務庁）500円

参 考 書 等

必要に応じてプリントのコピー配布。

そ の 他

授業の方法-講義中心。受講生にテキストを読んでもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
真言学概論	まつざき けいすい 松 崎 恵 水	短 仏	4

講義のねらい

真言教学の概要を概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

真言宗の宗名の意義、教相と事相、秘密の意義、真言宗所依の聖典、真言宗の教判、顕教と密教の相違、空海の十住心思想、空海の三大思想、真言密教の教主、曼荼羅の名義、金剛界曼荼羅胎藏法曼荼羅、五智、四種法身、菩提心思想、真言密教の戒律、入壇灌頂、三句の法門、即身成仏思想、護摩法、加持と祈願の25章にわたって講義する。

履修上の留意点

出席を重視するので、やむを得ない場合以外は休まないこと。

成績評価の方法

学期末のレポートと出席点により総合的に評価する。

教 科 書

真言宗豊山派宗務所発行 『新仏教綱要』 第1巻、『真言宗綱要』をテキストとして用いる。第1回目の授業時に頒布する。1部200円。

参 考 書 等

その都度紹介する。